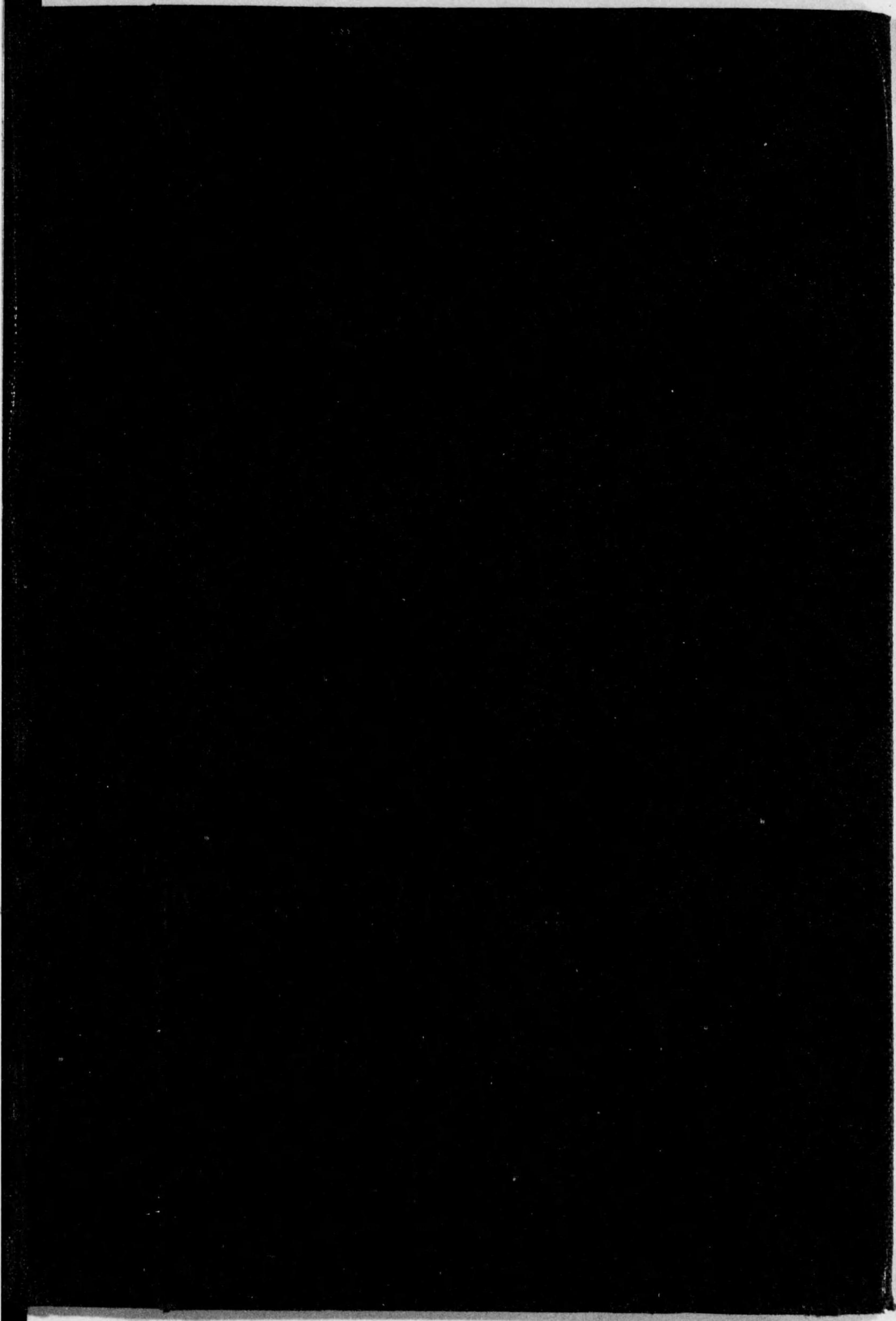


始



53
315

精神病学提要

東京帝國大學教授

醫學博士 三宅鑛一著

改訂第二版

東京・京都

南江堂書店發行

1934

55-3/51

精神病学提要序言

本年夏七月南江堂主ハ余ニ精神病学教科書用小冊子ノ編輯ヲ需メラレタ。余ハ『三宅氏醫學的心理學叢書』トシテ『記憶ノ病理ト療法』『精神測定法』『責任能力』ヲ公ニシ他ニ『精神病臨牀講義集』『醫學的心理學』等ヲ近刊スル豫定ガアルノデ、ソノ第四輯トシテ日常講義シツツアル程度ノ精神病学症候論ト各論トヲ記述シ始メタ。爾來數閱月、本書成リ、今ヤコレヲ世ニ公ニセムトスルノ機運ニ到著シタ。茲ニ余ガ本書所載ノ主トシテ余等教室ニ於テ報告セラレタル諸例證ノ報告者諸氏、本書ノ爲メニ插圖寫眞等ヲ作ラレタル諸君竝ビニ校正ノ勞ヲ執ラレタル荒木直躬講師及ビ出版ノタメニ力ヲ致サレタル南江堂主小立鉦四郎氏ニ對シ深甚ナル謝辭ヲ述ベ、以テ序言トスルノデアアル。

昭和六年十二月二十四日

三 宅 鑛 一

精神病学提要第二版序

先般精神病学提要ヲ出版シテ以來、日尙淺キニ
拘ラズ補訂ヲ要スト思ハル點モ少ナクナイ。今
之ヲ制限アル紙數内ニ纏メテ第二版ヲ公ニスル
ニ當リ嚴密ナル校正ヲセラレタル荒木講師竝ニ
多大ノ勞ヲ執ラレタル南江堂主ニ對シテ感謝ノ
意ヲ表シ、以テ序ニ代ヘル次第デアル。

昭和八年十二月二十三日

三宅 鑛 一

精神病学提要目次

第一篇 症候學概論	1
第一章 叡智ノ障礙	1
第一節 感覺ノ障礙	1
第一 感覺	1
甲 感覺ノ強サ、乙 情調	1
第二 知覺	1
續發性感覺、あるひり一、幻覺	2
第三 領解	4
領解ノ錯誤、認識不能症 Agnosie	5
第四 注意	5
第五 意識	6
意識潤濁、朦朧狀態、指南力、內意識、外意識、悟性譫妄、 睡眠、夢	8
第二節 觀念ノ障礙	9
第一 觀念及ビ其ノ聯合	9
第二 記憶	9
記銘力、追想、再生、直接把持、健忘症、作話症、記憶減退	10
第三 聯合	12
內聯合、外聯合、聯合試驗	12
第四 考慮進行	16
過價觀念、強迫觀念、同一觀念固着症、保續症、常同症、同一症、 瀰蔓性、冗長性、精神乖離性考慮、意想奔逸症、離想症、錯亂症	17
第五 觀念聯合速度	21
促進、遲滯、精神制止	21
第六 觀念構成	21
具體觀念、性狀觀念、抽象觀念、概念	21
第七 想像力	22
第八 判斷	23
第九 病的考慮	24
1. 過價觀念、2. 強迫觀念、3. 蒼古的考慮、4. 妄想	25
第二章 感情ノ障礙	33

第一節 一般感情ノ病的症狀 33
 I. 運動慾, II. 疲勞感情, III. 飢餓感情, IV. 作嘔感情, V. 疼痛感情, VI. 色情 33

第二節 病的感情 37
 甲 病的不快 37
 I. 憂鬱, 苦惱 II. 憤怒, III. 苦悶, IV. 嫌惡 37
 乙 病的快樂 41

第三節 情的反應ノ病的障礙 41
 甲 亢進 42
 乙 減退 43

第三章 意志障礙 44
 第一節 衝動性動作 44
 偏狂, 放火狂, 竊盜狂 44

第二節 病的本能 46
 I. 食慾, II. 色慾 46

第三節 意志發動力ノ障礙 48
 甲 減退, 乙 亢進 48

第四節 意志發揮性ノ障礙 49
 制止, 阻礙, 昏迷 50

第五節 意志被影響性ノ障礙 51
 甲 亢進, 反響症狀, 強梗症 51
 乙 減退, 拒絕症, 頑固 53

第六節 隨意的行爲過程ニ於ケル障礙 53
 あぶらきし 53

第七節 ひねくれたる行爲, 戻乖症, 常同症 55
 衝奇症狀 55

第八節 強迫行爲 56

第九節 表出運動 56
 甲 顔貌, 乙 言語, 構音, 言語觀念, 話法ノ障礙, 丙 手書ノ異常 . 57

第四章 個性及ビ自己意識 70
 人格, 智能, 精神薄弱, 低能, 智識年齡, 智能指數, 精神衰弱, 氣質, 性格, 躁鬱病性及ビ精神乖離性體質, 肥滿性, 纖弱性體型, 精神作業能力, 自我, 人格分離, 本人重複, 潛在意識 70

第五章 身體症狀 77
 第一節 變質徵候 77

第二節 運動障礙 79
 甲 麻痺, 乙 刺戟症狀, 痙攣, 丙 ちくく, あてとーぜ, 隨伴運動, 震顫, 反射運動, 瞳孔 80

第三節 感覺ノ障礙 86

第四節 榮養及ビ分泌ノ障礙 87

第五節 血行, 血壓, 血液及ビ腦脊髓液 88
 四反應 90

第六節 腦髓描寫法 91

第二篇 精神病學各論 92
第一章 頭部外傷ニ基ク精神異常 92
 甲 外傷直後ニ現ハルル急性腦震盪性精神病 92
 乙 頭部外傷後ノ遺殘狀態 94

第二章 中毒ニヨル精神異常 96
 第一 酒精中毒 96
 甲 急性酒精中毒, 酩酊, 病的酩酊 96
 乙 慢性酒精中毒 98
 丙 中酒性精神病 100
 I. 中酒性嫉妬妄想病—II. 酒客譫妄(振顫譫妄)—中酒性幻覺性癡呆,—III. 幻覺性妄覺病—IV. コルサコフ精神病—V. 中酒性麻痺性癡呆, 中酒性似而非麻痺性癡呆 109

第二 莫兒比涅中毒症 110

第三 こかみん中毒症 113

第四 ソノ他ノ中毒症—I. 酸化炭素中毒—II. 鉛中毒—III. 沃度保兒謨中毒—IV. 水銀中毒—V. 酸化炭素瓦斯中毒—VI. あとろびん中毒—VII. ひをすちん中毒 116

第五 自己中毒性精神異常—I. 尿閉症—II. 尿毒症—III. 急癩—IV. 糖尿病 117

第三章 內分泌性精神病 118
 第一 甲狀腺性精神異常 118
 甲 バセドウ病ノ際ノ精神異常 118
 乙 粘液水腫性精神病 119
 丙 くれちにすむす 120

第二 他ノ內分泌腺異常ニヨル精神異常 121

I. 下垂體—II. 松果腺—III. 副腎—IV. 生殖腺—V. 胸腺

第三 もんごりすむす 124

第四 いんふらんちりすむす 124

第四章 傳染病性精神病 125

第一 熱性譫妄 126

第二 傳染病毒性譫妄 127

I. 初期=現ハルモノ—II. 經過中=現ハルモノ—III. 末期=現ハルモノ—A. あめんちあ, B. コルサコフ精神病, C. 殘存性妄想 D. 殘存性譫妄, E. 幻覺症, F. 虛脱性譫妄 131

第三 傳染病後ノ精神衰弱状態 132

第五章 腦疾患ニ來タル精神異常 134

第一 腦腫瘍ノ際ノ精神異常 134

第二 血管異常ニヨルモノ, 腦出血, 腦軟化症 137

第三 腦膜炎ニ伴フ精神異常 139

第四 腦炎ニ伴フ精神異常 141

甲 化膿性腦炎, 腦膿瘍 141

乙 非化膿性腦炎 141

I. ウエルニッケ出血性腦灰白質炎—II. 皮質性腦灰白質炎—III. 嗜眠性, 又, 流行性腦炎 141

第五 硬化症類 146

I. 多發性硬化—II. 汎發性硬化症, —III. 葉性腦硬化 146

第六 胚種期ノ腦疾患 148

I. ハンチントン舞踏病—II. 假性硬化, ウキルソン病—III. 結節腦硬化症—IV. 家族性黒内障性白癡 148

第六章 微毒性精神障礙 152

I. 微毒性神經衰弱症—II. 腦護膜腫—III. 卒中性腦微毒—IV. 微毒性癲癇—V. 譫妄性錯亂状態—VI. 微毒性コルサコフ病—VII. 微毒性癡呆—VIII. 微毒性似而非麻痺性癡呆—IX. 微毒性妄想病 152

遺傳微毒 159

I. 白癡, 癡愚—II. 晩發性遺傳微毒—III. 癲癇—IV. 妄想病—V. 不良性格 159

脊髄癆性精神病 160

第七章 麻痺性癡呆 161

I. 遲鈍性—II. 誇大性—III. 抑鬱性—IV. 激越性定型 165

第八章 動脈硬化性精神病 189

甲 輕症・又ハ, 神經衰弱性動脈硬化症 190

乙 重症動脈硬化性精神異常 191

I. 動脈硬化性癲癇—II. 精神衰弱—III. 他ノ型, 一時性錯亂—, 幻聽, —苦悶, —ひすてり—様, —緊張病様病型 193

第九章 退行期精神病 198

甲 老耄性癡呆 199

I. 單一老耄性癡呆—II. ぶれすびをふれに——III. 老耄性譫妄—IV. 老耄性追跡妄想症 200

乙 初老期精神異常 206

第十章 早發性癡呆 207

I. 破瓜病—II. 單一性癡呆—III. 緊張病—IV. 妄想性癡呆(重症, 輕症)—V. 單一抑鬱性・又ハ, 昏迷性癡呆—VI. 妄想ヲ有スル抑鬱性癡呆—VII. 回歸性定型—VIII. 激越性定型—IX. 言語錯亂症 213

第十一章 ばらふれに— 239

I. 系統性ばらふれに——II. 誇大性定型—III. 作話性定型—IV. 空想性ばらふれに— 239

第十二章 癲癇性精神病 244

甲 發作性症狀 244

I. 痙攣發作—II. 精神發作—A. 定期性不機嫌症—B. 朦朧状態 244

乙 持續性状態—I. 性格異常—II. 癡呆 253

第十三章 躁鬱病 266

發作状態 269

第一 躁病状態 269

I. 發揚症—II. 重症躁病—III. 譫妄性躁病 270

第二 抑鬱状態 274

I. 單一性制止状態—II. 重症めらんこり— 274

第三 混合状態 276

I. 抑鬱性躁病—II. 興奮性抑鬱状態—III. 無爲性躁病—IV. 躁病性昏迷—V. 意想奔逸性抑鬱 276

第十四章 偏執病, ぱらのいあ 287

第十五章 ひすてり—性(臟躁性)精神病 291

甲 意識濁濁烈シキひすてり—性精神病 293

I. ひすてりー性譫妄状態—II. ひすてりー性朦朧状態 293

乙 ひすてりー性精神病 299

I. ひすてりー性感動—II. ひすてりー性躁病状態—III. ひすてりー性抑鬱状態—IV. ひすてりー性ばらのいあ —V. ひすてりー性假性麻痺性癡呆—VI. ひすてりー性幻覺症 300

丙 ひすてりー性發作ニ伴フ精神障礙 301

I. 癲癇發作前ニ來タル精神異常—II. 發作ト同時ニ發スル精神異常—III. 發作後ニ來タル精神異常 301

丁 ひすてりー性性格異常 a. 催眠術ニ罹リ易クナルコト, b. ひすてりー性變質 c. 自傷症, 健忘症—人格變換 302

第十六章 心因性精神病 317

第一 災害性神經症 318

甲 驚愕性神經症 318

乙 外傷性神經症 319

第二 在監者ノ心因性精神病 325

甲 拘禁反應 326

乙 持續性朦朧状態 326

丙 長期刑者ノ妄想症 329

第三 感傳性精神病 329

第四 重聽者ノ追跡妄想 330

第五 好訴妄想病 331

第六 豫期性神經症 332

第七 ソノ他ノモノ, 一戰闘性神經症, 一祈禱性精神病, 一魅惑性精神病, 等 333

第十七章 神經衰弱症, 後天性神經衰弱症 333

第十八章 神經質, 一名 生來性, 又 體質性神經衰弱 337

第十九章 強迫性精神病 341

第二十章 變質者 347

第一 體質性沈鬱症, 及ビ, 興奮症 348

甲 體質性沈鬱症 348

乙 體質性興奮症 349

第二 意志薄弱者, 一名 意志不定症 350

第三 好爭者 353

第四 興奮者 354

第五 奇行症 355

第六 放逸症 355

第七 病的虛言者 356

第八 衝動性精神病 358

I. 窃盜狂—II. 放火狂—III. 殺人狂—IV. 毒殺症 359

第九 色慾異常症 360

I. 病的手淫—II. ふちしむす—III. 同性相親症—IV. 殘忍性色情異常症—まぞひすむす—さちすむす 361

第十 反社會者 364

第二十一章 精神發育制止 368

第一 白癡 372

甲 重症白癡 373

乙 輕症白癡 374

I. 小頭症—II. 腦炎ニ因ル白癡—III. 腦膜炎ニヨル白癡—IV. 軟腦膜出血ニヨル白癡—V. 腦性小兒麻痺—VI. 腦水腫ニ因ル白癡 376

第二 癡 愚 385

第三 魯 鈍 387

附 錄

I 診斷形式 1

II 智能檢査 11

和文索引 1

歐文索引 13

精神病学提要

醫學博士

三宅鑛一著

第一篇 症候學概論

第一章 叡智障礙

第一節 感覺ノ障礙

第一 感覺 Empfindung.

感覺

感覺ノ強サ Intensität.

病的ノ場合ニハ、極メテ僅微ナル刺戟ヲモ非常ニ強ク感ズルモノ(感覺過敏症 Hyperästhesie)ト、鈍ク感ズルモノ(感覺鈍麻症 Hypästhesie)トアリ。前者ハ注意鋭キトキ・ひすてりー、後者ハ注意ノ鈍キトキ・意識濁濁・昏迷・白癡・癡呆・又ハ躁鬱病ニテ注意散亂セルトキ・等ニ見ル。

感覺ニ伴フ情調 Gefühlston ハ感覺ノ性質トソノ強度トニヨリテ差アリ。時ニハ、常人ノ快トスルモノヲ不快ニ、又、常人ノ不快ト感ズルモノヲ樂シトスルモノアリ(倒錯症 Perversität).

倒錯症

第二 知覺 Wahrnehmung.

知覺 トハ多クノ感覺ヲ纏メテ一ノ知覺像ヲ作り、以テソノ物ノ形體・大小・距離・時間・等ヲモ明確ニスル機能ヲ云フ。

コレニ次ノ如キ病的障礙アリ。

妄覺 Sinnestäuschung トハ刺戟不相當ノ感覺又知覺ヲ生ズルモノニテ、中ニハ外界ノ刺戟全ク無キトキニ感覺又ハ知覺ヲ生ズル幻覺アリ。又、刺戟不相當ノ感覺ヲ來タス錯覺アリ。

妄覺

幻覺

錯覺

兩者ノ區別ハ實際ニ於テハ困難ノ場合頗ル多シ。

錯覺

錯覺 Illusion ニハソノ形ノ外、大小・色澤・方向・等ニ於テ實物ト異ナルモノアリ、ソノ種類ニハ**錯視** Gesichtssillusion・**錯聽** Gehörsillusion・**錯嗅** Geruchsillusion・**錯味** Geschmacksillusion・**錯觸** Berührungssillusion・等アリ。

アロヒリー

アロヒリー Allocheirie, Obersteiner トハ、刺戟ヲソノ相對的 Symmetrisch ノ部位ニ覺ユル場所ノ錯覺ナリ。例ヘバ、右ノ手ニ或物ガ觸ルトキ之レヲ左手ノ同部位ニ觸レタルガ如ク感ズルモノトス。
ひすてりー・大脳・殊ニ、胼胝體及ビ顛頂葉ノ疾患ノ際ニ來タル。

續發性感覺

續發性感覺 Sekundärempfindung, Synästhesien, Nussbaum 1873 トハ或刺戟ニ應ジテコレニ相當スル感覺ヲ生ズルト共ニ、他ノ感覺ヲモ生ズルモノナリ。例ヘバ「あー」ト云フ音ヲ聞クトキハコレト共ニ白色ヲ見、赤ヲ見ルトキハコレト共ニ甘味ヲ感ズルガ如キコト是ナリ。殊ニ續發シテ生ゼル感覺ノ聽覺ナルトキハ**續發的聽覺** Phonismus、視覺ナルトキハ**續發的視覺** Photismus ト云フ。

幻覺

幻覺 Halluzination ハ感覺ノ種類ニ依リテ**幻視** Gesichtshalluzination・**幻聽** Gehörshalluzination・**幻嗅** Geruchshalluzination・**幻味** Geschmacks-halluzination・**幻觸** Berührungshalluzination・**幻覺性臟器感覺** Halluzinatorische Organempfindung・及ビ**運動性幻覺** Kinästhetische Halluzination ノ別アリ。

幻覺ニハ簡單ナル音響・又ハ色・光ノ如キ要素的的感覺ニ過ギザル**要素性幻覺** Elementare Halluzination ト、明カニ或形ヲ見又ハ聞クトコロノ**知覺性幻覺** Perzeptionshalluziation, Wahrnehmungshalluzination トアリ。

若シ常ニ同一幻覺ノ發現スルトキハ**恒定性幻覺** Stabile Halluzination, Kahlbaum ノ名アリ。強行軍・戰闘・飢餓・船舶難破・等ノ場合ニ於テ、之ニ關スル多數ノ人ニ、同一ノ幻覺ヲ起コルトキ**同時幻覺** Simultane Halluzination ノ名アリ。

他ノ症狀ナクシテ幻覺ノミ來タルトキニハ**孤立性幻覺** Isolierte Halluzination ト云フ。

普通見エ又ハ聞エザル場所ニ幻覺ヲ覺ユルトキニハ Extracampine Halluzination ノ名アリ、例ヘバ己ノ後ニ又ハ視野缺損部ニ幻視ノ現ハルル如キコレナリ。

己ノ考フルコトガ目前ニ見エ、又ハ聽ユル場合ニハ**有形考慮** Gedankensichtbarwerden・又ハ**有聲考慮** Gedankenlautwerden ノ名稱アリ。
コハ又ソノ折ノ考ヘト共ニ幻覺ガ重複シテ現ハルガ故ニ**二重考慮** Doppeldenken トモ稱セラル。

幻覺ニ似テ尙ホ眞ノ幻覺トハ名ヅケ難キモノヲ**假性幻覺**又ハ**似而非幻覺** Pseudohalluzination ト呼ブ。

自己ノ考ヘヨリ生ズル幻覺ヲ**統覺性幻覺** Apperzeptionshalluzination ト稱ス。マタ或感覺ノ起コルトキ之レト關係有ル幻覺ガ反射的ニ他ノ感覺ニモ現ハルトキハ**反射性幻覺** Reflexhalluzination ト云フ。

〔幻覺ノ發現〕 妄覺ハ精神病者ニ來タルルコト多キモ、健康人ニモ往々アリ。例之、睡眠中ノ夢・催眠術ニ罹リタル時ノ幻覺・稀ニハ或物ヲ凝視シ居レバ後刻、其ノ物ノ既ニ消失シタル後チニモ、其ノ形體ノ眼前ニ發現スルコトアリ(**感覺ノ記憶** Sinnesgedächtnis)。幼者・殊ニ、神經質ノ兒童ガ晝間恐ロシキモノヲ見レバ、夜陰暗キ所ニテ其ノ形態ヲ幻視スルノ類・又ハ圍碁ニ熱セル人ガ、夜間、牀ニ就キテ後、其ノ盤面ガ目前ニ鮮カニ見ユルナドソノ類ナリ。

尙ホ發熱ノ際・過度ノ疲勞ノトキニモ幻覺ヲ生ズ。而カモ病者ニ於テ幻覺殊ニ多シ。就中、ひすてりー・癲癇ノ朦朧狀態又ハ譫妄狀態ノ際ニハ勿論、ソノ發作時以外ニモ 1-2 ノ幻覺ヲ單獨ニ現ハスコトアリ。

幻覺ヲ最モ著シク示スモノハ精神病ナリ。早發性癡呆・就中・緊張病・妄想性癡呆・破瓜病・熱性譫妄・傳染病性精神病・こかいん中毒・酒精中毒性精神病・躁鬱病・老耄性精神病・麻痺性癡呆・腦黴毒・腦腫瘍・腦軟化症・卒中後精神病・等コレナリ。

病者ニ來タル幻覺ハ、單ニ刺戟ナキ所ニ形ノ見エ、又ハ音ノ聞ユルノミナラズ、其ノ虛像ヲ眞實ト信ズルノ判斷・確信、竝ビニ、ソレヨリ他ノ思考・感情ニモ誤リヲ來タスモノニテ、殊ニ妄想ヲ發生スルコトモ屢々アリ。幻覺ハ各種ノ病ニテ多少ノ特徴アリ。

(1) 早發性癡呆ニテハ意識ノ清明ニシテ鮮明ナル幻聲又ハ幻影多シ。殊ニ、緊張病ノ初期ニ於テハ幻聽・幻視・幻嗅ノ同時ニ多種現ハルヲ特徴トス。妄想性癡

有形考慮

有聲考慮

二重考慮

感覺ノ記憶

呆ニテハ幻聽最モ多ク、且頻繁ナリ、所謂、恆定性幻覺ヲ示ス。(2) 躁鬱病、殊ニ躁病時ニハ幻視多ク、幻聽之レニ次ギ、其ノ幻影不分明ナルヲ例トス。抑鬱状態、即チめらんこリーノ時ニハ幻聽多シ。(3) こかい入中毒・就中、該症ノ妄覺病ナル病型ノトキニハ微小ナル影像(蟲類又ハ猫ノ如キ動物)ヲ視、異様ナル幻觸ヲ訴フ。(4) 中酒性精神病、殊ニ、酒客譫妄ノトキニハ動キツツアル數多キ幻視・殊ニ、無數ノ蝶・蚊・蜂・又ハ兵士・等ノ群集シテ蠢動スル有様ヲ幻視ス。(5) 中酒性妄覺病ニテハ人語多シ。(6) 麻痺性癡呆ニハ幻覺少ナシ。(7) ひすてりー者ニハ感情的ノモノ多ク、就中、愛慕スル子女・情人・又ハ特ニ死セル人・天使・恐怖スベキ動物・墓・等ヲ夜間・或ハ精神ノ朦朧トナレル時ニ見ル。(8) 他ノ心因性精神病ニモ幻覺往々アリ。

〔幻覺ノ生ズル機制〕(1) 大脳皮質ノ知覺領域 Sinnessphäre = 異常ナル刺激アリト思ハルコト。例之、其ノ部ノ溫度上昇・血液ノ充滿・又ハ同所ノ腫瘍・等ニテ壓迫・等アルトキ。(2) 同所ノ過敏性亢マレルトキ。(3) 但シスクノ如キ解剖的機制 Mechanismus ヲ以テハ精神病者ノ示ス幻覺ヲ説明スルニ足ルダケノ實證全然ナシ。寧ロ、心理學的ニ觀念ガ感覺的鮮明度ヲ加ヘタルモノ即チ幻覺トスベシ。ソノ理由トシテ、元來、觀念ト知覺像トハ合致セルモノナルガ、精神發育ト共ニ兩者ハ分離スルヲ常態トス。然ルニ、病者又ハソノ他ノ變態ノ場合ニテ幻覺ノ發生スルトキハ、ソノ感覺又知覺像ガ觀念トノ分離ヲ妨ゲラレ、茲ニ、觀念ガ知覺像ヲ伴ヒ、ソノタメニ幻覺ヲ生ズト説明セラルモノナリ。

領解

第三 領解 Auffassung.

刺激ノ形態・大小・距離・等ヲ知ルノ外、更ニ多クノ潛在觀念コレニ加ハリテ、ソノ内容・意義マデヲモ深く識ル複雑ナル作用ヲ領解ト云フ。

領解ノ異常ニハ多クノ種類アリ、ソノ(1)ハ領解的遲滯ナリ。病的ニテ、重キハふれすびおふれに一(老人性精神病)・コルサコフ精神病ニ多ク、輕キハあめんちあニ來タルコトアリ。(2) コレニ反シ、潛在觀念ノ發現滯滯・又困難ナルタメノ領解ノ故障ハ 將眠時・疲勞・精神過勞・衰憊状態・酒精・えーてる・くろろふるむ・催眠劑・ばらるでひーど・とりおな一る・等ノ内用・熱性譫妄・酒客譫妄・癲癇及ビひすてりー性朦朧状態・躁鬱病ノ烈シキ昏迷時・興奮時ナドニ來タル。其ノ折ニハ強大ナル刺激ノミガ知覺セラレ、又領解セラルルモ、輕キ刺激ハ殆ンド領解シ得ラレズニ看過セラルルモノナリ。(3) 精神發達不良ナル白癡・癡愚・癡呆者ノ領解不良ニモコレニ類スルモノアルモ、後者ニ於テハ、内容ノ困難ナルモノノ領解不良ナルヲ固有トス。(4) 殊ニ、或人・又、物ヲ見テ

ソヲ明カニ知覺スレド、ソノ誰ナルカ又ハ何ナルカタ考ヘ誤リ、或ハ、其ノ理由ヲ曲解スルガ如キモノヲ領解ノ錯誤 Auffassungstäuschung ト云フ。不注意・意識濁濁・叡智衰弱・感情激越・等ノ場合、精神病ニテハ錯亂状態・熱性譫妄・早發性癡呆・麻痺性癡呆・躁鬱病・老老性精神病・偏執病・等ニ屢々コレヲ見ル。

中ニモ人ヲ誤認スル症狀ヲ人物誤認症 Personenverkenntung ト云フ。

認識不能症 Agnosie トハ知覺ハ出來テモ領解ノ不能ナル症狀ヲ云フ。殊ニ、ソノ物ヲ見テハ、ヨク見得ルモ其ノ何タルヤヲ理解セズ、コレニ觸ルレバ其ノ何タルヤヲ解スルコトアリ。視覺性認識不能症 Optische Agnosie ト云フ。他ニ聽覺性認識不能症 Akustische Agnosie・觸覺性認識不能症 Taktile Agnosie・立體感覺不能症 Astereognosie・等ノ類アリ。大腦・殊ニ、顛頂葉・後頭葉・顛顛葉・等ノ器質的疾患ニ來タル症狀トス。

第四 注意 Aufmerksamkeit.

注意

外界ノ刺激ニ對シ迅速ニ注意ヲ向ケ、之ヲ明確ニ領解スルノ力ヲ缺クモノアリ。麻痺性癡呆ノ末期ニ此ノ種ノ注意異常症多シ。タメニ周圍ニ何事ノ起コリツツアルカタ頓着セザルモノアリ(注意鈍麻症 Abstumpfung der Aufmerksamkeit).

注意鈍麻症

緊張病・殊ニ、昏迷時ニアル人ニハ刺激ノ來タルトキハ、故更コレニ注意ヲ向ケザラムトスルコト多シ(注意ノ阻礙 Sperrung der Aufmerksamkeit).

注意ノ阻礙

抑鬱状態ニアリテハ注意ノ殊ニ鈍クナレルモノ多シ、注意ノ制止 Hemmung ト云フ。

注意ノ制止

又外界ノ刺激來ラバ忽チコレニ注意ヲ向ケテモ、他ノ新シキ刺激來タラバ更ニコレニモ注意シ、持續的注意ヲ缺クモノアリ(注意ノ被定性 Bestimmbarkeit). 麻痺性癡呆・老老性癡呆ノ末期・又ハ、躁鬱病ノ昏迷時・殊ニ、傳染病性精神衰弱・白癡・等ニ然カルコト多シ。

注意ノ被定性

又、内外ノ諸刺激ニ對シ異常ニ速ク注意ヲ轉向スルモノアリ(注意轉向症ノ亢進 Erhöhte Ablenkbarkeit). 疲勞・神經衰弱症・重病後ノ恢復

注意轉向症ノ亢進

期・等ニアリ。ソノ高度ノモノハ麻痺性癡呆ノ興奮期・又ハ、傳染病性精神病・躁病・生來性性格異常者ニ來タル。殊ニ、躁病ニアリテハ、注意ノ轉向甚ダシク、タメニ萬事ヲ放任シガタク、凡テニ感興ヲ持チ、何事ニモ氣ヲツケ、關拂多ク、冷靜・安意ナルノ狀更ニナシ(注意散亂症 Zerstreuung)。然ルニ或病者ニハ注意ノ一事ニ固着シ他ニ移リ難キコトアリ(注意ノ固著症 Fesselung)。常人ニテモ興味アル仕事ニ熱中スル際ニアリ。病的ニテハめらんこり一・抑鬱性疾病・殊ニ、苦悶・強迫觀念症・恐怖症アルモノ・譫妄狀態ノ妄覺ヲ有スル人ナドニ來タル。

注意散亂

注意固著

意識

第五 意識 Bewusstsein.

意識ノ清明度 Helligkeitsgrad ニハ大差アリ。若シ甚ダ不鮮明ニシテ精神作用ノ解發澁滯スルトキハ意識濁濁 Bewusstseinstübung ノ狀トナリ、意識明瞭ナルトキハ理解・思考凡テ敏捷・明確トナル。

意識濁濁

無意識

意識濁濁烈シキトキハ精神作用全ク生ゼザルニ至ル、無意識 Bewusstlosノ狀ト云フ。普通、睡眠時ハコレニ屬ス。夢ヲ見居ル時ニハ其ノ夢ニ對スル意識存シ、外界ニ對スル意識ノミガ存セザルナリ。半バ醒メ半バ眠ムル如キ狀態ノトキハ意識濁濁尙ホ淺キトキナリ。意識濁濁ノ最モ輕キトキハ注意ヲ纏メテ考フルノ能力乏シキニ止マル、無差別症 Unbesinnlichkeit ト云フ。

無差別症

ソノ稍ヤ深キトキハ忽チ眠リ、而カモ眠リテモ僅ノ刺戟ニテ直グ起キ、放任セラレバ再ビ眠ルモノナリ昏惰 Benommenheit ト云フ。ソノ強キモノヲ嗜眠 Schlafsucht ト稱ス。コノ際ニハ起コスニ相當強キ刺戟ヲ要シ、起キテモ復タ忽チ眠リ、多クハ攝食不完全ナルモノナリ。

昏惰

嗜眠

最モ強キ意識濁濁ヲ昏睡 Koma ト云フ、最早ヤ起コスコト能ハザル狀態トナル。

昏睡

朦朧狀態

意識ノ濁濁ノ1ニ朦朧狀態 Dämmerzustand アリ。コノ狀ニ在ル人ハ應答明白ナルガ如ク、ナラザルガ如ク、又問意ヲ解スルガ如ク、セザルガ如シ。其ノ舉動ニモ矛盾多シ。

コレニ反シ、意識鮮明ニシテ四圍ノ狀況ヲ明カニ認知シ、考慮正當・言語應

對其ノ規範ヲ失セザルモノヲ悟性 Besonnenheit アリト名ヅク。

悟性

意識濁濁トハ云ヒガタキモ、自己ノ現存スル場處・時日・四圍ノ狀況ヲ明白ニ知ル能力ナキヲ指南力喪失 Desorientiertheit ト名ヅク。認識トモ譯セラル。之レニ(1)時ノ指南、又ハ、時ノ意識 Zeitliche Orientierung、(2)場所ノ指南、又ハ、所ノ意識 Örtliche Orientierung、(3)周圍ノ指南、又ハ、周圍ノ意識 Orientierung der Umgebung ヲ別ツ。蓋シ、時ノ指南トハ現在ノ時日ガ何年何月何日ナルカ、又、何時ナリヤ・場所ノ指南トハ現今居ルトコロノ何處ナリヤ・周圍ノ指南トハ其ノ周圍・環境ノ如何ナルヤヲ識別シ得ル狀態ナリ。(4)時ニハ、自我ノ意識 Ichbewusstsein トテ自己ノ何ナルヤヲ知ル能力ヲ別ツ人アリ。

指南力

指南力ハソヲ構成スベキ領會・記憶・判斷・等ノ異常ニ基ヅキ續發性ニ障礙セラルコトアリ。從ツテ、本症ヲ原因ニヨリ別チ、(1)考慮制止・昏迷ニヨル昏迷性指南力喪失症 Stuporöse Desorientiertheit、(2)感情鈍麻・注意遲鈍ニヨル遲鈍性 Apathische、(3)意識濁濁ト妄覺ノ發現ニヨル譫妄性 Deliriöse、(4)注意散亂ノタメナル散亂性 Zerstreute、(5)記憶異常ニヨル健忘性 Amnestische、(6)妄想ニヨル妄想性 Wahnhafte 指南喪失症・等アリ。但シ、實際ニハ多數ノ原因ニヨルモノ多ク、コノ區別亦明カナラヌモノ多シ。

指南力喪失症

指南喪失症ハ酒客謔妄・コルサコフ精神病・老老性精神病・殊ニ、ぶれすびおふれに一・縊死企圖ヨリ恢復セル時・腦震盪性精神異常・陽室扶斯ノ精神障礙ノ時ナドニハ純粹ニ現ハル。他ノトキ、例之、早發性癡呆ノ昏迷期・烈シキ興奮期・癡呆期・躁病ノ著シキ興奮期・昏迷性躁病・譫妄性躁病・抑鬱狀態ノ昏迷時・器質性腦疾患・癲癇性及ビひすてり一性朦朧狀態・癲癇性及ビひすてり一性譫妄狀態・深キ酩酊時・傳染病性・中毒性譫妄・等ニ來タルトキニハ意識濁濁ト共ニ本症ヲ現ハスモノナリ。

時ニハ指南力ハ喪失セザルモ、妄想ニヨリテ之ヲ誤ルモノアリ。悲觀性抑鬱症・妄想病・等ノ場合ニ多シ。

吾人ハ意識ヲ外部ニ對スル意識、即チ、外意識 Äusseres Bewusstsein ト内部ニ關スル内意識 Inneres Bewusstseinトノ二者ニ大別スルコトヲ得。即チ、外觀茫乎トシテ強キ意識濁濁アルガ如クニ見ユルモ、其ノ精神内容ハ其ノ際存スル妄覺ノ爲メニ引キツケラレ熾ニ活動シツツアリ。單ニ、外界ニ關係アル意識ノミガ濁濁シ居ルモノヲバ外意識ノ濁濁トス。之レニ反シ、癡呆狀ノ人ハ、一見、理性アル

外意識

内意識

如ク見エテモ内界意識ハ著シク遲滯シ居ルニ氣附カルモノアリ。斯ク外界意識ノ濁濁セル如ク見エ、其ノ精神内界ガソノ折存スル幻覺・妄想・等ノタメニ春
 似而非昏迷
 ハレ居ルモノニハ**似而非昏迷** Pseudostupor ノ名アリ。緊張病・躁鬱病ノ混合状態・中酒性妄覺病・等ニコレヲ見ル。

悟性譫妄 Besonnenes Delirium トハ外見、意識清明ノ如ク見エ、其ノ實、精神内界ノ濁濁セルモノナリ。

意識濁濁ハ一般ニ、ひすてりー・又癲癇ノ朦朧状態・熱性譫妄・虚脱性譫妄・腦膜炎・腦炎ニヨル譫妄状態・興奮状態・昏迷状態・癡呆・卒中發作後ナドニ多シ。生理的ノ意識濁濁ハ睡眠ナリ。

睡眠 Schlaf ノ病的異常ニハ**就眠** Einschlafen・**睡眠ノ深度** Schlafentiefe・及**覺醒時** Wachen ノ障礙アリ。

(1) 就眠不良ハ過度ノ疲勞・種々ノ疾病ニヨル興奮・殊ニ、躁病・緊張病・破瓜病・酒客譫妄・老耄性癡呆・ひすてりー・等ノ興奮時ニ來タル。疲勞ノ感アルモ眠り得ザルハ神經性不眠・抑鬱状態・等ニアリ。

異常ニ強キ眠氣ヲ催スモノハ神經質・神經衰弱症・早發性癡呆・麻痺性癡呆・腦腫瘍・腦膿毒ニモアレド、特ニなるこれふしー・嗜眠性腦炎ニ著シ。

(2) 睡眠ノ深サノ異常ニハ或ハ睡眠淺ク、僅微ノ刺激ニ因リテモ忽チ醒ムルモノアリ。神經質・神經衰弱・精神病ノ人格者・殊ニ、變質者・苦悶症・乃至、抑鬱病・ひすてりーニ多シ。甚ダ深く眠ル者ハ如何ナル刺激アリテモ起キザルモノニテ、極端ノモノハ昏睡ノ状ナリ。躁病者ノ多クハ睡眠時間短キモ、甚深キ眠ヲ例トス。麻痺性癡呆・ひすてりー・腦腫瘍・等ノ病的睡眠者ニハ異常ニ深クシテ長キ眠リアリ。

(3) 覺醒時ノ異常。普通ノ覺醒ニテハ、意識恢復ト略々同時ニ運動ヲ恢復ス。然ルニ、此ノ兩者ガ時ヲ隔テ、覺醒シテモ四肢ノ運動尙ホ意ノ如クナラス場合アリ。又、之ニ反シ意識迷朦タルウチニ種々ノ行動ヲナスコトアリ。眠惚ト名ヅクルモノ即チ是レナリ。

眠惚 Schlaftrunkenheit ハ年若キ人、殊ニ烈シク疲勞セル後・蒸シ暑キ部屋ニ多數ノ人ガ密集シテ眠レルトキ・就中、窮屈ノ體位ニ就褥セル場合・等ニ現ハル。病的ニハ酒精中毒・癲癇・ひすてりー・等ニ之レヲ見ル。斯カル場合ニ危險ナル所業ニ及ブコト亦往々アリ。

夢 Traum ハ夢ヲ見ル人ノ精神状態・殊ニ同人ノ潛在意識(複錯 Komplex)ト密接ナル關係アリ。神經質・ひすてりー・又ハ、癲癇者ノ見ル夢

ニハ恐怖スベキモノ又ハ感動スベキモノ多シ。時ニハ定期性ニ繰返ヘシテ現ハレ、同病ノ朦朧状態ト思ハルコトモアリ。抑鬱性ノ人ニハ同人ノ有スル愁憂性感情ニ一致スベキ内容ノ夢ヲ見ルコト多キモ妄想病者ニハソノ病症タル妄想ヲ夢ミルコトハ稀ナリト云ハル。

第二節 觀念ノ障礙

第一 觀念 Vorstellung 及ビ其ノ聯合 Assoziation. 觀念

外界ノ刺激ニ因リテ知覺作用ノ起コルトキハ、其ノ知覺像ハコノ刺激ノ去レバ、忽チ消失スルモノナレドモ、後日或機會ニヨリテ、再ビ意識界ニ上ルコトアリ。然ルトキハコレヲ**追想像** Erinnerungsbild 又ハ**觀念** Idee, Vorstellung ト名ヅク。ソガ若シ具體的知覺像ヨリ發スルモノナレバ**具體的觀念** Konkrete Vorstellung ノ名アリ。觀念ニハソノ他ニ具體的觀念ノ性狀ヲ認ムル觀念アリ、**性狀觀念** Beschaffenheitsvorstellung ト云フ。又、多クノ觀念ヨリ其レ等ニ共通ナル或性質ヲ抽象シテ作ル無形ノ觀念アリ、之レヲ**抽象觀念** Abstrakte Vorstellung ト名ヅク。**概念** Begriff モソノ一ナリ。

觀念ノ聯續ヲ**觀念ノ聯合** Ideenassoziation ト云フ。 觀念ノ聯合

思考 Denken ハソノ觀念ノ聯合ヨリ成ルモノニシテ、追想・空想・工夫・抽象・判斷・等ハ皆ソノ種類ナリ。 思考

第二 記憶 Gedächtnis. 記憶

記憶トハ或經驗ヨリ得タル精神作用ガ、一旦、消失スルモ、ソノ後チ、久シク痕跡トシテ腦裡ニ保存セラレ、後日、コレガ**追想** Erinnern セラルマデノ働キヲ云フ。

斯クテ、記憶ニハ(甲)新經驗ヲ記憶シテ蓄ヘムトスル作用、即チ、**ウェルニッケ** Wernicke ノ**記銘力** Merkfähigkeit ト名ヅケタルモノト、(乙)一度經驗セシコトハ久シクコレヲ蓄ヘオカムトスル**把持** Behalten 及ビ(丙)後日コレヲ再ビ想ヒ起コス**追想** Erinnerung 又ハ**再生** Reproduktion ナル作用・等アリ。

ソノ他=廣義ノ記憶ト稱スルモノニハ既往ノ經驗ガ何時何處ニ在リシヤヲ明カニ想ヒ起コス追想ノ外ニ、漠然ト或物ヲ見タリ又ハ聞キタリト云フ感ノミナル既知ノ感 Bekanntheitsgefühl, ソノ事實ノ存在ヲ漠然認知スル再認識 Einfaches Wiedererkennen, 同一ノ經驗ヲ反復繰リ返ヘシ覺エ込マントスル學修力 Lernfähigkeit, 經驗直後ニソノ經驗ヲ再生スル直接把持 Unmittelbares Behalten ナドノ機能アリ。コレ等各種ノ記憶ニハ、又ソレゾレ各種ノ障礙アリトス。

記録

甲 記録力ノ障礙。記録ノ良否ハ、ソノ刺戟ヲ經驗セシ當時ノ意識・領會ニヨリ、又ソノ刺戟ガ嘗ツテ經驗セシコトアルヤ否ヤニヨリテ差アリ。同一ノ刺戟ヲ繰返ヘシテ反復スルトキニハヨクコレヲ記録スルモノナリ。

斯クテ 1. 注意ノ病的障礙タル神明散亂・2. 感情鈍麻・殊ニ、茫然タル時・興味亡失ノ時・3. 意識濁濁アルトキニハ覺ヘ悪ルシ。著シキ疲勞・鼻呼吸障礙・鼻咽腔・腺様増殖症・躁病性發揚・麻痺性癡呆・癲癇性癡呆・早發性癡呆・等ノ末期状態ニハ記録ノ不良アリ、サレド、殊ニ、コルサコフ精神病・老耄性精神病・就中、ふれすびおふれに一ノトキ・等ニハ記録障礙甚ダ強シ。

泥酔・ひすてりー・及ビ癲癇ノ發作時・昏迷状態・興奮状態・熱性精神病ニテ意識ノ朦朧トセシ時、深カキ催眠状態ノ時ニハソノ間ノ出來事ハ全ク追想シ得ザルヲ例トス。コレヲ**健忘症** Amnesie, Erinnerungslosigkeit ト名ヅク。

健忘症

健忘症ニハ其ノ間ノ事ヲ全ク追想シ得ザル**全部健忘症** Totale Amnesie ト、幾分ヲ追想シ得ル**概括性健忘症** Summarische Amnesie トヲ別タル。癲癇性朦朧状態ノ時ニハソノ間ノコトヲ全ク覺エズ、ひすてりー性朦朧状態ノトキニハソノ一部ヲ追想シウルヲ普通トス。

又、突然意識喪失シ、ソノ後、意識恢復シテ後チハ、無意識中ノ事ヲ追想シ得ザルハ勿論、更ニソレヨリ遡リテ前ノコト、即チ、意識喪失前ノ事ヲモ追想シエザル症状アリ、**逆行性健忘症** Retrograde Amnesie ト云フ。頭部外傷・縊死企圖・腦出血・其ノ他ノ原因ニヨル卒中發作・中毒(炭酸瓦斯中毒)・癲癇發作・ひすてりー發作・急癇・麻痺性癡呆發作・等ノ後ニ同症状ハ屢々認メラル。

逆行性健忘症

逆行性健忘ハ普通、數時間以内ノ出來事ニ止マルモ、時ニハ1-2ヶ月乃至數年、甚稀ニハ全一生ノコトヲ忘ルモノサヘアリ。同症發生ノ理由ハ不明ナルモ、吾人ノ記憶ハ事實ヲ認識シテ後チ、一定時ヲ經テ初メテ深ク腦裡ニ印セラルベキモノナリ。然ルニ、ソノ時間ノ内ニ腦ヲ破壞スベキ病的障礙アルトキハ、確實ナル記憶ヲ形成セザルウチソノ記憶ハ皆消失セラレ、茲ニ逆行性健忘ヲ來タスモノトノ解釋アリ。

乙 元來、追想像ハ普通ニテモ、時ヲ經過スルニ從ヒ、初メノ經驗ト異ナル内容ヲ示スモノナリ。サレド、生理的ニハ、一定度迄、ソノ追想像ハ經驗ト一致ス。之レヲ**追想像ノ眞實性** Treue des Erinnerungsbildes 追想ト云フ。病的ニハソノ經驗ト甚ダシキ不一致アルコトアリ。追想ノ誤謬 Erinnerungsfälschung ト云フ。

追想像ノ誤謬ニハ**追想ノ錯覺** Erinnerungssillusion ト**追想ノ幻覺** Erinnerungshalluzination トノ別アリ。前者ハ嘗テ經歷セシ事實ヲ誤リテ追想スルモノ、後者ハ全ク經驗セザリシコトヲサモ經驗セシ如クニ考フル症状ナリ。之ニヨリ殊ニ稗史小説ニデモアランカト思ハルル如キ作話ヲナシ又ハ潤飾シテ物語コルトキニハ、**虚談症**・**虚構症**・或ハ**作話症** Fabulieren ト云フ。

追想

追想ノ誤謬

作話症

斯カル際ニハ單ニ記憶ノ眞實性ニ障礙アルノホカ、普通ノ追想ノ際ニハ、一定度マデ存在スベキソノ正否ヲ疑フ感(**疑感ノ感** Unsicherheitsgefühl)アルニ、同病者ニハ之レニモ故障アリト見エ、事實ト異ナル追想ヲシテモ疑ヒ起ラヌ風アリ。

不正ナル追想ヲ正シキモノト判定シテ疑ハザルタメ**病的記憶増進症** Hypermnesie ナル症状ヲ來タスコトアリ。ソノ際ニハ、考ヘ違ヒニ相違ナシト思ヘルコトモ、正シキ追想トナシテ更ニ疑ハヌモノナリ。

病的記憶増進症

追想ノ誤謬ハ一般ニ婦人・低能・老人ニ多シ。殊ニ・病的的人格者・就中、自我的ニシテ想像ニ耽リ易キ性格者・病的虚言者ニ著シ。精神病者トシテハ抑鬱病者・妄想性癡呆者・ばらふれに一・ばらのいあ・中酒者・癲癇者・コルサコフ精神病・又ハ、老耄性精神病・等ニ多ク認メラル。

又、嘗ツテ存セシ事實ハコレヲ知ルモ、ソノ何時アリシヤノ時間的關係(**維持力** Zeitliche Anordnung)ヲ忘ルモノアリ。例ヘバ面會人ノ來タリタルコトハ知ルモ其ノ何時ナリシヤヲ追想シ得ザルモノノ如シ。麻痺性癡呆者ナドニ屢々認

メラルコトアリ。

丙 把持ノ異常。之ニヨリ經驗ノ多クガ失念セララルモノアリ、**記憶ノ減弱 憶ノ減弱 Gedächtnisschwäche** ト云フ。時ニハソノタメ 記憶ノ全部ガ消失セシ如キ狀ニ陥ルコトアリ。

麻痺性癡呆・老耄性癡呆・コルサコフ精神病ニソノ最モ著キモノアリ。甚ダシキモノハ妻子ノ名・己ノ家・己ノ名ヲ忘レ、終ニハ全智識總テテ失フ如キモノサヘアリトス。

記憶ノ衰弱アルトキニハ、概シテ新事實ノ記憶悪シク、古キ昔ノ經驗ハ比較的良ク憶エ居ルヲ通例トス。

但シ、記憶衰弱ト記録障礙トハ常ニ平行セズ。麻痺性癡呆ノ初期・及ビ老耄性癡呆者ノ記憶衰弱ニテモ然リトス。

記憶減退ノ一般ニ互ラズ、只、特殊ノ記憶ノミ著シク減退スルコトアリ。部分性健忘症 Partielle Amnesie ノ名アリ。例ヘバ、一般ノ智識ニハ缺クルコト少ナキニ、言葉ニ關スル觀念ヲ失ヒ**(失語症 Aphasia, 語聾症 Worttaubheit)**・又ハ文字ニ對スル記憶ヲ失ヒテ讀書不能トナルモノアリ**(失讀症 Alexie)**・之等ハ器質的腦疾患ニ來タル症狀トス。

聯合 **第三 聯合 Assoziation.**

聯合ヲ廣ク解釋スレバ、或精神作用ヨリ他精神作用ヲ聯合スル全聯合ナリ、從ツテ感情ノ聯合・感覺ノ聯合モアルベキナリ。又コレニ同時聯合ト異時聯合トノ別モアルベシ。サレド、狹義ニ聯合ト稱スルモノハソノウチノ觀念ノ異時聯合ヲ指スモノトス。

聯合ノ分類ハ學者ニヨリ異ナル形式ヲ用フ。

クレペリン Kraepelin ハコレヲ(甲)内容、即チ意義ニヨル聯想、一名、**内聯想 Innere Assoziation** ト・(乙)意義ニ依ラズ經驗・又ハ言葉ノ口調ニヨル聯合、即チ**外聯合 Aeussere Assoziation** トニ大別セリ。

内聯合

- (甲)内聯合ニハ、
- (1)一部觀念ヨリ全部觀念ヲ思ヒ**(上位 Überordnung)**、
- (2)全部觀念ヨリ全部觀念・又ハ、一部觀念ヨリ一部觀念ヲ聯想シ**(同位 Nebenordnung)**、
- (3)全部觀念ヨリ一部觀念ヲ聯想**(下位 Unterordnung)** スルモノ、

(4)或觀念ヨリソノ物ノ動作・狀態・性質・等ヲ想フ**賓位聯合 Prädikative Assoziation** ヲ別テリ。

例ヘバ「犬」ナル觀念ヨリ「動物」ナル觀念ヲ想フハ上位聯想・「動物」ヨリ「植物」・「犬」ヨリ「猫」ヲ聯想スルハ同位聯合・「動物」ヨリ「犬」ヲ想フハ下位聯合ナリ。「犬」ヨリ「走ル」・「眠ル」・「白シ」ナドヲ聯合スルハ賓位聯合トス。

(5)他ニ、**因果聯合 Kausalitätsassoziation** トテ、「暑イ」=「腐ル」ト云フ如キ聯想ノ種類ヲ別ツ人モアリ。

(乙)外聯合ニモ亦多クノ種類アリ。即チ

外聯合

(1)意義ニ依ラズ同時又ハ同所ニテ經驗セシコトニヨル聯合**(同時聯合 Gleichzeitige Assoziation)**、例ヘバ「雨」=「雷鳴」、

(2)口調ニヨル聯想**(口調聯想 Verbale Assoziation)**、例ヘバ「山」=「川」、

(3)或音ヲ意味ナク附加セルモノ、例ヘバ「かみ」=「なり」ノ如キ**添加聯合 Ergänzung**、

(4)意味ナク似タル音ノ聯合**(音聯合 Klangassoziation)**、例之、「さけ」=「坂田 音聯合 金時」、

(5)或言葉ニ全然無關係ナル言葉ヲ思ヒ浮ブモノモアリ。

余ハ聯合ノ種類トシテ、

(甲)内聯合・(乙)外聯合ノ他ニ、(丙)特殊聯合トヲ別ツ・後者ニハ無意味聯合・音聯合・無反應ナドヲ容ル・更ニソノ聯合語ノ形チヨリ種別トシテ、文章型・定義型・常同型性ナドノ差別ヲ設ケタリ。

聯合ノ試験 Assoziationsversuch ニハ普通二種ノ法アリ。

聯合ノ試験

其ノ1ハ或言葉ヲ被檢者ニ見セ又ハ聞カセ、被檢者ヲシテコレニ對シテ、ソノ折思ヒツケル觀念ヲ、ソレヨリソレト引續キ聯想セシムル法ナリ。

ソノ2ハ、豫メ多クノ刺戟語ヲ作りオキ、ソノ一箇ツツヲ順次ニ見又ハ聞カセ、被檢者ヲシテ其ノ各刺戟語ニ對スル聯想ヲ述ベシメ、後チソノ各聯想語ノ形式ヲ一々調査スルモノナリ。後者ニテハ刺戟語ト反應語トノ間ノ時間、即チ反應時、一名、**聯想時 Assoziationszeit** ヲ測定シウル便アリ。

之ニヨレバ、聯想ハ常人ノ個性・年齢・性別・等ニヨリ差アリ。外聯合ハ疲勞・

第一表 聯合試験成績表

刺戟語	反應語	時間(秒)	刺戟語	反應語	時間(秒)
I 常人 (17歳)女					
缺席	出米	(2)	毆り殺ス	慘	(1)
鼠		(1.5)	月給	給	(1)

刺戟語	反應語	時間(秒)	刺戟語	反應語	時間(秒)
非道イ	辛	(1)	腰掛	西	(1)
笑フ	怒	(2)	七ツ	子	(2)
II 老人					
サーベル	サーベル	(6.0)	手紙	受取ガナイ(返事ガナイ)	(3.0)
景物	景物	(10.0)	紙		
餘ル	餘ル	(5.0)	細イ	太	(7.0)
III ひすてりー					
虎	恐	(26.0)	休ミ	—	(55.0)
賣出シ	買	(40)	イヂメル	可愛	(9.0)
預ケル	人	(2.50)			
IV 躁病(重症ニシテ興奮烈シキモノ)					
白	ホ	(1.2)	太イ	太イ	(2.8)
黒	レ	(1.0)	動カヌ	精神	(2.2)
青イ	ケ	(10.0)	固イ	決	(2.2)
明ルイ	明ル	(4.0)			
V 鬱病					
サーベル	サーベル	(1.50)	涼シイ	涼シイ	(10.0)
餘ル	餘ル	(1.50)	汁粉	汁粉	(6.0)
VI 早發性痴呆(輕症) 同病(輕キ痴呆アルモノ)					
サーベル	劍	(1.5)	サーベル	切レルモノ	(1.0)
餘ル	多	(1.5)	景物	人ニ進ゼルモノ	(2.0)
盆栽	森	(1.0)	涼シイ	身ノ持チヨイ	(2.0)
三ツ	林	(2.5)	羽織	着物ノ上着	(2.0)
煉瓦	煙	(1.0)	博覽會	良キ品物ヲ陳列シテ	(7.0)
行儀	机	(1.0)	細イ	物品ノ保護ヲハカル	(9.0)
瀬戸物	箸	(2.0)	正月	一年ノ初メノ祝ヒ	(3.0)
音樂	椅	(2.5)			

刺戟語	反應語	時間(秒)	刺戟語	反應語	時間(秒)
緊張病 (同人)					
サーベル	軍	(2.0)	羽織	池	(1.0)
餘ル	輕	(2.0)	手紙	帽	(1.0)
風船	嵐	(1.0)	三ツ	四	(1.0)
涼シイ	池	(1.0)	金庫	雜	(1.0)
盆栽	池	(1.0)	細イ	早	(1.0)
受取ル	軍	(1.0)	煉瓦	池	(1.0)
痛ム	泣	(1.0)	行儀	雜	(1.0)
VII 麻痺性痴呆(輕) 同(精神衰弱烈シキモノ)					
サーベル	巡	(3.0)	サーベル	軍	(22.0)
景物	商	(3.0)	景物	商	(8.0)
餘ル	少	(4.2)	餘ル	吾々ハ仕事ヲヤッタ	(7.0)
風船	輕	(3.0)	風船	餘ル飛行船トハ違フ	(6.0)
涼シイ	秋	(5.5)	涼シイ	秋	(3.0)
盆栽	材	(1.0)	盆栽	大抵ノ庭ニ植木ヲ植	(12.0)
VIII 白痴(興奮時)					
白イ	シ	(2.0)	高イ	高	(10.0)
黒イ	ク	(1.0)	太イ	フ	(1.0)
明ルイ	明	(1.0)	細イ	フ	(5.0)
廣イ	ロ	(8.0)			
IX 癲癇(輕)					
黒イ	墨	(1.0)	蒲團	寢	(1.5)
青イ	木	(7.0)	地震	持	(1.8)
高イ	天	(1.0)	犬	ケ	(4.0)
疊	弱	(2.0)			
X 癡愚(輕症)					
サーベル	軍	(1.0)	景物	—	∞
餘ル	—	∞	風船	輕	(3.0)
涼シイ	雨	(4.0)	盆栽	植	(1.0)
サラサラ	—	∞	出發	歸	(4.0)

刺戟語	反應語	時間(秒)	刺戟語	反應語	時間(秒)
Ⅴ 癡 愚 (重症)					
サーベル	劍	(13.0)	景物	—	∞
餘ル	カブヤ何カ餘ル	(15.0)	風船	上 = 揚ル	(3.0)
涼シイ	暖カイ事ヲ涼シイト云フ	(2.0)	盆栽	—	∞
サラサラ	—	∞	出發	汽車 = 乗ルト直グ出發スル	(4.0)
Ⅵ 失語症(初期)			(同, 後期, 輕快シテ)		
集メル	ク ッ ネ ス	(4.0)	風船	フ ー セ ン	(1)
目方	ケ ナ ナ タ	(4.0)	賣物	オ リ モ ノ	(1)
小僧	ウ ケ ナ ス	(2.0)	正月	シ ヨ ウ ガ ツ	(1)
箒	ホ ー キ	(1.0)	蛇	へ ー ビ	(1)
監獄	カ ン ナ ス	(7.0)	盆栽	ボ ン サ イ	(1)

酩酊ノ折ニ増シ、病ニテハ躁病ノトキニ多シ。癡呆状ニアル人ノ聯合ニハ變化乏シク(同形症)、又前後ニ關係ナキ觀念ノ聯合多シ(無意味ノ反應)、又單語ナラズシテ多クノ言葉ヲ以テ反應スル文章型・説明型・定義型・等アリ。尙、時ニハ刺戟語ヲ其ノ儘反復シ又ハ前同ノ反應語ヲ繰リ返ヘスコトアリ。又、常同症・同一思想ノ粘着又ハ保續症 Perseveration アリ。ソハ殊ニ、緊張病・腦動脈硬化症・癲癇性朦朧狀態・等ニ於テ多シ。躁病者ニハ音聯合・外聯合・思想涌出症多ク、癲癇者ニハ自己中心性反應語・宗教性反應語多ク、殊ニ、入念ノ綿密性現ハル、ひすてりー症ニハ自我中心ノ反應語・感情的要素ニ富メル反應語ナド多シ。

考慮進行

第四 考慮進行 Gedankengang.

普通ノ聯想ハ何ノ目的モナク唯、空ニ思ヲ浮ベルトキノ形式ナリ。然カルニ、或目的アル談話・又ハ、文ヲ作ル際ニハ、單純ノ聯想ナラズ、一定ノ**目的觀念** Zielvorstellung ニ基ヅキ、ソレニ關係アル觀念ノミヲ取り纏メテ一ノ考トナスモノナリ。之レヲ考慮進行ト云フ。斯クテ、考慮進行ハ**上位觀念** Obere Vorstellung、或ハ、**指導觀念** Leitvorstellungト稱セラルルモノニヨリ**支配**セラルモ、ソノ上位觀念ハ必ズシモ意識内ニ明カニ存在スルモノト限ラズ。又ソレニヨル選擇モ意識下ニ於テ營マルコト多シ。コノ選擇ハ又感情ノ作用ニ俟ツトコロ大ナリ。殊ニ、考ヘノ初期ニハ一種ノ不安感情アリ、考ヘノ終リニ近ヅクニ從ヒテ、安意ノ

上位觀念
指導觀念

情ヲ現スモノトス。

考慮進行ノ形式ニハ種々ノ型アリ。(1) 目的觀念缺損ノタメ、考ノ統一ナキモノ。(2) 目的觀念ハ存スルモ、力弱ク、他ノ觀念ヲ指導取捨スルノ力ナク、タメニ、無用ノ觀念ガ入亂レ、或ハ不用ノ考ヘガ無要ニ長ク續クコトアリ。(3) 若シ不安感情ノタメニ或考ヘノ常ニ附キ纏ヒ、同一ノ思想去リ難タキトキハ、**支配觀念** Dominierende Vorstellung ノ**支配**名アリ。(4) 之レニ反シ或思惟ノ終ラザルウチ、ソノ考ガ他ノ考ニ移ルコトノ甚ダ繁キ場合ニハ、**意想奔逸** Ideenflucht ト云フ。

常態ノ考慮進行ハコノ**支配觀念**ト**意想奔逸**トノ中間ニ位スルモノナリトノ説ヲ云フ人アリ。

[考慮進行ノ障礙]

(1) 力强キ特殊ノ感情ノタメニ想ハザラムトシテモ其ノ觀念ガ腦裡ニ浮ミ出デ、消ユル事ナキモノヲ**過價觀念** Ueberwertige Vorstellung、又ハ**支配觀念** Dominierende Vorstellung ト云フ。常人ニテモ愛兒ノ出征又ハ死亡セシトキナドニハ、ソノ考ヘノミ現ハルコトアリ。常人ニテモ心配事ノ考ヘハ概ネ然カルモ、病的ニハ**神經衰弱**・**神經質**・ひすてりー・**抑鬱狀態**・**早發性癡呆**・**麻痺性癡呆**ナドニ來タルコト多シ。

(2) 理由ナキ觀念・又ハ、ソノトキノ意識ニ關係ナキ考ヘガ、無意味ニ力强ク現ハレ、コレヲ除カムトスレバ益々強ク浮ミ出ヅル考ヘアリ**強迫觀念** Zwangsvorstellung ト云フ。顯著ナルハ**強迫觀念症**ノトキニ來タルモ、輕症ノモノハ**神經質**・**早發性癡呆**・**麻痺性癡呆**・ひすてりー・等ニ現ハル。

(3) 或觀念ノ一度ビ思考中ニ現ハルル時ハ、其ノ後、必要ナキニ、其ノ觀念ガ何回トナク繰リ返ヘシ現ハルコトアリ、**同一觀念固着症** Haften einzelner Vorstellungen、又ハ**觀念ノ粘着** Kleben der Vorstellungen ト云フ。凡ソ或心的作用ガ一度ビ意識ニ現ハルレバ、再ビ現ハルムトスルハ凡テノ心理現象ニ共通ノ本性ナリ。只ソレニ續キ現ハル次ギノ精神作用ニヨリテ之レガ除去セラルルヲ通例トス。然ルニ次ギニ

支配觀念

意想奔逸

過價觀念

強迫觀念

同一觀念固着症

來タル觀念ノ力ガ鞏固ナラヌ時ハ、其ノ元來ノ觀念本性ヨリ次ギノ觀念ガ浮ミ出ヅル迄、最後ノ觀念ガ繰リ返ヘシ現ハルモノナリ。健全ナル人ニテモ、話シノ杜切レテ次ギノ話ヲ思ヒ出ダシ難タキ時ニ往々來タルモ、疲勞・放心時ナドニハ特ニ多シ。精神病者ニハ緊張病ニ殊ニ多シ。

(4) 器質性腦疾患・動脈硬化症・殊ニ、失語症患者・等ニ或物品、或畫ヲ示シテ、ソノ名ヲ問フ際、其ノ患者ハ其ノ物ノ名ヲ迅速ニ云ヒ得ズ、何ト答ヘンカト躊躇スルトキニ、往々直前ニ發セラレタル質問・又ハソレニ對スル自己ノ答ヘヲソノママ繰リ返ヘシテ云フコトアリ。コノ狀ハ觀念共レ自身ノ粘著ト考フルヨリモ、新刺戟ニ對スル理解ノ不良ニ屬シ、而カモ、ソノ答ヘヲ促サルルコト甚ダシキニヨリテ、既往ノ觀念ガ浮ミ出ヅルモノト考ヘラルナリ。保續症 Perseveration ノ名アリ。

保續症

本症ハ單ニ言語上ニ現ハルノミナラズ、行爲トシテモ現ハルトキアリ。行爲保續症ト名ヅケラル。老耄性癡呆・發作後癲癇性朦朧狀態・等ノ場合ニ現ハル。

(5) 或患者ハ衝動的・即チ、意味ナク、自ラ進ンデ同一觀念ヲ連發スルコトアリ、觀念ノ常同症 Stereotypie ト云フ。緊張病ニ最モ屢々認めラルモ常人ニテモ小兒期ニ往々アリ。

觀念ノ常同症

(6) 常人ニテモ、交際狭キ人ハ、話題常ニ同様ニシテ、同一ノコトヲ繰リ返ヘシ話スモノナリ。病者ニシテ世間ト離レ、新事實ヲ知ルノ機會ニ乏シク、且、理解力減ジ、記憶衰フルトキハ、話題漸次貧弱トナリ、終ニ同一ノ話材ヲ反復シ、甚ダシキモノハ常ニ同ジ話シヲナスニ至ル。意識内容ノ同一症 Einförmigkeit der Bewusstseinsvorgänge ト云フ。最モ著シキハ老耄性癡呆・麻痺性癡呆ニ多シ。

意識内容ノ同一症

(7) 智能進メル人、教育高キ人ニアリテハ、自己ノ思想ヲ言ヒ現ハスニ必要ノ無キ言葉ヲ避ケ、簡潔ニ要點ヲ摘ムデ述ブルモノナリ。然カルニ、無教育ノ人・田舎ノ老嫗・未開ノ人・子供ノ談話ニテハ、頭腦不明晰ナルタメ、所謂話シノ瀰蔓症 Diffusität ヲ呈シ、心ニ浮ベルコトハ漫然其ノママ羅列シ、ソノ間、要不要ヲ取捨セズ、偶然必然ヲ更ニ

瀰蔓性

區別セズシテ話スニ至ルコトアリ。

(8) 中ニハ、ソノタメ廻リクドキ冗長ノ話ヲナス。冗長症・思想ノ迂遠 Umständlichkeit ノ名アリ。低能・癡愚・就中、其ノ少年・老人ニ現ハル。似タルコトハ又老耄性癡呆・癲癇性癡呆・めらんこりー・等ニモアレド、機制ハ自ラ差アリ。即チ、外見上同ジ冗長症ニテモ或ハ感情不安ノタメ、又ハ簡單ニ言ヒタルノミニテハ心ニ濟マヌヤウ思フタメノモノモアルナリ。尙ホ、話スウチニ今、話シタルコトヲ直グ忘レ、又ハ、念ヲ入ルタメニ同ジ話ヲ繰リ返ヘスモノナドモアリ。

(9) 目的觀念ノ全ク缺ケ又ハ存スルモ、其ノ力甚ダ微弱ナル爲メ、考慮ノ統一ヲ缺キ、多數ノ連絡ナキ觀念ガ只無意味ニ、雜然トシテ集合スルコトアリ。之レニモ多クノ差別アリ。早發性癡呆・就中、其ノウチニモ、緊張病型・及ビ末期ノ言語錯亂者ニテハ、同病ニ固有ナル心的機轉ナル衝奇症・拒絕症・常同症・詞語新作・概念分離症・等ノアルタメ、固有ノ聯絡ナキ形ヲ示スニ至ル。支離滅裂症 Zerfahrenheit・又ハ精神乖離性考慮 Schizophrenisches Denken ノ名アリ。

支離滅裂症
精神乖離性考慮

(10) 目的觀念ノ甚ダ浮動性ニシテ、一ヨリ他ニ轉ジヤスク、殊ニ、初メノ考ヘノ纏マラザルウチ他ノ考ヘニ容易ニ移ルモノヲ意想奔逸症 Ideenflucht ト名ヅク。

意想奔逸症

ソノ最モ著明ノモノハ躁病ノ發揚時ニ來タル、ソノ際ニハ上記ノ如キ目的觀念ノ浮動性・轉導性ナルノ外、言語興奮モアリ。タメニ早口ニシテ、甚ダ多辯トナリ、尙ホソノ聯合ニ口調聯合・音聯合・外聯想ニヨル聯絡頗ル多シ。意志興奮・注意散亂・意志揮發性亢進ヲモ顯著ニス。

(11) 拒絕症ナル精神機轉ノタメニ、其ノ者ノ確カニ知レル質問ニ對シテモ知ラズト云ヒ、又ハ、故ラニ見當違ヒノ答ヘヲナスガ如クニ見ユルモノアリ、當意即答症 Vorbeireden ト云フ。例ヘバ汝ノ鼻ハ幾個アリヤト問ヘバ、8アリ。汝ノ眼ハ幾個アリヤト問ヘバ1アリト答フルガ如キモノコレナリ。コノ際質問ノ容易ナルトキハ、殊ニ一層奇異ノ感ヲ與フル答ヘヲナスコト多シ。

當意即答症

本症ハ緊張病ノ昏迷時ニ來タル。ひすてり一性朦朧狀態、殊ニ、其ノ一型タルガンゼル氏朦朧狀態ノ時ニモ似タルモノアリ。各病ニヨリソノ機制ハ自ラ異ナルモノトス。

(12) 意識濁濁ノ時ニモ考ヘノ纏マリ悪ルシ。即チ考ヘガ浮動性ニシテ或考ヘノ終ラザルウチ他ノ考ヘニ移行スルコト繁ク、爲メ一見意想奔逸症ト似ル形式ヲ示ス。即チ、外界ノ刺戟ニ應ジ、又ハ、自己精神内界ノ考ヘニ因リテソノ折ノ考ハ容易ニ轉導セラレ易スキ狀ヲ呈ス。離想症 Inkohaerenz ト云フ。コハ意想奔逸ニ似ルモ、ソレノ如キ考ノ急促・反意ノ散亂ナク、外聯合ノ混ズルコト少ナク、言語上ノ聯合モ少ナシ。注ツテ同一觀念ノ反復症アリ、同様ノ思考ガ繰リ返ヘシテ現ハルコト少ナカラズ、常人ノ漫然空想ニ耽ルトキノ考ヘ・疲勞・酩酊ノ際・夢ミル時・阿片中毒・熱性譫妄・麻痺性癡呆ノ興奮時ノ考ヘ・等ニ此ノ種ノモノアリ。

離想症

(13) 思慮ノ聯絡甚ダ亂ルルトキハ之レヲ一般ニ錯亂 Verwirrtheit ト名ヅク、之レニ多クノ種類アリ。

錯亂

(以上ノ各例ハ後出ノ言葉ノ異常ノ項ニ記スベシ)。

(a) 烈シキ意想奔逸ノタメ錯亂スルヲ**意想奔逸性錯亂** Ideenflüchtige Verwirrtheit ト云フ。

(b) 目的觀念ノ全然不明ニシテ只秩序ナク觀念ノ羅列セルモノヲ**支離滅裂性錯亂** Zerfahrene Verwirrtheit ト名ヅク。早發性癡呆・就中、緊張病ノ興奮時・等ニ認メラル。一名、**精神乖離性錯亂** Schizophrenische Zerfahrenheit トモ云フ。

(c) 意識濁濁ノ際・幻覺又ハ外界ノ刺戟ガ入り亂レテ、ソノ人ノ思想ヲ攪拌スルコト甚シキニヨリ思想ノ錯亂スルヲ**夢幻性錯亂** Traumhafte Verwirrtheit ト云フ。譫妄狀態ニ認ム。

(d) 外來ノ刺戟・自己ノ思想ニヨリ考ヘノ攪亂セラレ、錯亂ノ狀ニ陥ルモノニハ**結合性錯亂** Kombinatorische Verwirrtheit ノ名アリ。阿片使用者ノ冥想時・等ニアリ。

(e) 多數ノ幻覺ニヨリ思想ノ錯亂セシメラルトキハ**幻覺性錯亂** Halluzinatorische Verwirrtheit ト名ヅク。

(f) 著シキ精神制止作用ノタメニ外界ノ刺戟ヲ領會スルコト難ク、觀念ノ聯合亦錯亂ニ至ルトキハ**昏迷性錯亂** Stuporöse Verwirrtheit ト云フ。躁鬱病・又ハ緊張病ナドノ昏迷時ニ多シ。

(g) 感情ニ激セルノ餘リ、一時、觀念ノ聯合ニ錯亂ヲ來タストキニハ**感動性錯亂** Affektverwirrtheit ノ名アリ。

第五 觀念聯合ノ速度 Schnelligkeit.

聯合ノ速度

聯合ノ時間、即チ速サハ常人ニテモ年齢・生來性性格・觀念ノ種類・又ハソノ時ノ精狀狀態ニ因リテ甚ダ異ナル。

臨牀上ニハ、目測上、之ニ遲・速・常ノ三者ヲ大別セラル。

聯合ノ促進 Beschleunigung ハ常人ニテハ練習・感情激發・意志興奮・藥劑内服(殊ニ莫兒涅・珈琲・茶)・等ニヨリ來タル。病的ニモ觀念促進アリヤ否ヤハ異説多シ。躁病・殊ニ、其ノ發揚症ニ於テ聯合ノ促進アリトノ説ニハ反對アリ。

聯合ノ促進

觀念聯合ノ遲滯 Verlangsamung ハ常人ニテモ疲勞・不快感情・抑鬱狀態・早發性癡呆ノ昏迷時・麻痺性癡呆・生來性精神發育制止・等ニアリ。

聯合ノ遲滯

遲滯ノ機制ハ各病ニヨリ多少差アリ。鬱病ニテハ聯合ノ遲滯ト應答セントスル意思ノ發揮性困難ナルタメトアリ。緊張病ノトキニハ拒絶症ノ爲メナルコト多シ。他ニ酒精・えーてる・くろろふるむ・抱水くろらーる・喫煙・等ノトキニアリ。

一般ニ聯合遲滯ハ**精神制止** Psychische Hemmung ナル機轉ニ因リテ來タル。考慮ニ現ハレタルトキニハ特ニ**考慮制止** Denkhemmung ノ名アリ。

精神制止

考慮制止

第六 觀念構成 Vorstellungsbildung.

觀念構成

一個ノ具體的觀念ハソレヨリ多クノ觀念ヲ構成スル機能アリ。即チコレニヨリ性狀觀念・又ハ抽象觀念・等ヲ生ズ。

性狀觀念 Beschaffenheitsvorstellung トハ或觀念ノ性質・動作・關係・等ヲ示スモノニシテ。此ノ種觀念ノ構成ニハ單ニ從來ノ經驗ソノ儘ニテハ不可能ナリ、思索ノ働キヲ要スルモノトス。

性狀觀念

從ツテ、コノ觀念ハ精神發達ノ進メル人ニ於テノミ現ルモノニシテ、色・形態・方向・時・數・位置・家族的續合・等ヲ云ヒ現ハス關係觀念ナド之レニ屬スルナリ。

又、精神發達ノ進メル者ニ於テハ、或觀念ノ要素ト他觀念ノ要素トノ類似セル點ヲヒキヌキ、其等ヲ集メテノ新觀念ヲ作ル作用アリ。コレヲ**抽象力** Abstraktionsfähigkeit ト云ヒ、斯クシテ生ジタル無形ノ觀念ヲ**抽象觀念** Abstrakte Vorstellung ト云フ。時ニ、**概念** Begriff ノ稱アリ、

抽象概念
概念

コノ働キニハ類異・同別ヲ比較スルカノ存在ヲ必要トス。即チソノ力ナクテハ、コノ作用ノ發現ハ困難ナリ。

言語 Wort・即チ、觀念ノ**言語的表示** Sprachliche Bezeichnung ハ又コノ種觀念構成ノ作用ニ緊接ナル働キヲナスモノニシテ、ソノ言語的表示ニヨリ初メテ複雑ナル觀念ヲ言語ヲ以テ簡單ニ言ヒ表ハシ得ルナリ。

コノ觀念作用ニハ不足・又、不能ナルコトアリ。例之、盲人・聾者・等ノ如ク或種ノ感覺缺損スルトキハ、其ノ種感覺ニ屬スル觀念ノ發達ガ常人ノソレトハ甚ダ異ナルハ止ムヲ得ヌコトナリ。同様ニ、或種ノ感覺ニハ缺損ナキモ、ソノ理解・記憶ノ不良ナルトキニハ、ソノ物ニ對スル領會亦完全ナラズ。コレニ關スル記憶亦不十分トナリ。從ツテ新刺激ニ對シテ既往ノ知覺像ト比較スルコト難タク、ソノ抽象力ニモ不全ナルトコロアルベキナリ。同様ニ、智能ノ發育不良ナルトキハ、多數ノ觀念ヲ比較スルノ力甚ダ缺ケ。タメニ抽象力ノ不良ナルコトアルモノナリ。斯クテ、小兒ハ勿論、大人ニテモ白癡・癡愚ニテハ、コノ抽象作用甚ダ惡シク、殊ニ、低能ニ於テハ本症ノ頗ル不良ナコトヲ固有トス。

コレニ反シ、類似セザル觀念ヲ、單ニ同時ニ存在スルナドノ關係ヨリ、輕卒ニモ、同種ノモノ・又ハ似タルモノト考へ、其等ヨリ或概念ヲ抽象濫作スルコトアリ、**觀念結合ノ隨意性** Willkürlichkeit der Ideenverbindung ト云フ。精神發育制止者・精神病的人格者・偏執病・妄想性癡呆・等ニ現ハル症狀ナリ。

第七 想像力 Phantasie・工風力 Einbildung.

既往ノ經驗ト異ナル觀念ヲ新作スル作用ニハ、特ニ或目的ノ爲メニ新シキ考ヘヲ案出スルカナル**工風力** Einbildungskraft ト、何トナシニ種々ノ考ヘヲ目的モナク任意ニ考ヘ出スルカナル**想像力** Phantasie トアリ。

工風力
想像力

此ノ兩者ノ病的症狀ニハ亢進ト減退トアリテ、小兒・婦人・抑鬱狀・苦悶狀・病的虛言症・妄想病・ひすてりー・外傷性神經症・變質者・等ニ於テハ想像力ハ増進シ、疲勞時・催眠劑内服後・麻痺性癡呆・老耄性癡呆・器質性腦疾患ニ基ツク癡呆・等ニテハ空想力ハ減退ス。

工夫力ハ特ニ智力ノ進メルモノニ於テ増シ、低能ニハソノ發達ナシ。

癲癇性癡呆者ニアリテハ想像力ニハ缺損ナキモ、其ノ追憶ニ長キ時間ヲ要シ、ソノタメ思考ノ浮ミ難キモノアリ。**不敏症** Schwerfälligkeit ト云フ。ソノ際ニハ長キ時間ト努力トヲ費サネバ凡テノ考ヘハ浮ビ難シ。

一般ニ考ヘノ滯滞スルヲ**考慮制止** Denkhemmung ト云フ。自覺的ニモ精神ノ進行惡シクナレルヲ覺エ、往々コレニ對シテ不快ノ感情ヲモ伴フモノアリ。抑鬱狀態ニ最モ多シ。早發性癡呆・ひすてりー・朦朧狀態・等ノ場合ニモ來タル。而カモソノ最モ甚ダシキハ顔貌空漠・行動全ク杜絶シ、無爲・茫乎タルニ至ル。**昏迷** Stupor 即チ是ナリ。

早發性癡呆・殊ニ、緊張病ニアリテハ一見感情鈍麻シ、**無趣味** Interesslosigkeit・又ハ**不管症** Gleichgültig ノ狀ヲ呈スルモ、之レニアリテハ一旦ソノ抑制去ラバ思想急ニ涌出シテ、時ニハ多辯トナル。即チ、眞ノ制止ニアラズシテ一時的ノ枯槁ニヨルモノト解スベシ。同症ノ考慮ニ關スルモノニハ**考慮阻礙** Sperrung ノ名アリ。

第八 判斷 Urteil.

判斷ハソノ前提タル知覺・記憶・意識・觀念聯合・及ビ、感情・意志ノ作用ニ障礙アル結果、ソノ異常ヲ來タスコト當然ナレド、マタ、特ニ、判斷力ノミノ特別ナル故障モアリ。

又、判斷ノ障礙ニハ、ソノ全般ガ比較的平等ニ侵サルル**判斷ノ耗弱** Urteilsschwäche ト、或特殊ノ判斷ノミ誤レル**判斷ノ錯誤** Urteilsfälschung トアリ。

判斷ノ耗弱ハ叡智ノ衰弱・意識ノ濁濁・記憶ノ減弱・觀念聯合ノ障礙・等ノアルトキニ來タリ、ソノ折ニハ偶然ト必然トノ差・又、因果關係・類異同別・等ノ差ヲ爲スコト難タク、或ハ算數ヲ誤リ、善惡ノ辨別スラ不

不敏症

考慮制止

昏迷

考慮阻礙

判斷

判斷ノ耗弱

良トナリ、又或ハ簡潔ニ物ヲ要領ヨク言ヒ現ハスコト叶ハズ。定義・概念ノ作用モ亦適切ナラズ。且、ソノ判斷ニ費サルル時間ノ頗ル延長スルコト・等ノ諸症狀ヲ現ハス。癡呆・意識濁濁・精神薄弱・殊ニ、白癡・癡愚・魯鈍・注意散亂ノトキナドニ來タルモノナリ。

判斷ノ錯誤ハ特ニ一方ニ偏レル考ヘヲ持ツモノニテ、時ニハ、ソノ
所信 **所信** Glaube ノ異常ニ強キコトアリ。 **妄想** Wahndee ハソノ一トス。

病的考慮 **第九 病的考慮** Pathologischer Gedanke.

病的思慮ノ種類ハ甚ダ多シ。例之、智恵ナキ人ノ考ヘ、感情ニ激シ、精神ノ興奮シタルトキノ考ヘ、過價觀念・司配觀念・考慮制止・概念分離ニヨル考ヘナド凡テコレニ屬ス。サレド、茲ニハ單ニ概念ノ分離・過價觀念・強迫觀念・蒼古的思想・妄想・等ノミニツキ記スベシ。

概念ノ分離 **I. 概念ノ分離** Begriffszersfallトハ平常ノ人ノ持ツ觀念ト内容異ナル觀念ヲ異常時ニ示ス症狀ナリ。例之、或物品ニ對スル言葉ノ觀念ハ常人ニテハ常ニ同ジナルモ、病者ニテハコレニモ往々異ナル言葉ヲ使ヒ、ソノ觀念ノ分離セル如キ狀ヲ示スコトアリ。考ヘ方ニ於テモ同ジコトアリ。斯クシテ常人ノ考ヘト病者ノ考ヘトハ往々異ナルナリ。

過價觀念 **II. 過價觀念** Überwertige Idee. 思フマジト思ヘバ、一層、ソノ考ヘガ心ニ浮ビ、又ソノ理ノ當然ナリトハ思ヘヌモノヲモサモ當然ナルカノ如クニ思ヘルコトアリ。凡テ本症ニ屬ス。即チ、本症ハ或考ヘガ力強ク他ノ考ヘノ上ニ出ヅル觀念ナリ。時ニハソノ考ヘガ被動的ノモノニシテ他ノ思想ヨリ司配セラルコトアリ。然カルトキニハ特ニ**司配觀念** Dominierende Vorstellungト云フ。過價觀念ノ能動性ノモノハ、努メテ或考ヘニ熱中スルトキノ考ヘ方ナリ。

過價觀念ハ心配事・迷信・妄想ノ發生期・等ニ認メラル。

強迫觀念 **III. 強迫觀念** Zwangsvorstellungトハ必要ナキ、又、ソノ折ノ意識ニ關係ナキ觀念又ハ觀念列ガ或考ヘノ中ニ浮ミ出デ、除カムトスレバ愈々強ク浮ミ出デ、以テ、初メノ考ヘ又ハ觀念列ノ進行ヲ妨グモノナリ。

ソノ多クハ強キ不快ヲ伴ヒ、又、自ラソノ病的ナルヲ知ルモノトス。サ

レド病勢進メバ、時ニソノ病覺ヲ失ヒ、ソノ考ヘガ眞實ナラズヤト疑ヒ、或ハ眞實ト確信スルニ至ルコトアリ。時ニハ幻覺・殊ニ、假性幻覺ヲ生ジ(**強迫的幻覺** Zwangshalluzination)、又、或種ノ行爲トナル(**強迫行爲** Zwangshandlung)。即チコレニ伴フ不安感ノ強キタメ、同一思想ガ絶エズ往來シ、或ハ、同一ノ行爲ヲ反復シ、而カモ、ソレニテモ尙ホ心ヲ安ズル能ハヌコトアリ。

本症ニハ多クノ種類アリ。何事ニモ疑ヒヲ起コシテ止マザル**疑惑症** Zweifelsucht・何事モ根掘リ葉掘リ穿鑿セザレバ止マヌ**穿鑿症** Grübel-sucht・何回モ質問セネバ氣ノ濟マヌ**病的質問症** Fragesucht・マタ見ル物凡テヲ研究セザレバ止マヌ**研究強迫症** Nachforschungszwang・人・物・橋・或ハ樹・等ヲ視レバ、ソノ名ヲ問ハネバ安心出來ヌ**名稱強迫症** Namenszwang・見タモノハ算ヘザレバ氣ノ濟マヌ**計算症** Zahlenzwang・又、見或ハ聞ケルモノヲ凡テ忘レハセヌカト心配シ、無理ニモ何事ヲ追憶セント試ムル**追想強迫症** Erinnerungszwang・等アリ。

本症ハ生來性神經質・殊ニ、強迫觀念性精神病ニ來タルモ、亦、抑鬱狀態・早發性癡呆・麻痺性癡呆ノ初期ニモ現ハルコトアリ。

IV. 蒼古的考慮 Archaisches Denken. 文化ノ低キ人・幼キ子供ニ蒼古的考慮
テハ文化ノ進メル人・殊ニ、大人ノ思想又ハ考ヘ方ト異ナリ、考ヘガ簡單ニシテ、一時的・浮動性ナリ。尙ホ、感情的・概括的・主觀的ニシテ分析的ナラズ。即チ、其ノ考ヘニ深キ觀察ナク、客觀的・批判的ナラズ。爲メニ、同時ニ在ル者ハ同ジ物トナシ、確カナリヤ、不確實ナリヤノ疑ヒモ生ゼズ、人モ物モ總テ同ジク生キテ居ル者ト考ヘ、背理・矛盾アルモノヲ平氣ニ信ズル性質・等アリ。尙ホ、時ニハ、不可思議・魔法・怪物的ノ考ヘ多シ。斯カル觀念又ハ考ヘ方ヲ一般ニ蒼古的考慮ト云フ。夢・意識濁濁時・就中、ひすてり一性朦朧狀態ノトキニ多キモ、早發性癡呆ニテハ此ノ種ノ考ヘ方ガ意識濁濁時ハ勿論、意識清明ノトキニモ往々アリ。即チ其等ノ病者ガ矛盾セルコトヲ平氣ニテ話シ、非分析的・概括的・感情的・主觀的・浮動的ノ考ヘヲ抱クコトアリ、コハソノタメトス。

妄想

V. **妄想** Wahn. 妄想トハ病的考慮ノ一種ニシテ、客觀的ニハ誤リナルベキ事ヲ眞實ト信ジ、而カモ、其ノ所信・即チ、信ズル力ノ異常ニ強ク、他人ノ反駁ニ遇ヒテモ其レニ對スル反省全く無ク、時ニハソレニヨリ却ツテ自己ノ偏見ヲ益々固執スルモノアリ。尙ホ、ソノ人ノ行動ハコノ妄想ニヨリテ支配セラルルコト少ナカラズ。

元來、吾人ノ眞實 Wahrheit ト判斷スルモノニハ直覺シ得ル所ノ事實 Tatsache ハ甚ダ少ナシ。多クハ經驗セシ事實ヲ基トシテノ推理ニヨリテ、誤リ無シト信ズルモノナリ。

從ツテ、吾人ノ正當ト思ヘルモノニモ、見方ノ違ヒ・觀察ノ誤リ・實驗ノ粗漏・乃至ハ推論ノ過失モアリテ、誤レルモノガ案外ニ多キモノナリ。即チ、常態ノ人ニ於テモ誤レルモノヲ眞實ト確信シ居ルコトハ仲々ニ多シ。コレヲ一般ニ**誤信** Irrtum ト名ヅク。

誤信

誤信ハ人智ノ發達尙ホ不十分ナル未開ノ人・小兒・又ハ低能ニアルノミナラズ、文化ノ進メル人ニテモ感情の後屏アルトキニハ頗ル多シ。斯クテ宗教上ノ信仰・黨派上ノ爭論ノ如キハ、コレニ近キモノ殊ニ往々アリ。所謂、**迷信** Aberglaube 又ハ**僻見** Vorurteil 之レナリ。

誤信又ハ迷信ニモ、場合ニヨリテハ妄想ニ近キモノアリ。時ニハ、ソノ區別ヲナシ難キモノアリトス。サレド、妄想ニテハ、多クハ、ソノ人ニ他ノ病的症狀アリ、又、ソノ信念ヲ固執シテ動かザルコトガ異常ニ強ク、且、ソノ發生ノ機轉ニモ固有ナル病的ノ點甚ダ多シ。

〔妄想發生ノ機制〕 多クノ種類アリ。(1) 最も多キハ領解ノ錯誤・即チ常人が見テ何等意味ナキ事ヲ、サモ重大ナル意義アルガ如クニ思ヒ、又ハ何デモナキ事ヲ或種ノ關係アル如クニ曲解スルコトニ基ヅクモノナリ。稀ニ、夢・幻覺ニ基ヅクモノアリ。

領會ノ異常ニ因リテ全く關係ナキ事ヲサモ重大ナル意義アルモノノ如クニ曲解スル**妄想性曲解** Wahnhafte Auslegung ノ生ズル所以ハ、恐ラク、其ノ折ノ苦悶・願望 Wunsch・期待感情 Erwartungsgefühl 等ニ因ルモノナリ。即チ、常人ニテモ氣ノ臆セル時ニハ、諸事ヲ皆己ニ當テ擦リテ爲セル如クニ思ハレ、得意滿面ナル時ニハ、事物ガ皆己ヲ賞揚スルモノノ如クニ感知セラルモノナリ。其ノ度ノ強キ病者ニアリテ

ハ、同様ノコトガ一層強キハ當然ナリ。即チ、病者ノ有スル不安・悲觀・爽快ガ頗ル強力ノトキニハ無關係ノ事ヲサモ關係アリト曲解シ、判斷ヲ誤マリ、終ニハ確信シテ、妄想ト成ルナリ。從ツテ、虚心冷淡ナルモノニ對シテハ深キ誤解ニ陥ルコトナク、妄想ノ形成トハナラヌモノナリ。

若シ、妄想ノ發生ガ明カニ感動性變化ニ依リテ起ルコトキニハ、特ニ、**感動性妄想** Affektiver Wahn ノ名アリ。

(2) 又意識濁濁・觀念聯合ノ障礙アルトキニハ、ソノタメニ正確ノ判斷ヲ失ヒ、偶然胸ニ浮ベル思想・又ハ、幻覺・夢ガ皆妄想様ニ曲解セラレ、確信セラレ、終ニハ妄想トナルコトアリ。

若シ多數ノ妄覺ガ現ハレ、ソノ妄覺ヨリ妄想ノ形成セラルトキハ**幻覺性妄想** Halluzinatorischer Wahn ト云フ。

(3) 或病者ニハ、見ルモノヲ直グニ眞實ト考ヘ、少シモ疑ハヌ考ヘ方アリ、ソノ異常ヨリ妄想ヲ形成セラルルコトアリ。早發性癡呆ノ妄想發生ニハ此種ノモノ多シ。即チ斯カル人ニハ先ヅ理由ナキ斷定起コリ、後チ、説明ヲナスモノニテ、常人ノ推理トハ異ナル考ヘ方ヲナスナリ。

(4) 叡智ノ甚ダ不良・**精神衰弱** Geistesschwäche・即チ、**癡呆** Demenz ノアルトキニハ、確固ナラヌ妄想ノ形成セラルコトアリ。**癡呆性妄想** Schwachsinniger Wahn ト云フ。

(5) 而カモ妄想ニハ他ノ病的思想ト異ナリ、特ニ確信ノ度強ク、自己ノ思ヒヲ曲ゲザル固有點アリ。**不反省性** Unzugänglichkeit ト云フ。

此ノ力ノ發生理由ニツキ、妄想ニ對スル熾烈ナル**慢性感動性** Chronische Affektivität ナルモノノ存在ヲ考フル人アリ。サレド又早發性癡呆者ノ或妄想發生ノ際ニハ、自己ノ考ヘニ對スル外來ノ反駁ニハ心ヲ向ケザラムトスル一種ノ拒絶症ノ存在ト思ハル點アリ。尙ホ、妄想病者ノ多クハソノ思想甚ダ迂遠ニシテ非普遍的ナリ。タメニ公平ナル判斷ヲナシガタキモノモアリ。又、斯カル際ニハ追想ノ誤謬多キヲ例トス。コレ等ノ諸心理狀態ハ凡テ皆妄想ノ發生・確立ニ有力ナル因子トナルナリ。

(6) 妄想ハ又自己ノ願望・恐怖・暗示・模倣・等ニヨリテモ發生ス、

病的思想

妄想ニ近キ考ヘニテ、ソノ確信ノ乏シキモノアリ、**病的思想** Pathologische Idee ト云フ。早發性癡呆・ひすてりー・躁病・等ノ輕キ興奮時・意識濁濁時ナドニ一時現ハル考ヘハコレニ屬ス。變質者・殊ニ、空想性變質者ニテハコノ種ノ考ヘ多シ、中ニハソレヨリ確信ノ度稍強クナリ妄想ニ近キモノアリ。又コノ考ヘハ環境・境遇ノ變化ニヨリ尙ホ左右セラ

妄想様空想

ルモノニテ**妄想様空想** Wahnhafte Einbildung ノ名アリ。

〔妄想ノ性質〕 妄想ニハ、ソノ眞實ト異ナルコトヲ容易ニ發見セラル程度ノ強キ非合法的・悖理的ノ考ヘアレド、又、一見ソノ不合理ナル事ヲ發見シ難キホドノ輕キ不合理的ノモノアリ。好訴妄想・發明妄想・嫉妬妄想・等ハ殊ニ然リトス。ソノ多クハ同病者ノ智力衰弱ノ著シカラザルトキニ來タルモノナリ。

之レニ反シ、妄想ノ内容ニ矛盾明カニシテ、何人ニモ其ノ悖理的ナル事ヲ容易ニ判定シ得ラルモノアリ。コハソノ病者ガ既ニ癡呆ニ陥レルカ、又ハ、意識濁濁セル時ナルヲ例トス。麻痺性癡呆・老老性癡呆・早發性癡呆ノ末期ニ多シ。稀ニハ、躁鬱病・ひすてりーニテモ、一時的ニ、然カルコトヲ示スモノアリ。

又、同一ノ妄想ガ長ク續クト否トニヨリテ、ソノ性質ニ差ヲ示スモノアリ。即チ、同一ノ妄想永續セザルトキ・例之、感情ニ激セルトキ・意識ノ濁濁シ又ハ多數ノ幻覺アルトキ・或ハ、一時的ノ興奮ニ基ヅキテ發スル妄想・等ニテハ、ソノ感情ガ靜マリ、意識濁濁ノ去リ、殊ニ、興奮ノ減ズルトキナドニハ、ソノ妄想ハ力ヲ失ヒ、時ニ全く消滅ス。斯ク妄想ノ變轉烈シキモノニハ**轉換性妄想** Delirium metabolicum ノ名アリ。

麻痺性癡呆患者ニテ、叡智衰弱アリ、自信ノ力モ亦薄弱ナルトキニハ、其ノ妄想ノ内容時々變ジ、時ニハ他人ノ示唆ニヨリテ容易ニ轉化スルモノアリ。例ヘバ、五萬圓ノ財産アリト妄想スル患者ガ、他人ノ尙ホ多カルベシト云ヘバ、コレニ應ジテ、直チニ十萬圓アリト云ヒ、マタ他人ノソレニテハ尙ホ不足ナリト云ヘバ、彼ハ又、コレニ誘ハレテ百萬圓アリ、否、千萬圓アリト云フモノアリ。又、初メ天皇陛下ノ代表者ナリト云ヒシモノガ、帝王ナリト云ヒ換ヘ、後チ、世界ノ大帝ナリ、更ニ人ニ非ズ神ナリ、又、一ノ神ナラズ全テノ神ヲ統一セル神ナ

リト云フガ如ク、其ノ妄想ノ他人ノ言ニヨリテ漸次向上セラルモノアリ。

又、病勢盛ナルトキニ存セシ妄想ガ、病勢ノ靜マルト共ニ妄想ニ對スル熱情モ冷ヤカトナリ、確信ノ度ヲ減ズルモノアリ。而カモ、感情再ビ熱スル時ハ興奮シ、既往ノ妄想再燃シテ其ノ勢ヒヲ逞ウシ、前同様ノ妄想ヲ盛ニ口外スルモノアリ。斯ク、妄想ガ其ノ勢力ヲ減ジ、外觀上全く忘レラレタル如ク見エ、深く立ち入りテコレヲ聞カバ、ソノ妄想ノ殘存シ居リ、少ナクモ、妄想ニ對シ誤マレリトノ理解ヲ缺クモノヲ**殘存性妄想** Residualwahn ト名ヅク。

殘存性妄想

又境遇ノ變化ヨリ、從來存セシ妄想ヲ打消シ、或ハ斯カルコトヲ言ヒシコトナシト否認シ、又或ハ、其ノ妄想ニ對スル病覺スラ生ズル場合アリ。斯ク境遇ニヨル妄想ノ變化・就中、ソノ輕快セルモノニハ、**境遇ニヨル輕快** Situationsremission ト云フ。

コレニ反シ同一ノ妄想ガ久シク持續シ、殊ニ其ノ間ニ智力ノ衰弱更ニ加ハラザルトキハ、其ノ妄想ハ常ニ同様ノ力ヲ以テ確信セラレ、時ニハ益々執著シテ、確信ノ度ヲ強ムルモノナリ。然カルトキハ、其ノ妄想ガ單ニ久シク繼續スルノミナラズ、同人ノ全精神内容凡テガソノ妄想ニヨリ司配セラレ、ソノ妄想ニ都合ヨキ様ノ解釋ヲナシ、時ニハ萬事ヲ皆ソノ妄想ニ結ビ附ケテ考ヘ、益々自己ノ妄想ヲ事實トスルノ補助トナシ、時ニ、他人ガ其ノ非ナルコトヲ説キテモ、更ニ耳ニ入ラズ、タトヒ、他ノ事ニハ讓リテモ、コノ妄想ニ關シテハ更ニ反省セントスルノ心全く無シ、時ニ他人ノ反證・辯駁ハ却ツテ己ヲ誣フルモノトシ、益々自己ノ妄想ヲ擁護シ、其ノ妄想ニ對スル信念愈々強固トナリ、終ニ動カス可カラザル確信トナリ、全人格凡テソノ妄想ニ司配セラルルコトアリ、斯カル妄想ヲ**固著妄想** Fixidee ト云ヒ、斯カル機轉ニツキ**妄想ノ系統** Wahnsystem ヲ作レリト稱ス。

固著妄想
妄想ノ系統

固著妄想ヲ有スル患者ハ、少ナクモ其ノ初期ニ於テハ理性侵サレズ、一見他ニ著明ナル病的症狀ナク、唯妄想ノミニ異常アルガ如クナルヲ以テ、昔ハ其ノ點ノミノ病トナシ、**偏狂** Monomanie ノ名ヲ附セシモノナリ。

偏狂

サレド、妄想ハ、唯其ノ妄想ニ關スル考ヘノミニ病アルニアラズ、其ノ發生ノ機制ニハ、上記ノ如ク感情ニ異常アリ、又、意識中限局セル若干ノ點ニ不鮮明不徹底ノトコロアリ、多少ナリトモ全精神界ニ亘ル缺損ノ存スベキモノナレバ、妄想ハ精神ノ一部異常ナラズシテ、偏狂説ハ否定セラレタルモノナリ。

サレド何故ニ一般ノ判斷ガ不良ナラズシテ只妄想ニ關スル考ヘノミガ不良トナ

ルヤノ理由ニツキテハ適當ノ説明ナシ。只、妄想ノ多クハ、自己ニ關スル所信ノ異常ナリ。而カモ、元來自己ノ批評ハ生理的ニ最モ困難ニシテ且不良ナル所ナレバ、病トナラバ、此ノ平素最モ不良トセラルルトコロガ先ツ侵サレ、茲ニ、妄想ニ關スル判斷ガ他ノ精神作用ニ先ンジテ不良トナルモノナリトノ説アリ。稍々信ゼラルル説ノ如シ。

他ニ、斯カル際ノ妄想ニハ**自己意識** Ichbewusstsein ノ異常・慢性感動亢進 Chronische Affektivität ナル感情界ノ異常ニ基ツクモノトノ説・或ハ、自己意識ノ發生地タル腦幹第三腦室底ノ異常ニヨルトノ説モアリ。

〔妄想ノ種類〕 妄想ハ多クノ種類アルモ、ウチ最モ普通ナルモノノミヲ擧グレバ

1. 自己ガ他人ヨリ注目セラレ居ル如クニ思ヒ僻ム妄想ヲ**注察妄想** Betrachtungswahn ト云フ。
2. 凡テガ己ニ關係アル如クニ考フ妄想ヲ**關係妄想** Beziehungswahn トナス。
3. 己ノ位置・境遇・資産・體力・學才・凡テヲ事實以上ニ過大ニ思考スル妄想ヲ**誇大妄想** Grössenwahn ト名ヅク、帝王・將軍・富豪・英傑ト稱スルノ類之レナリ。
4. 此ノ誇大妄想ノ中ニ入ルベキモノニテ、或物ヲ發明シタル如クニ考フルヲ**發明妄想** Erfindungswahn ト云フ。
5. 己ノ身體・財力・地位・境遇ヲ凡テ實際ヨリ過小ニ考フルモノヲ**微小妄想** Kleinheitswahn ト名ヅク。
6. 殊ニ、財産ハ既ニ盡シ、貧シクナレリト考フルヲ**貧困妄想** Verarmungswahn ト云フ。
7. 己ノ體ニ病アリト考フル妄想ヲ**ひぼこんてる妄想**・又ハ、**心氣性妄想** Hypochondrischer Wahn ト云フ。
8. 己ノ病ノ重キヲ考ヘズ、健康ナリト考フル妄想ヲ**健康妄想** Gesundheitswahn ト稱セラル。
9. 己ノ體ガ他人ヨリ左右セラレ、又ハ、襲ハルルガ如クニ考フル妄想ヲ**被幻妄想**・又ハ、**被影響妄想** Beeinflussungswahn ト云フ。催眠術ヲカケラルナドト考フルノ類コレナリ。
10. 他人ヨリ迫害セララルル如ク考フル妄想ヲ**被害妄想** Beeinträch-

tigungswahn ト名ヅク。

11. **被毒妄想** Vergiftungswahn トハ毒殺セラルト考フル妄想ナリ。
12. 人ヨリ追跡セララルル如ク考フル妄想ヲ**追跡妄想** Verfolgungswahn ト云フ。探偵又ハ警官ヨリ追跡セラルト考フルモノ多シ。
13. **嫉妬妄想** Eifersuchtswahn トハ妻ニ情夫アリ・夫ニ情婦アリト説クノ類ナリ。
14. 己ノ權利ガ毀損セラレタリトテ訴訟ヲ爲ス妄想ヲ**好訴性妄想** Rechtlichbeeinträchtigungs- oder Querulantenwahn ト云フ。
15. 他人ニ罪ヲ犯セシ如ク考フルヲ**罪業妄想** Versündigungswahn ト稱ス。
16. 反對ニ、罪人ガ己ハ罪ヲ犯サズト考フルヲ**無罪妄想** Unschuldswahn ト云フ。
17. 時ニハ、ソノ罪ハ既ニ赦免セラレタリト考フル妄想アリ**赦免妄想** Begnadigungswahn ト云フ。
18. 萬般ノ事物皆滅却消失セシ如ク考フル妄想ヲ**虛無妄想** Nihilistischer Wahn ト云フ。即チ、己ノ體ハ既ニ此ノ世ニハ無シ、内臓モ全テ消滅シタリ。又、此ノ世界モ最早無クナレリト云フ妄想ノ如シ。
19. 性ニ關スル妄想ヲ一般ニ**好色的妄想** Erotischer Wahn ト云フ。己ハ帝王ニ見染メラレタリ、又ハ、或婦人ト婚約アリナドト云フ妄想ノ如キ之レナリ。
20. 己ノ體ハ獸ニ變ゼリトノ妄想ヲ**獸化妄想** Tierverwandlungswahn ト謂フ。己ハ狐トナレリ、犬トナレリト信ズル妄想ハ本邦既ニ昔ヨリアリ。
21. 宗教ニ關スル妄想ヲ凡テ**宗教妄想** Religiöser Wahn ト名ヅク。
22. 物理學的器械・殊ニ、電話又ハ無線電信ヲ以テ己ニ危害ヲ加フルモノアリト考フル妄想ヲ**物理的追跡妄想** Physikalischer Verfolgungswahn ト謂フ。
23. 己ノ身體ニハ他人或ハ動物・乃至・神ガ憑キ居ルモノト信ズルヲ**憑依妄想** Besessenheitswahn ト謂フ。
我國ニハ、殊ニ、狐ノ憑クト考フル**狐つき**又ハ**狐憑妄想** Alopecanthropie, 又、

犬ノ憑キ居ルト考フル**犬つき**又ハ**犬憑妄想** Cynanthropie アリ。

24. 又、時ニ妊孕セリト妄想スル**妊娠妄想** Schwangerschaftswahn ナルモノモアルナリ。

25. 又、己ノ身體ガ他ノモノニ變化セリト考フル妄想ヲ**化身妄想** Wahn der Metamorphose ト名ヅク。

〔妄想ノ發現〕 妄想ハ種々ノ精神病者ニ現ハル。

1. 熱性病ニアリテハ譫妄ノ時ハ勿論、ソレ以外ノトキニモアリ。
2. 酒精中毒ニモ現ハル。殊ニ、酒客譫妄・中酒性妄覺病・中酒性嫉妬妄想病ノトキニ著シ。ソノ他、
3. こかいん中毒。
4. 腦微毒。
5. 麻痺性癡呆。
6. 早發性癡呆、就中、破瓜病・緊張病、殊ニ、妄想性癡呆・ばらふれに一。
7. 偏執病ニモアリ、殊ニ、後者ニアリテハ、著明ノ系統アル妄想アリ。
8. 微毒性腦疾患ノ時ニハ意識濁濁ヲ伴ハズシテ唯妄想形成ノミヲ主トスル妄想病様状態モアリ。而カモ多クハ幻覺ニ伴フ妄想ナリ。
9. 躁鬱病ニテハ輕躁病ノ發揚時・抑鬱状態・苦悶性精神病ノ時ニ屢々認メラル。
10. 癲癇ニモ朦朧状態ノ時・及ビ、意識濁濁ノ比較的輕キ時ニモ顯著ナル妄想アリ。
11. ひすてりーニハ朦朧状態・又ハ、其他ノ時ニモ、一時的ニ現ハル。又コレニ近キ念慮ノアル事モ稀ナラズ。
12. 心因性ノモノニハ重聽者ノ心因性精神病・災害性精神異常・等ニ多クアリ。殊ニ、變質者ニハ、入牢後・外災後・等ニ來タリ、ソノ折ニハ種々ノ妄想・又ハ之ニ近キ妄想様空想ヲ示ス。病的虛言者ニテハ妄想ニ近キ妄想様空想多シ。
13. 白癡・癡愚者ニモコレニ合併スル症狀トシテ妄想ヲ示スコトアリ。

如何ナル病症ニ如何ナル妄想ノ現ハルルヤノ點ニハ、一定ノ規則ナキモ、大凡ハ下ノ如キ型ヲ示ス。即チ 1. 躁病ノ時ニハ誇大的・發明的・追跡・嫉妬・被害ノ妄想多ク、 2. めらんこりー・抑鬱状態ノ時ニハ罪業妄想・被害・微小妄想多シ。 3. 麻痺性癡呆ノ誇大性定型ニハ誇大妄想、抑鬱性定型ニハ被害・微小・罪業妄想ヲ主トシ、智力衰フル時ニハ暗示性ニ富ミ、背理性ナル妄想多シ。 4. 早發性癡呆・殊ニ、破瓜病・緊張病ノ初期ニハ追跡・被害・被毒・誇大・發明・嫉妬妄想現ハル。妄想性癡呆ニ於テハ初メ追跡・關係・注察妄想アリ、後チニ誇大・被害・好訴妄想等ヲ呈シ、ばらふれに一ニテモ被害・誇大・發明・宗教・好訴妄想多ク、 5. 偏執病ニハ發明・豫言・ソノ他ノ誇大妄想多シ。 6. 癲癇者ニハ、被害・誇大・又ハ、宗教妄

想多シ。 7. ひすてりー者ニハ被害・追跡妄想多キモ、其等ノ各病ニ於ケル特徴ハ不定ニシテ一々茲ニ述べ難キモノトス。

第二章 感情ノ障礙

第一節 一般感情ノ病的症狀

一般感情 Gemeingefühl ハ分化尙ホ不充分ノ感情ニシテ高等ナル精一般感情神ニ直接ノ關係少ナク、專ラ本能ノ源トナル、**自己保存** Selbsterhaltung、及ビ**種族保續** Arterhaltung トノ關係深ク、主トシテ、**内臟感覺**・又ハ**皮膚感覺**・等ニ伴フ劣等感情ナリ。サレド病的心理ニハ關係甚ダ深シ、之レニ**疲勞感情**・**飢餓感情**・**作嘔感情**・**疼痛感情**・**色情**ノ別アリ、其ノ障礙ニハ亢進・減退・竝ビニ**倒錯** Perversion ノ三者アリ。

I. **運動慾** Bewegungstrieb. 吾人ハ常ニ何事カラ爲シ、何事カニ心ヲ運動慾費シ、體ヲ働カシ居ラムコトヲ希フモノナリ。終日何モセズ無爲・晏然トナシ居ルコトハ、却ツテ堪ヘ難キ苦痛トナルモノナリ。然ルニ、コノ感ハ早發性癡呆ニ於テハ屢々コレヲ缺キ、作業ニ伴フ快感ナク、働カントスルノ慾望全ク缺ケ、終日、無爲・茫然・徒食シ、其ノ日ヲ空ニ費ヤシ、更ニ**退屈** Langweile ノ感ヲ覺エザルモノナリ。コレニ反シ、精神興奮セルモノニテハ運動慾頗ル亢進シテ、聊カモ靜止スルコト能ハズ。タメニ常ニ不安トナリ、多ク動キ居ルモノナリ。殊ニ躁病者ニテハ何モセヌコトヲ甚シク苦痛ト感じ、絶エズ動キ、就中人ノ仕事ニ關涉シ、何事カニ氣ヲ配リ居ルモノナリ。之レヲ**作業心迫症** Tatendrang ト云フ。小兒作業心迫症ニテハ常態ニテモ運動慾亢進シ、絶エズ運動ヲナス本能ヲ有スルナリ。

II. **疲勞感情** Ermüdungsgefühl. 疲勞感情トハ疲勞ニ伴フ固有ノ不快感ニシテ、コハソノタメニ筋肉ヲ既ニ用フ可カラズ、休息セヨトノ休養ヲ要求スル戒標ナリ。即チ、コレニヨリテ吾人ハソノ身體ノ衰憊ヲ防ギ得ルモノトス。然カルニ、病的ニハ此ノ感減ジ、或ハ消エ、時ニハ、却ツテ亢進スルモノアリ。例之、躁病其ノ他ノ發揚時ニハ疲勞感

ハ減ジテ濫リニ發揚・興奮シ、時ニハソノタメ身體ノ衰憊ヲ招クニ至ルモノアリ。蓋シ、掣肘スベキ警戒標タル疲勞感情ナキタメトス。之レニ反シ、抑鬱状態ニアリテハ疲勞感甚ダ亢進シ、眞ノ疲勞ナキニ拘ハラズ著シキ疲勞感ヲ覺ユルモノアリ。神經衰弱症・變質性人格ニ於テハ殊ニコノ疲勞ト疲勞感トノ不調和アリ。外傷性神經症・動脈硬化症・意志薄弱者・ひすてりー・ひぼこんでりー等ニ於テハソノ著シキモノヲ見ル。

飢餓感情

III. 飢餓感情 Hungergefühl. 飢餓感情トハ自家保存ニ必要ナル營養分ノ體內ニ缺乏スル際ニ生ズル一種ノ不快感ニシテ、常態ニテハコノ飢餓ト飢餓感情トハ大凡ソ一致ス。然カルニ病者ニテハ眞ノ飢餓ナク飢餓感情ノミ著明ナルコトアリ。ソノタメ食慾異常ニ亢マリ、所謂、

貪食症

貪食症 Hyperorexia ヲ現ハスコトアリ。

同症ハ或ハ大食其ノ度ヲ超エテ滿腹飽クトコロヲ知ラザルモノ・頻々食事ヲ攝ルモノアリ。緊張病・麻痺性癡呆・白癡・躁病等ノ興奮時ニ多シ。之レニ一回ニ多食スル多食症 Polyphagie ト、食スル回数ノ多キ數食症 Bulimie トアリ。共ニ飽滿感情 Sattgefühl ナキタメトス。

拒食症

食慾ノ減退セバ、食事ヲ攝ルノ念失セ、食思不振トナリ、食慾ノ減退症 Anorexia ヲ示ス。甚ダシキハ食ヲ拒ミ、所謂、拒食症 Nahrungsverweigerung ニ至ル。コハ身體病ヲ除キ、精神的ニハ、ひすてりー・抑鬱状態・及ビ、ソノ他ノ病ノ昏迷時・殊ニ、緊張病ニ多シ。ひすてりー・及ビ、變質者ニハ拒食症ト貪食症トガ交代シテ來タルコトモアリ。

作嘔感情

IV. 作嘔感情 Ekelgefühl. 本感情ハ不消化物・惡臭物・有害物等ヲ食ベ、其ノタメニ身ヲ害ナフコトナカラシムルタメノ天賦ノ保護作用ニシテ、自然ニ存スルモノナリ。即チ、ソノタメ、異物ヲ食セントシ、又ハ食シタルトキニハ作嘔感情ヲ催シ、或ハ嘔吐ヲ來タシ、以テ其ノ害ヲ未然ニ防ギ得ルモノトス。

然カルニ病者ニハ此ノ感情減ジ又ハ失セ、平素、人ノ口ニセザルモノヲ喰ヒテモコレニ伴フ不快ノ情ヲ覺エザルモノアリ。タメニ炭・砂・生キタル蛙・鱒等ヲ平氣ニテ其儘食スルモノトス。勿論、是等ノ異物ヲ口

ニスルコトハ他ノ理由、例之、食慾亢進・又ハ自殺企圖等ヨリ來タルコトアレド、ソノ際、若シ之レニ對シテ不快感情ノ起コラザルトキニハ又コノ病的症狀アリトナスベキナリ。早發性癡呆・麻痺性癡呆患者ニテ精神衰弱甚ダシキモノ・或ハ、精神興奮ノ著シキモノ・乃至、意識濁セルモノ等ニ來タル、白癡・癡愚者・ひすてりー者等ニモ往々見ル所ナリ。

中ニモ自己ノ糞便ヲ食シテ、更ニ不快感ヲ起コサヌモノアリ。特ニ噉糞症 Koprophagie ノ名アリ。ひすてりー・躁病ノ烈シキ發揚時・麻痺性癡呆ノ興奮時・又ハ、末期ニ來タルコトアリ。

噉糞症

作嘔感情ノ亢進スル時ハ、僅ノ事ニテモ直チニ作嘔感ヲ發シ、爲メニ普通ノ食事スラ取ルコト能ハヌニ至ルコトアリ。神經質者・ひすてりー者ノ或モノニハ殊ニ斯カル症狀甚ダシク、ソノタメニ何モ食シ得ザルコトアリ。食慾脫失症 Anorexia ノ名アリ。

コレニ似タルモノニ清潔感情 Reinlichkeitsgefühl ナルモノアリ。即チ不潔ナルモノニ對シ好感ヲ持テ得ヌ感情ナリ。ソノ程度ハ生理的ニ大差アルモ、病的ニハソノ著明ナル異常アリ。ソノ亢進ハ病的潔癖症トテ、ひすてりー・躁病等ニ多ク、減退ハ早發性癡呆・其ノ他ノ癡呆者・又ハ興奮時ニ現ハル。時ニハ大便ヲ己ノ身邊・衣裳・器具等ニ塗り、或ハ室内ニ吐唾シ、又ハ、身體ニ唾痰ヲ塗抹スルガ如キ不穢ナル行爲ヲナシテ全ク氣ニセヌモノアリ (不潔症狀 Unreinlichkeit)。

清潔感情

不潔症狀

V. 疼痛感情 Schmerzgefühl. 疼痛感情トハ疼痛感覺ニ伴フ不快感情ニシテ、ソノ感情ノタメニ、吾人ハ自己ノ身體ニ迫マル危險ヲ防ギ、又ハ他人ノ疼痛ニモ同情ヲ表スルモノナリ。同症ノ缺如セルトキニハ自己ノ骨折・膿瘍・其ノ他ノ重大ナル負傷ニ對シテ、更ニ疼痛ニ伴フ不快感情ヲ覺エヌコトアリ。斯カルコトハ常人ニ於テモ非常時ノ場合ニハ往々有リ。例ヘバ、戰時・天災ノ折ニハ甚ダシキ負傷ヲナシテモ、ソノ負傷ヲ更ニ感知セズシテ働クモノアルガ如シ。サレド、ソノ甚ダシキモノハ病者・殊ニ麻痺性癡呆者ニ多シ、コレニアリテハ微笑ヲ湛ヘ乍ラ疼痛甚ダシカルベキ自己ノ癩疽ニ患メル指關節ヲ開キ居ルモノサハ

疼痛感情

アリ。ソノ他、興奮時・癡呆状態・意識濁濁者ニモアリ。殊ニ、昏迷時ノ
 或者ニハ疼痛感ハ存スルモ、ソレヲ表現スベキ表出運動ヲ缺クコトアリ、
 スカルモノハ自己ノ負傷面ヲ處置セラルルトキ、只、長嘆息ヲ洩
 ラスノミニテ眞ノ疼痛感情ナク、又コレヲ口ニセザルモノサヘアルナ
 リ。ひすてりー・癲癇者ニ於テモ、疼痛感情ノ脱失症アリ。中ニハ意識
 濁濁・又ハ、疼痛感覺脱失・乃至、減退症ヨリ來タルモノモアリトス。

色情

VI. 色情 Geschlechtsgefühl. 色情ハ種族保續ノ爲メニ存スル一般感
 情ノ一ニシテ生後直グニハ現ハレズ、一定ノ年齢ニ至リテ初メテ發ス
 ルモノナリ。

色慾夙發症

ソノ病的異常ニハ、發現時期ノ早晚アリ。ウチ異常ニ早ク發スルモ
 ノヲ**色慾夙發症** Praematura sexualis ト謂ヒ、白癡者・變質者ニ多シ。
 内分泌異常者、殊ニ、松果腺・副腎・生殖腺ノ異常分泌時ニ現ハル。斯
 カルモノハ幼キ年齢ニシテ既ニ手淫ヲ行ヒ、又ハ婦人ニ猥褻行爲ヲ行
 フ者ナドトナル。

色情ノ遅クマデ殘ルコトアリ。殊ニ、高年ニ至リテ却ツテ亢進スル
 モノアリ。ソハ**老耄性癡呆**・慢性酒精中毒症・卒中發作後癡呆・腦病後・
 等ニ往々見ルトコロトス。

色情缺乏症

色情ノ強度ニ於ケル障礙ニハ、亢進ト減退トアリ。色情減退ノ極、
 其ノ缺乏セルモノハ、**色情缺乏症** Anaesthesia sexualis ト云ヒ、ひす
 てりー・變質者・莫比中毒・癡呆者・等ニ來タル。色情ノ亢進ハ**色情亢進
 症**・又ハ、**淫亂症** Hyperaesthesia sexualis ト云ヒ、殊ニ、女子ニテハ
女性淫亂症 Nymphomanie、男子ニハ**男性淫亂症** Satyriasis ノ別名アリ。
 白癡・早發性癡呆・躁病・麻痺性癡呆ノ興奮期・老耄性癡呆者・等ニ
 來タルコト往々アリ。

色情倒錯症

又、不自然ノ方法ヲ以テ性慾ヲ滿タサムトスルモノニハ**色情倒錯症**
 Perversio sexualis oder Paraesthesia sexualis トテ、男子ニシテ男子ヲ
 愛シ、女子ニシテ女子ヲ思フガ如キ**同性相親症** Homosexualität・ソノ
 他アリ。(之等ハ後條病的性慾行爲ノ項ニ再述ス。同章参照)。

同性相親症

性慾ニ關聯アリ、而カモ、多ク後天性ニ修養セラルルモノニ**羞耻感** 羞耻感情
 Schamgefühl アリ。早發性癡呆・及ビ、躁病・其ノ他ノ興奮病者ニハ
 ソノ情ノ消失スルコト往々アリトス。

第二節 病的感情

病的情緒又ハ**病的感情** Krankhafte Gemütsbewegung ニハ其ノ性質・ 病的情緒
 即チ、喜・怒・哀・樂・等ノ種別ニ於テハ常人ノ生理的情緒ト同一ナルモ、
 其ノ強度・持續時間・並ビニ其ノ發動ヲ誘起スベキ原因・即チ、反應狀
 況ニ於テ差アルモノアリ。例之、病的喜悅ニテハ喜ブベキ原因ナキニ
 喜び、又ハ、其ノ喜び方ガ異常ニ激シク、或ハ喜ブベキ原因ニ對シ喜バ
 ズシテ悲ムガ如キモノアリ。尙ホ、時ニハ、其等ノ表情異常トシテ、
 平素ニハ無キ痙攣・意識濁濁・等ヲ現ハスコトサヘアリ。又、病的情緒
 ハ概ネ持續時間甚ダ長ク、或ハ短シ。之レニ多クノ種類アリ。

甲 **病的的不快性情緒** Krankhaftes Unlustgefühl, Dysthymie.

病的不快性
情

コレニハ普通、次ノ如キ種類ヲ舉ゲラル。

I. 凡テニ面白味ヲ失ヒ、不快ノミヲ覺へ、日夕悲ミノ情ニノミ驅ラ
 ル**憂愁** Traurige Verstimmung アリ。同時ニ、**劣等感** Minderwertiges 憂愁
 Gefühl トテ己ヲ卑下シ、己ハ何等ノ技能ナキモノ、將來ニモ希望ナキ
 モノトシ、元氣失セ、遠慮深ク、其ノ日ヲ只面白味ナク暮スモノアリ。
 一般ニ之レヲ**氣鬱症** Deprimieren ト云フ。時ニハ萬事が氣ニナリテ安
 心ノ出來ヌ苦勞症トナルコトアリ (**精神苦惱** Psychischer Kummer). 苦惱
 又ソノタメ行動セズ、一室ニ閉籠モリ、作業ヲ厭ヒ、外出モセズ、言
 葉モ少ナキニ至レバ、コレヲ**抑鬱状態** Depressionszustand ト云フ。終
 ニハ世ヲ果敢ナミ厭世 Pessimismus トナル。

厭世

其ノ度進メバ**被害**・**追跡**・**罪業**等ノ諸妄想ヲ發シ、時ニハ幻覺サヘ生
 ズルコトアリ。

又ソノ不快感が一層強クナリテ、快感ノ生ズベキ機轉ガ全ク杜絶シ、
 常人ナレバ歡晤スベキ場合ニモ、ソノ病者ニハ不快感ヲ以テ迎ヘラレ

如何ナル慰藉遺散モ何ノ慰樂トハナラヌモノアリ。ソノ狀、恰カモ神經痛ノアル人ニハ、凡テノ刺戟ガ皆痛ミトナルト同様ナレバ、コレニ一名、**精神性神經痛** Psychische Neuralgie ノ名ヲ與フル人アリ。

精神性神經痛

以上ノ諸狀態ハめらんこりー・鬱憂狀態ニ來タルコト多キモ、又、他ノ精神病・殊ニ、早發性癡呆・麻痺性癡呆・等ノ初期・ひすてりー・癲癇・等ニモ來タルコトアリ。

精神制止

一般ニ心痛アルトキニハ感情界ノ憂閉ヲ示スノミナラズ、考慮及ビ行爲ハ不活潑トナルヲ例トス。コレヲ**精神制止** Psychische Hemmung ト云フ。ソノ度烈シキトキニハ言語動作凡テ皆著シク減少ス。終ニハ全ク無キニ至ル、**昏迷** Stupor 即チコレナリ。躁鬱病・早發性癡呆・麻痺性癡呆・等ノ抑鬱狀態ニ多シ。

昏迷

憤怒性刺戟症

II. 之ニ反シ、不快感情ヲ有スル人ニシテ却ツテ興奮スルコトモアリ。中ニハ不滿・憤怒性トナリ (**憤怒性刺戟症** Zornige Gereiztheit), 或ハ苦悶ヲ強ク發スルコトアリ (**苦悶性刺戟症** Aengstliche Gereiztheit). 其ノ甚ダシキモノハ些細ノ誘因ヨリ烈シキ不滿・不機嫌・憤怒・苦悶ノ狀ヲ發スルモノニテ躁鬱病・麻痺性癡呆ノ初期・早發性癡呆・癲癇・ひすてりー・癡愚・白癡・變質者・就中、體質性興奮症・等ニ著シ。時ニハコレガ爲メ人ヲ打ち、傷ツケ、殺シ、放火スルコトサヘモアリ。或モノハ甚ダシク興奮シ、突然怒リ、而カモ忽チ平氣トナリテ、後チ更ニコレニ頓着セザルモノアリ。早發性癡呆ニ最モ多ク見ルトコロトス。

苦悶

III. **苦悶** Angst トハ不快情緒ノタメ自己ノ身體ノ一部ニ不安又ハ緊張感ヲ覺ユルモノナリ。殊ニ多クハ、心窩部・頭部ニ壓重・乃至、緊縮感ヲ覺エ、他ハ眩暈・麻痺ノ感・心悸・顔面潮紅・蒼白・呼吸促迫・振顫、時ニ吃納・脱汗・大小便脱漏・等ノ諸身體症狀ヲモ現ハスニ至ル。

其ノ多クハ何トナク心配ニナリ、不安トナリ、落著カズ、無言トナリ、或ハ、立ち上リ、坐り込ミ、馳ケ出シ、何回トナク同様ノ動作ヲ繰り返シ、尙ホ時ニハ人ニ抗ヒ、人ニスガリ、愁訴シテ止マヌコトアリ。一層甚シキニ至ラバ、ソノ煩悶ノ極、叫喚・怒號・或ハ、他人ニ攻撃ノ態度ヲ

現ハシ、又ハ思想混亂・意識濁濁・舉動不穩・暴行・自殺・他殺・放火・等ニ至ルモノナリ。ウチ胸部ニ苦悶ヲ感ズルモノヲバ特ニ、**胸内苦悶**・又ハ**怔忡** Praekordiale Angst ト名ヅク。苦悶發作ガ斯ク能動的動作ヲ示シ、無意味ニ馳ケ出ダシ、又ハ人ヲ強襲スルガ如キ態度ヲ現ハス時ハ之レヲ**苦悶性興奮** Aengstliche Erregung ト云ヒ、之レニ反シ、ソノタメ行爲ノ全ク制止セラレ、唯ダ緊張シナガラ躊躇又ハ佇立シ、靜止狀態ニアルトキニハ**苦悶性緊張** Aengstliche Spannung ノ名アリ。

胸内苦悶

怔忡

苦悶性興奮

苦悶性緊張

苦悶ハ概ネ發作性ニ起コリ、一回ノ發作去レバ間歇時ノ來タルヲ例トス。夜間ニ多シ、持續時間ハ數分・數時間ヲ多シトスルモ、時ニ1日・1週・稀ニ數ヶ月ニ互ル。同症ハめらんこりーニ最モ著シク現ハレ他ニハ癲癇性朦朧狀態・酒客譫妄・酒酗・緊張病ノ初期・麻痺性癡呆・輕キハひすてりー・神經衰弱・神經質者・等ニ存スルナリ。

IV. **病的恐怖** Phobie トハ病的ニ生ズル一種ノ烈シキ恐怖感情ニシテ、自カラ其ノ發生ノ理由ナク、又、其レヲ恐怖スルノ甚ダ愚ナルヲ知り、其ノ恐怖ノ病的ナルヲ十分覺レド、之レヲ抑制スルコト能ハザルモノナリ。例ヘバ、或病者ハ蛇・蛙ヲ異常ニ恐レ、自ラ其ノ不快ヲ感ズルノ理由ナク又愚ナルヲ自覺スレド、之レヲ思ヒ止マルコト能ハズ。ソノタメ、蛇ナドノ居ルベカラザル所ト十分知リナガラ、其所ニハ之レアルガ如クニ感知セラレテ、其所ニ行クコト能ハザルニ至ルモノアリ。時ニハ、其所ニ、ソノ物が眼前ニアル如クニ感知セラレルコトサヘアルナリ。

病的恐怖

斯カルコトノ輕キモノハ生理的ニモアレド、烈シキモノハ病的ナリ。殊ニ、或種ノ神經質者・又ハ、ひすてりー者ニアリテハ、單ニソノ不快感情ノ發生ニ理由ナキノミナラズ、マタ、ソノ力が異常ニ強ク、終ニハ到底取り去リ難ク、若シ之レヲ除カントスレバソノ努力ニ對シ益々反抗生ジ、甚ダシキニ至リテハ、其ノ結果、自己ノ精神界ニ不快ナル感情ト思考ト惹起スルコトアルノミナラズ、延ヒテハ之レヨリ種々ノ異常行爲ヲ現ハスモノアリ。

即ち、ソノ不快ノ物アリト考ヘテハ、理性ニ於テ其ノ要ナシト知りナガラ、自己ノ身邊ニソレアル如クニ思ハレ、數回モ身振ヒシ、而カモ尙ホ意ヲ安ズル能ハズ。又、必要アリテモ或所ニ行ク能ハズ。或ハ、己ノ衣服ニ好マヌモノガ附著シ居ルヤウニ感ゼラレテハ、要ナシト知りナガラソノ衣服ヲ洗ハズニハ氣ガ濟マズ、ソレモ1-2回洗フノミニテハ安意出來ズ、幾回又幾十回洗フコトアリ。斯ク病的恐怖ノ度甚ダ烈シク又明カニ強迫症狀ヲ自覺スルトキハ、特ニ強迫的危懼 Zwangs-befürchtungen ト云フベキナリ。

強迫的危懼

元來恐怖ハ其ノ發生ノ理由ガ、自己身體ノ危險ニ對スル期待感情ト、自己行爲ノ責任ニ關スル不安感情トニ因ルモノナレバ、病的恐怖症モ亦大凡ソコノ種類ニ大別セラルベキナリ。即ち、ソノ1ハ自己ノ健康ヲ害スベキ憂ヒアル物ニ對スル恐怖、例ヘバ蜘蛛・蛇・又ハ銳キ物・或ハ、病・時ニ場所ニ對シテ恐怖ヲ感ズルモノナリ。中ニモ、刃物ハ危險ナリト考ヘテハ必要アリテモ之レヲ持ツコト能ハズ、尖レルモノヲ見レバ何ヤラ其レガ自己ノ身體ニ入ルガ如ク、又ハ、ソレヲ以テ傍人ヲ刺シハセヌカトノ恐怖ヲ感ズルモノアリ（閉尖恐怖症 Aichmophobie）。コレト同ジク己ガ黴毒・肺患ニ罹リハセズヤ、或ハ既ニ罹リ居レルニアラズヤト恐怖スルモノアリ。

ソノ2ハ、自己ノ行爲又ハ責任ニ關スル心配ニ基ヅクモノノ種類ニシテ、他ハ紙片ヲ棄テテ後チ、其ノ紙片ガ貴重品ナリシガ如クニ感ゼラレ、ソノ要モナシト十分知りナガラモ、反復之レヲ檢スルコトヲ止メズ、或ハ一度ビ火ヲ滅セシらんぶノ尙ホモ燃エ出ダシテ危險ノ起コリハセズヤト危懼シ、ソノタメニハ幾回モ不必要ト知りナガラモコレヲ點檢シ、又ハ、遇フ人ニ對シテ、自己ハ何か不良ナル行爲ヲソノ人ニ爲シタルニアラズヤ、或ハ、同人ニ對シテ犯罪ヲ敢テシタルニアラズヤトノ危懼生ジテ禁メ難キモノナドアリ。中ニハ、他人ヨリ見ラルルヲ恐レ(Phobie du regard)、ソノ極凡テノ人ヨリ遠ザカルモノアリ。

ソノ3ハ自己ノ將來ヲ憂フルモノナリ。又、自己ノ思フコトガ、ソノ

考ヘ通りニ行クヤ否ヤヲ案ジ、無意味ト知りナガラモソレニ對シテ甚ダシキ苦悶・煩勞ヲ覺ユルモノアリ。例ヘバ明日ノ試験ハ如何、明日ノ道程ハ無事ナルカト心配シ、ソノ爲メニハ、必要アリテモ試験場ニ入ル能ハズ、所用アリナガラ旅行ニモ出ヅルヲ得ザルモノアリ。

本症ニ屬スベキモノニハ其ノ他ニ尙ホ多クノ型アリ。而カモ最モ著明ナルハ或所ニ行クニ理由ナキ不快ヲ覺ユル**臨場苦悶症** Agoraphobie、**臨場苦悶症** Platzangst・又ハ閉ヂラレタル室ニ入ルコトヲ強迫的ニ不快ニ覺ユル**畏閉恐怖症** Klaustrophobie・或事柄ヲソレヨリソレト飽クマデモ穿鑿シ、**畏閉恐怖症** 質問セザレバ己マヌ**穿鑿症** Grübelsucht・眼ニ觸ルルモノ凡テヲ計算セザレバ止マヌ**運算症** Arithmomanie・凡テノ物が不潔ニ思ハレ、ソノ不潔物が己ノ手ニ附キ、洗ヒテモ離レザル様ニ思ハレ、幾回モ洗ハザレバ安心スル能ハザル**病的潔癖症** Mysophobia・等アリ。**病的潔癖症**

本症ノ著明ナルモノハ強迫觀念性精神病ニ來レド、躁鬱病ノ抑鬱時・神經衰弱症・ぶしひゃすてに一即チ**精神衰弱症** Psychasthenie・麻痺性癡呆・早發性癡呆ノ初期ニモ來タルコトアリ。

V. **病的嫌惡** Pathologischer Hass. 病的ニ人・又ハ物ヲ嫌ヒ、我慢出來ヌモノアリ。神經質・ひすてりー・早發性癡呆・等ニ多シ。コレヨリ織子容メ、貫子殺シニ至ルコトアリ。病的嫉妬ノ際ニモコノ病的嫌惡ノ狀ヲ兼ヌルモノ亦少ナカラザルベシ。**病的嫌惡**

VI. 宿醉・殊ニ、こかいん・莫比禁斷時ニハ固有ノ不快感情ヲ示スモノアリ。ソノタメ同病中毒者ニハ同藥液ノ使用ヲ絶ツコト難タク、常ニ之レヲ求メムトスル固有ノ症狀ヲ示スモノナリ。

乙 **病的快樂** Krankhaftes Lustgefühl, Hyperthymie. 病的快樂トハ尋常トハ思ヘザル程度ノ快樂ニシテ、其ノ發スル理由ニモ相當ノコトナク、又タトヒ、理由アリテモ其ノ折示ス感動ト不調和アリ。更ニ、其ノ感動ノ現ハレ方ガ極端ニシテ、且、往々異常ナル症狀ヲ伴フモノトス。**病的快樂**

病的快樂ナル人ハ多ク無遠慮ニシテ顔貌ハ笑顔ヲ呈シ(**爽快** Heiter), 舉動落附キナキモノナリ(**不安** Unruhig・**浮躁** Unstetig), 時ニハ**多辯**

Sprachsüchtig トナリ、又、濫買 Kaufsucht・濫與ヲ爲スコトアリ、殊ニ、後者ハ麻痺性癡呆・等ニ於テ固有ナリ。

各病ノ示ス爽快ニハ多少ノ固有點アリ。

即チ、(1) 躁病ノ爽快ハ單純ニ爽快 Heiter. 愉快 Lustigkeit ニ止マリ、其ノ狀恰カモ輕ク酩酊セル人ノ愉快氣ニ見エ、ソノ狀自然ナリ。即チ、喜バシ氣ニシテ表情活潑・動作繁ク、言葉輕ク、多辯・冗長ニシテ、外聯合・音聯合ニ富ム。(2) 麻痺性癡呆ノソレハコレト少シク異ナリ、寧ろ、自己ノ幸福常規ヲ超エタル如ク覺ユルモノナリ(多幸症 Euphorie)。
 多幸症
 好機嫌 (3) 慢性酒精中毒者ノソレハ又異ナリ、諧謔性ナリ(好機嫌 Humor)。
 (4) 早發性癡呆ニテ時ニ意味ナキ満足氣ヲ示シ、微笑・空笑・果テハ、心ニモナキ止メ度ナキ笑ヒヲ器械的ニ發スルモノアリ。(5) 莫比中毒者ニテハ快樂的感情ヲ起コシ、(6) 阿片喫用者ニハ其ノ折、夢中・又ハ朦朧狀トナリ、空想ヲ盛ニシ、快樂ノ情ヲ伴フコトアリ。(7) こかゐん使用時ニハ爽快トナリ酩酊ニ似ル狀ヲ呈ス。(8) 臭素劑ニ因リテハ單ニ不快感情ノ去ル爲メノ快キ感情ニ止マル。(9) 他ニ生來性性格異常トシテ快樂ヲ覺ユル人アリ、樂天家・自惚ノ強キ者・等之レナリ。

第三節 情的反應ノ病的障礙

外界ノ刺戟ニ應ジテ發動スル情的反應 Gemütliche Reaktion ノ極メテ容易ナルハ情的反應ノ亢進症トス。ソノ反對ハ遲鈍症ナリ。

甲 情緒反應ノ亢進症 Steigerung der gemütlichen Erregbarkeit. 些細ノ事ニ感ジテ忽チ烈シキ感動ヲ生ズルモノナリ。小兒・女子・酩酊時・躁揚病・麻痺性癡呆・ひすてりー・變質者ニ多シ。時ニハコレヨリ喜怒哀樂忽チ變ジ感動定マリナキモノトナル(感情轉換症 Stimmungswechsel)。
 感情轉換症
 ひすてりーニ多シ。若シコノ感情ノ興奮シ易キ事ガ一部分ナルトキハ自我的又ハ肉體的感動ノ容易ニ發動シテ高等ナル感情ノ發現セザルヲ例トス。感覺的感情過敏症 Sensorielle Hyperaesthesia ト云フ。麻痺性癡呆・早發性癡呆・ひすてりー・白癡・老耄性癡呆者・等ニ多シ。ウ

感覺的感情過敏症

チ特ニ美的感情ノ興奮シ易キモノアリ、審美的感情過敏症 Aesthetische Hyperaesthesia ト云フ。僅ノ不潔ヨリ不快ノ感情忽チ起コリ、又ハ好惡忽チニシテ變ズルモノコレナリ、變質者・ひすてりーニ多シ。

審美的感情過敏症

他ノ一部感情興奮シ易キ種類ニハ道德的感情過敏症 Ethische oder moralische Hyperaesthesia トテ、自己ノ道德的行爲又ハ不德行爲ニ對シ異常ニ感ジ易キモノアリ。中ニハ、ソノタメ同情心ニ富ムコトノ甚ダシキモノトナル。又或ハソノ反對ニ、自己ノ不徳ニ關シテハ鈍キニ關ハラズ他人ノ不徳ヲ責ムルコトノ甚ダ酷ナルモノアリ。コレニヨリ病的自恣・病的吝嗇家トナルコトアリ、ひすてりー・輕躁病・早發性癡呆・生來性精神薄弱・變質ノ或種ニコレヲ見ル。ソノ最モ著シキハ反社會者・悖徳症・癡愚・等ニアリ。

道德的感情過敏症

乙 情緒反應ノ減退症 Herabsetzung der gemütlichen Erregbarkeit. 之レニハ全般ノ感情ガ平等ニ遲鈍トナル場合ト、一部分的ニ或種感情ノミ遲鈍トナルモノトアリ。

又、ソノ機轉ニ於テハ、之レニ制止作用 Hemmung ト缺落作用 Ausfallen トノ二種アリ。

一般ニ感情ノ發動鈍キトキハ凡テノ物ニ對スル興味失セ、只、茫然トシテ其ノ日ヲ暮ラスニ至ル。不管症 Teilnahmslosigkeit・又ハ平氣・冷淡 Gleichgültigkeit ト云フ。強度ノ癡呆・白癡・就中、早發性癡呆・等ニ於テコレヲ見ル。同症ハ一時的ノ制止作用・又ハ缺落作用ノタメニ來タルモノナリ。緊張病・抑鬱狀態・其ノ他ノ時ニ現ハル。

不管症

一部性ノ情緒反應ノ減退症ニハ抽象的觀念ニ伴フ感情ノ發育十分ナラヌモノアリ。就中、審美的・道德的感情ノ鈍麻スル時ニハ、他人ノ其等ノ事ニ關スル感情ハ甚ダ遲鈍シナガラ自己ノソレ等ニ關スル感情ノ却ツテ亢進セルモノアリ。斯クシテ、ソノ人ハ我慾的 Egoistisch トナルモノ甚ダ多シ。癡愚・白癡・就中・悖徳病・ひすてりー・等ニ多シ。尙ホ、麻痺性癡呆・躁病ノ初期・等ニモ往々コレアリ。常人ニモ高年トナレバ此ノ種ノ傾向甚ダ多シ。

我慾的

第三章 意志障礙

第一節 衝動性動作

衝動

吾人ノ運動中ニハ、判然タル目的・即チ、慾望・意志ナクシテ行フ動作甚ダ多シ、衝動 Trieb ト云フ。嬰兒ノ運動ハ概ネコレニ屬ス。大人ノ日常ノ動作ニテモ大半ハコノ種ノ運動ナリ。就中、習慣トナレル行動ニハ聊カノ意志ヲモ要セザル衝動的行爲ニシテ、感動ニ激セルトキノ行爲モ亦衝動ニ近キコトアリ。斯クシテ、ソノ折ニハ全ク思ヒモヨラザル所業ニ出ヅルコト往々アルナリ。

衝動性動作

精神病者ニアリテハ此種ノ行動俄然起コリ、時ニハ甚ダ危険ナル所業ヲナスコトアリ。衝動性動作 Impulsivität ト云フ、著明ナルハ早發性癡呆ニコレヲ見ル。即チ、同病患者ノ甚ダ靜カナルトキ、何ノ動機無ク、自ラ何故ニ行フカノ考ヘモナク突然、物ヲ擲チ、器物ヲ破壊シ、衣服ヲ破ブリ、毛ヲ抜き、人ヲ打チ、自殺・又ハ、他殺ヲナスコトアリ。躁病者ニテモ躁暴状態・麻痺性癡呆ノ烈シキ興奮時・癲癇ノ朦朧状態ノトキニモ似ルコトアリ。即チ、ソノ折、故ナクシテ器物破壊・陰部露出・外出徘徊・竊盜・殺人・放火・等ノ行爲ヲナスモノアリ。白癡ニテモ目的ナキ行動ヲナスコト往々アリ。而カモ、殊ニ衝動性精神病ニアリテハ目的ナキ竊盜・放火・等ノ反社會的行爲ヲナスコト仲々ニ多シ。酩酊ノ折ニモ之レニ似タルコトアリ。又或種病的體質者ニハ、酩酊ニ際シテ、本症ヲ殊ニ明カニスルモノアリトス。

偏狂

從來、他ニ病的症狀ナク、單ニ、或點ニノミ精神病ナル如キ觀ヲ呈セルモノニハ偏狂 Monomanie ノ名アリ。例之、平素全ク常人ノ如キ人が常識ヲ以テハ考ヘ難タキ妄想ヲ示シ、又ハ、竊盜・放火・殺人・等ヲナスノ如キ類コレナリ。

古來、竊盜狂 Kleptomanie・放火狂 Pyromanie・徘徊狂 Poriomanie・殺人狂 Mordlust・及ビ、色情狂 Wohlusttrieb ナドト稱セラルルモノハ皆之レニ屬スルモ、ソハ決シテ或種特別ノ精神病ナラズ變質状態ノ人ニ此種ノ病的行爲ヲ顯著ニセルモノニ過ギズ。斯クテ、現今ニテハ偏狂ナル病ノ存在ヲ考ヘズ、只、斯カル状態ノ存在ヲ認ムルノミナリ。

而シテ、竊盜狂 Kleptomanie トハ、己ガ欲スルモノ、欲セヌモノト 竊盜狂ノ差別ナク、又特ニ取ラントスルノ心ナクシテ竊取スル症狀ヲ云フ、低能・殊ニ、癡愚・就中、年少者ノソレニ屢々現ハル。ひすてり一性婦人・殊ニ、月經時・妊娠時ニモ現ハルコトアリ。ソノ不純ナルモノハ神經過敏者ニモ認メラル。萬引婦人ニハ此ノ種ノ病的者多シ。

放火狂 Pyromanie トハ動機不明ノ衝動性放火症ニ對スル名稱ナリ。放火狂即チ、此等ノ人ハ放火スルニ十分ノ理由ナク、又、タトヒ理由アリテモ甚ダ不相當ナル僅微ノ動機ニ基ヅキ放火シ、好ムデ同一ノ方法ヲ繰リ返ヘシ、放火後悔悟輕ク又ハコレヲ缺キ、入監後初メテ氣附クモノ多シ。又、斯カル犯行ガ月經ト關係スルコトモ多キ事實ナリ。サレド、尙ホ時ニハ病的放火慾 Feuerlust・強迫性放火症 Brandstiftungszwang・等ニヨルモノモアリ。特殊ノ少年・殊ニ、癡愚ヲ合併スルモノ・癲癇性・ひすてり一性朦朧状態ニ多シ。中ニハ酒飲スレバ忽チ本癖ヲ發スル變質者モアリトス。

之レト似テ・養子・里子ヲ預リ乍ラ僅微ノ理由又ハ殆ンド理由ナクシ衝動的ニ之レヲ殺害スルモノアリ。

同様ニ、全ク理由不明・或ハ極メテ薄弱ナル動機ヨリ人ヲ毒殺シ、又ハ無用ナル物品ヲ懷ニシ、濫リニ物ヲ集メ貯フル癖アリ。病的蒐集癖 Sammeltrieb ト云フ。斯カル症狀ハ緊張病・白癡・麻痺性癡呆・癲癇者・等ニ多キナリ。

又、種々ノ無用ナル品物ヲ買ヒ集ムル癖モアリ(濫買症 Oniomanie)。濫買症麻痺性癡呆ノ初期・輕症興奮時ナドニ多シ。

同様ニ理由ナク物品ヲ人ニ濫與スル症狀モアリ。サレドコハ時ニ、誇大的思想・爽快感情・等ニ基ヅクコトモアリトス。

又、或嗜好品ニ對スル嗜癖ノ甚ダ強クシテ、コレガタメ酒ニ溺レ、花柳ノ巷ニ出入シ、惑溺止メ難キモノアリ。意志薄弱者・ひすてり一者ニ多キモ、殊ニ、放逸性人格者ト云ハルル變質者ニ多シ。

第二節 病的本能

本能トハ教ハル事ナク自然ニ發現スル運動ニシテ、而カモ、ソノ運動ハ合目的性ナリ。即チ、コレニヨリテソノ動物ハ何ノ心モナク、無意識ニ食ヲ攝リ、饑ヲ凌ギ、身ノ危険ヲ避ケ、己ヲ飾リ、生殖ヲ行フモノナリ、病的ニハコノ本能ガ或ハ増進シ、又ハ減退ス、尙ホ、時ニハ不自然ノ方向ニ馳セ或ハソノ不自然ナル方法ニ執着シテ離レ難キモノアリ、

之レニ攝食本能・運動本能・性慾本能・裝飾本能・向火本能・征服本能・等アリ。又コノ本能ニハ種々ノ病的症狀存ス。

攝食本能

攝食本能 Nahrungstrieb ノ病的症狀ニハ、増進・減退・及ビ倒錯アリ。増進ハ理由ナク食ヲ攝ルモノニシテ意志亢進ノ時ニ現ハレ故ナク食物ヲ求ム。

貪食症

(**貪食症** Hyperorexie)。之レニ或ハ一回ニ多食スル**多食症** Polyphagie ト回數ノ多キ**數食症** Bulimie トアリ。白癡・緊張病・躁病・

食慾減退

麻痺性癡呆等ノ興奮時ニ多シ。食慾ノ減退・**食慾缺乏症** Anorexie ハ身體の疾患ノトキニモアレド、精神病症狀トシテハめらんこりー・早發性癡呆・ひすてりー・等ニ來タル。甚ダシキハ全ク食慾ヲ失ヒ、食物ヲ本能的ニ拒ムニ至ル。

拒食症
畏食症

拒食症 Nahrungsverweigerung・**畏食症** Sitophobie ト云フ。早發性癡呆・殊ニ、緊張病ニ多シ。妄想・殊ニ、虛無妄想・被毒妄想・等ノタメ、又ハ自殺企圖ノタメナル拒食ハ之レト異ナルナリ。常人ノ食セザルモノ、例之、砂礫・石油・蛙・其ノ他ノ蟲類・等ヲ喰ベ、甚ダシキハ人糞ヲ食フモノモアリ。

喰糞症

(**喰糞症** Koprophagie)。癡呆ニ陥レル病者・躁病ノ甚ダシキ興奮・ひすてりー・等ニ來タル。普通妊娠時ニ來タル**異食症** Pica モ亦之レニ屬ス。

疼痛感情

ひすてりーノ或者ニアリテハ自家保存ノ爲メニ必要ナル疼痛感情ノ發動止ミ、時ニハ却ツテ自己ヲ毀損セントスル動作ヲ本能的ニ現ハスコトアリ。例之、不滿ノ餘リ、或ハ奇ヲ衒ヒ、又故更ニ人目ヲ惹カンガタメコレヲナシ、時ニハ本能的・無意識的ニ手ヲ嚙ミ、皮膚ヲ刺シ、釘・

自傷症

針・等ヲ嚙ミ下スコトアリ(自傷症 Selbstbeschädigung)。麻痺性癡呆ノ

興奮時ニハ指ヲ以テ己ノ眼球ヲ剔出シ又ハ陰囊ヲ裂クモノ屢アリ。

色慾異常 Geschlechtstrieb ノウチ(1) 減退症ノ甚シキハ**色慾缺乏症** Anaesthesia sexualis ト云フ。極端ノモノハ色慾ノ全ク起コラザルニ至ル。ひすてりー・變質・生來性精神發育制止・内分泌異常・殊ニ、腦下垂體・生殖腺異常・就中、**肥胖性生殖器發育不全性營養障礙** Dystrophia adiposogenitalis・**類宦官症** Eunuchoidismus・粘液水腫・莫比中毒・抑鬱狀態・等ニ來タル。

(2) **色慾亢進症** Hyperaesthesia sexualis ハ白癡・生來性變質・躁病・緊張病・老老性癡呆ノ興奮・腦黴毒・腦卒中後ノ腦實質疾患・慢性中酒及ビ内分泌異常・殊ニ、副腎・松果腺・生殖腺異常・又ハ、數多クノ内分泌腺機能障礙・等ニ現ハルモノニテ、ソノタメ手淫ヲ盛ニナシ、人目ヲ憚ラズ淫猥ナル言動ヲ發シ、時ニハ、ソノ代理症トシテ妄リニ粉黛ヲ施シ、容姿ヲ飾リ、秋波ヲ送り、艶書ヲ發シ、花柳界・社交界ニ繁ク出入スルモノナドアルナリ。

(3) 色慾倒錯ニハ(a)男子ニテ男子ヲ愛シ、女子ニテ女子ヲ愛スル**同性相親症** Homosexualität, Konträre Sexualempfindung ナルモノト、

(b) 性交ノ前、或ハ、ソノ折ニ、對手ニ殘忍ナル所業ヲナシテ色慾ヲ昂メ、或ハ、コレヲ補足スルモノアリ。コハ Marquis de Sade ノ行ヘル症狀ナルニヨリ**ざぢすむす** Sadismus・**能動性殘忍性色慾異常症** ノ名アリ。男子ナレバ女子ヲ鞭達シ、捻抓シ、或ハ、刺傷シテ淫樂ノ佐ケトナスモノ多シ。婦人ノ髻ヲ切り(Mädchenstecher)・或ハ鷄・犬・人ヲ殺傷シテ悦ビ(**淫樂性殺人症** Lustmörder)・屍體ノ血ヲ啜リ(Blutdurst)・人肉ヲ食ヒ(**喰人症** Anthropophagie)・墳墓ヲ發掘シテ屍體ヲ姦スル者(**屍姦** Leichenschändung) ナドモアリ。

(c) 之レニ反シ、自己ノ苦シメラルルコトヲ以テ快シトスルモノアリ。**被働性殘忍性色慾異常症**・**まぞひすむす** Masochismus ト名ヅク。文士 Sacher Masoch ノ己ノ體驗ヲ記セルニ初マル故ニソノ名アリ。同症者ハ異性ノモノヨリ踏マレ、咬マレ、打タレ、絞扼セラレ、不潔ナル

コトヲセラレテ喜ブモノナリ。まぞひすむすはざおすむすと合セ**残忍性色慾異常症** Algolagnie トモ云ハル。

(d) 色慾ヲ滿タスニ、對手ノ身體ノ一部・分泌液・又ハ、其ノ人ノ持テル物・或ハ其人ニ觸レタル物・例之、靴・手巾・下着・襦袢・毛髮・等ニ觸レテ快ク覺ユル者アリ、**對物品性色慾異常症・ふえちしすむす** Fetischismus ト云フ。著シキモノハ變質者ニアリ、殊ニ、ひすてりー・低能ニ多シ。

(e) 時ニ自己ノ陰部ヲ暴露スルモノアリ、**淫部暴露症** Exhibitionismus ト云フ。癲癇朦朧状態・緊張病・白癡ノ興奮時・等ニ多シ。

(f) 老耄性癡呆・中酒性精神病・低能ニハ、主トシテ幼弱ノ少女ヲ姦淫スルモノアリ。

獸姦症 (g) 時ニ獸畜ヲ姦スルモノモアリ (**獸姦症** Sodomie)。

第三節 意志發動力ノ障礙

意志發動力ノ障礙ニハ減退症ト亢進症トノ二種アリ。

甲 **意志發動力ノ減退症** Herabsetzung der Willensantriebe. 同症ヲ示ス人ハ元氣ナク、慾望モ希望モ無キ状態ニ陥リテソノ日ヲ送り、作業スル氣力モナキモノナリ。時ニハ、一旦努力スルモ忽チ飽キ、舊ノ茫乎・無氣力ナル状態ニ戻ルモノ多シ。一時的ノモノト永久的ノモノトアリ。深キ酩酊時・くろろふおるむ・抱水くろらーる・莫比・煙草・等ノ中毒ノ場合ニ現ハル。

酩酊・くろろふおるむノ中毒症・等ニ於テハ、ソノ他ニ、理解・思考モ共ニ侵サル。酒精・莫比ノ慢性中毒症ニテハ意志發動力ノ麻痺ト共ニ高尚ナル審美・博愛・等ノ感情ニ基ヅク高等ナル意志發動力モ減ジテ、只肉體感情ヨリ發スル劣等ノ意志感情ノミガ増進スルモノ多シ。

多クノ精神病、殊ニ、早發性癡呆ノ末期・遲鈍性白癡・麻痺性癡呆ノ末期・老耄性癡呆ノ末期ニ來タル。斯カルトキハ同患者ハ無精トナル、**無爲症** Unproduktiv, Abulie ノ稱アリ。

無爲症

乙 **意志發動力増進** Steigerung der Willensantriebe ノ場合ニハ多

クノ意志發動力シテ靜止スル能ハズ、之ヲ**精神運動興奮** Psychomotorische Erregung ト云フ。

斯カル人ノ行動ハ**不安** Unruhe・落チ着キナク、**多辯** Sprachsüchtig・不安饒舌 Gesprächigkeit・**濫書** Schreibseligkeit・**多業** Arbeitsüchtig・濫リニ人ヲ訪問・金錢浪費・**放歌** Singen・**舞蹈** Tanzen・**脫衣** Entkleiden・**物品破毀** Zerreißen・等ノ行動ニ出ヅ。

躁病・麻痺性癡呆・早發性癡呆・殊ニ、緊張病・癲癇・ひすてりー・古加乙混中毒・酒客譫妄・傳染病性譫妄・熱性譫妄・老耄性精神病・白癡・等、殆ンド凡テノ精神病又ハ變質者ニ現ハルル症狀ナリ。

各種ノ精神病ニ現ハル興奮状態ハ各病ニヨリ多少ノ固有點アリ。例之、1. 躁病ノ輕キ發揚ニテハ、興奮ト共ニ快感ヲ示シ、自家感觸亢進シ、作業ノ心迫強ク、一事ノ纏ラザルウチニ他ノ動作ニ移リ行キ、動作ノ變化繁シ。斯ク後ヨリ後ト迫ラレテ氣急ハシク働ク觀ヲ呈スルモノヲ**作業心迫** Tatendrang ト稱セラル。2. 緊張病ノ興奮ニテハ表情鈍ク、行動ノ目的不明ニシテ、何ヲナスヤノ理解ニ苦シムモノ多シ。尙ホ、之レニアリテハ運動ノ變化乏シク、且、同一ノ運動ヲ反復シ、外界ノ刺戟ニ無關係ナル運動多シ。而シテ、躁病者ノ發揚時ニ見ルガ如キ、各動作ノ目的ハ判然セス、目的不明ノ單純ナル運動性興奮・即チ、**運動心迫** Bewegungsdrang ノ稱アルモノ多キナリ。

譫妄 Delirium トハ不安・意識溷濁・妄覺・錯覺・等ヲ有スルモノナリ。譫妄

第四節 意志發揮性ノ障礙

凡ソ或意志ノ行爲トシテ現ハルルニハ、單ニ意志發動力・又ハ、意志ノ目的其レ自身ガソノママ現ハルルモノナラズ、其ノ發動力ニ對シテ桔槔的ニ働クトコロノ抵抗ノ存否ニ因リテ大差アリ。

甲 意志發動力ハ十分ニアリテモ、其レニ抵抗スル力ノ大ナレバ之レガ爲メ最初ノ意志ハ抑制セラレテ動作トナリ現ハレヌモノナリ。

精神内界ノ抵抗ハ常時ニ於テモ屢々アレド、殊ニ恐怖・氣後ナドノ時

精神運動ノ
制止

ニ多シ。病者ニハ其ノ度ノ烈シキモノアリ、精神運動ノ制止 Psychomotorische Hemmung ト云フ、躁鬱病ノ抑鬱状態ニ多シ。即チ斯カル人ノ動作ヲ見レバ、運動ハ甚ダ遅ク、乏シク、言語モ少ナク、話ニハ力ナク、應答甚ダ遅徐タルモノナリ。

其ノ甚ダシキモノニテハ、言語全く絶エ、無言トナリ、再三需メラレテ初メテ1-2ノ返辭ヲナスカ、又ハ、辛フジテ或運動ヲナスニ止マル。ソノ最モ強キモノハ全く答ヘズ、動作モ全然止ミ、顔貌茫然・外見上、無爲・何事ヲモナサントスルノ意志モナキニ至ルナリ。時ニハ、自ラ運動ヲモナサントシテモ、之レニ對スル抵抗ヲ自覺シ、ソノ考ヘノ行爲トシテ現ハレザルヲ陳ブルモノアリ。斯カル甚ダ強キ制止作用ヲ受ケ居ル状態ヲ昏迷 Stupor ト名ヅク、

昏迷

緊張病者ノ昏迷時ニ於テハ外見上、無爲・茫然・無言ニシテ、其ノ状恰カモ前記、抑鬱状ノ昏迷ニ似ルモ、ソノ人ノ精神内界ニハ制止ヲ感ゼズ、マタ其ノ無爲・茫然・無言タル間ニ、突然動機不明ノ激シキ運動ヲ發現スルコトアリ。即チソノ折ノ精神機轉ハ抑鬱状態ト異ナリ、常ニ制止ヲ受ケツツアルニアラズ、寧ロ或意志運動ノ發セントスルヤ、コレニ反抗スル桔槔的動機ノ現ハレ、初メノ意志發動ハコレニヨリ妨ゲラレ牽制セラルモノノ如シ。サレバ其ノ桔槔的動機ノ去ルヤ、初メノ意志ガ驀然トシテ迸リ出テ、時ニハ却ツテ烈シキ行動トシテ現ハルモノナリ。コレヲ意志ノ阻礙 Willenssperrung ト名ヅク、

意志ノ阻礙

乙 意志發動ノ輕易トナルトキニハ、外界ノ刺戟ニ應ジ又ハ自己ノ心ニ浮ベル動機ガ何ノ遠慮モナク直チニ行動トナリテ現ハルモノナリ。幼年・小兒ノ行爲ハ概シテコノ種ニ屬ス。男子ニ比シ女子ノ行動ニモ此ノ種意志發揮性ノ亢進セルモノ多シ。

病者ニテハ種々ノ精神病ノ興奮状態・就中、躁病・緊張病・麻痺性癡呆・酒精中毒ノ時・又、ひすてり一性ノ疾病ニアリ。

第五節 意志被影響性ノ障礙

吾人ノ有意的行爲ガ現ハルルニ際シテハ、普通、其ノ意志ノ理由・即チ意志ノ目的タル動機 Motiv ト、ソノ反對動機 Gegenmotiv トアリ。而モ、ソノ上ニ、更ニ、ソノ動作ヲ爲スベキヤ否ヤノ取捨ヲ定ムベキ働キモ存スルナリ、

而シテ、ソノ取捨ヲ定ムベキ作用ニヨリテ、ソノ行動ハ實現セラレ又ハ實現セラレザルモノトス。若シソノ取捨ナク、外來ノ刺戟ニ應ジテソノ運動ノ容易ニ現ハルトキハ意志被影響性ノ亢進症 Erhöhte Beeinflussbarkeit des Willens ト云ヒ、其ノ反對ノトキヲ意志被影響性減退症 Verminderte Beeinflussbarkeit des Willens ト名ヅク。

甲 意志被影響性ノ亢進症ハ、普通、小兒・輕舉者ニ來タリ、殊ニ、理非ノ辨別乏シキトキニ多シ。ソレ等ノトキニハ外界ノ刺戟ニ對スル十分ノ辨別・撰擇ヲ缺キ、外界ノ刺戟ニ應ジテ、輕舉ソノ行動ヲ發スルモノナリ。病者ニテハ意志ノ弱キトキ・意志發揮性ノ輕易ナルトキ及ビ病的本能ノ際ナドニ多キモノトス。

I 意志ノ頗ル薄弱ニシテ被影響性ノ強キトキニハ、確固タル考ヘナクシテ、只外界ノ刺戟ニ應ジテノミ行動スルモノナリ。之レニハ又色々ノ場合アリ。

(1) 若シ、ソノ人ノ行動ガ他人ノ意志ニ全く左右セラルルモノナラバコレニ病的意志被定症 Krankhafte Willensbestimmbarkeit ノ名

病的意志被
定症

アリ。麻痺性癡呆・殊ニ、ソノ末期ニ多ク認メラル。 (2) 似タルモノニテ一時性ノモノハ催眠術 Hypnose ニ罹レルト

催眠術

キニ現ハルコトアリ。而シテコノ催眠術ニヨリ他人ノ意志ニ從ヒテ行動スル状態ハ單ニ其ノ術ニ罹レル間ノミナラズ、催眠状態ヨリ覺メタル後ニモ認メラルコトアリ。後催眠性推感又ハ後催眠性暗示 Posthypnotische Suggestion ト云フ。

後催眠性推
感

(3) 病的意志薄弱ナル人ニハ何等ノ自己ニハ意志ナキ状態ニ陥リ

他人ノ爲スガマトナリ。タメニ他人ガソノ手・又ハ足ヲ動かストキハ、コレニ對シ何等ノ抵抗ヲ與ヘズ、之ニ從ヒテ其ノ手・或ハ足ヲアゲ其ノ放サレテ後モ、久シクソノ手・又ハ足ヲ與ヘラレタル位置ノ儘トナシ、**強硬症** かたれぶしー **カ** カ **た** た **れ** れ **ぶ** ぶ **しー** しー **Ka-** Ka- **ta-** ta- **lepsie** lepsie ノ名アリ。又ソノ狀恰モ蠟ノ如ク容易ニ撓メラレ、同一ノ位置ヲ保ツガ故ニ**蠟屈症** トモ **Wächserne Biegsamkeit, Flexibilitas cerea** トモ **トモ** トモ **云ハル。**

(4) 被影響ノ亢進シ他人ノ意志ニノミ從ヒテ動作スル症狀中、何ノ考ヘナク他人ノ舉動ヲ眞似ル症狀アリ。**模倣自動** 模倣自動 **Nachahmungsauto-** Nachahmungsauto- **matie** matie 又ハ**反響舉動** 反響舉動 **Echopraxie, Echokinesie** Echopraxie, Echokinesie ト云フ。コレニハ又他人ノ言語ヲ眞似ル場合(**反響言語** 反響言語 **Echolalie**)・他人ノ顔貌ヲ眞似スル場合(**反響面貌** 反響面貌 **Echomimie**)・他人ヨリ或動作ヲナスベク命ゼラルル時、ソノ命ノ如ク何ノ考ヘナク運動スル症狀、**從命運動**・又ハ**命令自動** 從命運動 **Befehls-** Befehls- **automatie** automatie 等アリ。斯カルコトハひすてりー・癲癇・躁鬱病・麻痺性癡呆・酒精中毒・外傷性腦膿瘍・卒中後精神異常・腦水腫・等ニモ來タレドモ、最モ著明ナルハ早發性癡呆・殊ニ緊張病ニ多シ。

II 意志發揮性ノ輕易トナル爲メ、意志被影響性ノ病的ニ亢進セルモノニハ、又外來ノ刺戟來タラバソノ何タルヲ考フル暇ナク、直グ之レニ從ヒテ行動スルモノアリ。**意志ノ轉導性** 意志ノ轉導性 **Ablenkbarkeit des Wil-** Ablenkbarkeit des Wil- **lens** lens ト云フ。

コノ際ニハ、前者ノ如キ意志薄弱ニ基ツク被影響性亢進トハ異ナリ、己ノ精神内界ヨリ之レニ應ゼムトスル能働的要素ノ存スル狀アリ。

斯カル患者ハ些細ノ事ニモ意志ノ働キ、甚ダシキモノハ頗ル輕微ナル事ヲモ放任スル能ハザルニ至ルモノナリ。斯クテ同症患者ハ又種々ノ行爲ヲナスモノトス、**不息性** 不息性 **Unstetigkeit** Unstetigkeit ノ名アリ。

一時性ノモノハ躁病又ハ譫妄狀態ノ時ニ認メラレ、持續的ノモノハひすてりー又ハ之レニ類スル病的人格者ニアリ。

乙 意志影響性ノ減退症 乙 意志影響性ノ減退症 **Verminderte Beeinflussbarkeit des Wil-**

lens lens **ヲ示** ヲ示 **スト** スト **キニハ、** キニハ、 **ソノ患者ハ外來ノ刺戟ニ對シテ應ゼムトハセズ、** ソノ患者ハ外來ノ刺戟ニ對シテ應ゼムトハセズ、 **寧ロ、理由ナク、コレニ反抗スルノ風アリ、即チ斯カル患者ノ手ヲ執リ** 寧ロ、理由ナク、コレニ反抗スルノ風アリ、即チ斯カル患者ノ手ヲ執リ **テ引キ上ゲントスレバ、故意ナラズトモ、本能的ニ之レニ抵抗シ、時ニ** テ引キ上ゲントスレバ、故意ナラズトモ、本能的ニ之レニ抵抗シ、時ニ **ハ却ツテソノ手ヲ縮ムルモノサヘアルナリ(拒絶症** ハ却ツテソノ手ヲ縮ムルモノサヘアルナリ(拒絶症 **Negativismus).** Negativismus). **拒絶症** 拒絶症

拒絶症ノ言語ニ現ハル時ニハ、他人ガ問ヲ發スレバ答ヘズ(**緘黙症** 緘黙症 **Mutazismus**)・又ハ知ルトコロアリテモ知ラザルガ如クニ云ヒ、或ハ問意ニ適當セザルヤウニ話スモノナリ(**當意即答症** 當意即答症 **Vorbeireden.**)。尙ホ大小ノ便意ヲ催ス時ハ便所ニ行カズ、便所ニ伴ハレザルトキ却ツテ其處ニ放尿・放糞スルコトアリ。又ソノ席ヲ去ラシメムトスレバ去ラズ、居ラシメントスレバ却ツテ去ルガ如キ行動ヲナス。コレト同ジク服藥・更衣・診察・凡テ他人ノ命令ハ無意味ニ拒ミ、其ノ命ゼル人ノ去ルトキニコレヲ行フコトサヘアリ。

斯カル拒絶症ハ緊張病ニ最モ多ク現ハルルモ、又、麻痺性癡呆・老耄性精神病・其他ノ病ニモ似タル症狀ノ一時的ニ來タルコトアリ。

之レト酷似シ、而カモソノ機制ニ差アルモノハ、苦悶性患者ノ反抗症ナリ、即チ、コレニアリテハ動機ナキ衝動性反抗ニハアラズシテ、寧ロ、或種ノ感情・意志ニ基ツク反抗ナリトス。

一般ニ**頑固** 一般ニ頑固 **Eigensinn** Eigensinn ト稱スルモノハ、意志被影響性ノ減退ニヨル**頑固** 頑固 **症狀** 頑固 **ニシテ、ソノ著シキモノハ病者・殊ニ、癡愚者・癲癇者・ひすてりー・麻痺性癡呆・老耄性精神病者・等ニ來タリ、外見上、拒絶症ニ似ルモ、ソノ實コレニアリテハ何等カノ理由アリテ強情ヲ張ルモノナリ。**

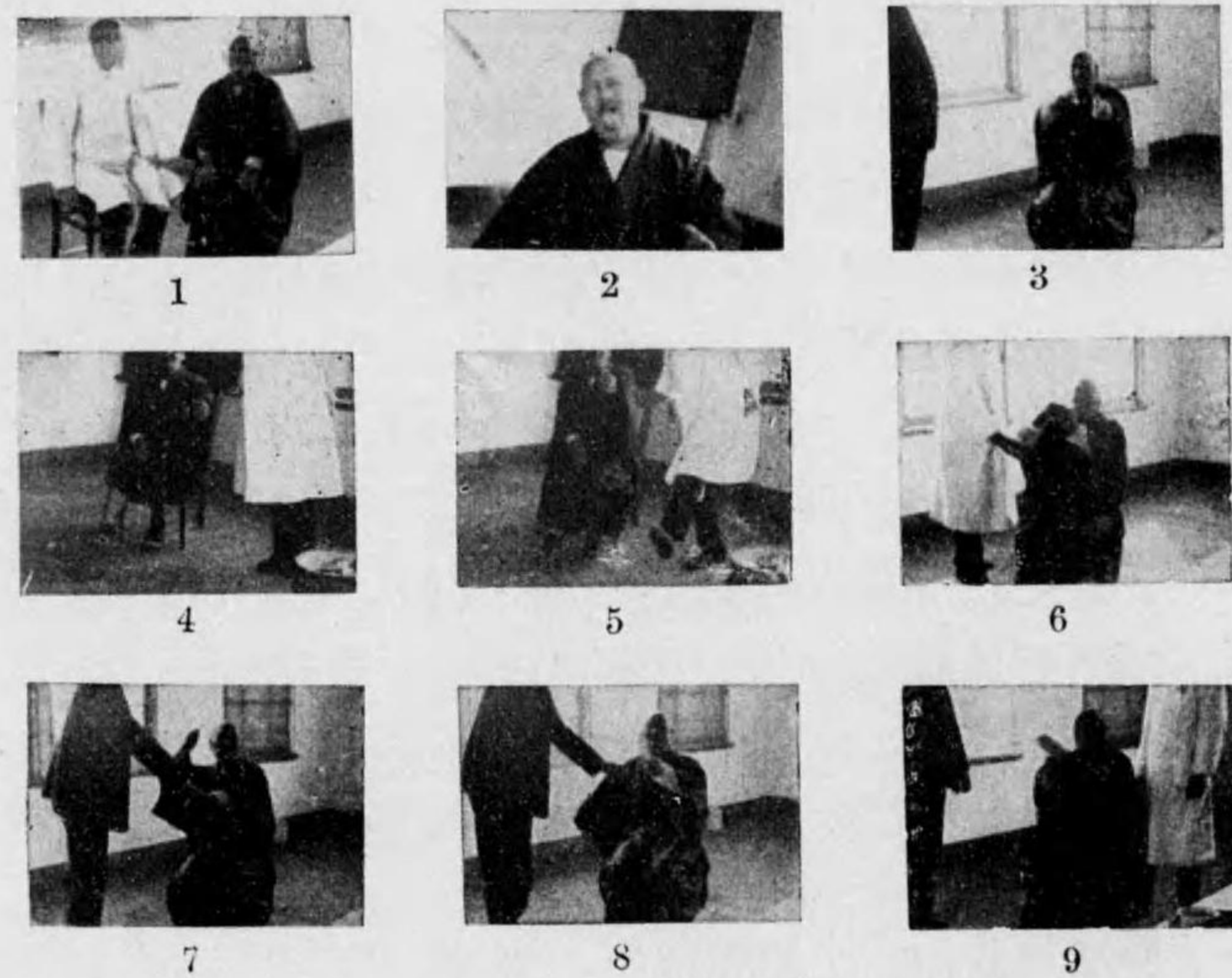
妄想病者ノ抱ク妄想ニ對スル反省性ニモ恐ラク此ノ中ニ教ヘ込まルベキ症狀ニ原因スル事アリト思ハルナリ。

第六節 隨意的行爲ノ過程ニ於ケル障礙

吾人ノ行爲ハ、平素ソノ目的・即チ意志ニ叶フヤウノ運動ヲナスモノナリ。然カルニ或病者ニアリテハソノ筋肉ノ麻痺ハ無キモ、ソノ目的ニ叶フヤウノ運動ヲ爲ス能ハヌモノアリ。コレヲ**行爲倒錯症**・**あぶら** 行爲倒錯症

きしー Apraxie ト云フ。即チ麻痺ニアラズシテ、只意志ニ叶フ様ノ運動ヲナス能ハヌ症候ナリ。

リープマン Liepmann ハコレニ 觀念性行爲倒錯症 Ideatorische Apraxie・運動性行爲倒錯症 Motorische Apraxie oder Parapraxieヲ大別シ、前者ハ不注意ノ場合・腦動脈硬化症・老老性癡呆・麻痺性癡呆・緊



第1圖 行爲倒錯症ノ圖

第1圖ハあぶらきしーノ例ニシテ、1ハ口ヲ尖ラス運動、2ハ舌ヲ丸ム運動、3ハ左手ニテハ握ル運動ノ不能、4ハ右下肢ヲ曲グル運動ノ可能、5ハ左下肢ヲ曲グル運動ノ不能、6ハ右手ニテハ揚子ヲ持チ口内ヲ掃除スル 動作ノ不能、7ハ右手ニテハ櫛ヲ持チ頭髮ヲ梳ル動作ノ可能、8ハ同動作ノ 左手ニテ行フコトノ不能、9ハ鋏ニテ袋ヲ切ルコトヲ命ゼル際ソノ動作意ノ如クナラヌコトヲ示ス。但シソノ際同人ノ左右兩肢ニハ麻痺殆ンド無キモノナリ。

張病・等ノトキニ來タリ、ソノトキニハ意志ト異ナル他ノ動作ヲナス。後者ハ部分的行動既ニ異ナリ、時ニハ、運動配列ノ順序ガ元來ノ意志ト異ナリ、或ハ元來ノ意志運動ガ中途ニテ止マリ、又ハ他ノ運動ニ化スルモノナドアリ。主トシテ動脈硬化症・微毒性腦疾患・又ハ麻痺性癡呆

者・等ノ際ニ竈症狀トシテ來タルモノトス。

本症ニハ尙ホ多クノ異説アリ、例之、コレヲ Asymbolie ト云ヒ、又ハリープマンノ上記あぶらきしーニ觀念性・運動性ノ別アルコトヲ否認シテ同種ノモノト説ク人アリ。又、あぶらきしーニハ尙ホ多クノ小型ヲ別ツ人モアリ。尙ホ又あぐのじート同ジト説ク人モアリトス。

本症ヲ來タス病竈ニハ多クノ部位アルモ、顛頂葉・前頭葉・又ハ胼胝體ノ病竈ヨリ來タルモノ多シ。又失語症・あぐのじー・半身不隨・半盲症・等ヲ伴ヒ、一時的タルコト多シトス。

第七節 ひねくれたる行爲, 戾乖症 Verschrobenheit 及び常同症 Stereotypie

吾人ノ運動ハ節約ノ原則ニ從ヒ、或運動ノ 目的ヲ達スル上ニ最モ便宜ニシテ、且、時間ト距離トヲ最モ節約シ、短縮セラレタル行動ヲナスモノナリ。然ルニ病者ノ行動中ニハ、故ラ無用ナル不便ノ動作ヲナスコトアリ。ソハ最初ノ動機以外ニ副的動機ノ混ジ來タル爲トス。斯カルモノヲ飾ラレタル行爲・又ハひねくれたる行爲・或ハ、戾乖症 Verschrobenheit ト云フ。又、斯カル行爲ハソノ行動ガ故ラニ奇ヲ街フガ如キ感ヲ與フルニヨリ 街奇症狀 Maniriertheit トモ稱セラル。同症ハ言語・攝食・歩行・等ノ諸行爲ニ於テモ認メラレ、コレニ街奇的言語 Sprechmanieren・街奇的攝食 Essmanieren・街奇的歩行 Gehmanieren・街奇的挨拶 Grussmanieren・等ノ名アリ。

ひねくれたる行爲 戾乖症
街奇症狀

意志ノ阻礙ハ此ノひねくれたる行爲ノ一トモ考フベシ、拒絶症モ亦ソノ一種ナリ、殊ニソハ初發動機ト正反對ナル動機ノ現ハレタル場合ト解セラルナリ。

又意志ニハ一旦其ノ 目的ヲ達セバ、ソノ後ハ、ソノ動機ガ終息シテ他ノ意志運動ニ移リ變ルモノナリ。然カルニ病的ノ場合・等ニハ其ノ後チモ必要モナク同一ノ意志ガ動キ、同ジ事ヲ何回トナク繰返スコトアリ、コレヲ常同症 Stereotypie ト云フ。同症狀ハ顔貌ニハ勿論、姿勢・

常同症

運動・動作ニモ現ハルコトアリ，ソノタメニ，同一状態ヲ續ケ，例之，立テルモノハ立ちタルママ，數時間モ立ち續テ，座セルモノハ座セルママ數時間モ座シ，又，動ケルモノハ何回トナク同一ノ運動ヲ繰返スモノアリ（同一運動ノ反復症 *Bewegungsstereotypie*）。同症ノ最モ著シキハ緊張病ナルモ，ソノ他ノ病ノトキニモ來タルコト往々アリ。

同一運動ノ反復症

早發性癡呆・白癡者ニテハ意志ナク，只，無意味ニ體ヲ揺リ動カシ，

律動的運動 コレヲ反復スルコトアリ（律動的運動 *Rhythmische Bewegungen*）。

第八節 強迫行爲

自ラ或行動ノ病的ナルヲ知り，コレヲ制セントシテモ制スル能ハズ，又時ニハ，却ツテ自己ノ意志ニ反シテモ，ソノ行動ヲ爲サザレバ

強迫行爲

止マヌモノアリ。コレヲ強迫行爲 *Zwangshandlungen* ト云フ。

常人ニテモ斷崖絶壁ノ上ニ立ツ時ニハ自己又ハ其同伴者ヲソノ崖ヨリ下ニ墜落セムカトノ考生ジ，又ハ公會ノ席ニテ何等無禮ノ言ヲ發センカトノ心浮ブコトアリ。サレド常人ニハ，斯カル事ハ直チニ打消サレ抑制セラレテ實行トハナラヌモノナリ。然ルニ病者ニテハ，斯カル思想ヲ不良ナリト知リツツモ抑フル能ハズシテ，實行トナリ，尙ホ，數回コレヲ反復スルモノサヘアルナリ。コレヲ最モ著明ニ現ハスモノハ強迫觀念症 *Zwangsneurose* ナル特殊ノ病ナルモ，他ニ全身ちつく症 *Tic général* ナル病ニモアリ，コレニテアリテハ殊更，野卑・汚ハシキ言葉ヲ口外シ，止メムトシテモ止マヌコト多シ（糞言症 *Koprolalie*）。

又，強迫觀念乃至恐怖症ノ爲メニ，或行動ヲナスコトノ危険ヲ感じ，何モ爲スコト能ハザルニ至ルモノアリ，甚ダシキハソノタメ全運動全

強迫的制止 ク止ムニ至ル。強迫的制止 *Zwangshemmung* ト云フ。

第九節 表出運動ノ障礙

表出運動

精神内容ヲ外界ニ現ハス運動ヲ表出運動 *Ausdrucksbewegung* ト云フ。コレニハ顔貌・姿勢・擬容・動作・進ムデハ言語・文字・文章・詩歌・繪

畫・音樂・等ニ至ルマデノモノアリ。

甲 顔貌 *Gesichtsausdruck*・及ビ姿態 *Benahmen*。

顔面・上下肢及ビ軀幹ノ筋肉ハ意志運動ヲナスノ外，感動ヲ現ハス表情運動ヲモ行ヒウルモノナリ。精神病者ニハコノ表情運動ニモ特異ナル症狀甚ダ多シ。

I 抑鬱状態ノトキニハ全表情乏シク，擬容少ナク，首ハ前下方ニ垂レ，眼裂ハ細ク，上眼瞼ハ下垂シ，目視ハ固定シ，兩眼ノ軸ハ平行ス。眼球ハ潤ミ，時ニ光澤ヲ失ヒ，涕ナシ。眉ノ外部ハ下方ニ向キ，内部ハ上方ニ向キ，鼻根ニハ縦走セル皺襞ヲ湛ヘ，前額ニハ横走ノ皺襞ヲ示ス。下額ハ稍ヤ下垂シテ，口角ハ輕ク側下方ニ牽カル。言葉ハ徐々ニシテ，且音聲低ク，力ナシ。全身ノ筋肉ハ弛緩シ，手ハ下ニ垂レ，運動ハ一般ニ減少シテ，勇氣乏シキヲ例トス。

II 苦悶ノ加ハルトキニハ，眼瞼ハ開大シ，眼球ハ突出シ，前額ニ横走ノ皺襞ヲ現ハシ，鼻根ニハ縦走ノ皺襞ヲ作ル。口角ハ下方ニ牽カレ，齒ヲ嚙ミ締メ，頭ハ後方ニ反リ，鼻孔ハ開キ，呼吸促迫ノ狀ヲ示シテ不規則トナル。時ニハ深クシテ且大ナル呼吸ヲ交ユ。上體ハ振動シ，上肢ハ或ハ屈曲シテカヲ込メ。下腹ハ凹陷シテ，全身ノ筋肉ニハ緊張セルノ狀アリ。ソノ度進ミテハ興奮シ（苦悶性興奮 *Aengstliche Erregung*），又ハ動作全ク止ミテ，無言・不動ノ姿勢ヲトルモノアリ 苦悶性制止 *Aengstliche Hemmung* ト云フ。

III 昏迷，殊ニ緊張病性昏迷ノ時ニハ，空漠タル顔貌ヲ呈シテ假面狀トナリ（*Maskenartig*），又ハ顔ヲ歪メ（顰蹙 *Gesichtsschneiden*，



顔貌 姿勢

抑鬱

第2圖 抑鬱状態ノ憂愁悲哀ノ表情



苦悶ノ表情

緊張病性昏迷

第3圖 顰眉・作嘴痙攣

空笑

Grimassieren), 時々無意味ノ空笑 Leeres Lachenヲ洩ラシ, 顔面ノ筋肉ハ緊張セルガ如ク, 皺襞ハ減ジ, 表情運動ハ甚ダ乏シクナル. 目視ハ概ネ固定シテ, 往々口ヲ尖ラセ(作嘴痙攣 Schnauzkrampf), 又ハ口ヲ曲グ.

作嘴痙攣



第4圖 緊張症者ノ口ヲ曲グル圖

四肢軀幹ニハ蠟屈症・又, かたれぶしーヲ示スモノアリ. 動作ハ剛ク, 非弾力性ニシテ, 圓滑 Grazieナラズ. 時ニハ拒絶的トナリテ他動的運動ニモ抵抗ヲ現ハス事アリ. 尙ホ又動機不明ニ

抑鬱性昏迷

突然暴行シ, 意味ナク人ヲ打チ, 或ハ器物ヲ破壊スル事アリ(衝動行爲). 同ジク昏迷ノ狀ニテモ抑鬱狀態ノソレニテハ, 思考及ビ意思運動ハ凡テ止マリ, 感情モ發露セズ. 無爲茫然・殆ンド緊張病者ノ昏迷ニ似ル. 時ニハ拒絶症・尙奇症狀・作嘴痙攣・顛眉・等ニ似ル症狀ヲ示ス. サレド, ソレ等ハ凡テ苦悶・恐怖ノタメニ來タル症狀ニシテ緊張病ノ示ス動機不明ノ症狀ニハアラザルナリ.

爽快

IV 爽快ノ時ハ顔面滑ラカニシテ皺襞ナク, 眼瞼ノ外側ハ下方ニ牽カレ, 外眥ヨリ下外方ニ向フ數條ノ皺襞ヲ現ハス. 口角ハ外上方ニ向キ, 殊ニ上唇ハ上方ニ牽カレテ, 前齒ヲ表ハス. 頬ハ膨レ, 鼻唇溝・殊ニ, 其ノ上部ハ深クナリ, 茲ニ, 笑顔ヲ示スモノナリ. 若シ之レニ



第5圖 爽快ノ笑顔

横隔膜ノ間代性痙攣ヲ加フルトキニハ眞ノ笑ヒトナルモノトス. 又一般ニ, 姿勢ノ變化多ク, 運動容易ク變ジ, 而モ, 動作活潑・運動性不安ノ狀ヲ示スモノナリ.

憤怒

V 憤怒ノ時ハ顔面蒼白・又ハ潮紅シ, 全身ノ筋肉ハ緊張シ, 齒列ハ固ク喰ヒ締メラレ, 前額ニハ縦走ノ溝ヲ示シ, 四肢ニハ力ヲ込ム. 多クハ姿勢輕ク前屈スルモ須臾ニシテ全身ノ筋肉一時ニ爆發シテ烈シキ憤怒ノ表

情ヲ呈スルモノナリ.

VI 愁傷落膽 Niedergeschlagenノトキハ元氣銷沈・力ナク, 需メラレタル運動ニモ應ズルコト少ナク, 好シデ室隅ニ蹲マリ, 臥牀シ, 人ヲ避クルノ風アリ.

愁傷落膽

VII 麻痺性癡呆ノ末期ニアリテハ, 顔筋弛緩シ, 苦勞ノナキ樂天的好機嫌ノ風ヲ示ス. 殊ニ口角ハ一方ニ偏シテ, 顔面左右不等症 Asymmetrieヲ呈シ, 鼻唇溝ハ一側ニ深キモノアリ. 尙ホ舌・唇・頬筋・等ニハ纖維性搖擗ヲ示スコト多シトス.

顔面左右不等症

VIII 腦微毒・腦動脈硬化症・殊ニ. 卒中發作後ノ人ニハ僅ノ事ニ泣キ又ハ笑ヒ, ソノ運動強迫的ナルコト多シ(Zwangslachen resp.-weinen). マタ, 心ニ喜ビテモ外面ニ泣ク如キ顔貌倒錯アリ或ハソノ反對ニ心ニ悲ミテ顔貌ニ笑ヒヲ呈スルコトアリ(表情倒錯症 Paramimie.). 同様ノコトハひすてりーニモアリ. 又, ひすてりーニハ感情ニ激シテ痙攣性ニ泣キ又ハ笑顔ヲ示スコトモアリトス.

表情倒錯症

IX 精神ノ衰弱強クシテ, 癡呆ニ陥レルモノニアリテハ, 顔貌何トナク空漠トナリ, 緊張味ヲ缺キ, 興味失セ, 嗜好・慾望全ク無キ表情ヲ示スモノナリ. 癡呆性表情 Dementer Ausdruckト云フ. ソノ間ニ内容不明ノ低聲・獨語・空笑ヲ呈スルモノ亦多シ.

癡呆性表情

X 妄想又ハ幻覺アル患者ハ, ソレニ應ゼル種々ノ顔貌ヲ示スモノナリ. 即チ或ハ憂愁・喜悅又ハ傲然タル風アリ. 又一方ヲ凝視シ, 或ハ耳ヲ聳テ, 獨リニテ對話シ又ハ應答スル狀ヲ示シ, 或ハ物ヲ打チ拂ヒ, 後方ヲ振り向キ, 狐疑スルノ狀・乃至ハ故ナク泣キ, 怒リ, 時ニ罪アリトテ平身低頭謝罪スルモノサヘアリ(第6圖參照).



第6圖 罪障妄想ノ爲メニ謝罪ノ狀ヲナス圖

言語障礙

乙 言語障礙 Sprachstörungen.

コレニハ I. 言語運動ノ障礙トシテ構

音ノ障礙 Artikulationsstörungen oder Dyslalie, II. 言語觀念ノ障礙 Dysphasia 即チ失語症 Aphasia, 及ビ III. 話法ノ障礙 Dysphrasie トノ別アリ.

構音不能症 I. 言語運動ノ障礙ニハ一音ヲモ發スルコト能ハザル **構音不能症** Alalie ト, 或音ヲ正シク發音スル事ノ出來ズ又ハ或音ハ正シク發音シ得ルモ, 多クノ音ヲ聯ネテ話ストキ正シキ發音トハナラヌモノトアリ.

構音不正症 後者ハ**構音不正症** Paralalie 又ハ狹義ノ**構音障礙** Artikulationsstörung トス. コレニ多クノ種類アリ.

(1) 其ノ中ノ一音ヲ數回繰返シ, 或ハ前後シ又ハ脱漏スルモノヲ **言語蹉跎症** Silbenstolpern ト云フ. 例ヘバ「らりるれろ」ト云フ時ニ「らりるれろ」又ハ「らるるりれれろ」ト發音スル如キ之レナリ.

(2) 一語ヲ發スル際其ノ最後ノ一音ヲ何回トナク繰返スモノアリ, **言語間代症** Logoklonie ト云フ. 例ヘバ「ゆき」ト云フニ「ゆきききき……」ト云フガ如キモノアリ.

(3) 發音ノ不明瞭ニシテ舌ノ粘バル如キモノアリ **膩滑言語** Fette Sprache 又ハ Schmierende Sprache ト云フ酩酊者ノ言葉ノ如シ.

(4) 小兒ノ嬌エタル如キモノヲ **陶語** Lallen ト云フ 俗ニ「舌たらず」ノ言葉ト云ヘルモノナリ.

(5) 一音一音ノ間隔甚ダ延ビタルヲ **隔語** 或ハ **斷裂性言葉** Skandierende Sprache ト云フ.

(6) 發語ノ初メ發音ノ頗ル澁滯スルヲ **粘着語** Häsitieren ト云フ.

(7) 他ニ震ヘ聲ナル **振顫言語** Zitternde Sprache アリ.

(8) 或ハ 1-2 ノ音ガ不明又ハ不能ニシテ, 其ノ代リニ, 他ノ容易ナル音ヲ以テ代ユル **發音不明症** Stammeln アリ. 例ヘバ「あさくさ」ト云フトコロニ「あちゃくちや」ト云ヒ, 「らんぶ」ト云フベキヲ「だんぶ」ト云ヒ代ユル如キモノ之レナリ.

ウチ「ら」行音ノ發音不能ナル **ら行發音不能症** Lambdazismus, Rhotazismus. ソノ不明瞭ナル **ら行發音變態症** Paralambdazismus, Pararhotazismus. 其ノ他

同ジク **が行發音不能症** Gammazismus. **さ行發音不能症** Sigmatismus. **た行發音不能症** Thetazismus. **か行發音變態症** Paragammazismus. **さ行發音變態症** Parasigmatismus. **た行發音變態症** Parathetazismus. 等アリ.

發育不良・中毒(酒精中毒)・腦脊髓疾患・殊ニ麻痺性癡呆・腦黴毒・多發性腦脊髓硬化症・アルツハマイル病・等ニ來タル. 殊ニ, 白癡・癡愚者・等ニハ多キモノナリ. サレドコノ發音不良症ニハ病ニヨリテ各固有ノ點アリ. 就中, 多發性硬化症ニハ隔語多ク, 麻痺性癡呆ニハ言語蹉跎症多キガ如シ.

官能性ノ構音障礙ニハひすてりー・不良習慣ニ基ヅク發音不良症・**吃訥** Stottern アリ. 後者ハ官能性神經症ノ一種ト見做サレ, 聲帶・呼吸筋・竝ニ橫隔膜及ビ唇・舌・口蓋・等ノ筋肉不隨意ニ痙攣スルモノトス.

II. 言語觀念構成ノ障礙ニハ**失語症** Aphasia アリ. 失語症

失語症ノ病型ニハ種々アリト雖モ, 其ノ基本症狀ハ,

(a) **運動性失語症** Motorische Aphasia トテ, 發音ハナシ得ルモ, 之レヲ言葉トシテ言ヒ現ハスコトノ不能ナルモノト, 運動性失語症

(b) **感覺性失語症** Sensorielle Aphasia トテ, 自ラ言葉ヲ言ヒ得又他人ノ言葉ハヨク聽キ得ルモ, 其ノ言葉ノ意味ヲ理解スルコト能ハヌモノトノ二種アリ. 他ニ. 感覺性失語症

(c) **言語倒錯症** Paraphasia トテ言語ヲ言ヒ誤ルモノアリ. 後者ハ運動性言語中樞ト感覺性言語中樞トノ間ノ傳導經路ニ障礙アルタメニ來タル症狀ト解セラレ, **傳導性失語症** Leitungsaplasie ノ別名モアリ. 傳導性失語症

但シ失語症ノ實際ニハ, 此等ノ基本症狀ガ, 只ソノママニテ現ハルモノナラズシテ他ノ種々ノ症狀ガ混ジテ現ハルモノナリ.

若シ要素的症狀ノミガ現ハルコトアレバ, **純・又ハ皮質下運動性失語症** Reine Wortstummheit od. Subkortikale motorische Aphasia, 或ハ**皮質下・又ハ純感覺性失語症** Subkortikale sensorielle Aphasia, Reine Worttaubheit ト云フ. 之等ハ共ニ稀有ノ症型ナリ. 純又ハ皮質下運動性失語症
皮質下又ハ純感覺性失語症

失語症ノ多クハ, 寧ロ, 模倣言語・書字・讀書・等ノ障礙ヲモ伴ヒ, **皮質性又ブローカ運動性失語症** Kortikale od. Brocasche motorische Apha-

ウエルニツ
ク感覺性失
語症

saie, 皮質性・又ウエルニ

ツク感覺性失語症 Kortikale oder Wernickesche

sensorielle Aphasie ノ稱

アルモノナリ。而シテソ

ノ皮質運動性失語症ノ

トキニハ言語倒錯・模倣

言語不良・隨意言語ノ不

良ニシテ話シウル數モ少ナキカ又ハ全ク無ク、皮質感覺性失語症ノト

キニハ他人又ハ自己ノ言葉ノ理解惡シク、且言語保續症・語漏症ナドヲ

伴フモノトス。

尙ホ後者ノトキニハ、健忘性失語症 Amnestische Aphasie トテ他人

ヨリ或物ヲ指サレソノ名ヲ問ハルレバ之ヲ思出サズ、他人ヨリ云ハル

レバ直グソノ言葉ヲ思ヒ出シウル症狀ヲ伴フコト多シトス。

又、皮質性失語症ノトキニハコレニ伴ハレテ讀書・書字ノ障礙ノ現ハ

ルコト普通ナリ。サレド時ニハソノ獨立シテ現ハルコトモアリ、純讀書

不能症 Reine Alexie, 純書字不能症 Reine Agraphie ト云フ。讀書不能

症ノトキニハ假名文字ハ讀メザルモ漢字ハ讀ミ得ルコト普通ナリ、尙

ホ假名文字ハ讀メザルモ符徴・記號・數字ハ理解セラルコトモ通例トス

失語症ハ病竈ノ大ナルトキ、殊ニソノ初期ニハ感覺性失語症・運動

性失語症・書字不能症・讀書不能症・凡テアリ、全失語症 Total Aphasie

ト云フ。後チ此等ノ症狀ハ漸次消ユルヲ例トス。

III. 話法ノ障礙トハ發音ノ異常ニアラズシテ、其ノ話シ方ノ遲速・

音調ノ高低・内容ノ異常ナドヲ謂フナリ。

A. ソノ中ノ話シノ時間 Tempo der Redeweise ノ障礙ニハ異常ニ

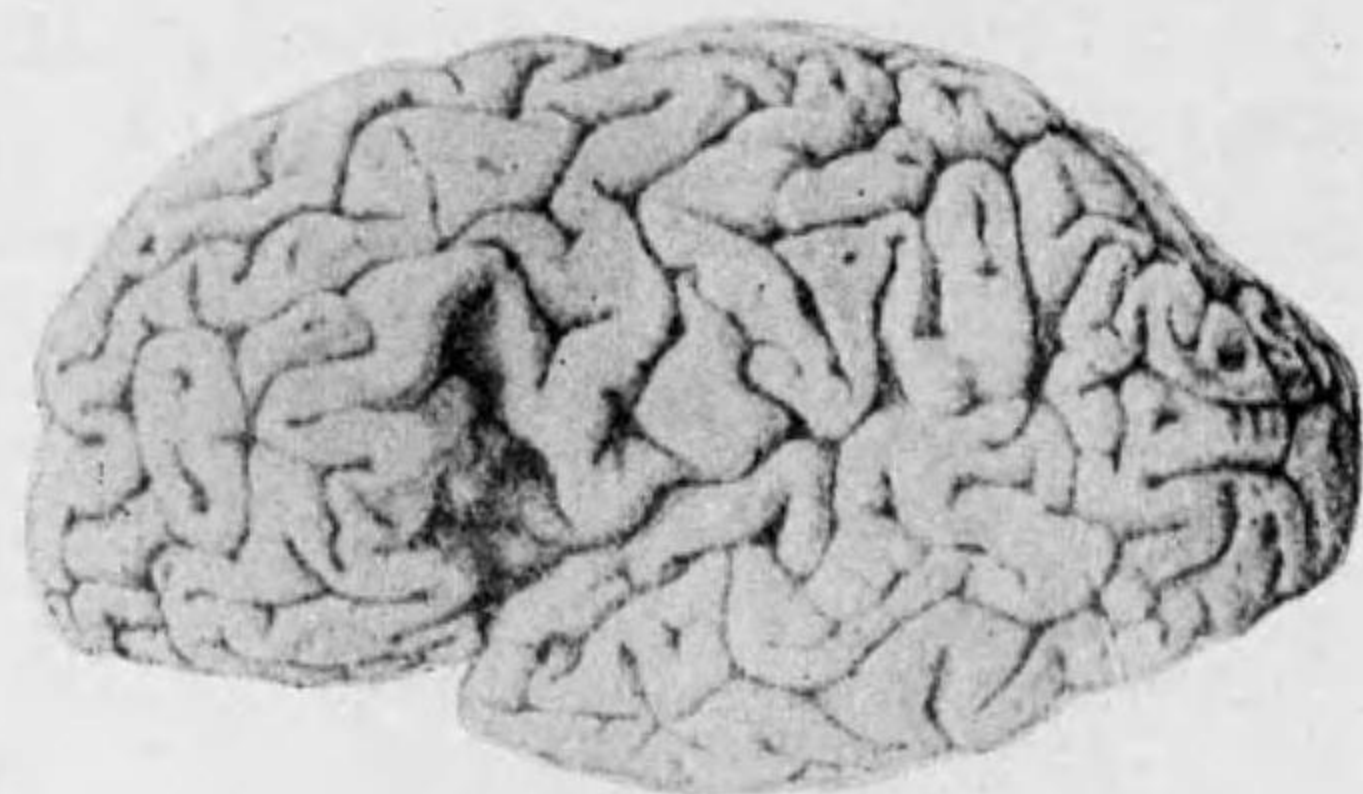
早口・又、遲徐ナルアリ。早口ハ概ネ多辯・流暢ノトキニ來タリ (語漏症

Logorrhoe), 躁病・早發性癡呆・麻痺性癡呆ノ興奮時ニ多シ。之レニ反

シ寡言且遲徐ナルトキニハ言葉少ナク、抑鬱状態・昏迷時・等ニアリ。め

全失語症

語漏症



第7圖 運動性及感覺性失語症
アリシ腦軟化症者ノ腦

らんこりー・麻痺性癡呆ノ昏迷時ニ多キナリ。

B. 話法ノ形態ノ異常ニモ多クノ種類アリ。

1. 話ノ早キ、又ハ遅キノミナラズ、考慮進行ノタメノ變化ヲ示ス

コトアリ。ソノトキハ、意想奔逸性言語トナリ、又ハ外的聯合・殊ニ、類

音聯合ヲ示スモノ多シ。

2. 聯絡ナキ言語ヲ雜然羅列スル言語錯亂 Wortverwirrtheit アリ。言語錯亂

ソノ著シキモノハ一々ノ言語ニ聯絡ナク、只、言葉ヲ關係無ク羅列スル

モノニテ語滄 Wortsalat ノ名アリ。時ニ聯絡ナキ言葉ヲ單調高音ニ發

聲シテ讀經ノ如ク聞ユルモノアリ音誦如話症 Verbigeration ト云フ。音誦如話症

3. 其ノ他、特異ノ節ヲ附ケ、又ハ唄フガ如キモノ、或ハ極メテ單調ニ

シテ何等抑揚ノナキモノナドアリ。之等ハ凡テ緊張病者ニ多シ。ひす

てりーニ於テハ時ニ小兒ノ如キ言葉使ヒヲナスモノアリ。緊張病ニテ

モ奇行ノ行爲トシテ奇矯ナル言語ヲ發スルコトモアルナリ。

4. 又時ニ文法ニ適合セザル話シ方ヲナスモノアリ 詞語失格症 詞語失格症

Agrammatismus ト云フ。白癡者ニ多シ。早發性癡呆者ニモ奇ヲ術フタ

メ斯克ノ如キ言葉遣ヲナスモノアリ。

5. 早發性癡呆者・殊ニ、妄想性癡呆者ニハ普通人ノ用ヒザル言葉ヲ

使用スル者アリ 詞語新作症 Wortneubildung, Onomatopoesie ト云フ。詞語新作症

次キニ其等ノ例證數種ヲ舉ゲム。

(1) 躁病性興奮患者ニシテ、意想奔逸・音聯合・口調聯合・等ノアル例。

患者余ヲ見テ直グ「オ父サマ……暫ク、是ハ私ノ父サマ……ナイチンゲール
ノターカキ調……ナイチンゲールノターカキシラペー、サイベリー(唱歌ノ
節ニテ話ス、ソノ間、音聯合・注意無亂ナド多キコトヲ知ラル)。

「オ前ハ何時此所ニ來タネ」、「分ラヌネー……遠山ノ……巢鴨ノ里ニ里ニ出
ル……(唱歌ノ節)監獄ノカン長(音聯合)……ボーイ、チョン、三宅……山月
(口調聯合・間接聯合)高シ(詩吟ノ如ク)ボーイノクラハシ、……シタカリ、1, 2
……注射シテモ大丈夫ダ、男子……(以下唱歌詩吟様ノ節ヲ以テ饒舌ル。椅子
ニ腰ヲカケ、意氣揚揚タリ)。

(2) 麻痺性癡呆初期興奮時ノ多辯・意想奔逸様目的觀念浮動性ノ話。

「貴下ハ此處ニ入ル時ハ誰ト一緒ニ……」橋本森本ハ始終使マテ居ツタ、足利

ノ方カラ來マシタ。牛疫ノ爲メニ失敗シテ、更ニ米澤カラ千圓許リ資本ヲ卸シテヤツテ行ク積リ、ソレカラサラキハ私ノ家ニ致シテ盡スノデゴザキマスカラ何處デモ旅行スルトキハ連レヤウト云フノデ、身體モ大キクテ洋學モ出來ルシ、牧畜事業・山林事業・其ノ他ニ就イテハ非常ニ熱心ニヤツテキル……基督教者デ……信徒ヲ寄セテ能ク演説ヲスル人デ御座イマス。私モクリスチャンデゴザイマス」。

「私ハ今何ヲ聞イテ居ツタト思ヒマスカ、私ハ貴下ガ此處ニ來ル時ニハ何フ云フ風ニシテ來タカト云フコトヲ御問ヒシタノデセウ」。

(3) 緊張病患者昏迷時ノ寡言・言語阻礙ノ例。

「オ前ノ名ハ何ト云フカ」, 「(答ヘナシ)」。

「今ハ明治何年何月ダ」, 「(答ヘ無シ)」。

「今ハ何時ダ」, 「(答ヘナシ)」。

「時計ガ無イカラ判ラヌカ」, 「ウン、ウン、ウン」。

「此ノ傍ニ居ル人ハ何ヲスル人カ」, 「醫者デス(以上ノ數問ニハ答ヘナキトコロ多シ、言語阻礙)」。

「オ前ノ體ハ何處ガ悪イカ」, 「悪クハナイ」。

「汝ハ何年何月生カ」, 「明治二十二年三月デス」。

「オ前ハ精神病ト云フデハナイカ」, 「(答ヘナシ)」。

「毎日何ヲシテ居ルカ」, 「(答ヘナシ)」。

「毎日退屈ハシテ居ラヌカ」, 「(答ヘナシ)」。

「家ニ歸ヘリ度クハナイカ」, 「歸ヘリ度クナイ」。

「余ヲ見タ事ガアルカ」, 「裁判所デ見タ」。

「朝鮮デ何ヲシテ居タカ」, 「朝鮮ニ行ツタ事ハナイ(前言ニ反スルコトヲ云ヒ平氣ナリ)」。

(4) 早發性癡呆(破瓜病型)患者ノ實母ヲ殺害セシ者ノ對話中、蒼古的考慮多ク存シ、語法モ亦漠然トシテ奇異ナルコトアルノ例。

「何故」, 「母ガ死ンデ居レバ死ナウトイフ考ヘハ起コラナイカモ知レナイ」。

「母ノ殺サレタノハ本人ノ爲メカ」, 「母サンハ生キテ居テ、殺シタノデアリマス(コノ話シノ間ニ矛盾アリテモ甚ダ平氣ナリ)」。

「ソレハ何故カ」, 「確定デナクテ想像デアリマス(妙ナ言ヒ廻シ様ナリ)」。

「死ヌノハ母ノ仕合セカ」, 「母サンノ身ニナラナケレバ判ラヌ」。

「殺スノハ母親ニ恩ヲ返ヘスト思ツタノカ」, 「ソレナ考ヘモ起コシタ」。

「母親ニ恩ヲ返スノハ自分ヲ殺スコトニナリマスト書イテアルガ、ソレハ何ウ云フ事カ」, 「ソレハ前ノ方ガオ書キニヤツタノデアリマス……(患者ハ前述ノ如キ、理屈ニ合ハヌコトヲ云フ)、私ハ何か成功ヲ夢ミタ……ソレハ前途ノ光ヲ失ヒ、ソレガソレ本當ノ夢ニ終ルヤウニシテ居ツタ様ナ感じガシテ居タ、ソレデ死力ヲ盡シテ生キテ居タ、ソレカラ矢張り自分ノ責任ノ全體ニ集マリ、母親ヲ殺スヤウニヤツタ(話シノ筋道全ク憤ラズ、不可解ノトコロ頗ル多シ)」。

「何故殺シタノカ」, 「一月三十日ノ午後三時頃デ、オ母サンハ物置ニ居タ、ソノ刹那殺スト考ヘ實行力ガ起キタ……爐邊ニ双物ガアツタ。双物ヲ持ツテ外ヘ出タ。立ツテ居ルノヲ殺サウト思ツタガ、立ツテ居ルノヲ殺スノハ善クナイカラ止メタ……母ハ家ヘ入ツテ爐邊ニ行ツタ。自分ハソノ後カラ踵イテ行ツタ。ソレカラ前ニ行ツテ、上カラ下リテ居タ障礙物ヲ取り、私ハ爐ノ中ヲ指シテ「何ヂヤ々々」ト云ツタ。(微笑ヲ堪ヘナガラ平氣ニテ話ス)。其ハ母サンヲ下ヘ向カセルタメニ言フタノデアアルガ」……

(5) 妄想性癡呆末期患者ノ常同性言語ノ例。

「軍裝シテモ、火事ヲ見テモ、火ヲツケテモ、人ヲ助ケテ善イト云フテモ、人ノ死ンダト云フテモ、人ヲ傷ケテモ罪トナルト云フテモ、此處ハ東京監獄ト云フテモ、世ノ中ノ者ハ凡テ眼ニ見エテモ、己ガ住ムト云フテモ、凡テ其等ノ事ハ判ラヌ。果テハ自分ノ性分スラ判ラヌ。凡テガ判ラヌ故ニ家ニ居ツテモ常ニ無言デ居ツタ。凡テガ偽リカ眞カ判ラヌ。宇宙ノモノガ偽リカ眞カ判ラヌ」。

(6) 早發性癡呆(精神乖離症)性考慮進行、殊ニ常同性支離滅裂言語ノ例。

「日本橋助ケルヨ、サイナラ、チットモ言フコトヲ聽カナイ。橋本女房ヲ、オ前ガ婿サン、自由廢業ガ婿助ケルヨ、助ケラー、言フコト聽カナイカラ馬鹿、濟ミマン、自由廢業、死人、可愛相ハ可愛相、隨分馬鹿、橋本ノ姉サン、橋本君助ケルヨ、ホウム、馬鹿過ギル、天秤棒、馬鹿ナ奴、人間ガ馬鹿、三井サンガフテーヤ、何シテモ馬鹿、色狂ヒ、濟マセン、助ケルヨ、一文無シ馬鹿(話シノ聯絡全ク無シ。目的觀念ノ何ナルカ全然不明ナリ。同一言語ノ反復多ク、内容空虚ナリ)」。

(7) 妄想性癡呆末期患者ノ詞語新作例。

患者「シャト云フノハタイソウニシテ、讀ンデスフダ、アードト云フ論ジ合フ所ガ……、シャノ關係ト云フテ別ニスフアアト云フシャニ持込ンデシリアトガ來テ聞エマスガ、知ツタ人ニ聞カセルト終ニ醫者ニ云フノデ、醫者ガ廻ハシテ居ル者ガ悪人デゴザイマスガ、本來ハ醫者タルモノハ正直ニシテ何處マデモシナケレバナリマセヌ。ケレドモ醫者ノ廻ハシタルモノハ悪人デアルト存ジマス。悪人ト二心タルノ注意ハ内ト心ト違ハヌ。注意アル人々ガ悪人ト云フコトガ何ウモ反對致シマス。二心アリマスカラ畜生ト云ツテ宜ロシウゴザイマス。口ト心ト何ウシテヨイ……」。

(8) 緊張病患者ノ言語新作、常同性言語ノ例。

「サア御掛ケナサイ、此處ヘ」, 「(患者尙ホ口中ニテスパスバ々々ト咳キナガラ腰掛ヤ床板ヲ見テ立チ居ル) スス、パパ、スス、パパ、ススパパ(首ヲ一寸左ニ傾ケル) スス、パパ、ススパパ」。

「サアオ掛ケナサイ其處ヘ」, 「スス、パパ、ススパパ(速記スル人ノ手ヲヂツト見詰メ) スス、パパ、ススパパ、御手柔ラカニ御願申シマス、ススパパススパパ」。

「掛ケナサイ」, 「エ、澤山……」。

(9) 癲癇性癡呆患者ノ迂遠性言語ノ例(五十一歳女)。

「外ニ別ニ悪イ所ハ無イノデスケレド、一寸轉ビマシタモノデスカラネ、是サヘ無ケレバ何處へ行ツテ御厄介ニナツテモ良イノデスカ、病院へ行ツテ御厄介ニナツタラサッパリスルダラウカラ……サウ云フモノデスカラ病院へ御厄介ニナツタ方ガヨイ。ソレヂヤ病院デ氣ガサッパリスラ何處へ御厄介ニナツテモ良イカラ、ソレデ此方ニ來テ御厄介ニ……其ノ前ニチヨイチヨイ轉ビマシタカラ、ソレサヘ無ケレバ何處ガ何ウ云フ譯ケデモナイ」。

(10) 臆躁性朦朧狀態中ニテ烈シキ興奮ト幻視トアル譎妄者ノ著シキ離想性言語ノ例

「……畜生……フフー、アハ、ウ……エッヘヘヘ……(哄笑) エヘッハッハッ、エヘヘヘ、畜生、見ヤガレ、ウフフ……體ヲ揉ンダツテ人間ダイ、畜生……ウッーウッ……(泣キ出ス)、畜生、摺ミ殺シテヤルカラ畜生、此ノ野郎……マタ苦シメヤガル。此ノ畜生、此ノ畜生……(突然起キ上リ馳ケ出ス、幻覺アルモノノ如シ)畜生(泣ク)ヨクモ返ヘシヤガッタ畜生(倒レタルママ下肢ヲ搖擽性ニピンビンサス)人間ダ畜生……(泣ク如キ顔付キ)アング此ノ畜生(起キ上ラムトシテ止メ、笑フ)何ダ、ニヤケタ顔ヲスルナイ、サッキ逃ゲタヂヤナイカ、畜生……畜生……現在ノ事ヲ賣ッテ男ヲ逃ゲルノカ碌デ無シメ、畜生アッハハッハッハハハ、ウフッハッハッハ、アーイー畜生……」。

(11) 結核性腦膜炎ノ譎妄性興奮狀態ニアル人、同上離想性言語ノ著シキ例。
「(着物ノ襟ヲ合セ乍ラ周圍ヲ見廻シ獨語様ニ)ナンビヤカ……オベツク……ウーウーウンウン(暫ク無言)ウーン……ペークイ……ペーガス……ペグノノオワシニエ……ウーウ(頻リニ自己ノ着物ノ襟ヲムシル、言葉トシテノ形ナシ)」。『(着物が何ウカシタノカ?)』, 『オートン……マサハルトヨグニアイ(指ヲイヂル)』。

「舌ヲ出シテ御覽」, 「(應セズ獨語)……八百サスペク……八百……アー……ソレガ……ソウダネ(襟ヲ合セ獨語様ニ)女……子供生レタンダ……一寸判リマセンカラネ……エーアンド何ヂヤ……何ヂヤ……何ヲ」(單ニ意識潤濁ノミナラズ失語症アルヤノ疑ヒモアリ)。

(12) 失語症患者ノ話シ。

「此處ハ何病院デスカ」, 「唯今デスカ今日デスカ」
「此處デスヨ、此處ハ何病院」, 「左様デゴザイマス、人ノ名前デスカ……松澤ニ參ツテ居リマスヨ、チヨイ々々御厄介ニナツテ居ル」
「アナタガ」, 「サウヂヤゴザイマセヌ、此ノ松澤病院デ、私ニ色々ト」
「厄介ニナツテ居ル」, 「ハイ」
「何年居ラレマス」, 「唯今デ御座イマスカ」。

「イヤ、アナタガ來ラレテカラ何年ニナリマスカ」, 「今月デスカ」。

「イヤ、アナタガ遣入ツテカラ何ノ位ニナリマスカ」, 「左様デ御座イマスナ、四月十幾日ニナリマスカネ」。

「年ハイクツニナリマスカ、アナタノオ年デスヨ」, 「私ハ七月、唯今六月デゴザイマスカナ」。

「イヤ、アナタノオ年ハイクツ」, 「唯今デゴザイマスカ」。

「アナタノオ年ハ」, 「一寸、イケマセヌ、分ツテ居リマセヌデ、恥シクテタマラナイ」。

「私ノ眞似ヲスルノデスヨ、三、五、十五」, 「ソレハ分リマセヌネ、一寸、一圓十錢、斯ウナリマス、違ツテ居リマスカ」。

(話シノ理解惡シキト、言語倒錯ノ多キタメ、一見精神病者ノ言語錯亂ニ似ルモノナリ、ソノタメ兩者ハ診斷ヲ誤ラルコト往々アリ)。

(13) 中酒性精神病(永續性酒客譎妄者)ノ幻覺ニ話頭ガ混ザリ、且、好機嫌ニヨル諧謔ト、固有ノ意識潤濁トヲ示ス言語ノ例。

「私ハ楠正成ノ子孫ダケレド、代々減茶々々ニナツテ了ツタ。己ガ餘リ酒許リ吞ンデブラブラスルモノダカラ、向島邊ノ野良狐ガ入ツタノカモ知レナイ。イヤサウヂヤナイ。田舎カラ來タ曰クノアル狐ダト云フコトデス。コノ狐ガ先キノオ内儀サンヲ喰ヒ殺シテ、今ノオ内儀サンニ化ケテ居ル。オ内儀サンガ時々狐ニ見ヘルコトガアル。其ノ狐ガ昨夜生ケ捕ラレテ首ニナツテ有リマス。本當ハ水道局ノ猫ダトイフ話シダッタケレド、ヨク見ルト矢張り狐デシタ、ソレカラ大變面白イ事ガアリマス。私ガ大學病院ニ化ケテ居ルト云フ事デス。階段モ窓モ、部屋モ私ガ化ケテ居ルノデス。又昨夜ハ三明様ノ「ウー」ト云フ、丁度ヴァイオリンヲ鳴ラシタ時ノヤウナ音が聞エマシタ。靜カナ時ニハヨク聞エマス」。

(14) 拘禁性精神病ノ一種ナル永續性朦朧狀態ニアル人ノ當意即答様話法ヲ示ス假性癡呆症者ノ例。

「西南ノ役ハ何時アツタ」, 「(哄笑ス)知ラヌ(併シ知ラヌヤウノ人デハナシ)」。

「明治何年カ」, 「判ラヌ……西郷隆盛ニ會ツタ事ガアル(出鱈目ナリ)」。

「何歳ノ時カ」, 「私ノ十四ノ時デ(本人ハ明治十六年生レノ男子ナリ)西郷ハオ爺サンデシタ、今デモ髻髻トシテ居ル」。

「日露戰爭ハ何時アツタカ」, 「(不答、終ニ)憲兵隊ガ無クナツテ遊ビニ行ク所ガ無クナツタ。(顔貌茫乎タレドモ甚ダ緊張セル風ナシ、獨語ス。)森羅萬象ガハッキリ見エル。夜電氣ガ點クト友達ガ見エル……色々ノ事ヲ頼ミニ來ル……隅田川ニ橋ヲ架ケタリ……憲政會ヲ減ボサナケレバナラヌ(多ク瞑目ス)」。

「一圓カラ十五錢取ルト」, 「七十五錢(不正)」。

「一時間ハ何分カ」, 「三十秒(當意即答ノ如シ)」。

對スル不滿・罵詈・誹謗ヲ列記スルモノアリ，又時ニハ平素隱蔽セル妄想・妄覺・等ヲ明記スルコトモ尠ナカラザルナリ。

又，繪畫ニ於テモ麻痺性癡呆患者ノ繪畫ニハ其ノ運筆ニ失調・振顫・紙幅トノ關係ヲ失ヒ居ルコト多ク，早發性癡呆ノ繪畫ニハ着色・運筆・着想ニ奇想横溢セルモノモアリトス。

第四章 個性及ビ自己意識

前章マデハ意識ノ材料・即チ精神界ノ内容タル各種ノ要素的現象ニツキテ論述セリ。今ヤ，ソレ等各種精神要素ノ常態ニ於ケル活動ノ狀況ヲ述ベムニ，其等ノ要素ハ一瞬毎ニ往來消長シ，互ニ相聯絡スルモノナリ。即チ甲ヨリ乙，乙ヨリ丙ト元來全然無關係ナルベキ諸現象ガ互ニ結ビ付キ，以テ一ノ纏マレル精神活動トナル。コノ作用ヲ特ニ統覺作用 Apperzeption ト云フ。

統覺

若シ此ノ統覺作用ニ障礙起コラバ，茲ニ各瞬間ノ精神要素ハ互ニ分離シ全ク系統ナキニ陥ル。ソノ輕キハ不注意ノ時ニアリ，重キハ精神錯亂・無意識ノトキニ現ハル。コノ精神聯絡ヲ營ム働キハ同人ノ意志殊ニ内意志ニヨルモノト・意識セザル潜在意識 Latentes Bewusstsein ノカトニ依ルコト多シ。

人格
個性

コノ働キハ各人各固有ノ人格 Persönlichkeit ヲ作クリ，又ソノ人ノ個性 Individualität ヲ形成スルモノトス。

人格トハ，各人ノ或刺戟ニ對シテ現ハス反應ノ連鎖ナリ，コレニ智能・氣質及ビ性格ノ三方面アリ。

智能

智能 Intelligenz トハ或刺戟ニ對シテ，意識的ニ考ヘ，ソノ目的ニ叶ヘル合理的反應ヲナス機能ヲ云フ。各人同一ナラズ，主トシテ素質的 Disposition ノモノナルガ，又，ソノ人ノ經驗・環境ヨリモ影響ヲ受クルコト少ナシトセズ。

精神薄弱
低能

智能發達不良ノモノハ精神薄弱・一名，低能 Schwachsinn ト云ヒ，高度ノモノハ白癡・次ギテ癡愚・輕症ヲ魯鈍トス。後者ハ常人ノ劣等兒ニ移

第二表 (久保式智能查定法大正十一年)

	I	II	III	IV	V	VI	補
二年	△名家族ノ	△耳鼻ノ指示	繪名ノ	一命令ノ			
三年	△積木ノ	△大小比較ノ	二數反復ノ	物名稱ノ			
四年	體別性ノ	繪正名稱ノ	六音反復ノ	△長短比較ノ	△嵌込	進試筆驗	色名稱ノ
五年	△四體算ノ	正模寫形	美比較ノ	△二量比較ノ	八音反復	迷路	年齢
六年	繪叙畫ノ	用ヨ義用途ニ定	△圖構成ノ	△菱寫形模	三命令ノ	畫足ノ中指不分摘	迷路
七年	△銅計貨算ノ	△左右手耳	畫足ノ中指不分摘	色稱ノ名	圖分形割	畫排列ノ	午午前後ト
八年	△リ逆算	釣鈞定ノ	畫排列ノ	△年月日	思問考題	畫合ノ中指不點摘	貨名稱ノ
九年	四名順序ノ	五量比較ノ	△二體違較ノ	圖分形割	△反對語	思問考題	用外ル途ニ定義
十年	語立正判句及誤斷組	繪解畫ノ	△四逆復數ニ反	推問理題	△スマロ	球搜ノ索	文不點章合中指摘
十一年	短再文生	推問理題	△圖憶形模記寫	△二體似較ノ	圖分形割	類推	(甲)ノ(乙)込球索嵌
十二年	抽詞定象名義	圖通發中點見共ノ	△エグハウ	教要發見點的ノ	畫合中指不點	△三六十分問語	文不點章合中指摘
十三年	二音反十節復六ノ	反選擇語	△六個反復數	マシ法	△時計	類選推擇	三體似較個ノ點物類比
十四年	△工推理及	概素見通ノ發中要	△立正誤斷句及比	圖分形割	類選推擇	畫合ノ中指不點摘	反ノ對選擇語

行ス、

智能年齢 智能ノ標準ニハ或ハ**智能年齢** Intelligenzalter(i. A.)ヲ以テシ、又ハ**智**

能指數 Intelligenzquotient(i. Q.)ヲ以テ現ハス法アリ。

智能年齢トハ**ビネー** Binet ノ智能検査法ニヨリ測リタル結果ガ常人兒童何歳ノソレニ一致スルヤヲ比較セルモノナリ。智能指數トハソノ智能年齢ヲ同人ノ曆年齢ヲ以テ除セル商トス。第二表ハ**ビネー**氏法ヲ本邦兒童ニ適スヤウ久保氏ノ變ゼシ法ナリ。東大精神科教室ニテハ今専ラ之ニ似タル大阪市法ヲ用ユ。

後天性ニ智能ノ衰弱セルモノヲ**精神衰弱**又ハ**癡呆** Demenz ト云フ。

老耄性癡呆・早發性癡呆・麻痺性癡呆・外傷性癡呆・等ノ別アリ。

氣質 Temperament トハ個性的感情ノ特異型ニシテ、コレニ爽快・不快・過敏・鈍感・等ノ別アリ。

性格 Charakter トハ、ソノ人ノ行爲型ニシテ、快活・沈鬱・働キ家・無精・社交的・關涉家・熱情家・引込ミ家・無關心・綿密家・不綿密・內向的・外向的・等ノ型アリ。

クレッチェメル Kretschmer ハ常人ノ氣質・性格ニ於テモ**交代性**又ハ**躁鬱性** Cyclothymie ト。早發性癡呆性・即チ、**精神乖離性氣質** Schizothymie トヲ擧グ、前者ハ交際家・圓滿家・能辯家・文章流暢ナル人ナルモ、落著キナク、萬事表面的ニシテ、物事ヲ深く考ヘズ、又關涉家ナルカ、或ハ悲觀・沈黙・心配症・煩悶家ナリ。後者ハ孤獨性・沈思・引込ミ思案ニ傾キ、而カモ激シ易ク、烈シキ怒リ方ヲナス型トス。氏ハ尙ホ、コノ兩種ノ人ニハソノ身體構造上ニモ特異性アリ。即チ、前者ハ筋肉ノ發育悪キカ(**纖弱型** Leptosom) 又ハ筋肉ノ發達ヨク、骨組太キ**闘士型** Athletisch ノ人多ク、後者ニハ**肥滿型** Pyknisch ノ人多シト説ク。

病的性格トシテハ上記、躁鬱性ノ性格ノ強キ**躁鬱病様性格**、一名、**回歸病様性格** Cycloide ト**早發性癡呆様**、一名、**精神乖離症様性格** Schizoide トアル上ニ、更ニソノ他ニ、ひすてり一性性格・癲癇様性格・意志薄弱性・放逸性體質・神經質・興奮症・悖德性體質・等アリ(變質者各論參照)。

精神作業能力 Psychologische Arbeitsleistung ハマタソノ個性ニヨリテ甚ダ差アルモノナリ。抑モ、精神作業能力トハ、或一定時間内ニ爲シ

ウル精神作業ノ量ヲ云ヒ、ソノ量ヲ以テコレガ標準トセラルモノナリ。而シテソノ量ハ次ギノ如キ種々ノ要約ニ因リテ左右セラル。

即チ、ソノ作業力ニ影響ヲ與フベキ條件ハ左ノ如キモノナリ。

(1) 同一作業ヲ繰返ヘス間ニ、其ノ作業ニ慣レテ、作業量ハ増加スルモノトス。コレヲ**練習性** Uebungsfähigkeit ト云フ。此ノ能力ハ常人ニ於テモ個人差大ナレドモ、殊ニ病者ニ於テハソノ差甚シ。白癡・麻痺性癡呆ニテハソノ練習性殆ンド皆無ナルモノアリ。

(2) 二回目ノ作業ノ折ニハ一回目ノ作業ノ時ヨリモソノ量増スルコト普通トス。コハ初回ノ作業ガ二回目ノ作業ノ折マデ何等カノ形ニ於テ痕跡トシテ残コリ居ルガタメナリ(**練習固著性** Uebungsfestigkeit)。健康人ニテモソノ差ハ甚シキモノナルガ、殊ニ病者・就中、生來性精神發育制止者ニ於テハソノ差著シ。練習固著性ノ皆無ナルモノハ領會力・記銘力ノ不良ト共ニ**被教化不能性** Bildungsunfähig ノ主ナル要素ヲ形成スルモノナリ。

(3) 或仕事ヲ爲シツツアル間ニ練習ノタメトハ考ヘラレヌ急激ナル作業量増加ヲ示スコトアリ。殊ニ、作業ノ初メ、又ハ作業ノ終リニ近シト思フ頃ニ於テ然カルコト多シ。コハ努力ノタメニ來タル、**努力性** Antrieb ト云フ。

(4) 又、ソノ他ニ、常人ニ於テモ時々作業中ニ元氣増シ、作業ノ急遽進歩スルコトアリ。マタソノ反對ノ事實モアリ。**興奮性** Anregbar ト云フ。病者、殊ニ制止・昏迷・ノトキニハソノレヲ缺キ、生來性癡愚者・又ハ遲鈍性ノモノニモ之レヲ缺ク。興奮性ノ人ニハ其ノ亢進ヲ認ム。

(5) 同ジ仕事ヲ永ク續ケ、其ノ間ニ、少シノ休憩ヲモ插マザル時ハ、仕事ノ結果ハ漸々不良トナリ、作業量ハ減ジ、過失ハ大トナル。**疲勞**ノ結果トス(**疲勞性** Ermüdbarkeit)。疲勞ハ健康人ニアルノミナラズ、病者・殊ニ、精神病・又ハ其ノ素質者ニ於テハ著シ。就中、神經衰弱症・神經質・ひすてり一・種々ノ疾病ノ恢復期・慢性中酒症・就中、麻痺性癡呆・動脈硬化症・外傷性神經症・老耄性精神病・等ニハ著シ。

疲勞ハ休憩・殊ニ、睡眠ニ依リ恢復セラル。**恢復性** Erholungsfähigkeit ノアル爲メナリ。病的ニハ休憩又ハ睡眠ニヨリテ疲勞ノ恢復セザルモノ・又ハ遅キモノアリ(**恢復性ノ減退症** Abnahme der Erholungsfähigkeit)。抑鬱性患者・神經質・重病ノ恢復期・等ニ於テ著シ。

(6) 或仕事ヲ爲シツツアル間ニ、他ノ妨ゲ、殊ニ、不快ナル雜音・等ノ現ル時ハ、

轉導性

ソノタメ氣ヲ奪ハレ、仕事ノ量ヲ減ズル事アリ。轉導性 Ablenkbarkeit ト云フ。

此ノ現象ハ意志緊張ノ力弱ク、注意集中ノ難キトキニ現ハル。例ヘバ、精神薄弱・麻痺性癡呆・老耄性癡呆ノ如キ場合ニアリ。又目的觀念ノ移動シ易キ爲メニモ現ハル。躁病ニ然ルコト多シ。時ニハ仕事ニ關係ナキ他ノ精神作用ガ異常ニ烈シク起コリテ意志ヲ鞏固ナラシメザルタメニモ現ハルコトアリ。又、誘惑的刺戟ニ感應シ易キ性質ノ爲メニモ來タルモノトス。

習慣性

(7) 或妨ゲノ來ルトキハ、初メハ其ノ爲メニ精神ノ奪ハルコト屢々ナレドモ、後チニハ之レニ慣レ、終ニハソノ爲メ最早注意ノ奪ハレザルコトアリ。習慣性 Gewöhnungsfähigkeit ト云フ。或病者ニ於テハ、ソノ力缺ケ、同一刺戟ニ何回遭遇スルモ少シモ慣ルル事ナク、時ニハ却ツテ其ノ感受性ヲ昂ムルモノサヘアリ。

コノ作業能力ハ單ニ、個性ノ差ニヨリテ異ナルノホカ、生來性精神發育不良者・後天性癡呆者・及ビソノ他ノ種々ノ病的異常者ニ於テ異ナルモノナリ。サレバソノ測定ニヨリ、コレ等ノ諸狀況ヲ診斷確定セラレ、甚ダ緊要ナル試験ナリトス。

抹消法

作業能力ヲ測定スルニハブルドン Bourdon ノ抹消法 Kanzellation・クレペリンノ累加法 Fortlaufendes Addieren・等アリ。又、えるごぐらぶ Ergograph, 握力計ニヨリテモ測定セラル。而シテソノ目的ノ異ナルニ從ヒ各特殊ノ方法ガ用ヒラルモノトス。

累加法

第12圖ハ抹消法ニヨル(1)常人・(2)癡愚・(3)ひすてりー患者ノ作業狀況ヲ示スモノナリ。コレニヨレバ(1)ニテハ作業時間短ク作業ノ動搖少ナク、(2)ニ於テハ動搖ト脱トガ多シ。更ニ(3)ニアリテハ作業時間著シク長キノミナラズ、動搖モ亦烈シク且久シキ試験ニ堪ヘズシテ中止セルモノトス。

自我

次ギニ個性ヲ主觀的ニ考フル作用ニツキ述ベムニ、コレニハ自我 Ich ナル身體的・並ビニ、精神的ノ個性感アリ。ソノ感ハ幼時尚未ダ精神發育ノ充分ナラヌ間ニ於テハ、タトヒ、多少ノ精神作用ハ存在スルモ、コノ自己感ヲ缺キ、タメニ自他ノ別ヲ明カニセヌモノナリ。

普通ソノ力生ジ自他ノ別ヲ明カニスルハ三歳頃ノコトナリトス。

自己意識

コノ己ヲ知ル働キヲマタ、自己意識 Selbstbewusstsein ト云ヒ、ソノ病的障礙トシテハ次ギノ如キ症狀アリ。

(1) 自己意識ハ既ニ存スレドモ、其ノ自己ヲ批判スル事ニ不正ナル

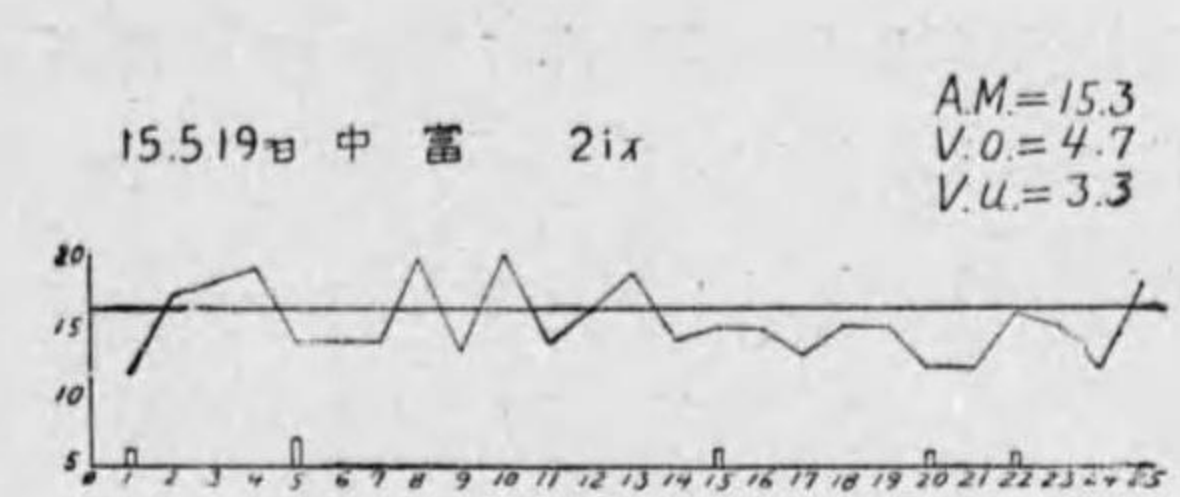
モノアリ、コレヲ自己意識

ノ虚罔 Verfälschung des Selbstbewusstseins ト云フ。

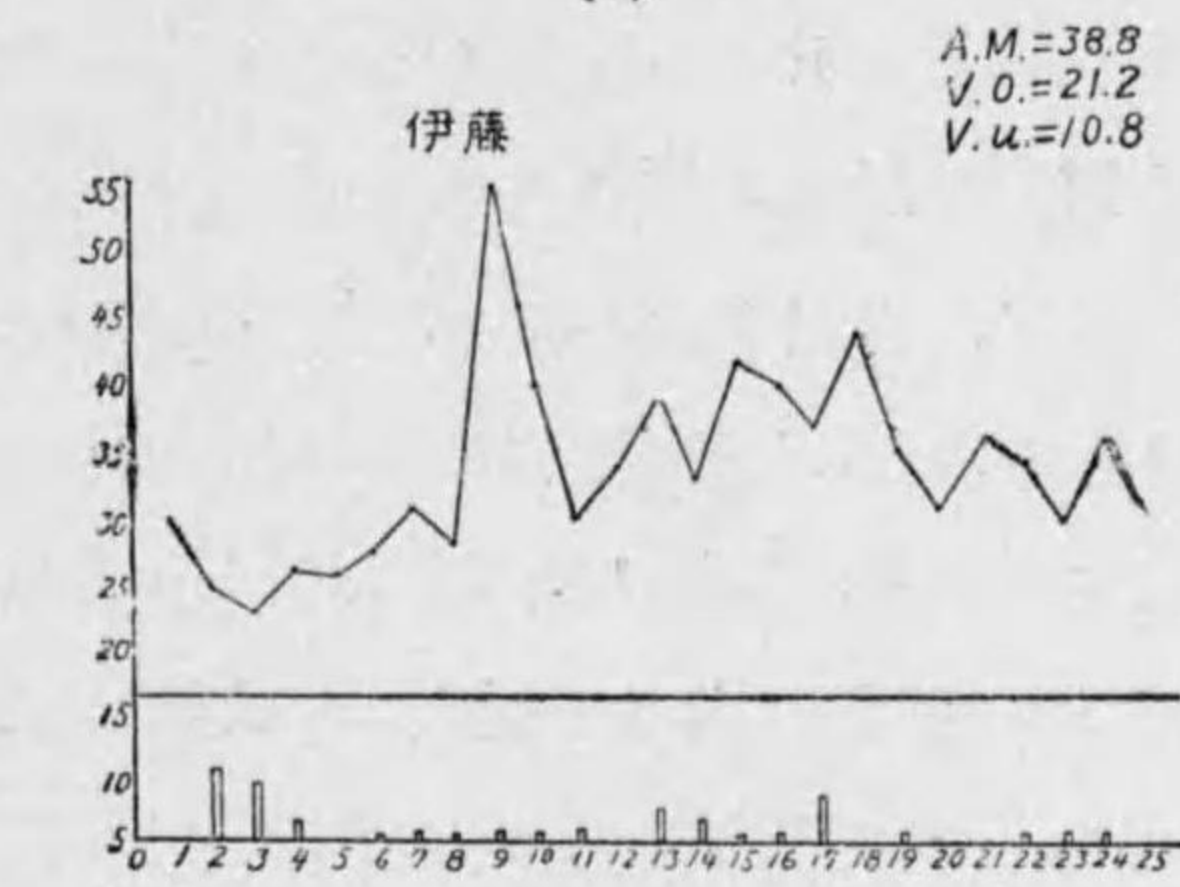
例之、己ヲ神・帝王・石・蟲・犬・狐ト云フガ如キモノコレナリ。系統ヲ作レル妄想病者ニ最モ著シ。サレド妄想病者ニアリテモ、自己意識ノ錯誤ヲ示サヌモノモ稀ニハ存スルモノナリ。

抑鬱状態・早發性癡呆者ニアリテハ、自己ノ行爲・自己ノ思想ガ己ヲ離レ、己ト別ニナレリト思ヒ、或ハ己ノ感覺・感情・行爲ハ今迄ノソレトハ全ク異ナリ、知覺モ己ニハ直接觸レズ、ソノ間ニ何物カノ介在スル如クニ思フモノアリ。又、同ジク己ヲ第三者ノ地位ニ立ツ人ノ如クニ考フル症狀アリ。之レヲ人格分離症 Depersonalisation ト云フ。

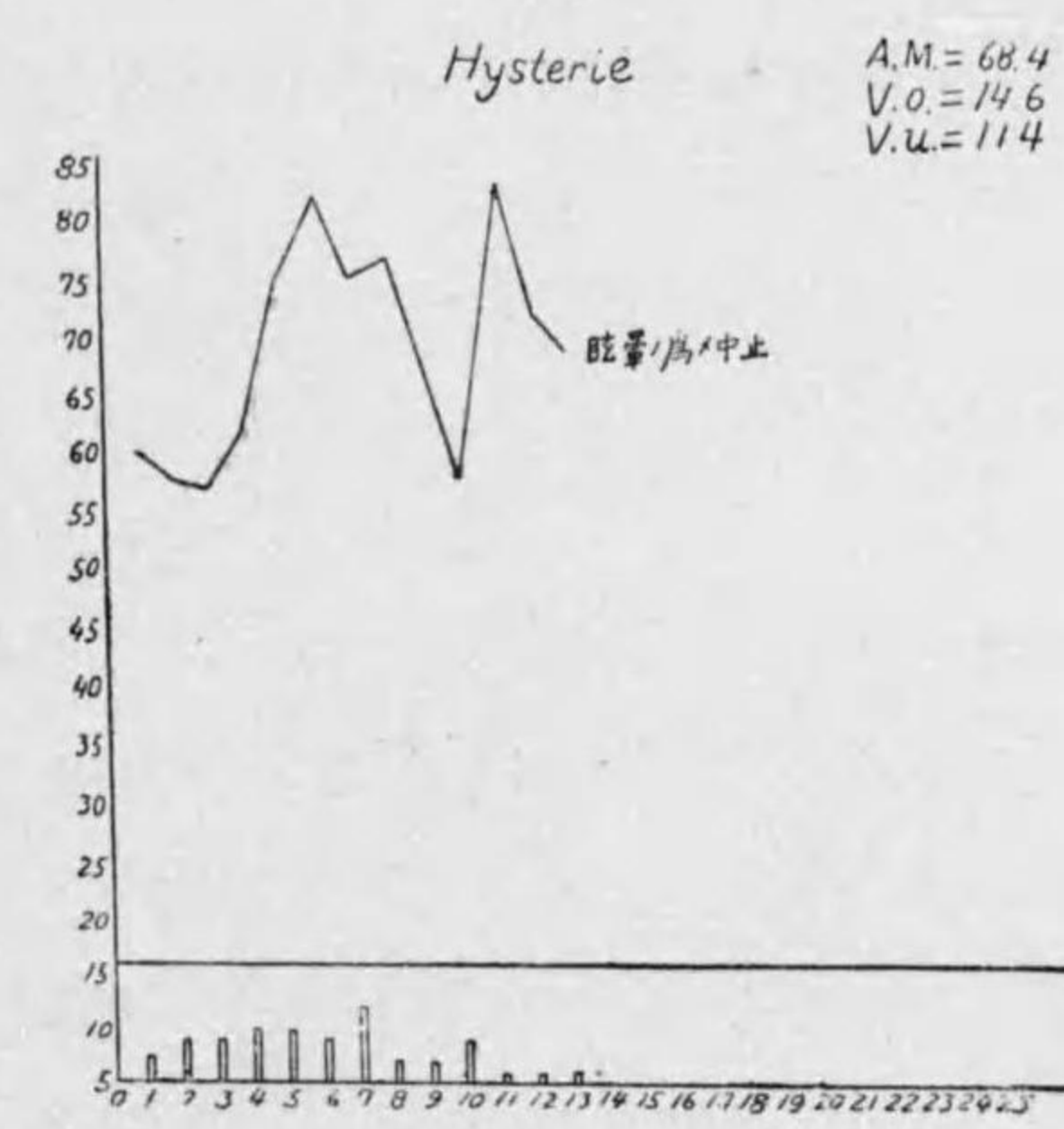
(2) 時ニ我ナルモノヲ失ヒ、己ハ既ニ存在セザルモノト考フル症狀アリ(自己意識ノ消失 Verfall des Selbstbewusstseins)。ソノタメ己ハ既ニ死シ、又ハ此ノ世モ在ラズト考フルモノナドアリ。ソノ多クハ虚無妄想ノ爲メニ來タルモ亦烈シキ精神衰弱ノ爲メニ、自他ノ區別ガ全然無キタメノモノモアリ。



(1)



(2)



(3)

第12圖

自己意識ノ虚罔又ハ錯誤

人格分離症

自己意識ノ消失



早發性癡呆・麻痺性癡呆ノ末期・老耄性精神病・其ノ他ノ多クノ器質的腦疾患ニ伴フ精神病ニアリ。

但シ、精神衰弱ノ烈シキモノニテモ、ふれすびおふれに一・癲癇性癡呆者ニテハ癡呆状態ハ相當進行セルニモ關ラズ、人格ノ比較的完全ニ殘存スルモノモアリトス。

偏執病者ニ於テハ妄想ノ爲メニ自己意識ノ錯誤ヲ來タスコトアルモ其ノ消失ハ無キヲ例トス。

(3) 又、自己意識ハ存シ、我ナル感ハアレド、ソガ一個ナラズ二個
本人重複症 アリトシ、(本人重複症 Verdoppelung der Persönlichkeit), 又ハ多數
多數ノ我 ノ我アリトシ、多數ノ我 Mehrfaches Ich ヲ作ル事アリ。時ニハソノ自
人格分裂症 己ガ多クニ別レ(人格分裂症 Spalten der Persönlichkeit), 其ノ分レタ
ルモノノ一ハ己ナルモ、他ハ他人・又ハ動物ト考フルモノモアリ。早發
性癡呆者ニ多シ。

ひすてりーノ麻痺症状・視野狹小症ヲ此ノ人格分裂ニ依リテ説明スル人アリ
(Janet)。

(4) 人格分裂症ノ一種ニシテ、ソノ分レタル二個ノ人格ガ時ヲ違ヘ
テ交代ニ現ハルモノアリ。ソノトキニハ甲人格ノ時ノ我ハ乙人格ノト
キノ我ト全ク異ナリ。互ニ關係ナク、甲人格ノトキニハ乙人格ノ時ノ
コトヲ全ク知ラズ、乙人格ノ時ニハ又甲人格ノ時ノコトヲ全ク覺エズ
ト云フモノアリ(交代性ノ意識 Alternierendes Bewusstsein)。

又、意識状態ニハ上下ノ二者同時ニアリ、ソノ主ナルモノヲ上意識
上意識 Oberes Bewusstsein・他ヲ下意識 Unteres Bewusstseinトスル人アリ。

又、意識中ニハ潛在意識 Latentes Bewusstsein トテ、本人ノ知ラヌ無
下意識 意識的意識ノ存在ヲ説ク人アリ。精神分析學派ニテハ特ニコノ作用ヲ
潛在意識 強調シ、コレニヨリひすてりー・外傷性神経症・神経質・早發性癡呆ノ諸
症状發現ノ機制ヲ説明セントス。

コノ潛在意識ナルモノハ意識下ノモノニシテ、本人ノ識ラヌモノナレド、ソノ働キハ同人ノ人格構成ニ對シ頗ル重要ナル意義アルコトハ疑ヒ

ナキモノナリ。又、本人ノ識ラズシテ行フ所謂、自動運動 Automatische 自動運動
Bewegung ナルモノハコノ潛在意識ノ行動ト解スベキモノ多シ。催眠
状態・等ニ於テハ特ニソノ力ヲ逞ウスルコトアリ。

第五章 身體症狀

精神病者ノ身體症狀ニハ、(1)全身ノ發育異常アリ。ウチ、明カニソノ
内分泌異常ニ基クト認メラルベキモノアリ。例之、粘液水腫・腦下垂體異
常・松果腺腫瘍・生殖腺異常ニヨル種々ノ發育異常コレニ屬ス。ソノ他、
(2)變質徵候 Degenerationszeichen トテ、頭形・耳殻・齒牙・四肢・生殖器・
等ニ現ハルル種々ノ畸形アリ(説明後出)。(3) マタ精神病ノ原因タル
ベキ疾病ノタメニ來タル身體上ノ種々ノ特徴アリ。例之、中酒性精神病
ニ多發性神經炎ヲ發シ、動脈硬化・腦炎・微毒性精神病ニハ又ソレ等ノ
身體特徴アルガ如キ是レナリ。(4) 更ニ或種精神病者ニハソノ疾病ノ
身體症狀トシテ運動障礙・感覺異常・血行異常・體重・榮養・血液・腦脊髓
液・等ニ種々ノ病的症狀ヲ現ハスコトアリ。ソノウチノ或モノハ表情運
動ノ一種トシテ、殊ニ、交感神經・又ハ、迷走神經系緊張亢進症ト解セラ
ルル症狀ナリ。

ウチ臨牀上必要ナリト思ハルル
モノノミヲ次ニ列舉セム。

第一節 變質ノ徵候

生來性ニ精神病ヲ發スベキ素因
アル者ニハ其ノ精神竝ビニ身體上
ニ常人ト異ナル所多クアルハ疑ヒ
ナシ。コレヲ變質徵候ト概稱ス。

抑モ變質徵候ナルモノハ、初メ病的
遺傳濃厚ナル人ニ生ズルモノト考ヘ、
又遺傳性特徵 Stigmata hereditaria ト
モ云ヒ、ソノ徵候ノ存在ハ同人ノ變質



變質徵候

遺傳性特徵

第13圖 頭蓋ノ異常形態

ヲ意味スルモノトシテ變質徵候 Degenerationszeichen トセシモノナリ。然カルニ其後ノ研究ニヨリ同徵候ハ病的遺傳又ハ變質ノ爲メニ生ズルモノト限ラズ、偶然ノ畸形・胎生期ノ疾患・殊ニ、其ノ部位ノ疾病・或ハ其ノ中樞部ノ疾患・榮養障礙・或ハ内分泌異常ニ因リテ來タルコトアリ。又、コレヲ有スルモノガ變質的宿命ヲ持ツト限ラズ。即チ本徵候ハ必シモ病者又ハ將來病ニ罹ルベキ人ニノミ來タリ、健者ニハ無シトモ云ヒガタシ。寧ロ、多クノ病者ニモ之ヲ缺キ、健全ナル人ニモソノ存在ハ少ナカラズ。サレバ、變質徵候ナル名稱ハ名實相副ハザルモノトシテソノ名ハ好マレザルニ至レリ。サレド、現在尙ホ普通、變質徵候ナル名稱ヲ用キ居ルハ必竟便宜ナルニヨリ暫クコレヲ慣用スルニ過ギザルナリ。

從ツテ、其ノ變質徵候ノ1-2存セリトテ之レヲ以ツテ直チニソノ人ヲ病者又ハ變質者・乃至ソノ人ハ將來病ヲ發スベキ人ナリト斷ズルコト能ハズ。只斯カル徵候多キ人ハ平均シテ病者ナルカ又ハ病的傾向多キモノナリト考ヘ得ルニ止マルナリ。

身體的變質特徴ニ屬スベキ者ハ(1)全身ノ發育異常・即チ特ニ大ナル

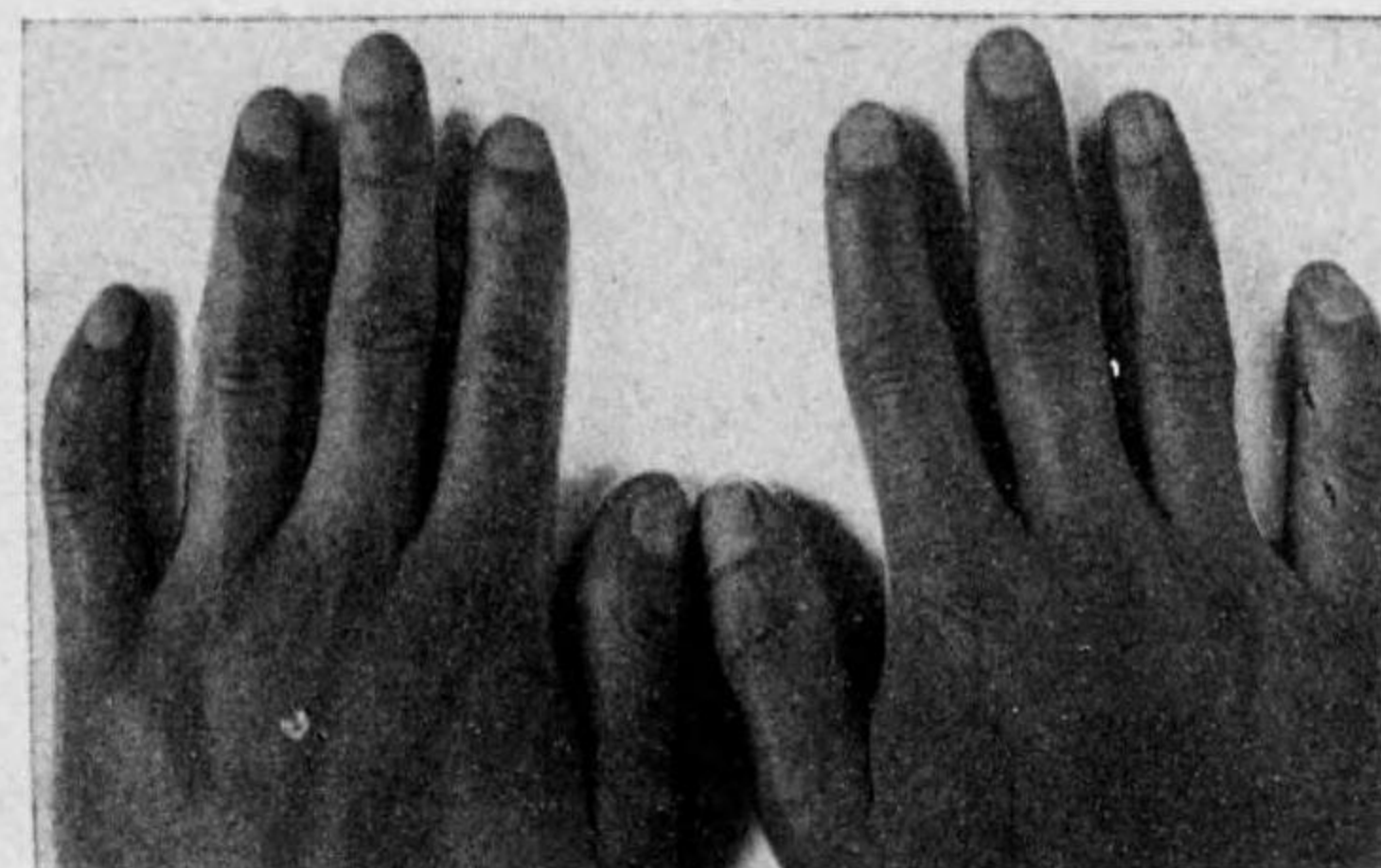


第14圖 諸種耳ノ變質徵候

モノ・(2)小ナルモノ・(3)年齒不相當ニ小兒ラシキモノ (Infantilismus)・(4)老人ラシキモノ・(5)或ハ男子ニシテ女子ノ如キ體格ヲ有スルモノ (Feminismus)・(6)女子ニシテ男子ノ如キ體格ヲ有スルモノ (Viraginitis)・(7)異常ニ肥ヘタルモノ・(8)頭部ノ頗ル小ナルモノ (小顛症 Mikrocephalie)・(9)後頭部ノ削ゲタルモノ (Inokziput)・(10) 前頭

部ノ缺ケタルモノ・

(11)前頭部及ビ後頭部ノ削ゲ、平ナルモノ・(12)頭顱前後徑ノ著シク長キモノ (長顱)・(13)長軸ノ斜メナルモノ (斜顱)・(14)上面中央ニ横走



第15圖 兩側第五指小ニシテ曲リ伸ビヌモノセル縊レアルモノ・

(15)顔面頭蓋ト頭顱トノ不平均甚シキモノ・(16)顔面左右兩部ノ大小・形狀ノ著シク異ナリ、甚ダ不平均ノモノ・(17)側面ヨリ見テ口圍ノ著シク前方ニ突出セルモノ (顎面突出症 Prognathie)・(18)眼球ノ異常ニ小ナルモノ・(19)瞳孔膜遺殘症・(20)兩側眉毛ノ内方ニ於テ連結セルモノ・(21)鼻中隔ノ著シク斜ナルモノ・(22)口蓋ノ異常ニ大且廣キモノ・(23)下齒列ト上齒列ト合ハザルモノ・(24)耳殼ノ形態正常ナラザルモノ・

殊ニ耳輪ヲ缺ケルモノ・耳輪上邊ノ尖レルモノ (つゑるこびてくす形耳 Cerco-pithecosohr)・耳殼扁平ニシテ凸凹乏シキモノ (モーレル型耳 Morelsches Ohr)・前耳輪脚ノ三個アルモノ・前耳輪ガ耳輪ニ比シテ著シク隆起セルモノ (ウキルデルムート型耳 Wildermuthsches Ohr)・耳垂ノ無キモノ・耳殼大ニシテ扁平、全形莖形ヲナスモノ (Henkelohr)。

(25)胸部皮膚ニ副乳アルモノ・(26)手足ノ指趾數多キモノ (Polydaktylie)・少ナキモノ (Syndaktylie)・(27)指間ニ蹼様膜アルモノ・(28)左右兩手第4・第5指・又ハ趾ノ小ナルモノ (Brachydactylia ulnaris)・(29)第2趾ノ附著部異常ナルモノ・(30)指趾ノ運動不全ナルモノ・(31)關節ノ異常ニ弛緩セルモノ・(32)生殖器ノ形態異常・等ナリ。

第二節 運動障礙

凡ノ運動症狀ニハ、麻痺・痙攣・強剛・拘攣・失調・等ノ諸症狀アリ。以下其等ト精神病トノ關係ニツキ一言セム。

麻痺

1. **麻痺** Lähmung ナ示ス精神異常者ハひすてりー・麻痺性癡呆・腦腫瘍・腦黴毒・動脈硬化症・腦水腫・癲癇・白癡・就中、腦性小兒麻痺・酒精中毒・鉛中毒・其ノ他ノ中毒性精神異常・卒中後精神異常・黴毒性・結核性・流行性腦膜炎・腦炎・其ノ他之レニ類スル腦脊髓神經系ノ疾病ノトキ・等ナリ。

完全麻痺
不全麻痺

麻痺症狀ニハソノ程度ニヨリ**完全麻痺** Totale Lähmung ト、**不全麻痺** 即チ、**萎弱** Parese トノ二者アリ。又ソノ原因ヨリ器質的ノ麻痺ト官能性ノ麻痺トヲ區別セラル。更ニ其ノ發スル病竈部位ニヨリ末梢神經ノ病變ヨリ來タルモノト腦脊髓ノ中樞性病竈ニヨリテ生ズルモノトアリ。殊ニ大脳皮質ノ疾患ニテ發スルモノヲ**皮質性麻痺** Kortikale

精神麻痺

Lähmung トシ、中ニ、**精神麻痺** Seelenlähmung ト稱セラルル症狀アリ。皮質性麻痺ニ對シ皮質下諸部位ノ病變ニテ生ズル麻痺ヲ**皮質下性麻痺** Subkortikale Lähmung ト云フ。ウチ、内囊ノ病ニテ生ズル麻痺ニハ**内囊性麻痺** Kapsuläre Lähmung ノ名アリ。皮質性麻痺ノトキハ普通、局

單癱症

部性麻痺ニシテ**單癱症** 一名、**局部麻痺** Monoplegie ノ名アリ。内囊性麻痺ニテハ一般ニ、一側・殊ニ、他側ノ半身麻痺ヲ來タシ、ソノ麻痺ハ

偏癱症

偏癱症 一名、**半身麻痺** Hemiplegie ノ名アリ。サレド、腦髓ノ病ニテモ兩側ニ病竈アレバ兩側麻痺ヲ來タス。**雙癱** 一名、**兩側麻痺** Diplegie ノ名アリ。脊髓病ニテハ兩上肢又ハ兩下肢ノ麻痺ヲ來スヲ例トスルモ、腦病ニテモ時ニハ兩側麻痺ヲ生ジ、恰カモ脊髓ニ病竈アルガ如キコトアリ。殊ニ、脚ノ兩側不全麻痺ヲ呈スルコト多シ。**腦性截癱症** Cerebrale Paraplegie ト云フ。

延髓球麻痺

延髓・橋腦ノ病ニテハ、舌下神經・三叉神經・舌咽神經・迷走神經・等ノ麻痺ヲ來タシ、所謂、**延髓球麻痺** Bulbäre Paralyse ノ狀ヲ示スモノナリ。ソノトキニハ該筋肉ハ萎縮シ、電氣性變質反應ヲ呈シ、核性麻痺ノ狀ヲ示スモノトス。然カルニ、延髓球麻痺ニ似ル核上麻痺モアリ。

假性延髓球麻痺

即チ、兩半球髓質ノ病變ヨリ來タルモノニテ**假性延髓球麻痺** Pseudo-bulbäre Paralyse ノ名アリ。

此等各種麻痺ニ關スル詳細ナル記載ハ神經病學ニ譲リテ茲ニハ記述セザルベキモ、精神病學ニ必要ナルコト2-3ヲ述ブレバ、白癡ニハ雙癱・雙癱多ク、動脈硬化症者ニハソノ上ニ假性延髓球麻痺ノ狀ヲ呈スルモノ少ナカラズ。ひすてりー性麻痺ハ官能性ノモノニシテ多ク一時的ナリ。而カモ外來ノ影響ニ變化シ易キ特徴アリ。器質的麻痺ハコレニ反スルヲ例トスルモ、ひすてりー性麻痺ニシテ長年同様ノ狀態持續スルモノモアリ。即チ、持續時間ノミヨリシテ官能性麻痺カ否カハ定メ難シ。寧ロ、麻痺ノ部位ガ解剖的ノ神經分佈ト一致スルヤ否ヤ、又ソノ性質ト他ノ症狀・殊ニ、反射機能・感覺症狀・等ト相俟ツテ鑑別スベキナリ。

II. ひすてりー・麻痺性癡呆・躁鬱病・早發性癡呆者ニハ一時的ニ一局部・半身又ハ全身ノ痙攣ヲ發スルコトアリ。一般ニ**發作** Anfall ト名ヅク。時ニハソノ發作後ニ於テ、半身ノ麻痺・又ハ萎弱・不全麻痺・等ヲ一時的ニ示スコトモアリ。就中、**卒中發作** Apoplektischer Anfall ノ後ニ於テ然リトス。

III. 或種ノ精神病者ニハ運動ノ**失調** Ataxie ヲ來タスコトアリ。失調ニハ大脳性・小脳性・脊髓性及ビ末梢神經性失調ノ差アリ。大小腦疾患・殊ニ、白癡・前頭葉腫瘍・小脳疾患・就中、幼若麻痺性癡呆・麻痺性癡呆・脊髓癆性精神病・ひすてりー・小舞蹈病・外傷後ノ精神異常・外傷性神經症・酒精中毒・硫化炭素中毒症・等ニ現ハル。

IV. **痙攣** Krampf ハ其ノ現ハルル廣狹ニヨリテ全身痙攣・一部痙攣等ノ別アリ。又其ノ現ハルル狀況ヨリ**強直性** Tonischer・及ビ**間代性痙攣** Klonischer Krampf ヲ別ツ。全身痙攣ハ一名、**大發作** Grosser Anfall トモ云フ。ソノ現ハルル場合ハ頗ル多シ。即チ、眞性癲癇・結節硬化・腦水腫・白癡・ひすてりー・麻痺性癡呆・腦黴毒・腦卒中・腦腫瘍・酒精・其ノ他ノ中毒症・動脈硬化性精神病ニハ勿論、時ニハ早發性癡呆・躁鬱病・變質者・等ニモ認メラルコトアリ。

大發作ノ最モ模型的ナルモノハ初メ**前兆** 即チ、**あうら** Aura アリ。後、忽チ意識ヲ失ヒ、コレト共ニ、全身ノ強直性痙攣起コル。次イデ全身

ノ間代性痙攣トナリ、終ニ昏睡状態ニ陥ルモノトス。時ニハ、ソノ後、頭痛・全身ノ疲勞・時ニ、感覺・運動異常・視野狭少・等ノ後症状モアリ。

痙攣ニハ上記、大發作ノ外、**皮質性癲癇 Rindenepilepsie**・**ひすてりー性痙攣 Hyterischer Krampf**・等アリ(後條癲癇ノ項参照)。

皮質性癲癇

皮質性癲癇トハ痙攣ガ身體ノ一部ヨリ發シテ漸次他ノ部位ニ及ブモノナリ。多クハ身體ヲ一巡シテ止ム。其ノ際、意識消失ハ少ナキカ又ハ無キモノナリ。發作後初メテ痙攣セシ部位ニ萎弱ヲ覺ユルコト多シ。大

ひすてりー性痙攣

腦皮質疾患・殊ニ、腦腫瘍・等ニ來ルモノナリ。ひすてりー性痙攣ハ頗ル多形ニシテ一定ノ規則ナキモ、持續時間長ク、突然起コラズ、意識漸次朦朧トナリ、間代性ニ手足ヲ動カシ、首ヲ反ラセ、或ハ全身ノ強直性痙攣トナリ、時ニハ全身ヲソラシ、所謂**ひすてりー弓 Hysterischer Bogen**ヲ描ク。成書ニ記スル佛國學派ノひすてりー性大發作ナルモノハ稀ニ見ル所ノ特別ノモノナリ(ひすてりーノ項参照)。

癲癇發作頻發症

癲癇性痙攣發作ノ頻々續發スルモノヲ**癲癇發作頻發症**又ハ**累積症 Status epilepticus**ト云フ。其ノ際多クハ意識濁濁・發熱ヲ伴フ。發作ノ夥シキトキハ一日數十回ニ及ブコトアリ。急癲・癲癇ニハ勿論、麻痺性癡呆・腦黴毒・早發性癡呆ニモ來リ、往々死ノ轉歸ヲトル。

尙ホ精神病ニハソノ他ノ一部性痙攣ヲ來タスコトモ屢々アリ。殊ニ、麻痺性癡呆ノ發作・ひすてりー發作・等ニ於テ然リトス。

以上ノ痙攣發作ハソノ狀況ノミヨリソノ病ヲ鑑別スルハ難シ。例之、ひすてりーニテ癲癇性發作ヲ示スコトアリ。癲癇ニテひすてりー様發作ヲ來スコトモアリトス。又皮質性癲癇ト眞性癲癇トハ發作ノ狀態ヨリ鑑別セラルルモノニモ非ザルナリ。精神病・例ヘバ、躁病・麻痺性癡呆・酒精中毒・腦黴毒ニ於テハ大發作ヲ來タスコト多キモ、又他ノ破格ノ發作ヲ發スルコトモ少ナシトセズ。

V. 攣縮 Spasmus・**強剛 Rigidität**。筋肉ノ他動的運動ニ對シ抵抗ヲ與フル症候ニシテ、時ニ錐體道異常ノタメ、又ハ外錐體道障礙ノタメニ發シ、或ハ精神的ノ障礙トシテモ來タルモノナリ。腦性小兒麻痺・動脈硬化・間腦ノ疾病・嗜眠性腦炎後ノばるきんそにすむすニ多ク、マタひすてりー・緊張病ニアリ。何レモノノ症候・本態ヲ異ニス。

VI. 震顫 Zittern ハ多種ノ精神病者ニ現ハル。其ノ最モ著明ナル 震顫ハ酒客謔妄ナリ。ソノ折ノ震顫ニハ全身ニ互ル粗大ナル震顫ヲ例トス。老耄性癡呆・慢性中酒症・等ノ病ニ來ルモノハ細カキ平等ノ規則正シキ震顫ナリ。麻痺性癡呆ニハ展ベタル手指・口唇・等ニ震顫ヲ見ルコト多シ。又、同病ノ震顫ハ大小不定ナルヲ例トス。ひすてりー・癲癇・外傷性神經症ニ伴フ精神異常症・單純ノ神經衰弱症・躁鬱病・其他一般ノ興奮狀態ノ時ニモ甚ダ不定ナル震顫ノ存在ヲ認メラルコトアリ。殊ニ、癲癇ニテハ發作性ニ震顫ヲ呈スル例證ニ乏シカラズ。腦炎後ばるきんそにすむすノ際ニモ震顫亦頗ル著明ナルモノアリ。即チ、要スルニ震顫ハ心因性・器質性・殊ニ、間腦症候トシテ現ハルモノナリ。

VII. 神經ノ器械的刺戟ニ對スル興奮性ノ亢進症アリ。ウチ顔面神經枝ヲ打ツトキ同枝ニヨリ支配セラル顔面筋ノ搐搦スルコトアリ、**クボステック**症候即チコレナリ。早發性癡呆者ニ往々コレヲ見ル。

VIII. 他ノ運動症候ニハ**ちつく様運動 Ticartige Bewegung**・**あてと一ぜ様運動 Athetotische Bewegung**・**舞蹈病様運動 Choreatische Bewegung**・等アリ。是等ハ或ハちつく・又ハ、舞蹈病ヲ既有セシモノニ、或種ノ精神病ヲ偶發セルモノ・又ハ、腦性小兒麻痺・腦出血後ノ精神病・麻痺性癡呆・老耄性癡呆・等ニ同症ヲ症候的ニ來タセルモノナリ。

ちつく・舞蹈病様運動症候ハマタ早發性癡呆・殊ニ、年少者ノ破瓜病・躁病ニ現ハル場合モアリ。

IX. 腦性小兒麻痺・麻痺性癡呆症ニハ所謂、**隨伴運動 Mitbewegung** 隨伴運動ノ發スルコト多シ。發音ノ際、顔面筋ニ現ハルモノ殊ニ多シ。

X. 器械的刺戟ニ對スル筋肉ノ興奮性亢進症トハ筋・殊ニ、**大胸筋** 筋内器械的刺戟興奮症ヲ打診槌ニテ叩打スル時ニ、同所ノ筋纖維束ガ突然收縮シテ其ノ部ガ忽チ腫起膨大スル現象ヲ云フ。本症ハ營養不良・内分泌異常・ソノ他ノ身體病ノトキ・殊ニ、結核・等ノ折ニ來タルコト多キモ、又、精神病・殊ニ、早發性癡呆ノ初期ニ現ハルコト多シ。

XI. **纖維性搐搦 Fibrilläre Zuckung** ヲ顔面・殊ニ、**頰部・口唇**ニ於 纖維性搐搦

ちつく様運動
あてと一ぜ様運動
舞蹈病様運動

テ認メラルコトアリ、麻痺性癡呆者ニ多シ。

XII. 反射運動 Reflexbewegung ニハ、腱反射・就中、膝蓋腱反射・アヒレス腱反射・提舉筋反射・瞳孔反射・等ノ必要ナル症狀アリ。ウチ、**瞳孔ノ對光反射ト膝蓋腱反射トハ精神病學ニハ最モ重要ナル症狀ニシテ**、特ニ、麻痺性癡呆・ソノ他ノ器質的疾患ニ於テハ往々ソノ異常ヲ示スモノナリトス。

瞳孔

1. **瞳孔 Pupille** ハ普通、其ノ形狀正圓ニシテ、左右等大ナルヲ例トス。常人ニテ其ノ大キサ左右不等ナルハ稀ナリ。マタタトヒ、コレ有リトシテモ其ノ差ハ僅ニ直徑 0.5 耗以內ナリト云フ。

瞳孔ノ大サハ年齢ニヨリ、室ノ明ルサニヨリ、病ノ種類ニヨリテ大差アリ。一般ニ中年者ノソレハ普通ノ室内光線ニテハ直徑 2-4 耗ナルヲ例トシ、老人ニテハ普通之ヨリモ小サク、幼者ニハ大ナルヲ常トス。

對光反應
調節現象
輻輳現象

瞳孔ハ(1)眼球内ニ光線ノ入ル時・(2)近キ場所ヲ凝視スル時・(3)及ビ眼軸ヲ輻輳スル時ニ收縮ス。(1)ヲ**對光反應 Lichtreaktion**・(2)ヲ**調節現象 Akkommodation**・(3)ヲ**輻輳現象 Konvergenzphänomen** ト名ヅク。

疼痛反射

又瞳孔ハ(4)皮膚ニ疼痛感覺アルトキ・(5)精神作用・殊ニ、注意ヲ集中スルトキニハ散大ス。(4)ヲ**疼痛反射 Schmerzreflex** ト云ヒ、(5)ヲ**瞳孔ノ精神反射 Psychischer Reflex** ト名ヅク。

精神反射

(6)瞳孔ハ又其ノ一側ノ眼底ニ光線ヲ送入セラルルトキヨリモ、兩眼ニ光線ノ射入セラレタルトキノ方強ク縮小ス。コハ初メ光線ガ一眼ニ入リテ其ノ瞳孔ヲ收縮シタル後チ、更ニ他側ノ眼球ニ光線ノ入ルトキ、一度ビ縮小セシ瞳孔ガ更ニ縮小スルモノト考ヘラル。**續發反射 Sekundärer Reflex** ト云フ。

續發反射

然ルニ病者ニテハ瞳孔ニ色々ノ異常ヲ呈ス。即チ形ノ不正圓ニシテ、角張ルモノアリ。麻痺性癡呆者ニ見ルコト多シ。早發性癡呆者ニ於テモ時ニ橢圓形・乃至、梨子狀ナルモノアリト云ハル。又瞳孔ノ大サガ左右ニ於テ異ナルモノアリ、**瞳孔左右不等症 Anisokorie** ト云フ。麻痺性癡呆ニ於テ殊ニ著シ。斯カル病症ニアリテハ優ニ1耗ヲ超ユ。

瞳孔左右不等症

瞳孔ハ常態ニ於テ廣クナリ狭クナリ、常ニ大小ヲ變ジ居ルモノトス。其ノ理由ハ不明ナルモ恐ラク精神活動ニ伴フ結果ナラズヤト假想セラレ。而シテコノ瞳孔ノ絶エズ大小ヲ變ズル性質ノ時ニ激シキコトアリ。**ひつぷす Hippus** ト云フ、神經質者ニ多キモ鑑別上ニ役立つベキ症狀

ニハアラザルナリ。ブムケハ早發性癡呆・殊ニ、其ノ癡呆狀ニ陷レルモノニハ、コノ瞳孔ノ大サヲ變化スル**瞳孔不安症 Unruhe**・痛覺反射・精神反射ヲ缺如スト云フ。

對光反應ハ精神病ニヨリ或ハ銳キモノアルモ、麻痺性癡呆ニハ鈍ク、時ニコレテ缺ク。同病ニハ同時ニ調節反應モ鈍キカ或ハ缺ケ居ルコトアリ。時ニ對光反射ノミ不良トナリ、又、續發的反射ノ早クヨリ消失スルモノモ多シト言ハル。

若シ對光反射ノ缺ケテ、輻輳及ビ調節現象ノ比較的良好ナルトキハ之レヲ**アーガイル・ロバートソン症狀 Argyll-Robertsonsches Symptom** ト云ヒ、**腦徽毒ノ唯一症狀トシテ來ルコト稀ニハ存在スルモ**、普通ハ、**脊髓癆・麻痺性癡呆・又ハ腦炎後ニ來タルモノナリ**。

アーガイル・ロバートソン症狀

瞳孔ノ對光反射遲鈍症ハ**腦徽毒・慢性酒精中毒症・老耄性癡呆・ひすてり一發作時・めらんこり一様状態**・等ニ來タルコト往々アリトス。

時ニハ瞳孔ニ光ノ入ルヤ收縮スルモ忽チ散大シ、タメニ瞳孔ハ恰モ光ニ應ジテ散大セシガ如クニ見ユルコトアリ、**悖理現象 Paradoxe Erscheinung** ト云フ。

悖理現象

2. **膝蓋腱反射 Knireflex** ノ異常ニ亢進セルモノハ精神病ニテハ躁病・早發性癡呆ノ初期・又ハ興奮期・衰憊性精神異常・麻痺性癡呆・ひすてり一・癲癇・等ノ場合ナドニアリ。麻痺性癡呆者ニテハ殊ニ、左右其ノ度ヲ異ニスルモノ亦往々アリトス。

膝蓋腱反射

膝反射ノ減退ハ抑鬱状態・或種中毒性精神病ノ或状態・麻痺性癡呆患者・等ニアリ。殊ニ、麻痺性癡呆者ニテハ脊髓癆者ト同ジク膝反射ノ全ク消失セルモノ亦少ナシトセズ。サレド一般ニハ、精神病者ハ不隨意ニ全筋肉ヲ強ク緊張セルタメ、脚筋ヲ任意ニ弛緩セシムルコト能ハズシテ、膝反射ノ出現困難ナル場合仲々ニ多シ。

3. アヒレス腱反射ハ麻痺性癡呆ニシテ膝反射尙ホ存セルニ既ニ消失セルモノアリ。早發性癡呆者ニモ該反射ノミ弱キ人ナキニ非ス。サレド同反射ハ生理的ニモ其ノ強弱ヲ異ニスルコト大ナレバ、ソノ異常ハ直チニ鑑別ニハ役立つモノト云ヒガタシ。

アヒレス腱反射

三頭筋反射
前膊筋反射
皮膚反射

三頭筋反射・前膊筋反射・其ノ他ノ諸腱反射・竝ビニ皮膚反射ハ精神病ニハ神經性疾患ニ於ケルガ如キ診斷的價値ヲ認メラズ。

膀胱反射

4. 内臓機能・血管ニ於ケル諸反射ノ異常ハ相當ニ多シ。腦ニ於ケル排尿・竝ビニ、抑尿ノ反射機能ニ障礙アリテ、尿ノ失禁・閉尿・等ヲ來タスコト往々アリ。殊ニ、癡呆者・麻痺性癡呆・動脈硬化症・其ノ他、意識濁濁ヲ示セル精神病者ニ於テ之レヲ見ル。白癡・癡愚者ニテハ神經性遺尿症・夜尿症ヲ見ルコト亦甚ダ多シトス。

血行分配・呼吸・脈搏・胃腸運動・竝ビニソノ分泌反射ニツキテハ精神病異常者ニ於テ或ハ烈シク、或ハ弱シ。之ガタメニ種々ノ症狀ヲ呈スルコトアリ。コハ後條各章ニ於テコレヲ述ブベシ。

第三節 感覺ノ障礙

感覺異常

精神病者ニハ又感覺ノ障礙ヲ來タスコトアリ。殊ニ、ひすてりー・麻痺性癡呆・中酒性精神病・其ノ他ノ器質的腦疾患ニ基ヅク精神病者・等ニモ屢々現ハルモノナリ。

I. 視覺異常ニハ視野狹小・視力異常・色神異常・等アリ。ひすてりー・外傷性神經症ノ如キ官能性神經症ニ伴フ精神病異常者ニモ往々認メラル。脊髓癆・麻痺性癡呆・腦微毒・卒中後精神異常・白癡ノ或種（家族性黒内障性白癡）等ノ如キ腦ニ器質的疾患アル病ニ伴フ精神病者ニ往々アリ、癲癇發作後ニモ、時トシテ同症ヲ認メラル。

II. 聽力ノ減弱・低能・白癡ニ多く、時ニハ脊髓癆・麻痺性癡呆ニ於テハ原發的聽神經萎縮ニヨリ認メラルコトアリ。ひすてりーニハ聽力ノ減退・缺損・過敏ヲ呈スルコト多シ。

III. 味覺・嗅覺ノ一部性・全部性缺損症・過敏症アリ。ひすてりー・白癡者ニ於テ見ルコト少ナカラズ。

IV. 皮膚感覺異常モ精神病者ニ往々アリ。

(1) 殊ニ多發性神經炎ニ伴フ精神病・又、卒中後精神異常ニ於テハ病竈部位ニ應ズル觸覺鈍麻症アリ、

他ニ腦微毒・腦膜炎・腦質炎ニ伴フ精神異常・ひすてりーニモ半身・局部性ノ皮膚觸覺異常症アルコトアリ。

(2) 痛覺ノ異常ハひすてりー者ニ認ムルノ外、多發性神經炎ニ伴フ精神病者・酒精中毒者・麻痺性癡呆者ニ之レヲ見ル。殊ニ、麻痺性癡呆者ニテハ一般ノ痛覺鈍麻症アリ。

ひすてりーニ於テハ皮膚ノ或部位ニ感覺ノ過敏・鈍麻・等ノ異常症狀アリ。所謂ひすてりー性特徵 Hysterische Stigmata コレナリ。

ひすてりー性特徵

又、胸骨下部・乳房部・季肋部・卵巢部・顛頂部・等ニ特異ノ壓痛點 Druckpunkt トテ、之ヲ壓スレバ劇シキ痛ミヲ覺ユルモノアリ。

壓痛點

神經衰弱症者ニハ頭痛・脊柱ノ痛覺過敏症ヲ訴フルコト多シ。

腦腫瘍・腦微毒・麻痺性癡呆ノ初期ニハ劇シキ頭痛 Kopfschmerz アルモノ多シ。

頭痛

神經幹ノ壓痛ハ多發性神經炎ニ認メラルコトアリ。

神經幹ノ壓痛

(3) 脊髓癆・麻痺性癡呆ノ初期患者ニハ尺骨神經經路ヲ肘關節ノ内側ニテ壓迫スレバ、ソノ末梢部ニ、常人ノ感ズル如キ異様ノ感覺ヲ覺エザルコトアリ、**ビールナッキー症狀** Biernackisches Symptom ト云フ。

ビールナッキー症狀

(4) 筋覺ハ脊髓癆・麻痺性癡呆・等ニテ侵サルコト多シ。

(5) **立體感覺** Stereognostischer Sinn ハ顛頂葉邊ノ腦實質變化ニ伴フ精神病異常者ニ於テ往々異常ヲ認メラル。

立體感覺

第四節 榮養及ビ分泌ノ障礙

榮養及ビ分泌ノ障礙

I. 精神病、殊ニ其ノ初期ノ者ニテ病勢熾烈ナルトキハ榮養衰フルモノ多シ。サレドソノ後、病勢ノ弱ハリテ治癒スルカ、又ハ、癡呆ニ陥レルトキニハ其ノ榮養恢復スルモノ多シ。幻覺多ク、意識濁濁シテ譫妄狀態ヲ呈セルモノ・又ハ、拒食症アリテ攝食セザルモノ・苦悶・不安ノ狀態ニ在ルモノ・等ニ於テハ榮養ノ減衰ヲ久シク示スモノ甚ダ多シ。殊ニ、麻痺性癡呆ニテハ病勢進行セバ同病ノタメ榮養ノ著シク衰フルモノアリ。早發性癡呆ノ初期ニモ亦コレニ類スル羸瘦狀態ノ存スルコトアリ。麻

骨折 癡性癡呆ノ末期ニ於テハ全身ノ榮養衰ヘ、ふるんける生ジ、骨折・又ハ褥瘡 Decubitus ヲ呈シ、其ノ治療ノ甚ダ困難ナルコト往々アリ。コハ凡テ間腦ノ榮養中樞故障ニヨルモノト解セラル。

II. 精神病ニハ内分泌異常ニ基ク症狀多シ。甲状腺腫・眼球突出・軟膏顔面・粘液水腫様全身肥滿症・等亦稀ナラズ。又ソノタメノ全身發育異常モ頗ル多シ。例ヘバ腦下垂體ノ疾病ノタメニ全身肥胖シテ丸味ヲ帶ビ、鬚髯失セ、男子ニテ婦人ノ如キ外見ヲ呈スルモノアリ。コレニ伴フテ性慾減退ス。所謂、**肥胖性生殖器不全的榮養障礙 Dystrophia adiposogenitalis** コレナリ。コレニ似テ稍ヤ異ナルモノニハ、全身肥胖セズ、只下腹部・腰部・臀部・等ノ肥コルモノアリ。コノ原因ハ生殖腺分泌ノ異常ニ基ヅクモノニシテ、コレト共ニ、色情減弱・發育不良症・等ヲ伴フモノトス、**類宦官症 Eunuchoidismus** ト云フ。同症ニハ全身ノ頗ル高クナルモノ・上半身ノ大ナルモノ・下半身ノ大ナルモノ・指極 Spannweite ノ大ナルモノ・等アリ。タメニ高サニ於ケル**巨身症 Riesenwuchs** ト**肥滿症 Fettsucht** トヲ別ツ人アリ。

松果腺・副腎ノ異常ニヨリテモ一部分・又ハ、全身性ノ發育異症ヲ來タスモノアリ。

III. 精神病者・殊ニ、緊張病者ニテハ、(1)唾液ノ分泌亢進セルモノ。又ハ(2)發汗過多症ノアルコトアリ。又(3)めらんこりー・等ニ於テハ胃腸液ノ分泌減少スルコト多シ。(4)殊ニ婦人ニシテ精神病ヲ發スルトキニハ月經ノ不調ヲ來タシ、時ニハ全ク閉經シテ、治癒ト共ニ初メテ再潮スルモノモアリトス。

第五節 血行・血壓・血液及ビ腦脊髓液

I. 興奮セル精神病者、殊ニ、輕躁病患者ニ於テハ顔面充血シ、眼光血走り、上衝スル人多シ、之レニ反シ、抑鬱狀態及ビ緊張病者ノ昏迷狀態ニ在ルモノニテハ血色不良ニシテ貧血性ニ見ユルモノ多シ。

II. 血壓ハ躁病・麻痺性癡呆・早發性癡呆・殊ニ、ソノ昏迷時ニテハ減

肥胖性生殖器不全的榮養障礙

類宦官症

唾液分泌

月經

血行・血壓
血液及ビ腦
脊髓液

ジ、老耄性癡呆・中酒性精神異常・抑鬱・苦悶狀態ノモノニハ亢進スルヲ普通トス。

III. 精神病者ノ血液 Blut ニ關シテハ既ニ多クノ學者ヨリ檢索セラレタル業蹟少ナカラズ。然カモ尙ホ未ダ或病ニ固有ナル所見ナシ。之レニ關スル業蹟ノ一般ヲ記スレバ、

1. 血球ノ檢査ニハ (a)白血球ノ數・(b)其ノ各種細胞ノ形態變化・(c)各種白血球ノ割合・(d)血球ノ同張力・(e)血球沈降速度・(f)血液凝固時間・(g)血小板・(h)血色素ノ多寡・(i)血液ノあるかれずせんつ測定・等之レニ屬ス。

2. 又血清ニツキテハ (a)ソノ毒力・(b)化學的構成・(c)酸酵素・殊ニ、あんちとりぶしん・かたらーゼノ含有量・(d)生物化學的檢査・等アリ。ワッセルマン反應・ムフ反應・ガイスレル反應ナド後者ニ屬ス。

其ノウチ主ナル事ヲ擧グレバ、白血球ノ種類ハ早發性癡呆ニハ單核白血球多シト云ヒ、殊ニ緊張病型ノモノニハえおじん嗜好細胞増ス事實アリ。酒客譫妄ノ譫妄時ニハえおじん嗜好細胞減ジ、麻痺性癡呆者血清ニハ對菌力減ジ、あんちとりぶしん量増スナドノ報告アリ。

血清ノ**ワッセルマン反應 Wassermannsche Reaktion**・即チ、**補體結合試驗 Komplementablenkungerscheinung** ハ**微毒性精神病・脊髓癆性精神異常・殊ニ、麻痺性癡呆ニ認メラル。**

ムフ精神反應 Muchsche Psychoreaktion、一名、**こぶら毒反應**トハこぶら蛇毒ガ普通ニテハ人ノ血球ヲ溶解スルモノナルニ、精神病者血清ノ混在スル時ニハ同作用ノ抑止セラルルコトアリトノ事實ニ基ヅク反應ノ檢査ニシテ、同反應ハ早發性癡呆・躁鬱病・癲癇ニ陽性ナルコト多シトセラルルモノナリ。但シソハ確實ナルモノナラズ。

ガイスレル反應 Geisslersche Reaktion トハ或種精神病者血清ニヨリ豫メ準備セラレタル家兎血清ハ同病患者血清ニ對シ特異ノ沈降作用ヲ示スト云フ事實ニ基ヅクモノニシテ、同反應ハ早發性癡呆・就中、緊張病・破瓜病血清ニテ準備セラレタル同病血清ニ免疫トナレル血清ハ同病患者血清ニ對シ沈降作用ヲ示スコトハ著明ナルモ、妄想性癡呆者ノ血清ニヨリ準備セラレタル家兎血清ハ同病患者血清ニ對シテハ特異性ナク、緊張病者血清ニヨリ準備セラレタル家兎血清ハ又

ワッセルマン反應

ムフ精神反應

ガイスレル反應

緊張病者ノ血清ニヨリ強ク、破瓜病者ノ血清ニヨリテハ弱度ニ凝集反應ヲ呈スモノナリ。又、破瓜病者ノ血清ニテ準備セラレタル家兎ノ血清ハ只破瓜病者ノ血清ニヨリテノミ反應スト云フ。是レマタ確實ナル反應トハ云ヘザルナリ。

腦脊髄液

細胞增多症

四反應

ニツスル・
エスバツハ
法

ノンネ・ア
ペルト法

ごんどぞー
る試験法

IV 腦脊髄液 Liquor cerebrospinalis, Zerebrospinalflüssigkeit ニハ蛋白質ノ増加・殊ニ、ぐるぶりん反應・細胞增多症 Pleozytose・ワッセルマン反應ノ検査普通行ハル。此ノ三反應ハ血清中ノワッセルマン反應ト共ニ四反應 Vier Reaktionen ト稱セラレ、ソノ反應ノ陽性ナルコトハ麻痺性癡呆ニ殆ンド固有トセラレモノナリ(麻痺性癡呆ノ項参照)。

尚ホ腦脊髄液中ノ全蛋白質ヲ檢スルコトアリ。ソレニハ普通、ニツスル・エスバツハ法 Nissl-Esbachs Methode ヲ用ヒ、ぐるぶりんヲ定ムルニハノンネ・アペルト法 Nonne-Apeltische Methode 行ハル。

同様ノ目的ニテごんどぞーる試験法 Goldsol-Probe アリ(凡テ、之等ニ關スル記述ハ麻痺性癡呆ノ項ヲ参照スベシ)。

他ニワルター Walter 法トテ臭素劑ヲ内服後、同劑ノ腦脊髄液ト血液ニアル割合ヲ檢シ血液腦脊髄液間關門 Blutliquorschranke 舊名、腦膜過透性 Permeabilität

第三表 常人及ビ諸種精神異常者ノ總蛋白量ト蛋白商表(林暉氏ニヨル)

	總蛋白量	蛋白商(GI:Al)
常人	0.14-0.3% (細胞數 1-5)	0.2-0.4(0.5以上病的)
〔小兒 0.2% 以下・壯年期迄0.25%・初老期0.3%〕		
腦震盪後	0.4%	
腦腫瘍	約 1/5 ハ普通・最大 2.0%	時 = 0.5
腦炎後げるきんそにすむす	0.3-0.4%	
急性腦炎	0.5 %	時 = ca.1.0 (但シ汎發性炎症ノトキ)
早發性癡呆	0.30%以上ノモノ 40% 0.25%以上ノモノ 61% 最高 0.55 %	略正常
腦黴毒	0.7-1.0%	0.5 以下
麻痺性癡呆	0.2-2.9%・最多0.6-1.0% 平均 0.8%	0.58-2.8. 平均 1.18 最多キハ 0.6-1.0
癲癇	0.4%マデノモノ略半数アリ	

ノ測定トナス法アリ。ハウプトマンハ早發性癡呆ニテハ臭素透過性減退スルモノ多ク、タダ豫後好良ナルモノニハソノ量増スト云フ。兩液臭素量ノ比 (Bl:liq) 即チ P Q ノ常人價ハ 2.8-3.2・同病者 170 人中 2.8 以下ハ 20 %、3.2 以上ハ 60 % ナリト云フ。

内村博士・石橋俊實學士・遠藤義雄博士・等ノ報告ニヨレバ、麻痺性癡呆ノ多數ニ於テハ透過性増大シ、早發性癡呆ノ多數ニ於テハ減少スト云フ。東大林暉氏ノ研究ニヨレバ、ワルターノ云フ P Q 正常價 2.9-3.5 = 比シ早發性癡呆ノソレガコノ限界内ニアルモノ 56.7% 3.5 以上ノモノ即チ、透過性減退ヲ示スモノハ 32.8 %・2.9 以下、即チ亢進ヲ示スモノハ 10.3% ナリ。即チ早發性癡呆者ノ關門透過性ハ著シク減退スト云フ。

又腦脊髄液中ノぐるぶりん量ヲあるふみん量ヲ以テ除セル商・即チ $\frac{GI}{Al}$ ハ蛋白商 Eiweißquotient ト云ヒ、種々ノ精神異常者ニ於ケル同量ノ測定既ニ行ハル。同ジク林暉氏ノコレニ關スル報告ニヨレバ、各疾病ニ於ケルソノ値ハ凡ソ第三表ニ掲ゲル如シ。

フォルステル以後腰椎穿刺ヲナシ 蜘蛛膜下腔ニ沃度なとりうむ (0.2) ヲ注入シ、同液ノ尿中ニ排泄サルル遲速ヲ沃度澱粉著色反應ニテ檢スレバ、種々ノ疾病・就中、頭部外傷後ノ急性精神異常・竝ビニ、ソノ後胎症ナドニ於テ常態ト異ナルトコロアリト知ラル。ソノ後、量的關係ニツキテモ調ブル人アリ。秋元波留夫學士ハソノ詳細ナル研究ヲ公ニス。之レニヨレバ早發性癡呆・殊ニ、緊張病・頭部外傷・麻痺性癡呆・等ニハコノ腦脊髄液沃度吸收機轉ニ變化アルコトヲ認メタリ、

蛋白商

腦脊髄液沃度吸收機轉

第六節 腦髓描寫法 Enzephalographie.

腦髓描寫法

腰椎穿刺ヲナシ、同所ヨリ腦脊髄液ヲ流出セシメ、ソノ後チ之レニ 80-120c.c ノ空氣ヲ送クリ、頭部ノレントゲン像ヲ製スレバ大脳穹窿面・竝ビニ、腦室ノ狀況ヲ知ルコトヲ得、腦髓描寫法・即チ是ナリ。

同法ハ初メ腦腫瘍・等ノ診斷ニ試ミラレタルモノナルガ、今日ニテハ精神病ノ診斷・殊ニ、早發性癡呆・麻痺性癡呆・癲癇・頭部外傷・白痴・等ノ検査ニハ缺クベカラザルモノトナレリ。(當該各病ノ項参照)。

第二篇 精神病學各論

第一章 頭部外傷ニ基ク精神異常

Die psychischen Anomalien durch Kopftrauma.

頭部外傷 頭部外傷ニヨリ精神異常ヲ來タストキハ、ソノ損傷ノ廣狹・病變ノ性状・輕重・緩急・等ニヨリテ種々ノ病型ヲ示ス。ウチ輕症ニシテ腦實質ニ著明ノ變化ナク只一時的ノ意識濁濁アルトキニハ、所謂、**腦震盪** Hirnerschütterung, Commotio cerebri ト云ヒ、徐脈・嘔吐・呼吸異常ヲ伴フニ止マル。而カモ、ソノ後、一時的的精神異常ヲ發スル事アリ、**急性腦震盪性精神病** Akute Kommotionspsychose ト稱ス。

外傷性譫妄 ソノ著シキトキハ譫妄狀トナル、**外傷性譫妄** Traumatische Delirien ノ名アリ。斯カル一時的症狀ノ去レバ常態ニ戻ルヲ普通トスルモ、時ニハ、ソノ後、性格異常ヲ來タシ、或ハ刺激性トナリ、憤怒シ易ク、疲勞性亢進シ、作業減退シ、時ニハ、ひすてり一・癲癇トナリ、又ハ飲酒不堪症・等ヲ發スルコトモアリトス。之レヲ**腦震盪後ノ遺殘狀態** Residualzustand nach Commotio cerebri ト云フ。

若シ頭部外傷ノ度強クシテ、ソノタメニ腦ノ實質ニモ烈シキ變化ヲ來タストキニハ、ソノ症狀一般ニ重ク、且、種々ノ竈症狀ヲモ示スモノナリ。殊ニ、痙攣・麻痺・感覺異常・視野異常・失語症・言語障礙・強剛・小腦性失調・等ヲ見ルコト多シ。特ニ**腦挫傷** Contusio cerebri ノ名アリ。ソノトキニハ精神症狀モ重ク、意識ノ濁濁・不安・幻錯覺・言語錯亂・興奮・等ノ症狀アリ。ソノ經過モ長ク、眞ニ外傷性譫妄ノ名ニ相當スルモノモアリ。又、斯カルトキニハ、ソノ後ノ遺殘症狀モ烈シク、時ニ癡呆狀ニ陥ル。**外傷後癡呆** Dementia posttraumatica ノ名アリ。

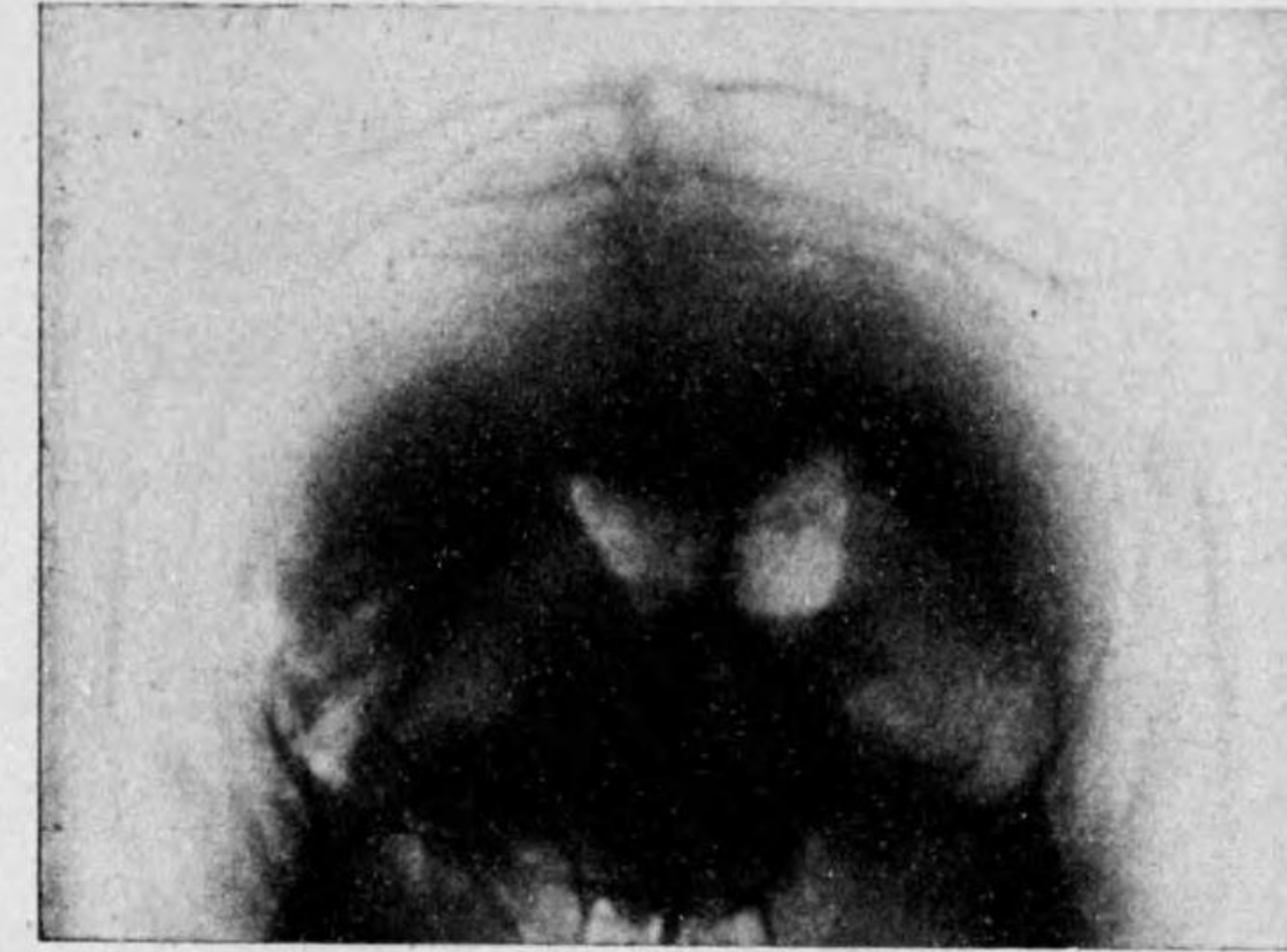
急性腦震盪性精神異常 **甲 外傷直後ニ現ハルル急性腦震盪性精神病** Akute Kommotionspsychosen.

頭部外傷ノ直後ニ生ズル意識濁濁ノ輕キトキニハ主觀的ニ單ニ輕微ナル茫乎ノ感ヲウルニ止マルモ、重キ時ニハ無意識狀態ニ陥ル。ソノ持續時間ハ數分・乃至、1-2時間ナルヲ例トスルモ、甚シキハ1-2日ニ及ブ。

コノ無意識狀態ヨリ健康狀態ニ戻ル間ニ、記録・記憶不良ナル狀態ヲ示スコト甚ダ多シ。ソノ重症ノトキハ指南力喪失シ、記録力モ烈シク侵

サレ、且、古キ事柄ハ比較的ヨク覺エ居ルモ、近時ノ追想ハ悪ク、時ニ外傷ノアリタルコトスラ覺エズ(逆行性健忘)。或時ハ虛談症アリテ、著明ノコルサコフ症狀群ヲ示スニ至ルモノアリ。感情ハ比較的爽快ニシテ殊ニ自己ノ病メルコトヲ知ラヌモノ多シ。サレド又途方ニ暮レ、茫然・自失スルモノモアリトス。興奮・不安・不眠・1-2ノ幻覺・妄想アルモノモアリ(外傷性譫妄)。

斯カル狀態ハマタ忽チ去リ數時間乃至1-2日ニテ止ムヲ例トス。治スル時ニハソレ等ノ幻覺・妄想漸次減ジ、行爲普通トナリ、記憶徐々ニ恢復スルヲ例トス。



第16圖 腦挫傷後ノ精神異常者ニシテ側腦室擴大・殊ニ、左右不等ノ甚シキヲ示ス圖

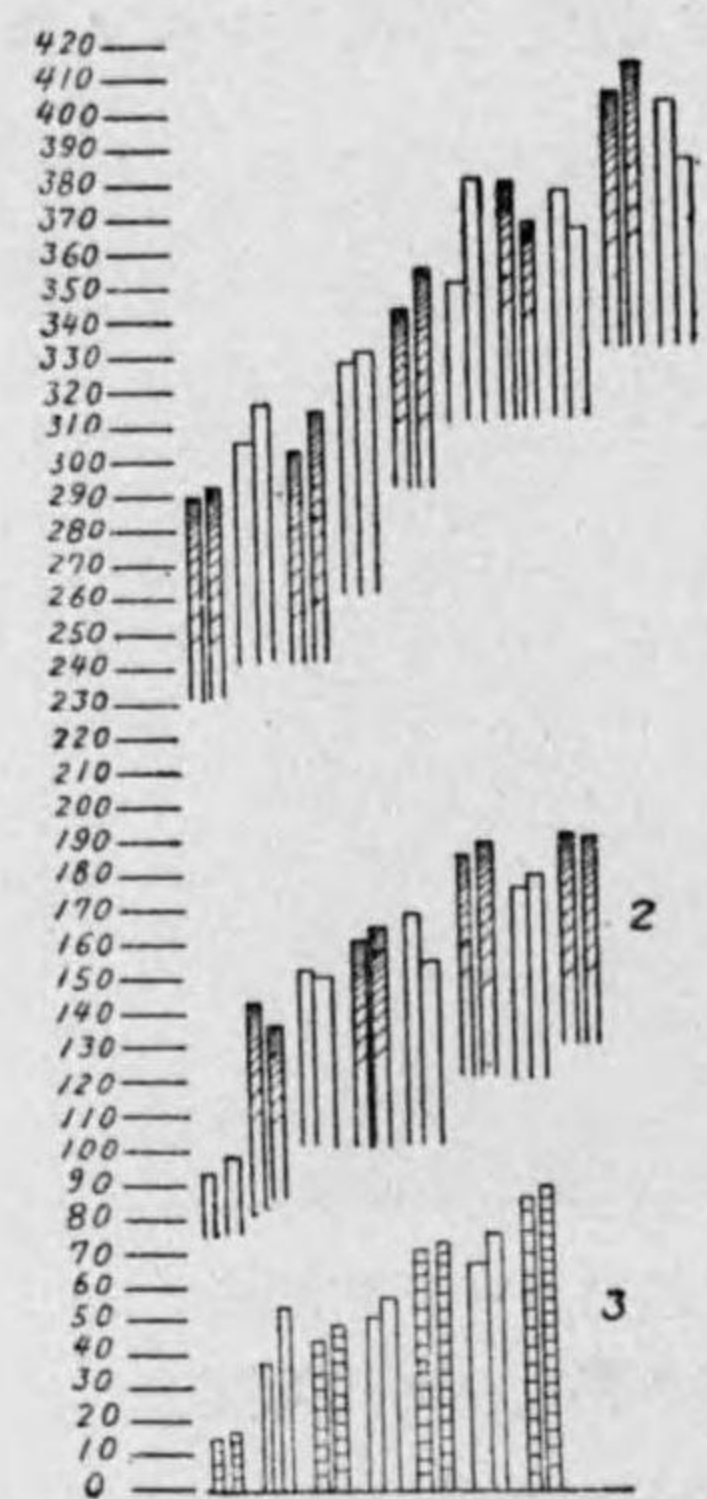
腦挫傷後ノ精神異常ノ際ニハ以上ノ如キ精神症狀一層強ク、意識濁濁・興奮・不安・幻覺・錯覺・言語錯亂ノ外、特ニ、竈症狀トシテ痙攣・麻痺・失語症・半盲症・感覺異常・小腦性失調・等アリ。尙ホ、腦實質又ハ腦膜ノ炎症モ加ハリテ發熱・其ノ他之レニヨル諸症狀ヲ示スモノナリ。

經過長シ。時ニハ、緊張病様症狀・昏迷・常同症・言語錯亂・適當ノ言葉ヲ見出シ難ク、詞語新作・同一言語ノ粘着・行爲倒錯・書字失調・癲癇發作・麻痺・瞳孔反應ノ遲鈍タルコト・等モアリトス。

時ニ斯カル急性症狀タル精神朦朧狀態ヨリ恢復シテ悟性ノ生ズル後、尙ホ、譫妄狀中ニ考ヘタルコトヲ久シク眞實・又ハ、正當ナリト信ズル人アリ。又、本症ノ遺殘狀態タル性格異常トシテ、怒リ易ク、或ハ元氣失セ、作業出來ズ・記憶不良・心氣症・不眠・眩暈・頭痛ヲ示シ、時ニ、神經衰弱・ひすてり一様・癲癇・殊ニ、老年ニアリテハコルサコフ症狀群ヲ呈シ、又

ハ癡呆ニ陥リ、動脈硬化・老耄ニ移行シテ不治ナル者モアリトス。(後條
頭部外傷後遺殘状態・竝ビニひすてりー・癲癇・外傷性神經症ノ條参照)。

〔鑑別〕 頭部外傷後ニ發シタル急性精神症狀ガ果シテ外傷ニ基ク此
ノ種ノ病ナリヤ否ヤヲ定ムルニハ、第一、外傷ヲ受クル前、同人ガ果シ



頭部外傷後ノ遺殘状態

第17圖 1ハ常人ノ作業好良者、2ハ常人ノ作業不良者、3ハ腦震盪後胎症者ノ作業狀況ヲ示ス圖

テ健全ナリシヤヲ確實ニスベキコトナリ。サレド、コハ實際ニ於テハ難キ場合甚ダ多キモノト知ルベシ。

殊ニ、頭部外傷後、麻痺性癡呆・酒客譫妄・躁揚病・早發性癡呆ガソノ外傷ニヨリ發スルコトモ少ナカラズ、コレヲ單純ノ外傷性精神病ト誤マルコトナキヤウ注意スベシ(其等各病ノ條参照)。

〔治療〕 急性症狀アル折ニハ嚴密ニ監督シ、安靜ヲ旨トシ、頭部ノ氷嚢貼用・不眠・興奮ニ對シテ鎮痙劑・催眠劑・強心劑ヲ與ヘ、發熱アルトキニハ種々ノ合併症ヲ考ヘ適當ノ處置ヲ怠ルベカラズ。

乙 頭部外傷後ノ遺殘状態 Residualzustände nach Kopft trauma.



第18圖 後頭部ノ外傷ニヨリテ、側腦室ノ擴大セルヲ示ス圖

外傷直後ニ現ハレタル急性精神異常ノ去リテ後チ、同人ノ性格ガ變ルモノ甚ダ多シ。

ソレニハ1.神經衰弱様トナリテ、頭痛・眩暈・耳鳴・刺戟性・苦悶・疲勞

シ易ク・失念シ易ク・記憶衰へ・注意纏ラズ・作業力減退スルモノアリ。

第17圖ハ本病者ノ作業能力ヲ常人ノソレト對照セルモノニテ、1ハ常人ノ作業成績好良ナルモノ、2ハ常人ノ作業成績不良ナルモノ、3ハ本病者ノ作業成績ナリ。即チ、3ニテハ初メヨリ常人ノ如キ作業量ナク、殊ニ、同一作業ヲ反復スル間ニモ、ソノ練習性ナキタメ、作業ハ漸次増進スル事ナキヲ明カニ示スモノナリ。コノ實驗ハクレペリン累加法ニヨルモノトス。

2. 他型ニハ飲酒不堪症ヲ發ス。更ニ 3. 不良性癖・4. 悖德性・5. ひすてりー性・6. 癲癇・7. 意志薄弱・8. 好訴性・9. 作業減退症アリ。10. 稍重症ノモノニハ記憶・判斷共ニ不良トナリ、甚シキハ癡呆ニ陥ル。12. 時ニハ腦神經麻痺・半盲症・四肢ノ萎縮・失調・反射亢進・等アリテ一見、麻痺性癡呆ニ似ルモノアリ、**外傷性似而非麻痺性癡呆 Traumatisc** 外傷性似而非麻痺性癡呆 sche Pseudoparalyse ノ名アルモノ即チ是レナリ。

斯カル際、**腦髓透寫法 Enzcephalographie** ヲ行ヘバ、大脳表面ニ空氣入ルコト多ク、殊ニ、側腦室ハ擴大シ、就中、外傷ヲ受ケタル側ノソレガ大トナリ、左右側腦室不等像ヲ示スモノアリ。サレド又時ニハ腦室ニ空氣ノ入ラヌコト、又、ソノ腦脊髓液ノ性状ニ變化ヲ來タシ、ソノ壓高ク、全蛋白量増シ、又ハ腦膜透浸性ノ異常ヲ來タスコトナドアリ。

〔診斷〕 頭部外傷後ニ腦震盪ヲ來タシ、後日、神經衰弱様状態ヲ發セルモノハ、普通ノ神經衰弱ト誤ラレ居ルコト普通ナルモ、本症ハ寧ロ腦實質ノ變化ニ基ク特殊ノ病トスベシ。タダ神經症ニ似ルモノナレバ、**腦震盪性神經症 Kkommotionsneurose** ト云フヲヨシトスル人モアリ。 腦震盪性神經症

本症ハ又外傷性神經症・ひすてりート合併スルコト多キガ故ニ、兩者ヲ鑑別スルコトハ必要ナリ。

〔治療〕 外傷ニヨル頭蓋骨ノ骨折ノタメニ腦ノ壓迫セラルト思ハル時ハ外科的手術ヲ行ヒ、殊ニ、外傷性癲癇ニテハ大脳皮質ニアル癩痕部ヲ側室マデ全部摘出スル手術ヲヨシトセラル。他ハ對症療法ノミ。

第二章 中毒ニヨル精神異常 Die psychischen Anomalien durch die Vergiftungen.

第一 酒精中毒 Der Alkoholismus.

甲 急性酒精中毒 Akute Alkoholvergiftungen.

酒ヲ飲メバ、ソノ反應トシテ生理的ニモ輕キ**酩酊** Betrunkenheit ノ狀ヲ示ス。ソノ烈シキモノハ**亂醉**又ハ**泥醉** Rausch ト云フ。

酩酊

〔酩酊ノ心理〕 酩酊時ノ精神狀態ハ外界ノ刺戟ヲ理解スルコト難ク、不充分トナリ、領會遅ク、錯誤多キヲ例トス。他ニ、記銘力不良トナリ、意志發揮性ノミ亢マリ、ソノタメニ熟慮セザル行動多クナリ。考慮進行ハ意想奔逸症ノ形ヲトリ、意味ニヨル聯合減ジ、音聯合又ハ口調ニ基ツク聯合ヲ増ス。感情ハ初メ爽快ナルモ忽チ刺戟性トナリ、殊ニ憤怒シ易ク、之レト共ニ道德的觀念弱ハリテ良心ニ因ル制裁ヲ減ジ、不遠慮トナリ、輕卒ノ行動多ク、動作ニ誤リ増シ、粗暴トナル。而カモ斯カル精神亢奮ハ漸次麻痺ニ變ジテ、考慮ハ貧弱トナリ、言葉數ハ多キモ、考ヘ乏シク、終ニ、意志減退・感情鈍麻・果テハ嗜眠狀ニ陥ルモノトス。コレト共ニ身體ノ運動モ初メ興奮シ、多動トナリ、注意ハ散亂スルモ。後チ、麻痺性トナリ、失調性トナル。殊ニ、舌ノ運動ハ早クヨリ麻痺性・且、失調性トナリ、發音ハ不明瞭トナル、歩行ハ不確實・失調性・蹣跚トナルヲ例トス。筋力ハ初メ短時間ハ増スモ、忽チ減ズ。腱反射ハ概ネ亢進ス。

以上ノ諸症狀ガ現ハル時間・並ビニソノ興奮ヨリ麻痺ニ移リ行ク時期ハ、飲メル酒ノ量ノミナラズ、其ノ時ノ境遇・ソノ個性ニヨリテ大差アリ。殊ニ、個人差ハ甚ダ重要ナル影響ヲ與フルモノトス。

此等ノ個人差ハ僅ノ酒ヲ飲ミテノ實驗ニテモ明示セラルベキナリ。即チ、或人ハ理解・判斷・及ビ、意志興奮性共ニ凡テガ皆輕ク侵サルニ、他ノ人ハ凡テ其等ガ皆平等ニ烈シク侵サル。コハ無意識トナリテ運動麻痺ヲ示ス型ナリ。然ルニ第三者ノ人ハ理解・判斷ノ侵サルルコト甚シキニ反シテ、意志興奮性ノミ亢進シ、タメニ無意識ノ間ニ發揚シ粗暴ノ行動ニ出ヅル型ヲ明ニス。

〔酩酊ノ病的心理〕 若シ其ノ人ノ體質ガ病的傾向ノ強キトキニハ斯カル酩酊ハ殊ニ著シキ異常ヲ示スモノナリ。時ニハ、普通酩酊ト全然異ナル**異常酒精反應** Abnorme Alkoholreaktion・又ハ、**病的酩酊**・乃至、**病醜** Pathologischer Rausch ノ狀ヲ示スモノナリ。

異常酒精反應、病的酩酊、病醜

病醜ニハ多クノ型アリ、ウチ極少量ノ酒ニテ烈シキ異常酩酊ヲ忽チ現ハストキハ恰カモ酒ニ堪ヘザル如キ觀アルヲ以テ**飲酒不堪症** Alkoholintoleranz ノ名アリ。ソノ折ハマタ突然、意識濁烈シク現ハルヲ以テ**中酒性朦朧狀態** Alkohol-dämmerzustand ノ別名モアリ。尙ホ普通酩酊ニ比シテ、ソノ症狀ガ甚ダ複雑ナルガタメニ**複雜酩酊** Komplizierter Rausch トモ名ヅケラル。

飲酒不堪症
中酒性朦朧狀態
複雜酩酊

病的酩酊ヲ發スル體質ハ生來性ノモノト後天性ノモノトアリ。前者ニ於テハ生來性ノ變質者・殊ニ、低能者・腦病者・就中、白癡・癡愚・興奮症・癲癇・ひすてりー性體質者・等ヲ多シトシ、後者ニハ、慢性中酒者・頭部外傷後ナルモノ多シ。尙ホ、時ニハ既ニ精神病・殊ニ、早發性癡呆・躁揚病・麻痺性癡呆ヲ發セルモノナドモアリ。

但シ、同一ノ人ニテモ或時ニノミ、病的酩酊ヲ起コスモノナレバ、病的酩酊ヲ發スルニハ、其ノ折ノ機會モ亦重大ナル關係アルベシ。後者ニハ普通、不快ノ感動・過勞・過熱・等ヲ舉ゲラル。

病的酩酊ニハ頗ル多型アルモ、最モ普通ナルハ、酩酊後忽チ意識濁烈シ、苦悶ヲ覺エ、幻覺・妄想・沈鬱・興奮・無意味ノ刺戟性・衝動性動作・色情興奮・陰部暴露症・等ヲ呈シ、其ノ度昂ジテハ狂暴狀態トナリ、亂行甚ダシク、數時間ノ後チ、倒レテ熟睡シ、醒ムレバ、其ノ間ノ出來事ヲ全ク知ラス者ナリ(健忘症)。コレニ**癲癇樣狀態** Epileptoider Zustand、又ハ**酩酊朦朧狀態** Rauschdämmerzustand (Ziehen) ノ名モアリ。其ノ折、苦悶・色情的興奮・嫉妬性思想・幻覺・妄想・衝動性動作ヲ生ジ、風教ヲ紊シ、放火・殺傷・其ノ他ノ違法行動ヲ敢テスルモノ甚ダ多シ。

癲癇樣狀態
酩酊朦朧狀態

コレト稍異ナル型ニハ、1.消魂大悅性ノモノ、2.譎妄性ノ者アリ。ボーンヘッフェルハ常飲性大酒家ノ人ニ多シト云フ、3.昏迷狀、殊ニ、緊張病性昏迷狀ニ似ル者、4.苦悶性・めらんこり様、5.躁病様・或ハ6.ひすてりー性朦朧狀態ノ如キ者アリ。又、單ニ7.竊盜・放火・等ノ衝動動作ヲ主トスル者、8.嗜酒病型ノ者モアリトス。

嗜酒病 Dipsomanie トハ、原因ナク抑鬱狀ノ發作性ニ現ハレ、不快遺ル方ナク、只酒ニ依リテ其ノ不快ヲ晴ラサムトス。而カモ一旦酒盃ヲ手ニスレバ酒マタ酒ヲ呼ビテ痛飲止マズ、ソノ度烈シキニ至ラバ益々酒ヲ漁リ、到ル處酒ヲ飲ミ、意ニ滿タヌコトアレバ怒リ、暴レ、終ニハ精神朦朧・前後不覺・醉ヒ倒ルルニ至ル。斯クテ長時間深ク熟睡ニ陥リ

嗜酒病

覺醒セバ酩酊時中ノ事ヲ全ク知ラズ。ソノ後、暫クハ酒ニ懲リ、盃ヲ手ニセザルモ、時經テハ再ビ何等徵ス可キ原因ナクシテ、抑鬱状態起コリ、不快遺ル方ナク、ソノ鬱ヲ抑ヘントシテ、マタ酒ヲ求ム。而カモ一旦盃ヲ手ニスレバ、酒ノ恐ルベキヲ忘レ、酒復タ酒ヲ呼ビテ、大酒・泥酔・傍人ノ止ムルヲ聞カズ。痛飲止マズ。終ニハ前後不覺・醉眼朦朧・種々ノ危険行爲ヲ敢テシテマタ深ク眠ルモノナリ。

クレペリンハコレヲ發作性ニ來タル癲癇症ノ不機嫌症ニ因ルトナス。サレド、他ノ學者ハ之レニ反對セリ。事實、斯カルモノノ多クハ、單ニコレニ類スルノミニテ上記ノ如キ模型的ノ嗜酒狂ハ少ナシ。即チ、多クハ發作性ニ酒ヲ求ムルヤウニナリテ、酒ヲ飲メバ、痛飲・暴行シ、其ノ後、酒ヲ厭フノ時期來タルモ、ソノ發來ハ自然的ナラズ、外界ノ誘因ニヨリテ來タルモノナリ。コレヲ假性嗜酒病 Pseudodipsomanie ト名ヅク。病的意志薄弱者・放逸症・周期性抑鬱病・神經質者ナドニ多シ。

假性嗜酒病

乙 慢性酒精中毒 Chronischer Alkoholismus.

中等度ノ飲酒ナリトモ、ソノ後、24-26 時間ハ精神變調ヲ殘スモノナリ。ソノ間、マタ酒ヲ飲メバ酒ノ作用ハ更ニソノ人ニ殘ルナリ。若シ、同様ノコトヲ繰リ返ヘセバ常ニソノ作用殘リ、終ニハ身體・精神ノ變調ヲ來タスベキナリ。慢性酒精中毒症・即チ是ナリ。

慢性中酒症ノ症狀ハ精神作業能力減退・注意散亂・考慮ノ範圍減少・記銘力ノ減弱・記憶衰弱・判斷不良・時ニハ、妄想様曲解ヲ來タス。感情ハ好機嫌・諧謔性トナリ、道義・其他ノ高尚ナル感情ハ減弱ス。行爲ニハ自制ナク、粗暴トナルモノアリ。尙ホ意志ハ薄弱トナリ、根氣乏シク、殊ニ酒ノ害ヲ説カレ、ソノ害ヲ覺リテモ、コレヲ斷ツノ氣力ナク、義務ノ念モ亦乏シクナリ、職務ニ忠實ナラズ。爲スベキコトヲ放任シ、養護スベキ妻子ヲ顧ミズ。時ニハ却ツテ妻子ノ物ヲ典シテ酒ヲ購フノ資トナスモノアリ。斯クテ生計窮迫セバ家庭ノ不和ヲ醸シ、内心面白カラズ。茲ニ再ビ飲酒ヲナシ、酒ニ酔ヘバ、復タ大平樂ヲ言ヒ、好機嫌トナリ、暴行ス。醒ムレバ不平ヲ云ヒ、人ト爭フ。ソノ極、漸次人ニ疎ンゼラレ、職ニ離レ、近親ヨリ厭ハルルニ至ルヲ例トス。

慢性酒精中毒

斯クテ慢性酒精中毒者ノ末路ハ不平家・無職業者・犯罪者・浮浪者トナルモノ多シ。加之、後條記スルガ如キ慢性中酒者ノ上ニ發スル特殊ノ精神病ヲ發シテ精神病院ニ入り、或ハ血管硬化・脂肪心臟・胃腸加答兒・肝硬變・萎縮腎ヲ發シ、又ハ末梢・中樞兩神經系統ノ症狀トシテ、頭痛・感覺異常・手足ノ振顫・運動萎弱・起立・歩行ノ不確實・言語不明瞭・眼球運動障礙・不眠・時ニ、感覺過敏・神經幹ノ壓痛・膝反射減弱・消失、或ハ瞳孔左右不等・過小・過大、烈シキトキニハ多發性神經炎ノ症狀ヲ現ハス。尙ホ、時ニハ癲癇發作・陰萎ヲ呈シ、死ヲ早ムルモノアリ。又、病的酩酊ノトキニハ、瞳孔反射遲徐・消失・手足ノ振顫止ミ、歩行モ却ツテ確實トナルコトモアリト云ハル。

〔原因〕 大酒及ビ慢性酒客ニハ同種遺傳多シ。中ニハ幼時ヨリノ模倣ニヨルモノモ少ナカラズ。大酒家ノ血統ハ過半ヲ占ム。職業ニハ又酒ニ親シムベキ料理店・酒造家・等多シ。而カモ本病ニ至ル主ナル動機ハ社會ノ罪ニシテ不良習慣・殊ニ、古來ヨリ飲酒ヲ誇リテコレヲ他人ニ強フル不良習慣ニアリ。尙ホ、慢性酒精中毒者ノ大多數ハ生來性性格異常者ナリトス。

〔病理解剖〕 一回ノ烈シキ酒精飲用ヨリ神經細胞ノ變化ヲ來スコトハ既ニ古クニッスル Nissl ノ家兎ニ於ケル實驗ニヨリ明ナリ。即チコレヨリ神經細胞内ノニッスル小體ハ染マリ方薄クナリ且癒合シ、後チ、神經細胞廢滅ノ像ヲ呈ス。

慢性酒精中毒ニテハ中樞神經系ニ大ナル變化アリ。即チ、肉眼的ニハ腦膜肥厚・潤濁・時ニ出血性内硬腦膜炎見ニ。腦室壁ハ表面粗雜トナリ、腦室灰白質ニ出血斑アリ。大腦ノ廻轉ハ萎縮シテ狹小ナリ。組織學的ニハ大腦皮質ノ錐體細胞ニ硬化像・脂肪蓄積・細胞脱落像アリ。神經纖維亦減少ス。膠質細胞ニハ變性ト增生像トヲ示ス。他ニ血管ノ增生・血管壁細胞ノ脂肪增生、脊髓ノ前角細胞・後索・側索ニ變性・等ヲ見ル。

〔豫後〕 慢性酒客ハ一時禁酒スルコトアルモ永續セヌモノ多シ。斯クテ精神漸次頹廢シ、失業者・終ニハ落伍者トナリ、犯罪ニ出デ、又ハ身體衰憊シ、肺炎・中風・等ニテ身ヲ亡ボシ、時ニ精神病トナルモノ多シ。強制的ニ斷酒ヲ強ヒラレテ初メテ僅ニソノ厄ヲ免レ得ルノミ。

〔診斷〕 慢性中酒者ハ固有ノ顔貌・口臭・舌苔・手指振顫・手足ニ多少

ノ神経炎症状アルヲ以テ診断セラル。上記セル固有ノ精神症状ハ他ノ精神病ト鑑別セラルベキ要點ナリ。

〔治療〕 絶對的禁酒ノ外、他ニ療法ナシ。歐米ニ於テハ酒客専門ノ病院アリ。少ナクモ半年以上此處ニ容レ、禁酒セシメラルト云フ。殊ニ慢性中酒者ハ自ラ禁酒スルコト能ハザルガ故ニ後條記スル如キ精神異常ノ烈シキモノヲ發スルコト甚ダ多シ。然カラバ入院治療モ甚ダ必要ノ所置ト云フベキナリ。尙ホ本病豫防ニハ精神衛生ノ一端トシテ一般ノ人ニ酒ノ害ヲ知ラシメ、以テ其ノ弊ニ陥ルコトヲ防グベキナリ。

中酒性精神病

丙 中酒性精神病 Alkoholpsychosen.

慢性中酒者ニハ、其ノ基礎ノ上ニ、中酒性精神病ナル特殊ノ精神病ヲ發スルコト多シ。コレニ種々ノ型アリ。

I. 其ノ1ハ病的嫉妬心・殊ニ、嫉妬妄想ヲ示スモノナリ。即チ、嫉妬ソノ度ヲ越エ、所謂、嫉妬妄想ト名ヅクベキ程度ニ達セルモノトス。

中酒性嫉妬妄想病

特ニ中酒性嫉妬妄想病 Eifersuchtswahn der Trinker ノ名アリ。

元來酒客ノ夫婦ニハ不和ノモノ多シ。其ノ原因ハ夫ノ暴飲暴酒ニ對シ妻ノ不平ヲ抱クニ初マル。即チ夫ノ酒癖惡シキトキ妻ガ之レヲ嫌タラズ思フハ人情ナリ。偶々ソノ妻ノ快カラヌ顔貌・素振ヲ示サバ夫ハ不快ヲ感ズルコト是亦當然ナリ。茲ニ酒ノ上ニテ、妻ノ所爲ニ疑惑ヲ挿ミ、嫉妬ノ眼ヲ以テ、其ノ行動ヲ穿鑿シ、妄想様曲解ヲ生ジ、終ニハ嫉妬妄想ヲ形成スルニ至ルモノトス。殊ニ其ノ邪念ニ都合ヨキ幻覺現ハルレバ、ソノ嫉妬的思想ハ益々基礎ヲ固クシ。若シ中酒ノ爲メ陰萎ヲ來タセバ、ソレヨリ一層、嫉妬ヲ深カラシメラルベキナリ。幻覺ハ時ニ、1-2 アレド、多クハ眞ノ幻覺ナラズシテ、假性幻覺ナリ。

本症ハ進ンデ他ノ妄想ヲ形成スルコトナシ。只飲酒募ラバ嫉妬妄想ソノ根抵ヲ深クシ、時ニハ言フトコロ條理立タズ、推理ニ矛盾アルコトアリ。サレド妄想以外ノ理解・判斷ハ略ボ常人ノ如シ、舉動モ亦平常ナルヲ例トス。

〔診斷〕 嫉妬心ガ病的ナリヤ事實ナリヤ鑑別ニ難キ場合アリ。ソノ

トキハ、ソノ患者ノ言ニ悖理的ノ所アリヤ、殊ニ、嫉妬ヲ起コスベキ理由ト考フル點ガ正當トスベキヤ否ヤヲ考フベシ。酒ヲ止メ、ソノ妄想ガ去リ、自ラ前言ヲ悛ムルコトアラバ、又病的タルコトヲ知ルナリ。

〔類症鑑別〕 輕躁病・早發性癡呆・妄想性癡呆・退行期精神病者ノ飲酒甚シク嫉妬妄想ヲ現ハスモノト誤ラルコトアリ。ソハ他ノ症状ニヨリテ鑑別スベシ。

II. 酒客譫妄・又ハ、振顫譫妄 Delirium tremens.

酒客譫妄
振顫譫妄

〔定義〕 10年以上モ飲酒セシモノ、殊ニ、40歳前後ノ人ニ發スル中酒性精神病ニテ、主徴候ハ不安・指南力喪失・幻覺・振顫・等ナリ。

〔症状〕 發病ハ急激ナリ。殊ニ、夜間ニ起ル。稀ニハ、前驅期數日アルコトアリ。恐怖・苦悶・感覺過敏・不眠・多夢・刺戟性・等ヲ主症状トス。主期トナレバ幻覺ヲ生ジ、不安トナル。幻覺ハ主トシテ幻視・殊ニ、小ナル動物(例ヘバ、蠅・蝶・蜘蛛・兵卒・群集)ガ多數見エ、而カモソレガ活潑ニ活動スルヲ固有トス。時ニハ眼瞼上ヨリ眼球ヲ壓迫シ、又ハ暗所ニ導クトキ幻視現ハルコトアリ(リープマン症状 Liepmann'sches Phänomen)。又其ノ幻像ガ他人ヨリ暗示セラレテ生ズル如キ特徴アリ。例ヘバ、白紙ヲ示シテ文字ノ記載シアリト伴リ教ヘラルトキハ、之ニ應ジテ患者ガ其所ニ文字アリトテコレヲ讀ミ、何モ無キ所ヲ指シテ此處ニ銅貨アリト云ヘバ銅貨見ユト云ヒ、之レヲ摘ミ上グルガ如キコトヲナス。又、ソノ幻視ハ錯覺ニ似テ、寧ろ見誤リニ近キモノ多シ。例ヘバ、木炭ヲ見テ鬼ト見誤リ、立木ヲ見テ大蛇ト見誤ル如キコト多シ。時ニハ之レヨリ追跡・被害・誇大妄想ヲ生ズル

リープマン
症状

モノアリ。サレド、多クハ幻覺ニ對シテ之レヲ對岸火視シ、恰モ觀客ガ演劇ヲ演劇トシテ觀ル如キ狀ニ止マリ、幻視セルモノガ眞ニ己ニ迫ルト思ハヌモノ多シ。普通ノ精神病者ガ幻視ヲ見



第19圖 酒客譫妄者ノ鬼ノ顔ト錯視セシ木炭ノ圖

テ焦慮スルモノトハ大イニ趣キヲ異ニス。幻聴・幻觸亦少ナシトセズ。第19・20・21・22圖ハソノ錯覺・錯覺様幻覺・竝ビニ幻覺ヲ描ケルナリ。

患者ハ一般ノ話題ニ對シテハ比較的明晰ニ答フルモ、指南力ハ全ク缺ク、注意ハ散亂シ易ク、考慮ニハ奇想多シ(67頁(13)・第22圖参照)、考慮進行ハ浮動性ニシテ轉ジヤスク、殊ニ外界ノ刺戟ニ推感セラレ易シ。記録ハ甚ダ悪ルク、時ニ追想ノ錯誤アリ。感情ハ幻覺ノ種類ニヨリテ大差アルモ、概ネ、恐怖性・苦悶性・且諧謔性ナルヲ普通トス。

職業譫妄

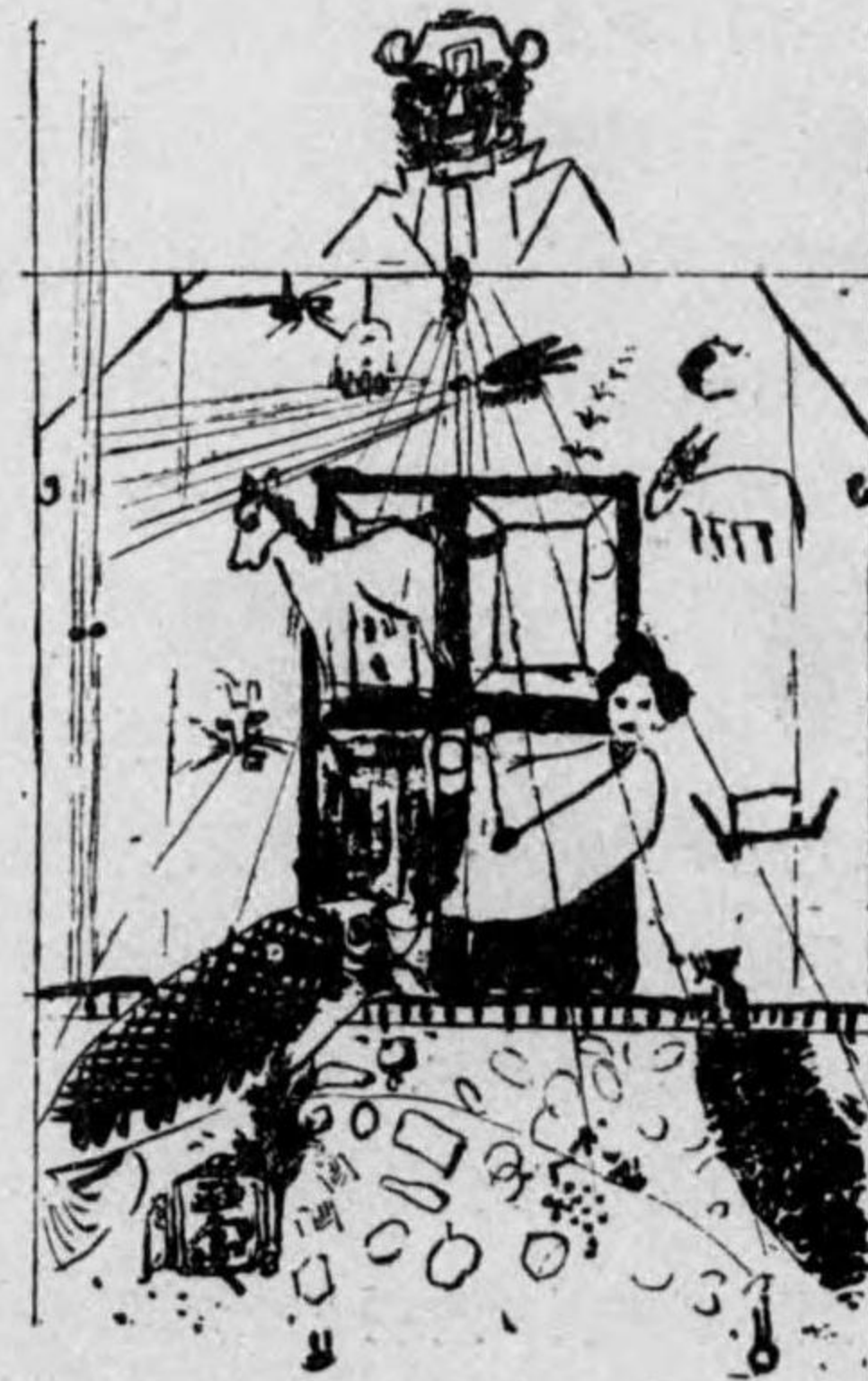
舉動ハ不安トナリ全ク落著ナシ。時ニ、好ンデ自己ノ平素職業ニテ爲シツツアル動作ヲ行フコトアリ。職業譫妄 Beschäftigungsdelirienト云フ。例ヘバ、石工ハ彫石ノ動作、木工ハ板削、小學教員ハ教場ニテ兒童ヲ教授スル風ヲナスガ如キコト之レナリ。

身體上ニハ輕キ發熱・神經炎ノ症狀・異常感覺・感覺過敏・局部性感覺脫失・神經幹・筋肉ノ壓痛・ロムベルグ症狀・發音不明症・粗大ナル振



第 20 圖

同病者ノ散歩中、庭ノ立木ニ人ノ顔ヲ見タル圖(野村章恒氏報告例)



第 21 圖 酒客譫妄者ガ病室内どうあ附近ニ圖ノ如キ多數ノ動ケル物ヲ幻視セルノ圖

顫・睡眠不良・等アリ。時ニハ癲癇發作ヲ伴フ。又尿ニ蛋白・糖ヲ認ムルコト多シ。

〔經過〕 發病ノ突如ナル如ク、治癒モマタ突然ナルヲ例トス。殊ニ深キ長キ熟睡アリテ急ニ平素ニ復スルヲ多シトス。經過ハ1-2日ヨリ4-5日、普通3-4日ナルモノ最モ多シ。サレド時ニハ尙ホ長キモノアリ。經過後ニ病中ノ事ヲ記憶セズ、時ニ僅ニ漠然ト知ルコトアリ。

〔豫後〕 好良ナルモ、時ニハ自殺又ハ狂暴狀トナリテ負傷シ、或ハ肺炎ヲ合併シ、心臟弱リ、衰弱死ニ至ルモノアリ(死亡ハ全數ノ3-5%ナリト)。時ニ完全ニ治ラズ、永續譫妄狀態 Protrahierter Dämmerzustandニ陥リ、又ハ、幻覺性癡呆・乃至、コルサコフ精神病トナルモノアリ。

異常型トシテ(1)經過頗ル短キ頓挫性 Abortiv ノモノアリ。即チ、唯一夜不眠・苦悶・幻覺・妄想ヲ呈シテ、忽チ病覺生ズルモノアリ。

頓挫性酒客譫妄

(2)發病前、久シキ間、不明ノ恐怖・幻覺アルモノアリ。

(3)或ハ主期ニ於テ苦悶・不安・不眠・振顫ハアルモ、幻覺無ク、譫妄ナキモノアリ無譫妄性震顫譫妄 Delirium sine delirio ノ名アリ。

無譫妄性震顫譫妄

(4)又治ルコトガ急ナラズ、幻覺・妄想去リ、意識清明トナルモ、數日乃至數週ノ間、譫妄時中ニ有リシ妄想ヲ事實ト信ズルモノ・乃至、幻覺ノミヲ殘スモノアリ。尙ホ、場合ニヨリテハ、妄想・幻覺殘リ、智力衰弱亦加ハルモノモアリトス。中酒性幻覺性癡呆コレナリ。

(5) 從來、中酒幻覺性癡呆 Halluzinatorischer Schwachsinn ト稱セラレタルモノハ概ネ本病ノ變型ニシテ、即チ生來性低格者・殊ニ、變人ニ屢々酒客譫妄ヲ發シ十分ニ治ラズ、意識ハ清明トナルニ拘ラズ譫妄中ノ出來事ヲ正ス能ハズ。幻覺・殊ニ、幻聽殘リ、或ハ隣室ニテ己ヲ誹謗シ、又ハ遠方ヨリ己ニ命令スルモノアリナドト云ヒ、時ニハ幻視現ハル。ソノ幻覺ハ夜間ニ多ク、内容ハ不愉快性ノモノナリ。ソノタメ患者ハ苦悶ス。又、幻覺・幻聽ヲ説明スルタメニ妄想ヲ形成ス。妄想ニハ色情性・追跡・被害性ノモノ多シ。感情ハ諧謔性ト苦悶性トヲ兼ネ、舉動ハ一般ニ平常ノ加キモ、幻覺・妄想ノ烈シキ時ハソレニ應ジテ狂態ヲ演ズルコトアルヲ免レズ。

中酒性幻覺性癡呆

經過ハ酒ヲ飲ム間ハ進ムモ、酒ヲ斷テバ幻覺・妄想漸々去ルヲ常トス。

變型酒精中毒症

〔原因〕 酒客譫妄ハ熱性病・感情激變・外傷・痙攣・呼吸器病・消化器病・榮養障礙・酒精禁斷・又ハ、大酒ヲ誘因トシテ發病スルコトアリ。本態ハ酒精直接ノ害ナラズ、酒精ヨリ生ズル毒素・殊ニ、酒精ノ爲メニ來タル物質代謝産物・就中、消化器ヨリ發スル産物ノ中毒症狀ト解スル考ヘアリ。タメニ本症ニハ**變型酒精中毒症** Metalkoholische Erkrankung ノ名アリ。

〔類症鑑別〕 本病ノ特徴タル主症狀、即チ、活動セル多數ノ小動物ノ幻視・指南力喪失・震顫・不安・其ノ人ノ久シキ飲酒家ナルコトナドニ由リ診斷セラル。但シ**頓挫性酒客譫妄** Abortive Delirien トテ夜間1-2ノ妄覺アリ、又、直チニ改悛ス可キ1-2ノ妄想・又ハ唯、苦悶性ノ氣分ヲ現ハス病型ノアルコトヲ忘ルベカラズ。

中酒性妄覺病・中酒幻覺性癡呆トノ鑑別ニハ、當該各病ノ症狀ヲ比較セバ容易ナリ。稀ニ麻痺性癡呆ガ酒客譫妄ト似タル症狀ヲ以テ發病スルコトアリ。サレド麻痺性癡呆ニハ瞳孔強直・血清・腦脊髄液ノ變化アリ。感情ハ快樂性ナルモ、苦悶性ヲ帶ブルコト多シトス。本病ニハ多發性神經炎ノ症狀アリ。

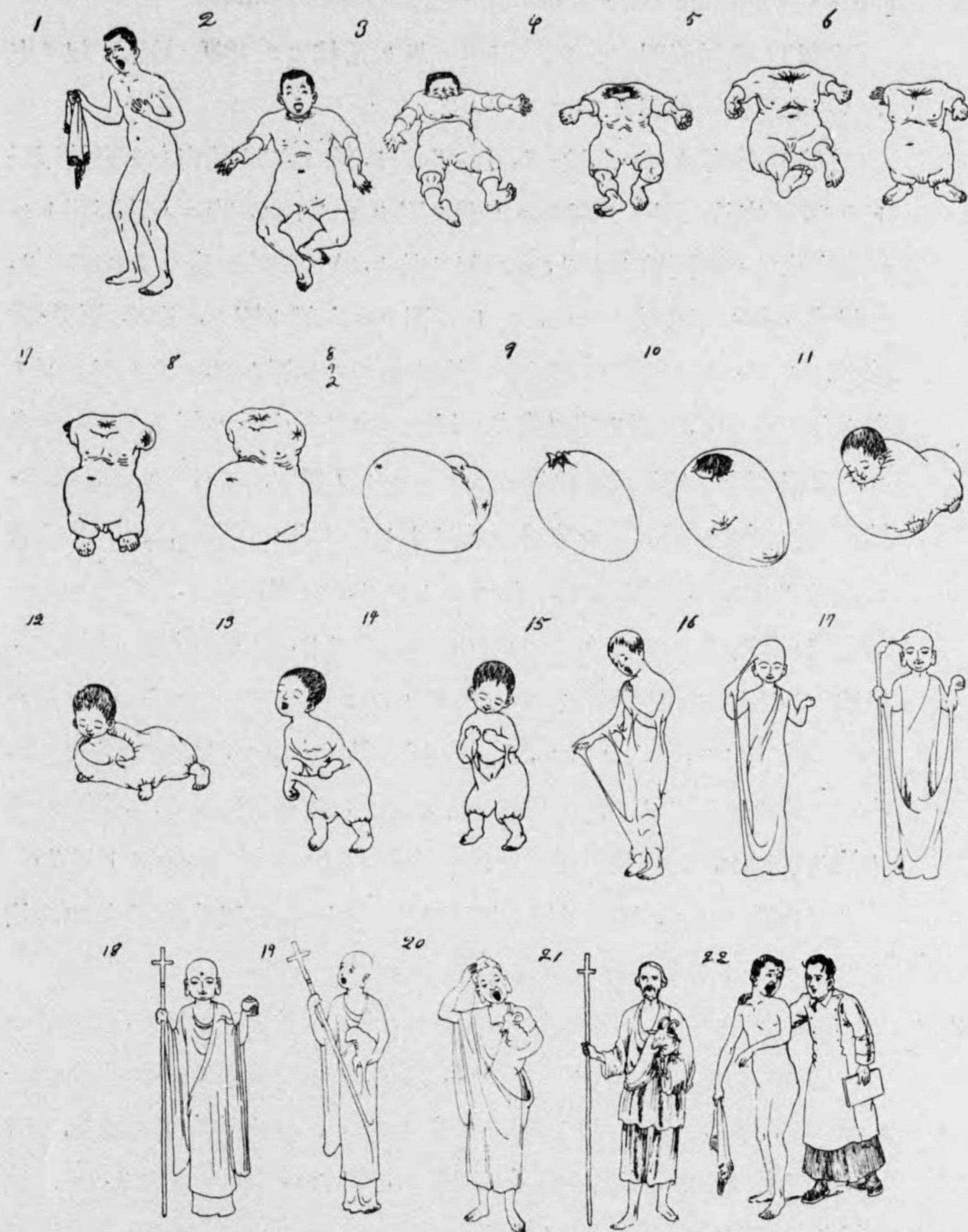
癡癩ニモ酒客譫妄ニ似タル意識濁濁ヲ伴フ錯亂状態アリ。サレド癡癩ニテハ意識濁濁強ク、幻覺ハ恐怖性・且、宗教的ニシテ、轉動性少ナク、考慮内容ハ常ニ同一ニシテ錯亂モ強シ。

慢性腎臟炎ニテ數日ヲ以テ治ル一時性ノ意識濁濁ト運動性興奮トヲ呈スル尿毒症精神病アリ。時ニハソノ狀、酒客譫妄ト酷似スルモ、尿毒症ノ場合ニハ本病ニ固有ナル震顫・動物ヲ見ルガ如キ幻覺ナシ。但シ、尿ニ蛋白及ビ圓塊ノ存スルコトハ酒客譫妄ニモ稀ナラズ。

〔療法〕 安靜ニシ、榮養ニ注意ス可シ。藥劑ハ臭素劑ニテ足ル。阿片劑ヲ用ユルノ要ナシ。特ニ酒精ヲ用キルヲ要セズ。多量ノ牛乳又ハ液體ヲ與ヘテ利尿ヲ促シ、毒物ヲ排泄セシメントスルハヨシ。不安ナル時ハ持續浴ヲ可トス。烈シキ興奮ノ場合ニハばらるでひード(3.0-5.0)・ひおすちん(0.001ノ注射)・等ヲ試ミラル。いんしゅりん・あるかり一劑ノ投與・糖ノ補給亦試ミラル。他ハ心臓・消化器・呼吸器(特ニ肺尖)・等ノ症狀ニ注意ス可シ。

酒客者ノ幻覺性妄覺病

III. 酒客者ノ幻覺性妄覺病、一名、酒客性幻覺症 Der hallucinato-



第 22 圖 酒客譫妄者ノ思考・幻覺ヲ描ケル圖。即チ、同症患者ガ入浴後、自室ニ歸ヘラムトセル際(1)、漸次自己ノ首・四肢ガ縮込ミ(2-9)、終ニ卵トナリ、(10)、再ビ赤子トシテ産レ出デ、漸々手足ノ延ビテ釋伽、竝ビニ、「キリスト」トナリタリト思ヒ、又感ジツツアルトコロヲ(21)、看護人ヨリ肩ヲ叩カレテ忽チ己ニ歸リタリト思ヘル圖ナリ(22)。

rischer Wahnsinn oder akute Halluzinose der Trinker.

〔定義〕 意識清明ニシテ、幻聴ニ基ク系統アル追跡・被害妄想ヲ主トスル中酒性精神病ナリ。

〔症状〕 發病多クハ急性・又、亞急性ナリ。殊ニ夜間、發病シテ突然不眠トナリ、又容易ニ醒メテ明カニ幻聴ヲ聞クモノトス。時ニハ前驅期トシテ譫妄狀又ハ苦悶性トナリ、或ハ怒リ易ク、時ニ追跡念慮ヲ示ス事アリ。

幻聴ハ初メ不明瞭ナルモ、次イデ明カニ人聲ト聞キ、殊ニ、罵詈・誹謗スルノ言ヲキク・爲メニ苦惱・不快ヲ覺ユルヲ例トス。サレドコレヲ多ク人ニ語ラズ、獨リ煩悶焦慮シ居ルニヨリ他人ニハ判ラザルコト多シ。幻視・或ハ幻觸・殊ニ電氣ヲカケラルトノ感じ、又ハソレヨリ追跡・被害・被毒妄想ヲ生ジテ、家外ニ敵アリトシテ之レニ備へ、或ハ己ヲ害スル者アリトテ、危惧・疑念ヲ挿ムコトアリ。夜間ニ多シ。

意識ハ明瞭ナルモ深く檢スレバ多少濁濁アリ。言語ハ普通、錯亂ナシ。感情ハ苦悶性又ハ諧謔性ナルモ、幻覺ノタメ不安ナルコト多シ。行爲ハ一般ニ秩序アリ、常人ノ如シ。平素ノ職ヲ執ルニ堪フ。只、病的苦悶又ハ妄想ニ基ク行爲アリテ、危険モナシトセズ。病勢進行セバ、不安・恐怖ノ餘リ暴行シ、時ニ自殺・他殺・或ハ被毒ノ念ヨリ拒食スルコトアリ。

身體症狀少ナシ。僅ニ手指ノ振顫・腱反射亢進・神經幹壓痛・等アル位ナリ。コレトテ常ニ存スルニハアラス。

中酒性ばら
のいあ

〔経過〕 早キハ 2-3 週間ニテ治ルモ、時ニハ數ヶ月ニ及ビ、仲々治ラズ。幻覺・妄想ノ長ク續クモノアリ。所謂、**中酒性妄想病** Alkoholparanoia ニ移行ス。之レニテハ種々ノ妄想・殊ニ、背理的妄想ヲ示シ、時ニ詞語新作アリテ、妄想性癡呆ニ酷似ス。多クハ治セザルナリ。

斯クテ本病ハ早發性癡呆トノ鑑別甚ダ難タシ。

【非定型】ノモノニハ 1. 突如 2-3 ノ幻聴・苦悶・追跡妄想・等ヲ以テ發病シ、夜間ノ熟睡ニヨリテ忽チ治癒スル頓挫性又ハ不熟性ノモノアリ。

又 2. 酒客譫妄トノ仲間ニ位スル移行型ノモノ多シ。尙ホ、3. 初メヨリ慢性ナル経過ヲトリ、初メハ只飲酒ノ後ノミ幻覺・苦悶現ハルモ、ソレ等ノ諸症狀ハ忽チ消散シ、後チ飲酒セザル時ニモ同様ノ症狀持續シテ消エズ。經過久キニ至

ラバ、判斷不良・平氣・感情鈍麻ヲ來タシ、終ニ癡呆状態ニ陥ルモノアリ。

〔本態〕 同ジ酒精中毒ニテ、或人ニ酒客譫妄來タリ、他ノ人ニハ本病ヲ發スル理由ハ全ク不明ナリ。之レニ多クノ説アリ。病勢ノ輕重・個性ノ體質・飲メル酒ノ性質ニヨル影響・等ノ説アルモ、決定的ノコトハ不明ナリ。本病ト酒客譫妄トハ時ニ互ニ移行ス。剖見上兩病ニ特殊ナル變化ナシ（病理ノ項参照）。

一派ノ人ハ躁鬱病性體質ノ人ニハ酒客譫妄・早發性癡呆性體質ノ人ニハ中酒性妄覺病ヲ發スト云ヒ、又、殊ニ中酒性妄覺病ハ早發性癡呆ノ一種トナス人アリ。

〔類症鑑別〕 酒客譫妄トノ移行型多シ。區別シ難キモノアリ。サレド意識清明ニシテ悟性アリ、指南力尋常ニシテ振顫・及ビ、不安ヲ缺如シ、幻聴多ク、而カモ其ノ幻聴ガ自己ニ命令誹謗スルモノハ本病型トスベシ。早發性癡呆・殊ニ、緊張病・就中、同病ノ意識ハ清明ニシテ、幻聴多キ型ガ、酒精濫用ノ後ニ起コルトキニハ、ソノ區別甚ダ難シ。サレド緊張病ニハ發病概シテ徐々ナルト、感情鈍麻ガ強ク、觀念聯合ニ錯亂アリ、且、緊張病ニ固有ナル意志症狀アルニヨリテ區別セラル。

〔治療〕 飲酒ヲ禁ズベシ。但シ酒ヲ止メタリトテ既ニ進行セルモノハ病勢輕減セヌモノ多シ。臭素劑ヲ與へ、安靜トナシ、自殺ニ注意シ、不眠ニハ催眠劑・或ハ持續浴ヲ施シ、拒食症ニハ人工營養ヲ行フヲ例トス。他ニ特效藥ナシ。作業療法ハヨシ。

IV. **コルサコフ精神病** Korsakowsche Psychose.

コルサコフ
精神病

〔定義〕 慢性中酒者ノ上ニ發スル記憶障礙・指南力喪失・追想錯誤・虛談症ヲ主徴候トスル精神病ナリ。

〔症状〕 1. 酒客譫妄又ハ譫妄性妄覺ヲ有スル昏迷ノ状態ヨリ發病シ、又ハ 2. 神經質・不眠・失念シ易クナレル・等ノ症狀ヲ以テ始マル。

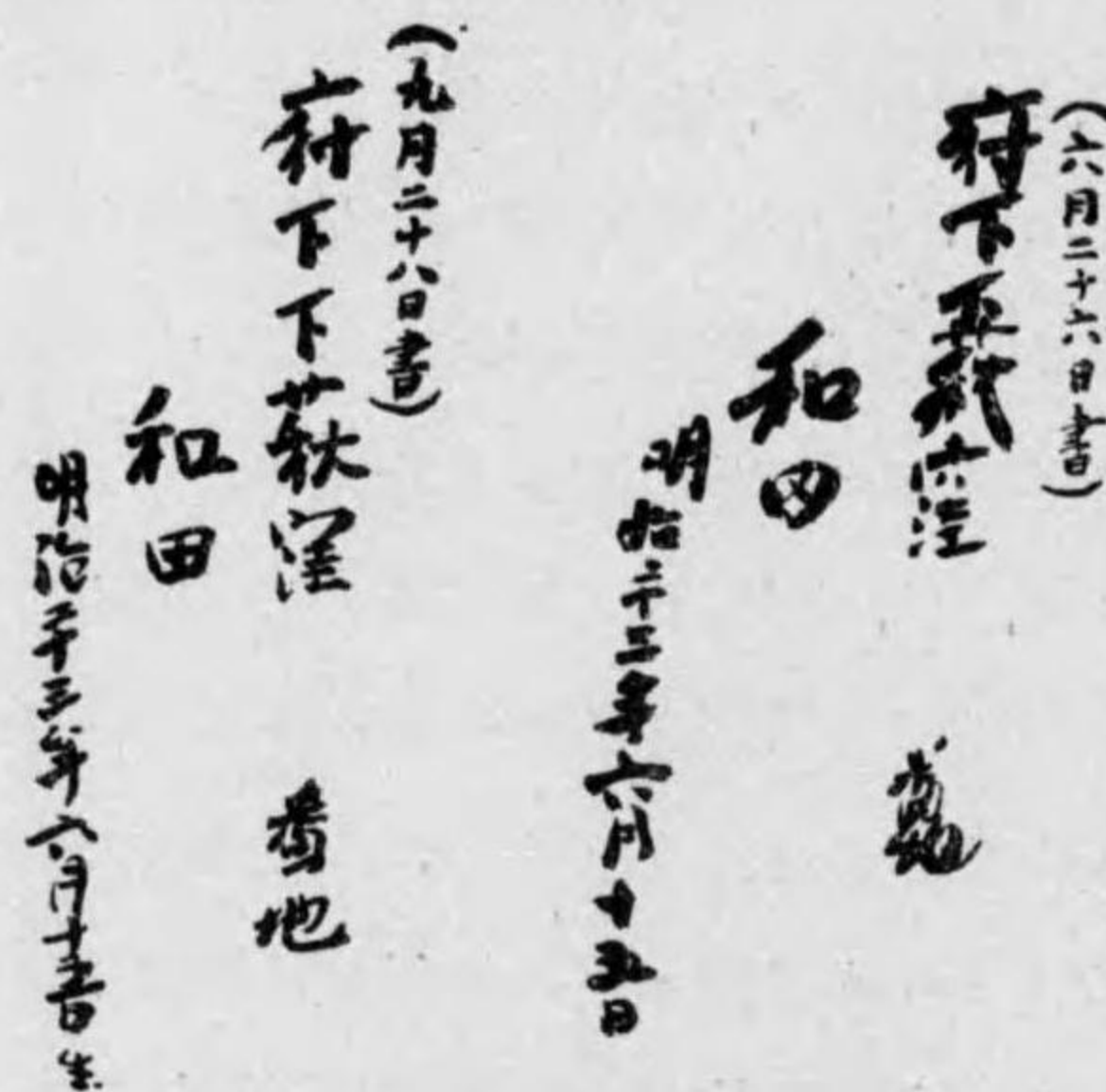
酒客譫妄ヨリ發病スル時ニハ、極期ニアル幻覺去リ、不安消エ、睡眠良クナルモ、譫妄中ノ事實ヲ眞實ト信ジ、四圍ノ狀況ヲ明確ニ領會セズ。且、甚シキ失念ヲ示スモノナリ。コレニ反シ、何等前驅症ナクシテ突然本病ヲ發スル時ニハ、不意ニ錯亂狀トナリ、忘レ易ク、四圍ノ狀況亦甚ダ不明トナルモノトス。

極期ニ於テハ、指南力喪失シ、理解不良・周圍ノ認識惡シク、物ヲ忘

ルルコト極メテ激甚トナル。甚ダシキ時ニハ1分、5分前ノ事スラ全ク忘レ、過去ノ出来事ヲ全然失念シ、就中發病以來ノ事ハ何モ覺エヌコト多シ。時ニ逆行性健忘症アリ。又時ニ以前ノ事ヲ全部忘レ、己ノ家ノ何處ニアルカ、己ノ子ハ何人アルカサヘ知ラヌモノアリ。同時ニ、記憶ノ缺損ヲ追想ノ錯誤ヲ以テ填メ、進ムデ、事實ナキ事ヲ己ノ經驗セシ如ク、例之、或所ニ旅行セシガ如ク、或事實ニ遭遇セシ如クニ秩序立テテ話シ、恰カモ稗史小説ニデモアランカト思ハルル物語リヲナスモノアリ(虚構症 Konfabulation)。ソノ際、該病者ハ之レヲ確實ナリト信ズルコト甚ダ強ク、時ニ妄想様色彩ヲ帶ブルコトアリ。

一般ノ判断ハ好良、時ニ病覺アリ。作業力ハ減ジ、疲勞シ易シ。感情ハ一般ニ變化シ易ク、初メ苦悶性ナルモ、後チニハ不慣性トナリ、遲鈍ニ見ユ。而カモ満足・諧謔性タルトコロアリ。行爲ハ輕症者ハ常人ノ如キモ、重症ノ時ハ不安トナリ、又ハ臥牀・不潔トナル。誤マレル思想ニ基ク行爲モ多シトス。

〔身體症狀〕 多發性神經炎ノ症狀アルコトアリ。即チ、早クヨリ感覺異常・筋肉疼痛・神經筋肉ノ壓痛・筋肉ノ麻痺・萎縮・ロムベルグ症狀・腱反射減弱・(稀ニ亢進)・脈數増加(迷走神經ノ麻痺カ)・振顫・失調・歩行困難・時ニ、顔面神經・外旋神經ノ麻痺・瞳孔縮小・對光反射遲鈍・癲癇發作・等アリ。他ニ、慢性酒精中毒症狀トシテ不眠・消化不良・等ヲ呈スルモノトス。



第 23 圖 本症患者ノ筆蹟。(右) 六月二十六日書トアルハ病症不良ノトキ、(左)九月二十八日書トアルハ全快時ノ筆蹟ナリ。

〔経過〕 一般ニ長シ。出血性硬腦膜炎・腦出血・心臓ノ故障・等ヲ起シテ死スルモノナリ。好良ナル場合ハ飲酒ヲ止メバ數ヶ月後ニ於テ指南力恢復シ、漸次平常ニ復歸スルモノトス。全経過ハ 5-6 ヶ月ヨリ 9 ヶ月ナルモ、再發多シ。永久ニ意志薄弱・感情鈍麻・記憶不良・等ノ症狀ヲ貽シテ、不治ニ終ルモノモ少ナカラズ。

〔類症鑑別〕 飲酒者ニ發セル麻痺性癡呆ト鑑別スルノ要アリ。サレド同病ニテハ發病比較的徐々ニシテ、微毒ノ既往症アリ。現在症ニハ瞳孔不等・對光強直・痛覺脫失・言語蹉跌・判断衰弱・多幸症・腦神經麻痺・血清・腦脊髄液ノ所見・等アリ。之レニ反シコルサコフ精神病ハ發病比較的急ニシテ譫妄ヲ以テ始まり、神經炎症狀存在ス。記憶・記銘ハ特ニ烈シク障礙セラレ、一般ノ判断力ハ侵サルル事少ナシ。勿論、血清・腦脊髄液ノ變化ヲ缺ク。ふれすびおふれに一トハ年齢ト飲酒ノ原因タルコトヲ以テ區別スルノ外ナシ。但シ多發性神經炎ノ症狀ハふれすびおふれに一ニモ輕クハ存在スル事アリ。

〔治療〕 酒精ヲ禁ジ、營養ヲ充ム。神經炎症狀ハまっさーじ・電氣治療・體操・等ニヨル。練習ニヨリカメテ記憶・記銘ヲ恢復セシムベシ。作業療法亦用キラル。

V. 中酒性麻痺性癡呆 Alkoholische Paralyse. 似而非麻痺性癡呆 Pseudoparalyse.

中酒性麻痺性癡呆

〔定義〕 中酒性麻痺性癡呆ナル名稱ハ酒精濫用ニ由リテ生ゼル麻痺性癡呆・即チ、麻痺性癡呆ト中酒性精神病トノ合併タルベシ。

〔症狀〕 中酒性精神病ニシテ 麻痺性癡呆ニ似ルモノハ寧ロ中酒性似而非麻痺性癡呆ト名クルヲ正シトス。コレニ屬スルモノハ、前記コルサコフ精神病ノ記憶・記銘障礙著シク、且、爽快・振顫・腱反射消失・運動失調・癲癇發作・瞳孔反應異常アリ、以テ麻痺性癡呆ニ似ル場合ナリ。サレド同症ニテハ、麻痺性癡呆ノ如ク著明ノ言語蹉跌・多幸症無ク、腦脊髄液ニ細胞增多症ナク、血清ニワッセルマン反應ヲ缺キ、經過長キヲ例トス。

〔療法〕 ハ酒精ヲ止メ、榮養ヲ充メ、末梢神經炎症狀ニ對スル對症療法ヲ行フニ止マル。

〔病理〕 慢性中酒性精神病ノ病理ハ慢性中酒者ノソレト似テ、腦ニハ硬腦膜潤濁・時ニ、出血性硬腦膜炎・軟膜ノ潤濁・大脳廻轉ノ萎縮・腦室ノ擴大・竝ビニ、ソノ壁面ノ粗雜ナルコト・等ヲ擧ゲラル。

鏡檢上、大脳諸廻轉ノ皮質・小脳・間腦・殊ニ、線狀體・第三腦室壁・乳嘴體ニ進行性實質變性(硬化・脂肪變性・脱落)アリ。又、血管增生ト變性(時ニ浸潤・出血)アルコトヲ以テ固有トセラル。

慢性中酒者ノ上ニ發スル各種ノ精神病・例之、コルサコフ精神病・酒客譫妄・等ノ病型的差異ヲ解剖的所見ヨリ定ムルコトハ難シ。大脳皮質内ニ於ケル病變ノ部位の差異ニヨル説明モ信ジガタシ。大熊泰治氏及ビ渡邊道雄氏ニヨレバ、同病ニヨル病變ノ輕重・部位ニヨル差異ハ個性ニヨルソノ場所ノ組織的反應ノ強弱ニ止マリ、ソレヨリ臨牀的各病型ヲ説明スルコトハ難シトス。又、其等ノ精神異常ハ酒精直接ノ變化ヨリモ、寧ロ酒精ニヨリテ生ゼル毒物ニ基ツク間接ノ變化ナリトノ説モアリ。コハ、死前久シク酒ヲ斷テ居レル人ノ病變ニモ急性變化多キコトニヨリテモ考ヘラルト云フ。

莫兒比涅中
毒症

第二 莫兒比涅中毒症 Morphinismus.

〔原因〕 慢性神經痛・齒痛・癩麻質斯・胃潰瘍・喘息・等アル患者ガ、其ノ疼痛・又ハ發作ヲ除去セントシテ莫比ノ注射ヲ行ヘバ、人ニヨリソノ後ハコレニ慣レ、再三コレガ實行ヲ求ム。ソノ都度、人ハコレヲ許サザルニヨリ自ラ注射シ、殊ニ、求ムルダケノ量ヲ許サレザルトキハ人知レズ多量ノ注射ヲナシ、終ニ之レヲ止ムルコト能ハザルニ至ル。茲ニ、慢性莫比中毒症ニ陥ルモノナリ。即チ、初メ一回 0.01-0.02 (1%液 1-2筒)ナリシモノガ、後ニハ1日 2.0-3.0 或ハ 5.0 ニ至ルコト稀ナラズ。

元來、莫比ノ精神界ニ及ボス作用ハ單ニ疼痛ヲ止ムルノホカニ、理解ハ輕易トナリ、興奮ヲ來タスモノナリ。サレド、之レニ慣レテハ、習慣性トナリ、大量ニ堪フ。而カモ之レヨリ遠ザカレバ、所謂、**禁斷症狀** Abstinenzerscheinung ヲ發スルモノナリ。

コノ禁斷症狀ハ輕ケレバ全身倦怠・不快・欠伸・食慾減退・嘔氣亢進・發汗・下痢・振顫・歩行不能・等ニ止マルモ、重キトキハ嘔吐・裏急後重・下肢ノ搖蕩・振顫・痙攣・麻痺・失神・唾液分泌減退・時ニ、興奮・昏迷・譫

語・ひすてり一性朦朧狀態ニ似ル症狀ヲ發スルニ至ル。ソノ間、莫比ヲ求メントスルノ情切ナルタメニ暴行シ、時ニハ己ノ生命ヲ賭シテモ我意ヲ遂行セントスルニ至ルモノアリ。

斯クテ莫比ヲ濫リニ注射スルハ不良ナリト知ルモ、ソノ禁斷症狀ニ會ヒテハ我慢シテコレヨリ遠ザカルコト能ハズ。ソノタメ人目ヲ忍ビ、又ハ隠レテモ之レヲ注射ス。他人ノ訓戒アレバ外面ハ其ノ説ニ服スル如クニ見セ、又ハ注射セヌト誓フモ、ソノ實、密カニ莫比ヲ注射シ、



若シ、之ヲ購フ餘財ナキトキハ家財ヲ典シ、他人ノ物品ヲ盜ミテモ之ヲ購ヒ、時ニ國法ノ禁ズルコトヲ熟知シナガラ名ヲ騙リ、處方ヲ欺キ、醫師ト名乗り、到底、莫比注射ナシニハ居ラレヌ狀態トナルモノナリ。

斯クテ、終ニ記憶不確實・精神作業減退・意志消耗・睡眠不良ノ狀トナリ、又、就眠時ニハ空想起コリ、迷想ニ耽リ、或ハ幻覺ヲ覺ユ。夜間ノ睡眠淺ク、晝間堪ヘ難キ睡氣ヲ催ス。身體的ニハ、異常感覺・感覺過敏・反射減退・膝反射消失・運動不確實・失調・稀ニ、振顫・言語澁滯・眼球不全麻痺・複視・瞳孔縮小・調節障礙・榮養不良・體重減少・皮膚蒼白・彈力缺乏・食慾減退・便秘ト下痢トノ交互性發現・心悸・脈搏不整・耳鳴・昏瞶・眩暈・失神發作・陰萎・不妊症ヲ呈ス。皮膚ニハ多數ノ注射癢痕ヲ生ジ、終ニハ廢人トナルモノナリ。

斯カル狀態ニ陥ル時期ハ其ノ用ヒタル莫比ノ量・其ノ人ノ素質ニ依リテ大差アリ。即チ、人ニヨリテハ數ヶ月ニテ斯クナルモノアレド、又、數年ノ後、コレヲ發スル人アリテ、全然一定セズ。殊ニ、一回本病ニ罹レルモノハ、假令之レヲ廢スルモ、後チ再ビ之レヲ用ユルコト甚ダ多ク、永久ノ治癒ハ頗ル困難ト知ルベシ。

第 24 圖 莫比注射ノ痕 幻覺ヲ覺ユ。夜間ノ睡眠淺ク、晝間堪ヘ難キ睡氣ヲ催ス。身體的ニハ、異常感覺・感覺過敏・反射減退・膝反射消失・運動不確實・失調・稀ニ、振顫・言語澁滯・眼球不全麻痺・複視・瞳孔縮小・調節障礙・榮養不良・體重減少・皮膚蒼白・彈力缺乏・食慾減退・便秘ト下痢トノ交互性發現・心悸・脈搏不整・耳鳴・昏瞶・眩暈・失神發作・陰萎・不妊症ヲ呈ス。皮膚ニハ多數ノ注射癢痕ヲ生ジ、終ニハ廢人トナルモノナリ。

又本症ノ發來ト、ソノ豫後ハソノ人ノ元來ノ素質トノ關係頗ル深シ。即チ、同人ガ神經質・ひすてりー・癡患者・意志薄弱者・就中、コレヲ止メムトスル意志甚ダ弱キ人ニテハ、豫後頗ル不良ナリ。又、此ノ際、考フベキコトハ同人ノ示ス精神症狀中何レダケガ莫比中毒ナルカ、何レダケガ元來ノ性質助長ナルカノ識別ナリ。

〔類症鑑別〕 莫比濫用ノ既往歴ヲキキ・現症ニ於テ皮膚ニ注射癢痕ノ數多クアルコト・注射ヲ斷ツトキノ禁斷症狀・殊ニ、心神ノ不快感・食思缺乏・作業減退・疲勞性亢進・無氣力・注射シテ後ノ心神爽快・血色好良・元氣ヲ生ズルコト・等アラバ、ソレニヨリ診斷セラルベキナリ。

莫比中毒ナリトノ診斷確定セバ、コレニ屢々合併シ居ルこかいん中毒ノ有無・竝ビニ、元來ノ同人性格ガひすてりー・神經質・意志薄弱・又ハ、他ノ病・殊ニ、早發性癡呆・躁鬱病・麻痺性癡呆・等ノ病ノ存在アルカヲ明カニスルコト必要ナリ。

〔治療〕 何事ヲ措キテモ先ヅ其ノ藥劑ノ注射ヲ禁ズベシ。而カモコハ言フハ易ク、行フハ甚ダ難タキモノナリ。蓋シ、ソノ多クハ注射ヲ止メタリト云フモ、人ノ眼ヲ偷ミテ窃カニ注射シ居ルモノナレバナリ。

眞ニ莫比中毒ヲ治スニハ、精神病院又ハ莫比中毒専門ノ療養院・等ニ入レテ、十分ナル監督ノ下ニ、確實ニソノ注射ガ廢セラレタリヤ否ヤヲ監視スルヲ要スベシ。家庭・又ハ普通ノ病院・乃至、さなとりうむ・旅館・等ニテ、ソノ治療ヲ望ムハ先ヅ不可能ト思フベキナリ。

莫比注射ヲ廢スルニハ、徐々ニ廢スル法ト急ニ止ム法トノ二者アリ。兩者共ニ一短一長アリ。突然ノ廢止ハ時期早キモ、苦痛強クシテ時ニ危險アリ、實行ニハ困難ナリ。徐々ニ止ムルハ實行ニハ樂ナルモ成功難タシ。タメニ其ノ中間ヲトル2-3週ニテ廢止スルノ法モアリ(エルレンマイエル速成法 Erlenmeyers Schnellmethode)。

何レニシテモ莫比ヲ止ムルトキ必ズ禁斷症狀ヲ發ス。ソノ輕キハ單ニ欠伸・無精・苦悶・苦惱・等ニ止マリ、強心劑ヲ與へ、臭素劑・等ヲ與フレバ事足ルモ、重症ナルモノハ時ニ憂フベキ現象ナシトセズ。從ツテ榮

養不良ナルモノ、50歳以上ノ人ニハ急激ニ莫比注射ヲ止ムコトハ考フベシ。實際ハ、患者ニ覺ラヌヤウ從來用ヒ慣ラサレタル莫比ノ%量ヲ減少シ、注射回數ヲ同一トシ、後チ、注射回數ヲ減ジテ數週ノウチニ莫比無キ食鹽水ト代フベシ。近時持續睡眠法ヲ行ヒテ禁斷症狀ヲ自覺セシメズ、苦勞ナク、本病ヲ治スルコトヲ得ルニ至レリト云フ。而カモ再發ノ危險ハ之レニヨリテ何等除カルニアラズ。

こかいん・其ノ他ノ藥劑ヲ莫比ノ代用藥トシテ與フルコトハ嚴禁ナリ。後者コソ却テ一層有害ナルモノ多シトス。莫比ヲ厭フヤウニナル藥・禁斷症狀ヲ輕減スベキ藥劑ト稱セラルモノニハ效果乏キモノ多シ。ありまりん・阿部(すこぼらみん・あんちびりん)・すばみどうる、大澤(鹽酸ひどろくろたるにん・びらみどん合劑)・いんしゅりん・葡萄糖療法・等モアリ。

若シ一旦治癒セルトキハ、再發ノ虞レ頗ル大ナルモノナレバ、眞ニ莫比ヲ用ヒ居ラザルヤ否ヤヲ久シキニ互リテ十分ニ監視スベシ。實際莫比ヲ絶チテ退院セシモノガ日ナラズシテ再ビ注射シ、甚ダシキハ即日、直チニ注射ヲ始メ、尙ホ、烈シキモノニテハ在院中、注射ヲ廢セネバ退院シ難シト知リテ、隠レテ注射セルモノサヘアルナリ。サレバ、莫比ノ注射ヲ止メタリト云フモノニシテ、禁斷症狀ノ現ハレザルモノハ密ニ莫比ヲ用キ居ルモノト疑フノ餘地アリ。確カニ注射ヲ止メ、血色恢復シ、體重増シ、元氣良クナレル後チ始メテ退院セシムベシ。而カモ、ソノ後、1ヶ月ニ1回位ハ専門醫ノ監督・診察ヲ要ス。殊ニ、ソノトキニハ數時間・乃至1-2泊セシメテ眞ニ注射シ居ラヌコトヲ嚴密ニ確ムベキナリ。外來診療・等ニテ短時間ノ觀察ノミニテハ發見甚ダ困難ト知ルベシ。中ニハ同人ノ密ニ注射シ來タリテ醫師ヲ欺クコト往々アルナリ。

第三 こかいん中毒症 Kokainismus.

莫比ノ代用トシテ、本劑ヲ勸メラレタルコトニ原因スル場合多シ。斯クテ本症ハ醫師・ソノ妻・或ハ、ソノ他ノ人ニテモ本劑ヲ容易ニ手ニシ得ベキ人ニ多キモノナリ。

本劑ヲ一回用ヒタル時ハ酒精ト同ジ酩酊狀ヲ發シ(急性こかいん中毒症狀)心神ノ愉快・精神運動ノ亢奮・觀念聯合ノ意想奔逸様促進・酩酊ニ似ル多辯・不安トナルモ、多量ヲ用ヒタル時ハ譫妄狀トナリ、時ニハ突然虚脱ニ陥ルコトアリ。ソノ宿醉ハ甚ダ不快ナルモノニシテ、ソノタメ再ビ同劑ノ使用ヲ求メ、更ニ之レニ慣レテハ數回反復、終ニ、慢性こかいん中毒症ニ陥ルモノナリ。

慢性中毒症トナリテハ持続性ノ興奮・過敏・輕度ノ意想奔逸・多業・多辯・落チ著キナク、怒リ易ク・爽快・苦悶・遲鈍ノ狀ヲ呈シ、後チ、精神作業不能・意志減退・記憶不良トナリ、終ニハ榮養ハ衰へ、體重モ減ジ、皮膚蒼白・弛緩・陰萎ヲ呈スルモノトス。慢性こかいん中毒症 Chronischer Kokainismus 之レナリ。尙ホ、慢性中毒症ニ陥レル人ガ本劑試用ヲ止ムレバ、禁斷症狀トシテ、苦悶・全身違和・眩暈・心悸・失神・等ノ諸症狀ヲ發シ、コレヲ絶ツ能ハザルニ至ルモノナリ。

こかいん妄覺病

慢性こかいん中毒者ニハ其ノ基地ノ上ニ一時性ノこかいん妄覺病 Kokainwahnsinn ナル急性精神病ヲ發スルコトアリ。同病ハ突然發病シテ、不機嫌・刺戟性トナリ、怒リ易ク、人ヲ疑ヒ、不安・落チ著カズ、種々ノ幻覺・殊ニ、幻聽・殊ニ、罵詈スル聲ヲ聞キ、又ハ、種々ノ微小ナル物・殊ニ、動物・例之、米粒大ノ猫ノ顔ヲ見ルモノナドアリ。又、時ニ、幻觸アリ、電氣ヲカケラルト感ズ。時ニ、悖理的嫉妬妄想ヲ現ハシ、或ハ悖理的誇大妄想ヲ生ズルコトモアリトス。

斯ク多數ノ妄覺・妄想存スルニ拘ラズ普通ハ意識清明ニシテ、指南正存ス。應對凡テ常人ノ如シ。但シ、感情ノ發動烈シキトキ一時錯亂シ、行動秩序ヲ失ヒ、又ハ意識溷濁シテ、其ノ妄想・幻覺ニヨリ行動ス。例之、自己防衛ノ道ヲ講ジ、又ハ一室ニ閉籠リテ人ヲ畏レ、妻ヲ外出セシメズ、己亦短銃ヲ携ヘテ護身セルモノナドアリ。病識全ク無シ。

〔豫後〕 不良ナリ。再發極メテ多シ。急性妄覺病ハこかいんノ使用ヲ止ムレバ數日ニシテ幻覺去リ、妄想モ消エ、1-2週ヲ經レバ、全症狀全ク去ルモノトス。時ニハ妄想ノ1ヶ月モ續クコトアリ。

〔療法〕 こかいん使用ヲ禁ズルニ在リ。禁斷症狀トシテ不安・不眠・心悸・呼吸困難アルモ、嚴密ナル監督・殊ニ、強心劑・催眠劑・溫浴・等ノ處置ニヨリテ足ルモノ多シ。只時ニ、突然虚脱ニ陥リテ死スルコトアリ。斯クテコハ稀有ナルコトナリトモ禁斷ハ病院・其ノ他ノ設備完全シ、慣レタル醫師・看護人ノ居ル所ニテ行フヲ安全トス。

莫比トこかいんトヲ併用スル患者ニテハ先ヅこかいんヲ止メ、次イデ莫比ノ禁斷ヲ行フヲ順序トス。50歳以上ノ人・榮養不良ノ人ニハ危險ノコトアレバ、突然ノ禁斷ハ避クベシ。

第四 ソノ他ノ中毒症狀ハ、急性ノ場合ニハ譫妄狀・時ニ、癲癇様興奮狀態、慢性ノトキニハ記憶減退・精神衰弱狀態ヲ示ス。

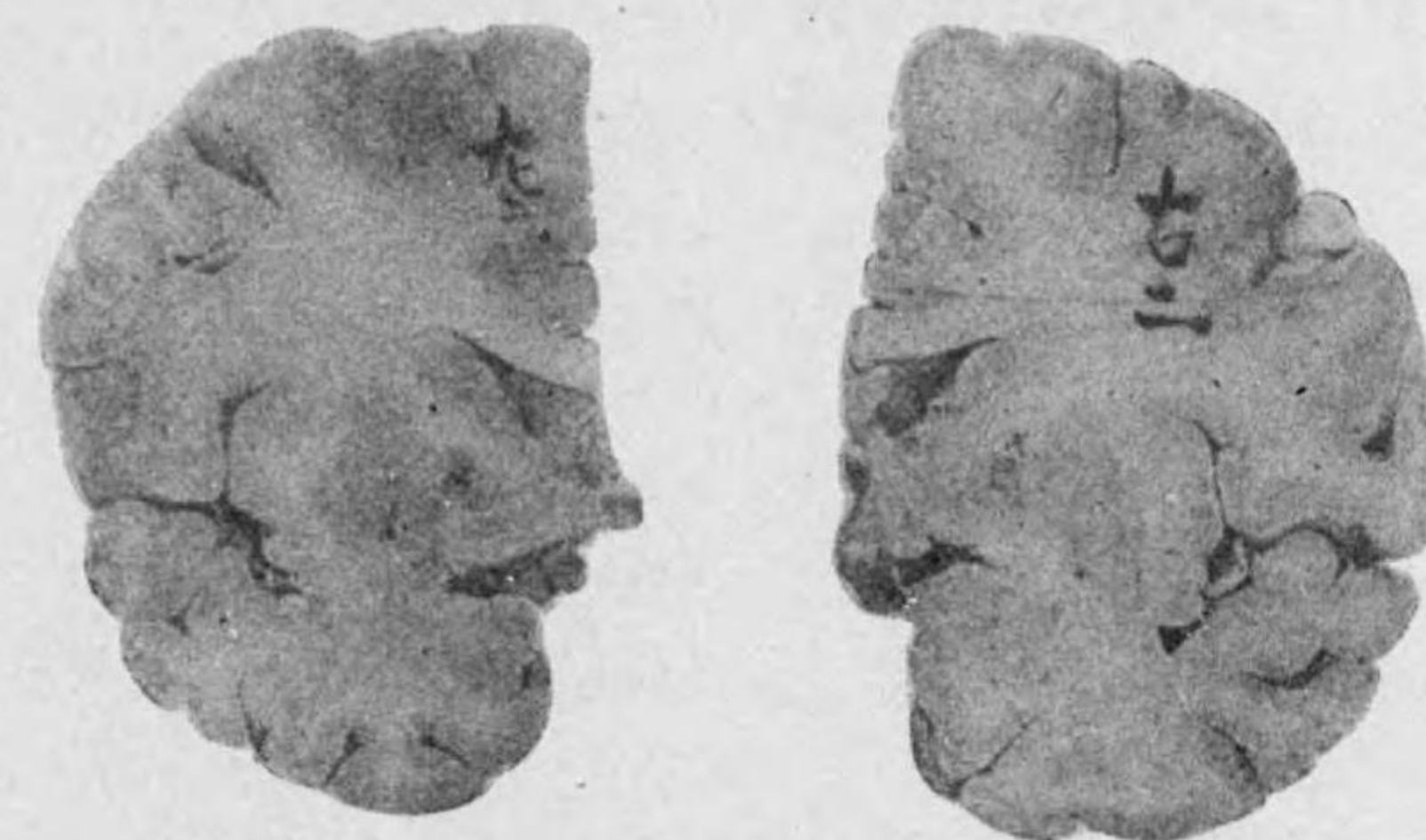
次ギニ必要ナルモノ 2-3 ヲ舉グレバ。

I. 酸化炭素瓦斯中毒 Kohlenoxydgasvergiftung.

酸化炭素瓦斯中毒

〔原因〕 不良暖房装置ノ室内ニ久シク居ルトキ・自殺ノ目的ヲ以テ燈用瓦斯ヲ吸入セシトキ・稀ニ、工兵作業・火藥爆發・火山破裂・等ニ因ル。

〔症狀〕 中毒後直チニ死スルモノアリ。幸ニ死期ヲ經過スレバ一時的ノ意識溷濁・多少ノ興奮・酩酊様朦朧狀態アリ。恢復後、追想ヲ缺キ、言語障礙・振顫・痛覺鈍麻・膀胱障礙ヲ伴フ精神衰弱・時ニ、永久ノ癡呆狀ニ陥ルモノアリ。



第25圖 一酸化炭素瓦斯中毒ニヨル兩側大腦半球淡蒼球ニ於ケル相對的軟化症ノ圖

更ニ本病ニ固有ナルハ、急性中毒ノ際、嘔吐・痙攣・頭痛・嗜眠狀態アルモ、ソレ等ノ諸症狀ハ忽チ治リ、數日・乃至 1-2週間ヲ經テ、突然(或ハ徐々ニ)重篤ナル病狀・殊ニ、意識朦朧・拒食・無言・全身痙攣・等ノ症狀ヲ發シ、不治ノ狀ニ陥ル病型アリ(間歇性病型)。ソノ際、初メ來タリシ意識溷濁ハ、腦ニ於ケル酸化炭

素ノ中毒症状ニシテ一旦恢復シテ後チ再ビ茫然トナレルハ 酸化炭素中毒ニヨリ
來タル腦軟化症・等ノタメト解スベキ考ヘアリ。

〔病理〕 兩側ノ蒼球ニ軟化症ヲ呈スコトヲ固有ナリトス。

鉛中毒

II. 鉛中毒 Bleivergiftung.

俳優・鑄工・活版職・等ニ鉛中毒ノ來タルコト往々アリ。

〔症状〕 急性ノモノハ 1. 意識濁濁・昏睡・又ハ譫妄狀・朦朧狀・制止狀・苦悶狀・
追跡妄想・自殺傾向・躁暴狀態・等ヲ示シ、數週ニテ治癒ス。

慢性ノモノハ 2. 持續性癡呆狀態・3. 追跡妄想ヲ有スル妄想病性精神病・4. 緊張
病・乃至・痲痺性癡呆樣狀態トナリ、身體的ニ頭痛・痲痺樣痲痺・筋肉ノ搐搦・震
顫・言語障礙・等ヲ現ハスモノナリ。

沃度保兒
中毒

III. 沃度保兒中毒 苦悶・悲觀・不安ヲ普通トシ、時ニ幻覺性譫妄・錯亂ヲ呈
スルモノアリ。

水銀中毒

IV. 水銀中毒 水銀工場・驅獸療法・水銀連用ノ際ニ生ズ、刺戟症・錯亂・妄
覺・苦悶性夢寢・不眠・時々ノ興奮・記憶判斷衰弱・感情・意志減退・等ヲ發ス。

硫化炭素中
毒

V. 硫化炭素中毒 消化不良・頭痛・不眠・記憶減弱・コルサコフ症狀・神經炎
症狀等アリ。護謨製造所ノ職工ニ多シ。

あとろびん
中毒
ひをすちん
中毒

VI. あとろびん中毒 強度ノ理解障礙・2-3ノ妄覺・及ビ錯亂・爽快・苦悶アリ。

VII. ひをすちん中毒 急速ニ發來スル意識濁濁・恐怖スベキ幻視・不快ナル
幻味・幻嗅・全身ノ痲痺・殊ニ、舌・四肢ノ痲痺ヲ來タス。

自己中毒

第五 自己中毒性精神異常 Autointoxikation.

I. 尿閉症 Harnretention 精神活力ノ減退・運動性減少・嗜眠・譫妄狀ヲ示シ、
終ニ死ス。

尿毒症

II. 尿毒症 Urämie 急性ト慢性トノ二種アリ。

A. 急性尿毒症 痲痺ニ似ル發作ヲ以テ始マルモノ多シ。只コレト異ナル點
トシテあうらナク、痲痺ノ一部性ナルコト多シ。

前驅症ニハ頭痛・嘔吐・倦怠・睡眠不良・刺戟性アリ。後チ、失神發作・或ハ痲痺
樣發作ヲ發シ、意識濁濁シ、四圍ノ事情ヲ領會セズ。尿量減ジ、尿中ニ圓嚙多
數出ヅ。發作後、半身痲痺・截癱・半盲症・強迫性笑顏・等ノ症狀ヲ呈ス。

精神的ニハ朦朧狀態・運動性不安・空想樣心氣性症狀・宗教的誇大妄想・等ヲ示
ス。時ニ、痲痺性朦朧狀態ニ似ル病型アリ、尙ホ時ニハ、譫妄時ニ、夢幻性幻覺・被
害念慮アリ、感情ノ變化烈シク、苦悶・爽快、又、人ニ對シテ不快ノ念ヲ抱クモノ
アリ。意識濁濁ノ度ハ不定ナルモ、輕ケレバ幻覺・妄想ヲ信ジ、久シキ間、系統
アル妄想病者ノ如キ觀ヲ呈ス。他ニあめんちあ・又ハ緊張病ニ似ル型モアリ。

〔豫後〕 不良ナルモノ多シ。治セル後チニ發作時中ノコトヲ知ラズ、又逆行性
健忘ヲ呈スル病例アリ。痲痺ニ伴ハレテ現ルコト普通ナルモ、痲痺ト無關係ニ

來タルコトモアリトス。

B 慢性尿毒症ノトキニハ、倦怠・萎弱ノ感・睡眠不良・頭痛・時々ノ嘔吐・作業
力減退・刺戟性遲鈍・時ニ、好機嫌・注意集中困難・輕キ意識濁濁アリ。後チ、重症意
識濁濁・振顫・言語不明晰・眼球運動障礙・對光反射鈍・バビンスキー症狀ヲ示シ、
痲痺・痲痺ヲ來タスモノモアリトス。

III. 急癇 Eklampsie ハ妊娠ノ末期・又ハ、分娩後 1-2 日ノウチニ起ル。烈シ 急癇
キ頭痛ト之レニ伴フ痲痺樣發作ヲ示ス。同發作ハ頻々數回引續キ現ハレ、體温上
昇・意識濁濁アリ(急癇性精神病 Eklamptische Psychose)。急癇ノ 6%ニ來タリ、
初産婦ニ多シトセラル。

急癇發作後ニ苦悶性興奮・指南力喪失アリ。時ニハ 1-6 日間意識濁濁シテ、
後チ發病スルモノアリ。

主徴候ハ 1. 朦朧狀態・乃至、譫妄狀態ナルモ、2. 時ニハ意識濁濁烈シク夢中ト
ナリ手ヲ動かサスニ止マルモノ。3. 中ニハ聯想異常ヲ主トシ、理解不良・保續症・意
想奔逸症ヲ主トスルモノ。4. 幻覺癡ニアリ、夢幻性錯亂ノ狀ヲ示スモノ。5. 宗教
性内容ヲ示スモノ。6. 失語症樣症狀ヲ主トスルモノ。7. 痲痺性朦朧狀態ニ似タル
朦朧狀態ニテ、後チ逆行性健忘症ヲ呈スルモノナドアリ。何レモ尿量減少シ、蛋
白・圓嚙アリ。

〔豫後〕 不定ナルモ、漸次治リ、全経過ハ一週以内ナリ。稀ニ數ヶ月ヲ越ユ。
突然眠リテ後チ俄然治ルモノモアリトス。

IV. 糖尿病 Diabetes mellitus. 糖尿病患者ニテ尿ニ糖量ノ増ストキニ 於テ精 糖尿病
神神經症狀ヲ現ハスコトアリ。

1. ソノ多クハ神經衰弱樣症狀ニテ刺戟性・疲勞衰弱ノ感・作業減退感・頭痛・頭
壓・心氣症・等ナリ。糖尿病ノ療法ニヨリ治ス。

2. 稍ヤ重キハ記憶減退・甚ダシキ吝嗇・不機嫌・苦悶症狀ヲ帶ブ。サレド此等
ノ症狀ハ糖尿病ニ伴フ動脈硬化症アル時ニモ現ハルモノナレバ、糖尿病ニ基ヅ
クカ、又ハ其レニヨル動脈硬化ノタメカノ疑ヒアリ。

3. 糖尿病患者ニシテ如上ノ症狀ニ、誇大思想・爽快・瞳孔異常・言語障礙ヲ來タ
スモノアリ。ラウデンハイメル Laudenheimer ハ糖尿病性假性痲痺性癡呆 Dia- 糖尿病性假
betische Pseudoparalyse ト名ヅケ、糖尿病療法ニヨリテ治スルコトアレバ糖尿 性痲痺性癡
病ニ直接關係アル病トセリ。サレド、斯カル症狀ハ又動脈硬化症ニモ存シ、又糖
尿病療法ニヨリテ症狀ノ好良トナルハ動脈硬化ニモアレバ、コノ精神症狀ヲ直
チニ糖尿病ニ歸スベシトスルノ説ハ疑フ人アリ。

4. 又糖尿病性昏睡狀態 Coma diabeticum ノ前ニ頭痛・刺戟性・苦悶性不安・等 糖尿病性昏
ノ諸症狀ヲ示スコトアリ。

5. 時ニハ其等ノ症狀激シクシテ譫妄狀トナリ、苦悶・幻覺・被害妄想ヲ認ムル 昏睡前譫妄
場合モアリ(昏睡前譫妄狀態 Präkomatöses Delirium)。糖尿病ト直接關係アル 狀態

病ナルベシ。

尙ホ、一面ニハ精神病ノ多クニハ**糖尿** Glykosurie ヲ現ハスコトアリ、殊ニ、麻痺性癡呆・躁鬱病・抑鬱・苦悶ノアルトキニハ尿中ニ糖ノ現ハルコト多シ。

V. 消化器疾患ニヨル自己中毒症トシテ種々ノ精神異常記載セラル。中ニハ苦悶症・強迫観念・抑鬱性症状アリト云ハル。但シ十分ノ證左ナシ。人ニヨリ急性腸加答兒ヨリ傳染病時ニ來タル如キ精神病現ハレ、時ニ、**コルサコフ** 症状群ヲ示スモノモアリト云フ。余モ亦重症赤痢ノ後チ數年ニ互ル**コルサコフ** 精神病ヲ發セル例ヲ見タリ。

肝臓病、殊ニ、**黄疸**ニヨリ昏迷状態・かたれぶし一ヲ起コスモノアリ。又多クノ幻覺ヲ伴フ錯亂状態モアリトス。

第三章 内分泌腺性精神病

Endokrines Irresein.

第一 甲状腺性精神異常 Das thyreogene Irresein.

甲状腺分泌ノ過多又ハ其ノ變調ニヨリ**バセドウ病**起コリ、ソノ消失ニテくれちにすむす・粘液水腫ヲ發ス。

甲 バセドウ病ニ來タル精神異常 Die psychischen Störungen bei Morbus Basedowii.

バセドウ病ノ示ス精神異常ニハ種々アリ、1.著シキ不安状態・殊ニ、感情ノ過敏症ヲ主トスルモノ、他ニ2.重キ神經質ニ似テ、感情轉換・氣六ケシキ刺戟性・苦悶ヲ帶ベル舉動不安ヲ主トスルモノ。時ニ、強迫観念・失神發作・不眠症ヲ呈シ、又3.躁鬱病様多辯・發揚・錯亂、或ハ4.氣力缺乏・仕事ニ根氣ナク、疲勞シ易ク、判斷一方ニ偏シ、記憶不良トナルモノ、5.時ニ、一時性妄想病様猜疑心・關係念慮ヲ生ジ、嫉妬深クナリ、或ハ6.幻覺・就中、幻視ヲ生ズル型ナドアリ。病覺ハ常ニ存ス。

身體症状. **バセドウ病**ノ主徴候タル**甲状腺腫**・**眼球突出**・**眼軸幅轉困難**(**モービウス** 症状 Möbiussches Symptom)・**瞬目稀少**(**ステルワグ** 症状 Stellwagsches Zeichen)・**下方ヲ視ル際ニ上眼瞼ノ眼球ニ伴ヒ下ルコト乏シク**(**グレーフェ** 症状 Gräfesches Symptom)・**脈數増加**

甲状腺性精神異常

バセドウ病

(100-120)・心悸・細カキ手指振顫・時ニ、一時性浮腫・下痢・發汗・嘔吐・等ヲ來タス。

〔療法〕 安靜ヲ第一トス。精神的刺戟ヲ避ケ、靜寂ナル山・又ハ海濱ニ靜養スルヲ宜シトス。電氣療法モ可ナリ。

交感神經ノ平流電氣療法トテ直徑 2-3 種ノ陰極導子ヲ舌骨大角外方・胸鎖乳頭筋ノ内縁ト下顎骨隅ノ間ニ當テ、他ノ大ナル陽性導子ヲ項部ノ第5-7頸椎ノ高サニ置キ、弱電流(3 ミリあんべーあ)ヲ漸次入電シ、短時間(2 分間)ノ後、漸次コレヲ止ムル法ヲ長期間連續スルヲヨシトス。強キ電流ハ却テ害アルコト多キナリ。

藥劑ニハ**鐵劑**・**規那**・**亞砒酸劑**・殊ニ、**規那煎**・等用ヒラル。又本病ノ症状ハ交感神經系ノ症状ト考ヘラレ、鹽酸キに一ね・えるごちん・等モ試ミラル。不安ニ對シテハ**臭素劑**使用セラレ、沃度劑ハ中毒症状ヲ來タスコトアルヲ以テ注意セラル。強心劑ニハ**すとりふあんつす丁幾**・等用ヒラル。

原因療法トシハろだけ一ん(甲状腺ヲ取レル羊ノ乳ヨリ製セル粉末、1-2-3.0)・あんちちれおいぢん(甲状腺ヲ摘出セル山羊ノ血清ヨリノ製劑0.5-4.0、**モービウス**)・又、ソノ錠劑タル**あんちちれおいぢん錠**(1日3個)ヲ用フ。直接、甲状腺ヲ用ユルハ却ツテ害アリトノ考ヘ多シ。

食餌ハ一回ノ量ヲ減ジ、回数ヲ増シ、全量ヲ増加ス。又、澱粉類ヲ減ジ、脂肪蛋白質ヲ多ク與フルヲ良トス。精神症状著明トナレバ家族ヨリ遠ザケ、精神的興奮ヲ避クルヤウニ努ムベシ。

外科的療法(甲状腺摘出)・らぢうむ療法モアリ。

乙. 粘液水腫性精神病 Das myxödematöse Irresein.

〔原因〕 1882 年**コッヘル**氏ヨリ、甲状腺ヲ摘出スレバ同人ニ本病ヲ來タスコトヲ知ラル(**Cachexia strumipriva**)。ソノ後、甲状腺ノ疾病(**結核**・**黴毒**・**あくちのみこーぜ**・等)ニヨリテモ亦同病ヲ發シ、動物實驗ニ於テモ、同様ノ症状ヲ生ズル事ヲ知レリ。

〔症状〕 手術後ニ來タル場合ニハ本症ハ比較的早く初マル。殊ニ

粘液水腫性精神病

身體症狀先ヅ現ハレ、經過久シキ後チ精神遲鈍トナルヲ例トス。即チ、初メハ意識清明・指南力常ナルモ、後チ一般ニ遲鈍トナリ、理解不良・考慮澁滯シ、更ラニ、記憶減退・智力消耗ヲ呈ス。感情ハ平氣・疲勞性亢進シ、終ニ、漸次癡呆ニ陥ル。尙ホ $\frac{1}{3}$ ニハ刺戟症狀・苦慮・煩惱・不安・意味ナキ反抗・拒食・錯亂・幻覺・追跡妄想・等アルコトアリ。

身體症狀ハ固有ニシテ、顔面空漠・表情鈍・假面狀・皮膚一般ニ肥厚ス。殊ニ、顔面ノ腫脹甚シク、眼瞼ハ腫レ、眼裂ハ小サク見エ、頬・鼻・唇・凡テ膨レ、少シク蒼白色ヲ呈ス。ソノ表面ハ粗雜ニシテ撮メバ大ナル皺ヲ作ラザレバ撮ミ上ラズ。發汗・鼻汁ノ分泌減ジ、齶齒多ク、難聽・味・嗅覺不良症モアリ。食慾減ズ、神經症狀トシテ頭痛・眩暈・失神・痙攣發作アリ。物質代謝減ズ、色情消失ス。月經止ミ、體重下降ス。血球ニハ淋巴球及ビえおじん嗜好細胞ノ比較的増加症アリ。久シク經過スレバ、失調・間腦症狀ヲ呈シ、嗜眠性腦炎後ノぼるきんそにすむすニ似ル症狀モアリトス。

〔經過〕 病勢進行シテハ終ニ烈シキ癡呆ニ陥ル。サレド適當ノ治療ヲ施サルレバ治癒ニ赴ク。

〔治療〕 山羊ノ甲状腺・又ハ、ソノ製劑・ちれおいぢん・沃度ちりんヲ使用ス。

くれちにすむす

丙 くれちにすむす Kretinismus.

生後早く發スル後天性疾患ニシテ、著明ナル精神發育制止ト甲状腺ノ機能不全トヲ主徴候トス。即チ、身體的ニハ皮膚ノ粘液水腫様肥厚ト骨ノ發育不良トヲ主トス。

生後直グニハ症狀概シテ顯著ナラズ。即チ、只、皮膚ノ肥厚・不潔・灰白色ナルト、時ニ、舌ノ肥大ヲ示スニ止マル。稀ニ甲状腺ノ腫脹ヲ見ル。

1-2 歳ニ至リテ、顔貌空漠・理解不良・運動不活潑・不確實トナリ、持テル物ヲ落スナドノコトヲ注意セラル。

5-6 歳ニ至レバ明カニ甲状腺ノ肥大・又ハ消失ヲ示スニ至ル。

10-12 歳ニシテ、骨ノ發育尋常ナラザルコトヲ著明ニス。即チ、四肢

ノ骨ハ發育頗ル不良、全身ノ發育甚ダ惡シク、身長ハ矮少、頭蓋骨ハ平タクシテ短ク、顔モ短ク、幅廣ク、殊ニ鼻低ク、眼窩ハ距タリ、頬・及ビ眼瞼ハ膨レ、唇ハ厚ク、齶齒多ク、齒列不整・舌厚シ。顔容一見小兒又ハ老人ノ如シ。毛髮ノ發育亦不良ニシテ、且、少ナシ。手ハ短ク、胸ハ丸ク、腹膨レ、皮膚ハ乾燥・肥厚ス。感覺鈍シ。聾スル者アリ。筋肉ノ粗大カハ弱ク、運動ハ遅ク、發音不明・腱反射活潑トス。

第 26 圖 a 中、左ハくれちん患者、右ハ常人ニシテ共ニ同年齡ノ婦人ナリ。

精神狀態ニハ固有ノ癡鈍・茫乎タル風ヲ示シ、智力ハ 3-4 歳ノ兒童程度ニ止マルモノ多シ。之レニ一時的興奮・抑鬱・妄想・等ヲ示スコトアリ。



第 26 圖 a くれちん(左)ノ圖

以上ノ身體症狀、殊ニ、粘液水腫性腫脹ハ小兒期ニ於テ最モ顯著ニシテ、3-40 歳ニ達スレバ既ニ減ジ、ソノ年齡トナリテハ皮膚乾涸・皺贅多ク、既ニ本病ノ特徴ヲ失フモノナリ。

〔原因〕 地方的ニ來ルモノ (Eudemischer Kretinismus) ト散在性ニ發スルモノ (Sporadischer Kretinismus) トアリ。前者ハアルペン地方ニ多ク、我國ニハ臺灣ニアリト云フ。

原因ニハ飲用水・空氣・一般の衛生設備ノ不良ニ歸ストセラルル考ヘアリ。サレド又遺傳ニ基クトモ云ハル。

地方的くれちんと散在性くれちんとハ種類異ナルトノ説モアリ。

〔治療〕 ちれおいぢん、又ハ甲状腺ノ錠劑ヲ與フ。他ハ一般ノ攝生法ヲ主トス。



第 26 圖 b 同上

第二 他ノ内分泌腺異常ニヨル精神異常。

I. 腦下垂體分泌異常ニヨル精神變調 腦下垂體ハ腺性前葉ト神經

腦下垂體分泌異常ニヨル白痴

性後葉トヨリ成ル。前葉ハ骨發生ニ關係アリ、ソノ機能増進ヨリ全身ノ巨大症・軟骨附著點ノ開離症・膝外翻 Genu valgum ヲ生ズ。成長後ニ同症發生セバあくろめがり一ヲ生ジ、骨ノ幅ヲ増スモ、長サハ伸ビズ。精神的ニハ小兒様トナリ、平氣・満足性・好機嫌ナルモノ多シ。

あくろめがり一

あくろめがり類似ノモノニ類あくろめがり一、即チ、あくろめがり一トナルモノアリ。神經質・又、白癡ニ往々コレヲ見ル(第27圖參照)。

前葉機能ノ減退症ニハ骨發育不良・矮小者・いんふあんちりすむすヲ呈ス。多クハ同所ノ腫瘍・其ノ他ノ原因ニ基クモノナリ。腫瘍ノトキニハ、視神經萎縮・視野狹小症・鬱血乳頭・等ヲ伴フ。



肥胖性生殖器發育不全性營養障礙症

松果腺機能不良症

第27圖 白癡ニシテあくろめがり一トナルモノアリ。即、鼻・顴骨・上下肢、殊ニ手足ノ著ク大ナルモノ

副腎異常症

後葉ノ疾病・殊ニ、ソノ機能減退症ノ時ニハ、所謂、**肥胖性生殖器發育不全性營養障礙症 Dystrophia adiposogenitalis** トテ、脂肪過多症・殊ニ、臀部・陰阜・乳房部・股ノ邊ガ著シク肥リ、生殖器ハ小トナリ、毛髮減少シ、二次の生殖機能モ衰弱シ、精神作用ハ鈍ク、色情ハ減退シ、稀ニ、輕キ不安症狀ヲ呈ス。理性ハ普通・又ハ輕ク侵サルモノアリ。

II. 松果腺機能不良症 Hypopinealismus ハ多ク男子ニ來タリ、早熟性生殖器肥大症ヲ發ス。即チ5-6歳ノ小兒ニテ陰莖太ク、陰毛發シ、齒牙大トナリ、聲變リシ、時ニハ勃起・射精モアリ。精神發育モ早シ(Macrogenitalismus praecox)。

III. 副腎ノ異常、殊ニ、同腺皮質ノ機能増進症ニテハ全身・殊ニ、生殖器ノ發育早ク、色情風發シ、月經早く閉止シ、同時ニ肥胖症アリ。髯ヲ生ズ。

副腎機能不良症 Dysadrenalismus ニテハ、アヂソン病ノ如キ色素沈着・消化不良・元氣衰退・血壓下降・疲勞シ易ク、記憶減弱・平氣・發育不良症・等ヲ來タスモノナドアリトス。

生殖器機能異常

IV. 生殖器ノ分泌減退症ニハ生殖器・及ビ精神發育不良症ヲ示ス。即チ、年齒長ズルモ、陰毛發生ゼズ、腋毛ナク、婦人ニシテ臀部肥ヘズ、

月經現レズ。時ニハ男子ノ如キ體形ヲ生ズルモノ・男子ニテハ精液ニ精蟲ナク、髯ノ發生止ミ、聲變リセヌモノアリ。

腦下垂體病ノ如キ感ヲ與ヘラルモノナレド、肥ヘ方ガ全身的ナラズ、主トシテ臀部・耻骨縫合上部ナルモノアリ**類宦官症 Eunuchoidismus** ノ名アリ。之レニ1. 頭小サク、前額低ク、陰部小ニシテ、毛薄ク、レントゲン放射線像ニヨリ軟骨ノ殘存ヲ認メラレ、上下肢ノ發育熾ニシテ、立テバ手指尖端ガ大腿ノ2/3マデ下ルモノト、2. 身體ノ肥エ、頭大ニシテ、頸太ク、上下肢短ク、直立シテ上肢ヲ垂セバソノ下端ハ大腿ノ上方1/3ノ境界線ニ止マルモノトノ二種アリ。

類宦官症

本症者ノ血球中ニハ淋巴球・及ビ、大淋巴球ヲ増シ、多核白血球ヲ減ジ、糖ノ同化作用亢マルト云フ。

精神作用ニハ感情ニ變化ヲ受ケ易ク、獨立心ナク、意志弱ク、時ニ、空想力亢マル。

生殖器異常ニ因ルモノナリ。

V. 胸腺異常ニヨル精神異常。

重症ノ遲鈍性白癡ヲ來タシ、顔面肥エ、全身ノ發育不良、生殖作用亦發育惡シク、殊ニ、發毛不全・筋肉ノ弛緩・軟弱・骨質ノ著シク彈性性ヲ帶ビ、且脆ク、運動ハ巧ミナラズ。振顫アリ。褥瘡ヲ生ジ易シ。

(病理) 胸腺ノ分泌液ハ鹽酸ト化合シテコレヲ無害タラシムベキモノナルニ、コノ胸腺分泌ノ減弱セバ、ソノ作用止ミ、本症ヲ生ズモノトセラル。

VI. 胸腺淋巴腺體質 Status thymico-lymphaticus.

胸腺肥大ト淋巴腺肥大(脾臟肥大)トアリ。精神的ニハ非獨立性・弛緩性・無氣力性アリ。同時ニ貧血・肥厚セル皮膚・扁桃腺腫脹・口腔狹小・動脈系狭小ヲ示ス。時ニ、胸腺殘存・色情晚發・耻毛發生遅ク、身長異常ニ發育ス。

VII. 多腺型 Pluriglanduläre Form.

上述各種分泌腺ハソノ作用互ヒニ代償シテ助ケ合フモノナリ。即チ若シ、或一腺ノ機能減退・又ハ缺損ヲ發セバ、他ノ分泌腺ガソノ缺ヲ補ヒ、全體トシテ著明ナル症狀ヲ現ハサヌモノナリ。サレバ、若シ或腺ノ症狀著明ナルトキニハ、必ズヤ、多クノ腺ガ皆共ニ多少故障ヲ受ケ、ソノ代償ノ完タカラヌトキナルベシ。事實、一腺ノ異常ニアラズシテ同時ニ多數ノ腺ガ障礙セラレタルトキニ初メテ或腺ノ異常ニ基ヅク病的症狀ヲ顯著ニスルモノナリ。

斯カル障礙ハ生來性ノモノト、腦腫瘍・腦水腫・中毒・耳下腺炎・猩紅熱・麻疹・



胸腺異常ニヨル白癡

胸腺淋巴腺體質

第28圖 肥胖性生殖器發育不全性營養障礙症

多腺型

等ニ基ツク後天性ノモノトアリ。

もんごりすむす

第三 もんごりすむす Mongolismus.

生マルルトキ既ニ顔貌異常アリ。即チ、同病者顔面ノ特徴ニハ顔面平たく、鼻梁ノ幅ガ廣ク、頭丸ク、眼裂甚ダ斜メニシテ内眦贅皮強シ。又、舌厚ク、表面皺多ク、關節甚ダ弛緩シ、内翻足・心臟ノ畸形・臍部へるにあ・ソノ他、種々ノ變質徴候ヲ有スルモノナリ。時ニ骨ノ發生遅ル。

精神的ニハ感情變化ヲ受ケ易ク、獨立心ナク、意志弱ク、時ニ、空想力亢マルモノアリ。尙ホ低能ヲ伴フモノ多シ。

身體ノ抵抗モ弱クシテ早ク死ス。

〔病理〕 剖見上、腦ノ重量輕ク、時ニ、腦廻轉ノ異常アリ。就中、二次的廻轉ヲ缺キ、腦底位ニハ大脳脚邊ノ發育不全像アリ。

組織學上ニハ大脳皮質最上層廣ク、神經細胞ノ染色性減ジ、のいろぶらすて入型ヲ呈シ、切線・放射兩纖維共ニ減少ス。

〔本態〕 不明ナルモ、羊水不足、内分泌腺異常ニヨルモノナラムトノ説アリ。又、大脳底面ニアル漏斗狀部ノ發育障礙ヨリ同所ニ存スル中樞ノ機能不全ニモ因ルベシ。即チソレニヨリ、眼裂・鼻腔・等ノ畸形ヲ生ズト云ハル。

要スルニ、本症ハ1ハ遺傳體質ノ異常・他ハ内分泌ノ異常ニヨルモノト思ハル。

いんふあんちりすむす・小兒型

第四 いんふあんちりすむす・小兒型 Infantilismus.

全身ノ構造・機能・殊ニ、精神作用ガ平等ニ發育阻止セラルモノナリ。



第 29 圖
もんごりすむす

多クハ、小兒程度又ハ魯鈍程度ノ發育ニ止マルモノニテ、稀ニ癡愚ノ状態ニ至ル。

本病ハ1864年、大人ニテ小兒ノ如キモアリトセラレシニ始マル。次イデ、ソハ結核トノ關係アリトシ、又、營養障礙・甲状腺異常・血管異常ナドニヨルモノモアリトセラル。1923 ヤミンハ歐洲大戰後、獨逸國少年ニ成熟不良ナル者多數アリ、コハ營養不良ニヨル精神・身體ノ發育不良・殊ニ、身體ノ發育不全ナルモノニテ、ソノ症狀ハ破瓜期前後ヨリ初マリ、神經質トナリ、根氣失セ、疲勞性亢マリ、孤獨性・空想性・虚偽性トナリ、植物神經系緊張亢進症・身體虚弱・姿勢小兒ノ如クナルモノトス。孤兒院・低能學校ノ生徒中ニ之レニ似ルモノ甚ダ多シト云ハル。

〔原因〕 營養不良・殊ニ、リぼいど 缺乏症ニヨルモノトセラルナリ。

〔症狀〕 精神的ニハ注意散リ易ク、領會一般ニ困難ニシテ、早ク忘レ、追想ニ錯誤多ク、暗示性ニ富ミ、空想深ク、抽象力乏シク、性状觀念・概念ノ發達甚ダ不良ナリ。時・價・尺度ノ概念發達モ十分ナラズ。聯想ハ主トシテ具體的觀念像ニヨル、算數ノ念薄ク、判斷表面的トナリ、要素ト偶素トヲ混ズ。性格ハ眞面目ヲ缺キ、虚榮・自慾・法螺吹キ・頑固・臆病ナドノ癖多シ。又、外界ノ影響ヲ蒙リ易ク、疲レ易シ。努力・節慾・獨立心ニ乏シ。尙ホ、模倣心ニ富ミ、無分別ノ行動多ク、爲メニ、犯罪ニ陥リヤスシ。時ニハ、ひすてり一性・神經質・強迫觀念・等アリ。

〔身體症狀〕 全身ノ發育ハ小兒ラシク、矮小ナルモ、身體各部ノ割合ハヨク平均ヲ保チテ、只小兒ラシキ點アルノミ。殊ニ、顔貌ノ小兒ラシク、生殖器ノ構造・其ノ機能ニ小兒ラシキトコロヲ示ス。二次的生殖作用・殊ニ精ノ發生・聲變リ・脂肪沈著・丸キ顔面・ソノ他、之レニ類スル小兒ラシキトコロ多キモノトス。

時ニ、身體上ノいんふあんちりすむす・又ハ、精神作用ノ一部ニ限リテ現ハルル一部分性小兒型 Partiieler Infantilismus アリ。クレベリンハひすてり一・ばらのいあ・精神病的變質ヲ皆コレニ屬セシメタリ。

一部分性いんふあんちりすむす

斯クテ本症ハ一種ノモノナラズ、先天性原因トシテ變質性胚種ノ損害ニヨルモノアリ。後天性ニハ内分泌異常・營養不良ニヨルモノアリトス。而カモ實際ニハ、原因不明ノモノ甚ダ多キナリ。

第四章 傳染病性精神病

傳染病性精神病

Das infektiöse Irresein.

急性傳染病ニ因リ躁病・緊張病・麻痺性癡呆・等ノ誘起セラルルコトアルノホカ、特ニ、同病ニヨル體溫上昇・病原菌・竝ビニ、ソノ毒素ノ作用・内臓ノ分解産物・殊ニ、物質代謝異常・衰態・虚脱・本人ノ體質・等ニヨリテ種々ノ精神異常ヲ來タスモノナリ。

ソノ折ノ病症ハ傳染病ノ初期・經過中・又ハ末期ニ起コルノミナラズ、尙ホ時ニハ病後一定ノ時日ヲ經テ初メテ起コルモノアリ。

各種ノ傳染病ニ基ク精神異常ハ、其ノ程度ニ於テ差アルノミナラズ

尙ホ其ノ症状・経過・病型ニ於テモ一様ナラズトスル人アリ。サレドモ是等ヲ通ジテ、譫妄状態・朦朧状態・幻覺症・癲癇性興奮・あめんちや・コルサコフ精神病・過敏性衰弱状態・等ノ數種ニ止マルト云フ説モアリ。而シテあめんちあニハ幻覺性・離想性・昏迷性・興奮性・緊張病性・等ノ小別アリ。又、朦朧状態ニハ癲癇性興奮ヲ伴フモノモアリトス。

クレペリンハ之ヲ發生ノ時期・原因ニヨリ、熱性譫妄・傳染病毒性譫妄・及ビ後期ノ衰弱状態ナル3種ニ大別ス。其各ニマタ多クノ小別アリ。

熱性譫妄

第一 熱性譫妄 Fieberdelirien.

高熱ノ際ニ發スル精神異常ニテ、傳染病ノ種類・發熱ノ程度・等ニ因リテ一様ナラズ。只大體ニ於テ次ノ如ク別タル。

1. 最輕症ノモノハ倦怠・不快・頭部茫乎・光・又ハ音ニ對スル感覺過敏・感情ノ刺戟性・怒り易ク・元氣失セ、精神作業力減退・時ニ、輕度ノ不安・睡眠不熟・恐怖性内容ヲ有スル夢多キ位ニ止マルモ、2. 其ノ度稍々昂ジテハ、意識濁濁・領會ノ錯誤多ク、幻覺現ハレ、錯覺増シ、觀念聯合ハ粗雜トナリ、思想纏マラズ、夢見ル心地シ、架空的空想多ク、事實ト想像トヲ混合セ、精神運動不安・感情轉換シ易ク、殊ニ、爽快・又、悲哀性トナルモノナリ。3. 更ニ重症トナレバ、意識濁濁一層強ク、指南力喪失・悟性ヲ失ヒ、談話纏マラズ、時ニハ支離滅裂性錯亂・又ハ、意想奔逸性錯亂ヲ呈ス。感情ノ轉換亦甚シク、行爲不安・屢々、衝動性舉動アリ。

尙ホ、ソノ折、一時性ノ嗜眠状態・運動ノ不確實・萎弱・等ヲ示スコトアリ。4. 最高度ノモノハ麻痺症状主トナリ、運動總テ弛緩シテ、力弱リ、言語ノ内容不明、音聲低ク、聯絡ヲ失フ。喃語性譫妄 Blande, mussitierende Delirien コレナリ。5. 終ニハ昏瞶・嗜眠・昏睡ニ陥ルモノトス。

喃語性譫妄

〔原因〕熱性譫妄ハ傳染病ノ種類ニ因リテ特別ノ病型ヲ設ケ難タキモ、天然痘・猩紅熱・丹毒・關節癱瘓質斯・肺炎・等ノトキニハ急性錯亂性興奮多ク、窒扶斯ニ於テハ意識濁濁著シク、之レニ譫妄状態ヲ加フルモノ多キナリ。

ヘンドリックス Hendriks ハ窒扶斯ニ來タル熱性譫妄ヲ精査シ、理解・記銘・比

較的好良ナルモ、注意頗ル悪ルク、複雑・難解ナル事ハ領解不能トナリ。往々虛構症ヲ交ユ。殊ニ、睡眠ヨリ醒メタル時ニ然カルコト多シ。又、將眠時幻視現ハレ。或ハ眞ノ幻覺ハ無キモ、屢々不安・多辯・茫然・無慾ノ狀ヲ呈スルモノアリ。又、恢復期ニ於テ譫妄強ク、發熱時ニ却ツテ弱キモノモアリト云フ。

猩紅熱・其ノ他ノ傳染病ニテハ、突然、甚ダ高熱ヲ發シ、時ニ42度ニ至リ、不安・多辯・昏瞶トナリ、次イデ烈シキ錯亂性興奮ニ陥リ、死亡又ハ甚哉ナル意識濁濁ニ移行スル病型モアリトス。

〔原因〕熱性譫妄ハ單ニ體溫上昇ニ基クノミナラズ、之レト共ニ必發スベキ物質代謝増進・特殊分解産物・又ハ同病病毒ノ作用・腦ノ充血・鬱血・心臟機能ノ増進・疾病臟器ノ機能障礙・等ニモ因ルモノナリ。而カモ、ソノ體質モ亦重大ナル關係ヲ有ス。殊ニ、慢性酒客ガ肺炎ニ罹リテ高熱ヲ發セバ酒客譫妄ニ似ル症状ヲ現ハスコト多シ。幼兒・婦女子・神經質ノ人ニハ、比較的體溫低キニ關ラズ、容易ニ熱性譫妄ヲ發スル傾向アルガ如キモ亦ソノ理ナリ。

〔豫後〕多クノ場合(70%)1週間以内ニ解熱ト共ニ精神症状輕減シ、意識清明・全治スル例トスルモ、時ニハ其ノ後、暫ク、茫然・昏瞶・疲勞シ易ク、又ハ、傳染病後ノ精神衰弱状態ニ移行シ、理解・考慮ノ困難・記憶減退・疲勞性亢進・不機嫌・作業減退症ヲ示シ、或ハ解熱頃ニあめんちあトナリ、又ハ早發性癡呆・躁鬱病トナルモノサヘアルナリ。

クレペリンハ傳染病ノ種類・輕重ヲ問ハズ、一般ニ、著明ナル熱性譫妄ヲ發セルモノハ $\frac{1}{3}$ 以上ハ死シ、甚ダシキ高熱ヲ發スルモノニテ治癒スルモノハ僅ニ $\frac{1}{5}$ ヲ出デズト云フ。

〔病理解剖〕高熱ニヨリ死セルモノノ腦ニハ、大腦皮質ノ全神經細胞ニ所謂、急性變化 Akute Veränderung・等ノ像アリ。

〔療法〕原病ニ對スル療法ト對症療法トニ止マル。發熱ニ對シテ頭部ニ氷嚢ヲ貼シ、充血ヲ防ギ、必要ニ應ジテ強心劑ヲ與フ。不眠ノトキニハ催眠劑ヲ用フ。下熱後尙ホ精神異常殘ラバ鎮靜藥ヲ與ヘ、榮養ヲ盛ニスベシ。他ハ總テ傳染病本病ニ向ヒテノ治療法タリ。

第二 傳染病性譫妄 Infektionsdelirien.

傳染病性譫妄

傳染病病毒ニ因ル精神異常ト解セラルモノニテ、コレニ多クノ型ア

リ。普通、病初早く來タルモノ・主期・末期ニ來タルモノトニ大別ス。

I. 初期ニ現ハルモノ。

初期譫妄

傳染病ノ徴候尙ホ明ナラザル前ニ來タルモノニ**初期譫妄** Initialdelirien ノ名アルモノアリ。

頭痛・倦怠・不快・刺戟性・不安・睡眠不良・悪夢・等ヨリ意識濁濁・幻錯覺・興奮ノ狀ニ至ルマデノ症狀アリ。窒扶斯ニ最も多く、天然痘・麻拉利亞・狂犬病・等ニモアリ。但シソレ等各病ニヨリ症狀多少ノ差アリ。

窒扶斯

(a) 窒扶斯ノ初期譫妄ヲアシェッフエンブルグハ2種ニ大別ス。

1. ハ。妄想ト幻覺トヲ多く示ス穩ナル譫妄性ノ病型ナリ。幻覺ニハ幻視・幻聽、妄想ニハ害セラルルガ如ク、追跡セラルルガ如ク考フルモノナリ。之レニヨリ苦悶・悲觀・時ニ、複雑ナル架空的虚談症ヲ呈ス。

2. 躁揚病性興奮モアリ。殊ニ、初メハ輕キ不安狀ナルモ、後チニハ甚ダシキ譫妄性錯亂狀トナリ、意想奔逸・幻覺・系統ナキ妄想・烈シキ苦悶・無意識性ノ運動心迫ヲ現ハスモノアリ。

ボーンヘッフエルハ他ニ、緊張病性昏迷状態ニ酷似シテ、一見之レト區別シ難キ病型モアリト云フ。

此等ノ病者ハ何レモ窒扶斯ノ徴候尙ホ現レヌトキニ來タルモ、當時既ニ、何トナク同人ニ重病ノ發來セムカト思ハルル状態ヲ示スモノ多シ。コレニヨリテ又他ノ精神病ト鑑別セラルモノトス。

天然痘

(b) **天然痘**ノ際ニモ初期譫妄ノアルコトアリ。ソハ迅速ニ經過スル強キ意識濁濁ト錯亂状態トヲ示シ、時ニ癲癇性興奮ニ似ル烈シキ興奮状態ヲ呈ス。搖擗・痙攣・亦稀ナラズ。發疹後數日ニシテ去ルヲ例トスルモ、時ニハ、發疹熱ト化膿熱トノ間ニ起ルコトモアリトス。

〔經過〕 輕快屢々アリ。殊ニ、日中ニハ病勢輕キモノ多キモ、其ノ折、尙ホ、精神茫乎・理解困難ナルノ狀ヲ示シ、殊ニ、自己ト外界トノ關係ヲ明ニスルノ念乏シキモノ多シ。

多クハ1週以内ニ發熱ト共ニ輕快スレド、時ニハ、熱性譫妄ニ移行シ、又ハ、死ノ轉歸ヲ取ルモノアリ。恢復ハ少ナシ。

〔診斷〕 突然ノ發病ナレバ癲癇性朦朧状態ト誤診セラルル事アリ。サレド本病ニテハ意識濁濁一層強ク、身體ニハ重病ヲシキ状態アリ。精神界ニハ重キ離想症アルヲ以テ區別セラル。躁病トハ意識濁濁ノ烈シキ點異ナル。麻痺性癡呆・衰憊性精神病トハ其ノ原因・症狀ニ意識濁濁烈シキコト・年齢・身體症狀・等ニヨリテ鑑別セラル。緊張病トハ同病ニ固有ナル拒絶症・從命運動・等ノ著シカラズ、却ツテ意識濁濁ノ強キコトニヨリテ區別セラルモノナリ。

(c) **麻拉利亞**ニテモ發熱前突然烈シキ意識濁濁・暴力性・又ハ、苦悶性興奮・等ヲ數時間續ケ、時ニ痙攣ヲ伴フコトアリ。サレド時ニハ無熱ニシテ、精神異常ノミヲ示シ、或ハ痙攣ノミヲ現ハシ、癲癇ト誤ラルコトアリ。規尼涅ニヨリ容易ニ治リ腦血管ニまらりや原蟲ノ多數浮游スルタメノ病ト考ヘラル。

麻拉利亞

II. 經過中ニ來タルモノ。

1. 輕キ時ハ考慮澁滯・感情刺戟性ナルノミ。發熱中又ハ、無熱時ニモアリ。

2. 發生及ビ症狀ノ特異ナル癲癇性興奮モアリ。

3. 經過ノ甚ダ早クシテ苦悶ヲ帶ベル譫妄性錯亂状態アリ。

4. 失語症・あぶらきしー・一時性麻痺・等アルモノアリ。

5. 時ニ**過熱性譫妄** Hyperpyretische Delirienトテ、體溫41-2度ニ上昇シ、烈シキ精神異常ヲ伴ヒ、寧口、中毒性ノモノカト思ハルモノアリ。

過熱性譫妄

6. 時ニハ、突然烈シキ興奮アリ、直チニ死ノ轉歸ニ至ルモノアリ。

急性譫妄 Delirium acutum ト云ハル。原因ハ不明ナルモ、確ニ、傳染病性病毒ニ因ル疾病ト思ハルモノナリ。

急性譫妄

同症ハ初メ輕キ身體病、殊ニ、安魏那・腸加答兒・頑固ナル便秘・等アリ。次イデ、突然、不眠・意識濁濁・錯亂・幻覺・殊ニ、幻視・聯絡ナキ追跡妄想・苦悶・又ハ刺戟性トナリ、或ハ烈シキ衝動性・又ハ、常同性興奮ヲ示シ、叫喚・轉展反側・體溫上昇シ、顔面ヲ歪メ、咀嚼運動ヲナシ、眼ヲ瞠リ、搖擗・大小便失禁アリテ、終ニ死スルモノナリ。

而シテ其ノ血液又ハ腦脊髄液ニハ化膿菌・又ハ大腸菌ノ存在ヲ認メラルコトアリ。恐ラク安魏那又ハ其ノ他ノ口腔・乃至腸管ノ疾患・或ハ、皮膚癰腫ヨリ移行シ來レル黴菌ニ基ク病ト推測セラルモノナリ。

剖見上ニハ、主トシテ大脳皮質ニ炎症ヲ認メラル。

是等ノ諸症狀ハ原病ニヨリテ病型ニ多少ノ差アリ。

(a) **いんふるえんざ**。經過中熱低キニ意識濁濁・錯亂・苦悶性興奮・譫妄性幻覺・構音障礙・嚥下困難・多發性神經炎・等アリ。1-2週ニテ治スル精神病アリ。

いんふるえんざ

(b) **結核**。稀ニハ結核ヨリ精神異常ヲ來タス。即チ、幻聽・幻視・幻嗅・罪障妄想・無氣力性茫乎・苦悶性興奮・又ハ錯亂状態ヲ呈ス。輕快・乃至、治癒スルモノアレド結核性腦膜炎ニ移行スルモノモ少ナカラズ。

結核

(c) **敗血性疾患** Septische Erkrankung ニモ時ニハ意識濁濁・喃語性譫妄・時ニ

敗血病

小舞踏病

烈シキ錯亂性興奮アリ。尙ホ、失語症・麻痺・痙攣・等ヲ伴フコトアリトス。

(d) **小舞踏病** Chorea minor ノ折ノ精神異常ニハ、烈シキトキハ夢幻性錯亂・昏憒・昏迷・等アリ、外界ノ事情ヲ理解セズ、注意不良・注意散亂・簡單ナル話ニハ差問ナキモ、纏マリタル長キ談話ニハ聯絡ヲ缺キ、2-3ノ幻覺・妄想・感情刺戟性・等ヲ呈スルコトアリ。多クハ苦悶性・不快・時ニ、爽快・憤怒性タリ。

數日・乃至、1週間ニシテ治ルヲ普通トス。

〔治療〕 病毒ノ除去ヲ主眼トスルモ、對症療法ニ依ルノ外ナシ。食鹽水・リンゲル液ノ注入・灌腸ヲ施シ、一面、營養ヲ良クシ、口腔ヲ清潔ニシ、輕キ催眠劑・持續浴・等ヲ行ヒ、酒精・かふいん・かんふる・等ノ強心劑ヲ用ユルモノトス。

III. 末期ニ現ハルモノ。

あめんちあ

A. **あめんちあ** Amentia. 一名、**妄覺病** Wahnsinn. 又、**急性錯亂病** Akute Verwirrtheit.

〔歴史〕 マイネルトハ意識濁濁・錯亂・運動性・及ビ感覺性ノ刺戟症狀ヲ有スル病ヲあめんちあト命名セシモ、其ノ後、躁病・緊張病・麻痺性癡呆・癲癇・等ニモ同様ノ病型アリ。特ニあめんちあトスルニハ何等カノ特殊原因アルモノナルベシトシ、一時ハ衰憊ニヨル病トセシガ、後チ、傳染病ノ結果トシテ來タルモノトナス。而カモ、同病ハ他ノ譫妄状態ト異ナリ、經過比較的長クシテ特別ノ病トナスベキモノナリトセラレ。

〔定義〕 傳染病ノ經過中、ソノ末期近クニ發病ス。多クハ急性・又ハ亞急性ニ發病シテ、忽チ、夢幻性錯亂・運動性興奮・又ハ制止狀ヲ示シ、經過好良ノトキニハ 1-3・乃至數ヶ月ニテ治ス。一定ノ經過アリテ、固有ノ疾病トセラレモノナリ。

〔症狀〕 病初、多クハ内部ノ不安・不眠・等ノ前驅期アリ。次イデ、苦悶性トナリ、興奮シ、失念シ易ク、悲觀シ、頭内昏惑ノ感ヲ覺ユ。

主期トナレバ、早クヨリ指南力ヲ失ヒ、言フ所全ク纏マラズ、轉導セラレ易ク、幻視・幻聽アリ。思想ハ統一シ難シ。外界ノ刺戟ヲ明確ニ理解スルノ力失セ、特ニ熟考スルノ力甚ダ悪シク、タメニ理解・記銘減退・考慮澁滯・思想錯亂・注意集中難シ。時ニハ譫妄性虚談症モアリ。コレニ多數ノ幻覺・被毒・被害妄想ヲ加フ。感情ハ悲觀性・憂鬱・爽

快・刺戟性・怒り易キコトアリ。サレド多クハ轉換サレヤスク、表情活潑ナルモ、時ニハ遲鈍ノトキアリ。行爲ニハ不安、牀中ニ居ルコト少ナク、或ハ裸體トナリ、床中ニ潛ミ、突然他人ヲ毆打シ、反抗シ、或ハ、意味ナキ自殺ヲ企テ、目的ナキ行動ヲナスコトアリ。サレド、又時ニハ制止アリ、昏迷状態トナリ、著明ノ從命運動ヲ現ハスモノ・又、理解不良・夜間不安・烈シキ錯亂性興奮・著シキ意想奔逸・荒唐的誇大妄想ヲ示ス病型ヲ呈ス。睡眠不良・食慾減退・體重減少・體溫下降・等モアリトス。

〔病型〕 本病ニハ幻覺・錯亂・興奮・制止ヲ特ニ顯著ニスルモノアルニヨリコレニ(1)幻覺性・(2)緊張病性・(3)意想奔逸性・(4)昏迷性定型・等ノ型ヲ設クルヲ便トス。

〔經過〕 發病後2週間ニシテ頂期ニ達シ、爾後漸次好良ニ向フ。全經過ハ2乃至6ヶ月ナリ。概ネ全治ス。久シク持續セルモノニハ精神衰弱狀ヲ呈スルモノアリ。又、經過中突然著明ノ輕快ヲ示シ、再發シテ不良ノ状態ニ陥ルモノモアリ。眞ノ治癒ハ漸次好良ニ向フモノトス。

〔診斷〕 既往歴ニ、傳染病・產褥性發熱・等ノ存在アリシヤヲ注意スベシ。若シ、傳染病後ニ躁鬱病・早發性癡呆ノ發スルトキニハ意識濁濁強ク、あめんちあ様外見ヲ呈スルモノ多キニヨリ注意スベシ。又、あめんちあニハ一般ニ、眞ノ考慮制止ナク、只外界ノ刺戟ヲ受納シ、之レト結合スベキ適當ナル觀念ヲ喚起シテ適當ナル考ヲ順序ヨク排列スルコトノ困難ナルモノト知ルベシ。尙ホ著明ノ意志制止ハナシ。又、あめんちあニハ幻覺多ク、感情ハ悲哀性・涕泣性ナリ。

〔療法〕 安靜・就褥・臭素劑ヲ用キ、營養ヲ良クシ、虚脱ノ虞レアル時ハ食鹽水・リンゲル液(くろーる・かるしうむ 0.01, くろーる・かりうむ 0.2, 食鹽 7.9, 水 1000.0)ノ皮下・又ハ靜脈内注入ヲ行フ。

B. **コルサコフ状態** Korsakow Zustand **コルサコフガ中毒性精神性腦病** Cerebropathia psychica toxica 中毒性精神性腦病 トシテ、指南力喪失・甚ダシキ記銘力障礙アリ、稀ニ、譫妄性亢奮・乃至、昏迷性昏憒状態ノ加ハリ、身體上ニハ、多發性神經炎、時ニ、腦脊髓疾患ノ如キ症狀ヲ現ハスモ

ノニ命名セシ病ナリ。窒扶斯・赤痢・脚氣・貧血・結核・いんふるえんざ・敗血病後ニ多シ。多クハ數ヶ月ニテ治スルモ、時ニ死亡スルコトアリ。

C. 譫妄狀中ニ存セシ妄想ノ意識清明トナル後マデモ殘ルモノアリ
殘存性妄想 (殘存性妄想 Residualwahn). ソハ普通 1-2 日、乃至 1-2 週ニテ止ムモ、時ニハ仲々長ク續クコトアリ。窒扶斯ニ多シ。

D. 意識清明トナル後チモ久シク幻視・幻覺・幻嗅、又ハ、一般感覺ノ幻覺・等ヲ示スモノアリ。窒扶斯ニ多キモ亦いんふるえんざニモアリ。
殘存性譫妄 早發性癡呆ト酷似ス、殘存性譫妄 Residualdelirien ト云フ。

E. 不全型譫妄ノ一種トシテ幻覺症 Halluzinose ヲ久シク殘スモノモアリトス。
幻覺症

F. 又、體溫下降ノ頃ヨリ突然、意識濁濁・夢幻性幻覺・意想奔逸・多數ノ矛盾セル妄想・感情轉換・運動不安・等ヲ示シ、虛脫性譫妄 Kollapsdelirien ト慣稱セラレタルモノニヨク一致スル病型アリ。サレドコハ傳染病毒ノ排泄不十分ナル爲メニ來タル病ト見做サルモノナリ。

治スルニ從ヒ、幻覺・錯覺・妄想ハ消エ、病覺生ジ、體溫増シ、認識・指南ハ好良トナリ、病中ノ出來事ニ對スル追想ハ尙ホ不良ナルモ、他ノ記憶ハ普通トナルモノナリ。

〔病理〕 大脳皮質神經細胞ノ顆粒性分解・膠質增生・等主ナリ。

〔本態〕 傳染病毒性精神異常ニ斯ク多様ノ病型ヲ生ズル理由ハ、譫妄狀ノモノハ病毒ノ急性ニ作用スルタメ、幻覺症ハ一部性ニ働クタメ、あめんちあハ急激ニ而カモ持續性ニ働クタメ、コルサコフ状態ハ病變烈シキタメト解セラル。

第三 傳染病後ノ精神衰弱狀態 Die infektiösen Schwächezustände.

本病ハ傳染病經過ノ末期・又ハソノ經過後ニ發スル叡智・及ビ感情ノ一般衰弱狀態ヲ主徴トスルモノナリ。コレニ多クノ型アリ。

A. 最輕症ノモノハ疲勞性亢進・熟慮困難・精神作業力減退・刺戟性・感覺過敏症・等ヲ主徴候トスルモノニシテ、即チ、下熱ノ後、氣分舊ニ復セズ、疲レ易ク、考ヲ纏ムルコト困難トナリ。仕事セズ、平氣ニ牀ニ

就キ、決斷鈍ク、一見茫然タルニ止マルモノナリ。サレド、時ニ氣六カシク、希望ナキ感情・不滿ナドヲ主トスルモノモアリトス。

B. 稀ニハ、2-3 ノ不明ナル幻視・幻聽・被毒・心氣・追跡妄想・自殺ノ念・等アリ。人ヲ疑ヒ、己ハ毒セララルト考ヘ、食ヲ拒ミ、不眠・食慾減退・體重減少・等アリ。過敏性精神衰弱狀態 Hyperästhetische emotionelle Schwächezustände ノ名アルモノトス。中ニハ普通ノ神經衰弱様ニ見ユルモノモアリ。

いんふるえんざ・百日咳・結核・舞蹈病・關節癱瘓質斯・手術後・等ニ來タルコト多シ。1-2 週、乃至、數ヶ月ニテ恢復スルヲ例トス。

C. 稍々重症ナルハ、熱性譫妄ノ持續セル間・又ハ、體溫ノ尙ホ下降シ終ラヌウチニ、意識濁濁・理解不良・譫妄・錯亂・悲觀性氣分・苦悶・罪障・追跡ノ念アリ。2-3 ノ幻覺(幻視・幻聽)現ハレ、問ニ答ヘズ。無言・話ニ纏マリナク、小兒様ナル話方ヲナシ、時ニ啼泣・拒絕・時々ノ暴行・興奮・等アリ。下熱シテモ、尙ホ、指南力正存セズ、誤認多ク、言語ニ纏マリナク、或ハ、地獄ニ陥レリト云ヒ、又ハ、迫害セララルト考フ。妄想・幻覺アリ。錯亂・智力衰弱・判斷・記憶・亦共ニ不良トナル。感情ハ平氣・苦悶・或ハ不満足勝トナリ、怒リ易シ。行爲概シテ茫然タルモ、時ニハ突然ノ興奮・暴行・自殺ノ傾向アリ。飲食ヲ拒ミ、睡眠不充分トナリ。身體上ニハ半身麻痺・言語障礙・癲癇様發作・等ノ器質的腦疾患ノ症狀ヲ呈スルモノモアリトス。

經過良クバ、數ヶ月ニシテ意識漸ク明清トナリ、食慾増進・睡眠佳良・體重増加・榮養舊ニ復シ、幻覺・妄想共ニ消エ、漸次、精神恢復スルモ、尙ホ、暫ラクハ精神ノ疲勞性亢奮シ、作業ノ減退スルヲ例トス。

治癒ハ其ノ半數ニ於テ認メラルルモ、不良ナルモノハ、或ハ、傳染病ノ結果トシテ心臟・其他ノ臟器疾患ヲ併發シテ斃レ、又ハ、烈シキ癡呆狀ニ移行スルモノアリ。

急性癡呆 Akute Demenz 窒扶斯・丹毒・腹膜炎・天然痘・虎列拉・ま
急性癡呆 らりあ・等ニテハ傳染病後、特殊ノ癡呆狀ニ陥ルモノアリ。即チ、無慾狀・

判断耗弱・考慮貧弱・記憶不良・時ニ、癲癇様發作ヲ示スモノ多シ。

〔診斷〕 既往症ニ因リテ明カナル場合多キモ、尙ホ、躁鬱病ノ昏迷状態・早發性癡呆トノ區別ヲ要ス。但シ、躁鬱病トハ同病ノ如キ感情ノ變化ナキコト、早發性癡呆トハ拒絶症・常同症ノ著シカラヌコトナドニヨリテ鑑別セララルモノナリ。

第五章 腦疾患ニ來タル精神異常 Psychische Störungen bei verschiedenen Gehirnkrankheiten.

麻痺性癡呆・動脈硬化・老耄性精神病・早發性癡呆・白癡・等ハ凡テ腦ニ病變アル疾患ニシテ、且、ソノタメニ精神異常ヲ來タスモノナレド、ソハ特殊ノ病ナレバ、茲ニ省キ、此處ニハ所謂、**症候性精神病** Symptomatische Psychosenニ屬スベキ、腦病ノ際ニ現ハルル精神異常ノミヲ記スルモノナリ。

症候性精神病

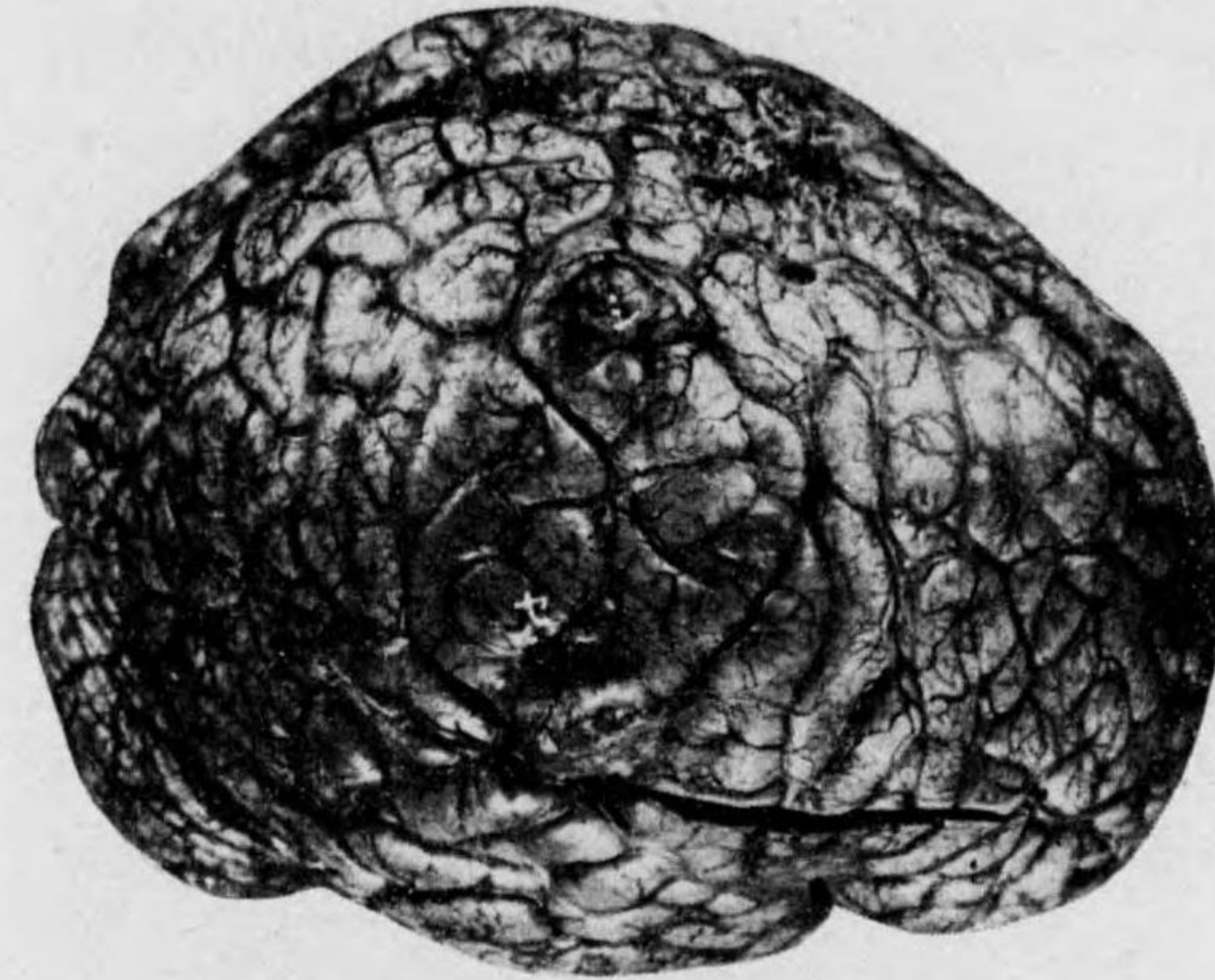
腦腫瘍

第一 腦腫瘍ノ際ノ精神異常 Die psychischen Störungen bei Hirntumor.

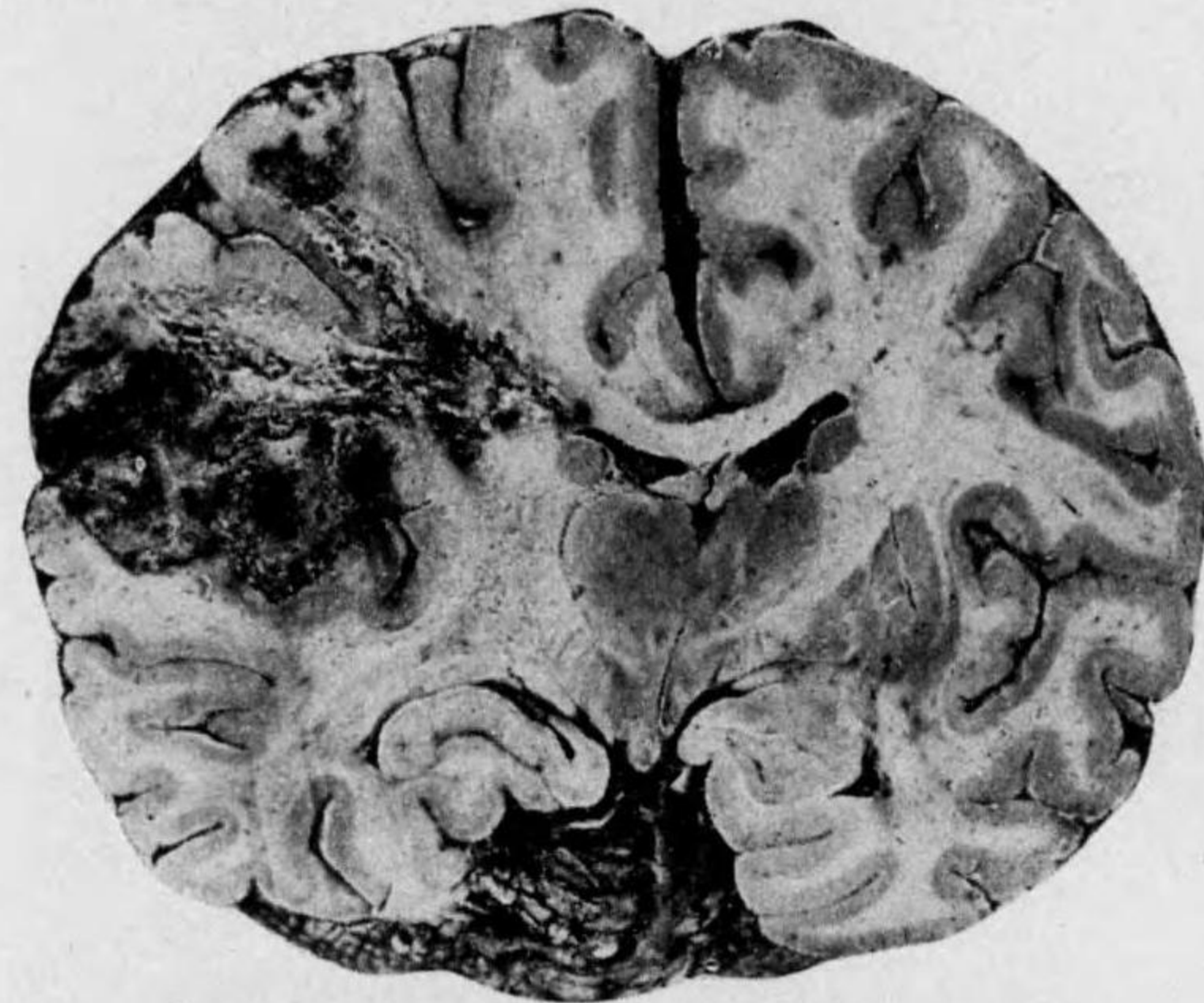
頭腔内ノ腫瘍ノトキハソノ一般症狀トシテ、身體的ニハ頭痛・嘔吐・痙攣・麻痺・感覺異常・視力・視野異常・失語症・小腦性失調・等アリ。精神的ニハ腦壓亢進・血行障礙・腫瘍ノ分解産物・竝ビニ、ソノ腫瘍發生部位ノ竈症狀トシテノ諸症狀ヲ示スモノナリ。

最モ普通ナル精神症狀ハ意識濁濁トス。同症狀ニハマタ輕重種々ノ差アリ。輕キモノハ理解遲鈍・考ヘガ纏ラズ、話頭他ニ轉ジヤスク、疲勞シ易ク、時ニハ前ノ問ニ對スル答ヘヲナスコトアリ。指南力ハ相當ニ存ス。記憶減退ヲ示スモノアリ。病勢進ミテハ顔貌空漠・無慾ノ狀ヲ呈シ、其ノ間、眉ヲ顫メ、頭痛ヲ現ハシ、終ニ、昏睡ニ陥ルモノトス。

〔異常型〕 1. 嗜眠状態 Schlafattaeken bei Hirntumorenヲ數ケ月間モ續ク型・又ハ發作性ニ嗜眠狀・或ハ睡眠狀ヲ示スモノアリ。2. 外出徘徊ヲナス型 (Fugues, Crises ambulatoires)アリ。3. 又思想纏マラズ、錯亂ヲ呈シ、4. 或ハ記憶惡シク、殊ニ、新事實ヲ覺エ込ミ、又ハ之レヲ追想スルニ障礙アリ、時ニハ虚談症ヲ著シ



第30圖 皮質性腦腫瘍ノ圖



第31圖 同上断面、腦腫瘍(ぐりおむ)ノ附近ニ軟化症ヲ呈セル圖

第30圖ハ後正中廻轉ニアルぐりおむノタメ、皮質性癲癇・半身麻痺・感覺鈍麻アリ。精神的ニハひすてりー性氣質・幻視アリシ例ナリ。第31圖ハソノ断面ニテ、コレニヨリ腫瘍附近ニ軟化症アリ、ソノ爲メ如何ニ症狀ガ複雑トナレルヤヲ思ハシメラル。ズルモノアリ、15. 同時ニ幻覺・不安アリテ譫妄狀ヲ呈シ(後頭葉ノ腫瘍ニ多シ)。又急性幻覺性錯亂状態トナリ、16. 興奮、殊ニ緊張病ニ似ル状態(前頭葉下

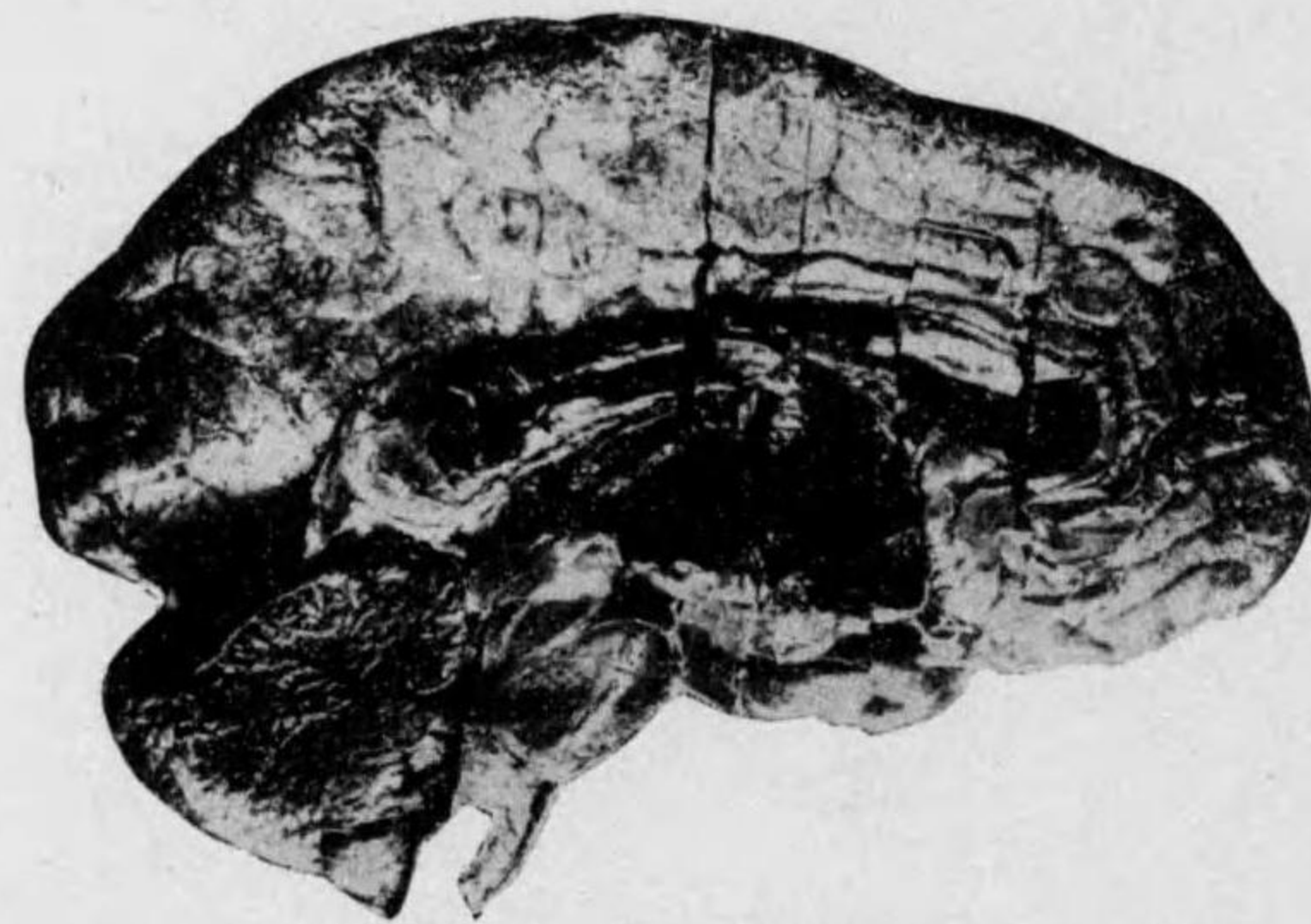
クシテコルサコフ精神病ノ像ヲ呈スル型アリ。時ニ追想ノ錯誤・幻視主タリ。5. 或ハ智力衰弱・感動激シ易ク、麻痺症狀アリ。タメニ麻痺性癡呆ノ如キ狀ヲ呈スルモノアリ(前頭葉腫瘍又ハ多發性腫瘍ノ場合ニ多シ)。6. 又或ハ初メヨリ怒リ易ク、忍耐力減ジ、忽チ激怒ヲ發スル型。7. 心氣症・神經衰弱ノ如キモノ(前頭葉・顳葉腫瘍ニ多シ)。8. 快活(所謂Moria)。9. 怒リ易ク。10. 悖德性。11. ひすてりー性。12. 異常ニ平氣・茫然タルモノ。13. 稀ニ、躁病・鬱病ノ状態、又ハ。14. 幻覺ヲ主トスルモノアリ。幻覺ハ後頭葉腫瘍ニテハ幻視・顳葉腫瘍ニテハ幻聽・海馬廻轉腫瘍ニテハ幻味・幻嗅ヲ來タスモノ多シ。時ニ、ソノ幻視ハ半盲性幻視・要素性幻視・又ハ多數ノ感覺ニ幻覺ヲ生ズルモノアリ、15. 同時ニ幻覺・不安アリテ譫妄狀ヲ呈シ(後頭葉ノ腫瘍ニ多シ)。又急性幻覺性錯亂状態トナリ、16. 興奮、殊ニ緊張病ニ似ル状態(前頭葉下

面腫瘍). 17. 追跡・或ハ・注察・嫉妬・誇大妄想・等ヲ主トシ, 妄想病又ハ偏執病ト似ル型モアリ.

〔腫瘍ノ部位ニヨル精神症状ノ差〕 1. 前頭葉ノ時ニハ, 早クヨリ精神症状發シ, 夙ニ性格異常・諧謔性・茫然・嗜眠性・緊張病ニ似タル症状アリ. 2. 中心廻轉ノ腫瘍ニラハ精神症状ノ來タルコト稀ニシテ主トシテ痙攣・麻痺・感覺異常・癲癇性代理症・徘徊症・朦朧状態・等ヲ示ス. 3. 顳額葉腫瘍ニテハ幻聽・幻視・幻嗅アル癲癇發作多ク, 殊ニ, 左側顳額廻轉ニテハ失語症・「アグノジー」等多シ, 4. 後頭葉腫瘍ニテハ幻視・譫妄状態多シ. 5. 胼胝體腫瘍ノ際ニハ精神障礙多ク, 殊ニ, 行爲倒錯症アリ. 就中シューステルノ言ニヨレバ胼胝前半部ノ腫瘍ニテハ昏憒・癡呆・昏迷状態, 後半部ニテハ興奮・妄想・幻覺ヲ來タスト云フモ不確ナリ. 6. 腦幹腫瘍ニテハ緊張病様症状・強梗症・嗜眠・コルサコフ症状アリ. 7. 小腦ノ腫瘍ニテハ精神異常少ナク, 幻覺・錯亂・記憶障礙・等ノ存スルコトアリ. 8. 橋腦腫瘍ノトキハ精神症状少ナク, 早ク死シ, 9. 腦下垂體腫瘍ニテハ肢端肥大症・肥胖性生殖器不全的榮養障礙・多尿症・嗜眠・記憶減退・叡智損喪・刺戟性・悲觀性・痙攣發作アリ. 肢端肥大症ナキモノニテ刺戟性・昏憒・抑鬱・爽快・幻覺・妄想・

コルサコフ症状群ヲ呈スルモノアリ.

腦腫瘍ノ症状ニハ壓迫症状・遠達症状・殊ニ反對側ノ症状ヲ現ハスコト多キタメニ診斷ノ誤マリヲ來タスコト少ナカラズ. 稀ニ多發性腫瘍・殊ニ, 癌ガ腦ニ多數轉移セルトキニハ, 腦腫瘍ノ一般精神症状ノホカ, 時ニ多辯・發揚・強梗症アリ. 又



第 32 圖 基底腫瘍ニテ病初緊張病様症状アリシモノ(上原慶氏報告例)

麻痺性癡呆ニ似ルコトモアリ. 殊ニ, 幻覺・妄想・コルサコフ症状群ヲ示スモノアリ. 癌ニテ意識溷濁・幻覺・譫妄・妄想・不安・等ノ症状ヲ起スコトアリ. 同症ハ腦膜ニ小ナル癌ノ多數轉移シ來タル爲メニアラズヤト疑ヒアリ. ちすちつゑるくす Cysticercus 病ノ時ニハ, 早クヨリ皮質癲癇・癲癇性朦朧状態アリ. 又躁病性・めらんこり一様症状ヲ呈シ, 時ニ幻覺ニ次イデ癡呆状態ヲ示スモノモアリトス.

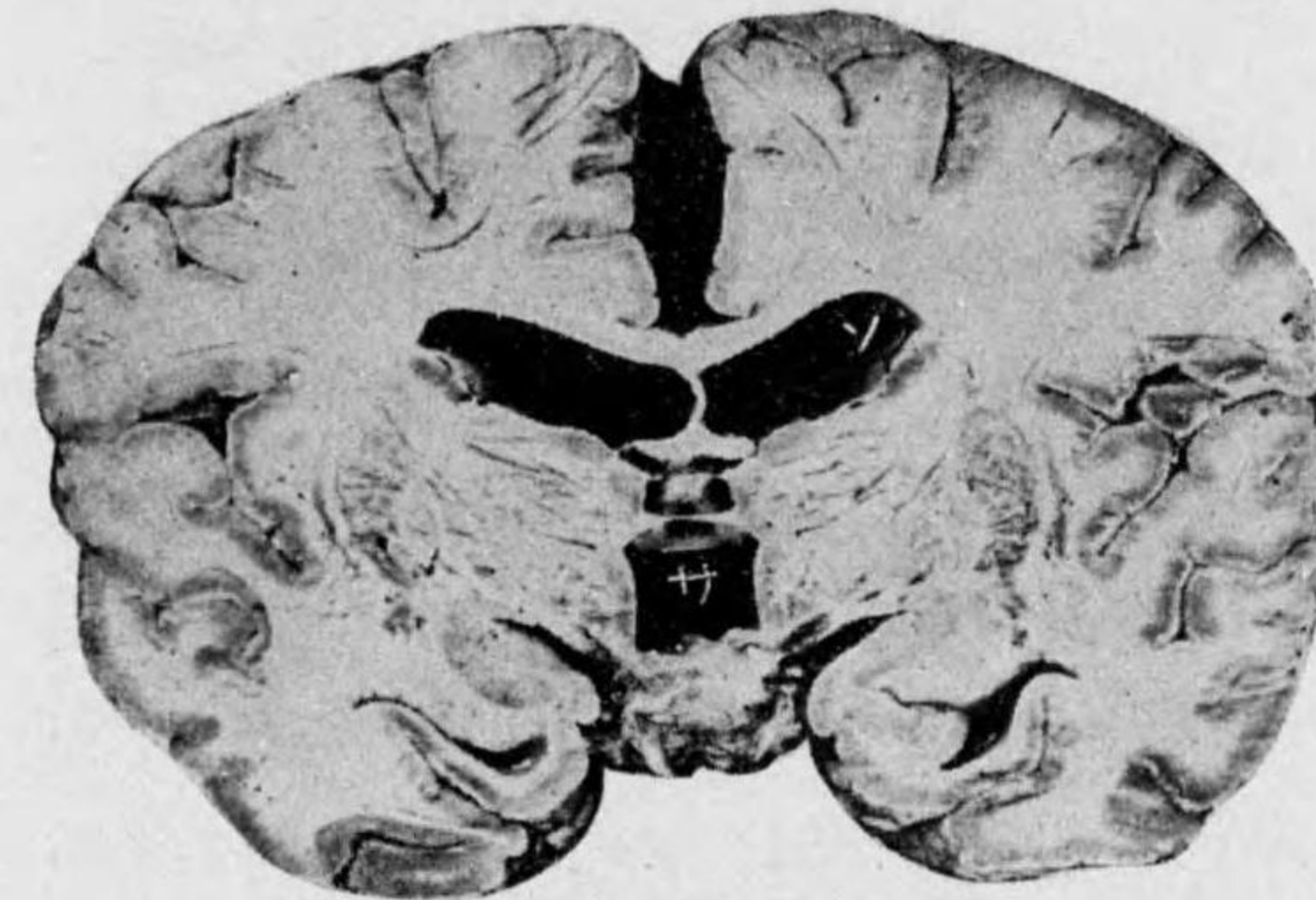
身體症状ニハ烈シキ頭痛・麻痺・痙攣・鬱血乳頭・失語症・半盲症・頭蓋ノレントゲン像ニ頭蓋骨菲薄・指狀壓痕著シク, 腦髓描寫像ニ第3腦室ノ側方ニ偏シ. 又ハ左右兩側腦室ノ不等・空氣ノ入ラヌ・等ノ所見アリ.

〔診斷〕 諸種精神症状, 就中, 進行性不機嫌・興奮・幻覺・記憶減退・精神作用ノ遲鈍・コルサコフ症状群・固有ノ茫乎・嗜眠・身體症状トノ對照ニヨリテ腦腫瘍ト診斷セラルモノナリ. 高年者ノ腦腫瘍ニテハ時ニ精

神症状ノ現ハレヌコトアリ.

鑑別上ニハ本病固有ノ身體症状・就中, 頭痛・嘔吐・麻痺・乳頭鬱血・等アリテ, 剖見上, 腫瘍ヲ發見セラレヌ所ノ假性腦腫瘍

Pseudohirntumorトノ區別ヲ要ス.



第 33 圖 假性腦腫瘍ノ圖

烈シキ頭痛・嘔吐・視力減退・ひすてり一症状アリ, 剖見上, 腦室ノ擴大セルノミナル假性腫瘍ヲ示ス圖トス. 「ソ」ハ側腦室, 「サ」ハ第3腦室ニテ共ニ擴大ス.

尚ホ, 癲癇・ひすてり一・麻痺性癡呆・等トノ鑑別モ必要ナリ.

〔治療〕 手術可能ノトキハコレヲ行フベシ. 手術ノ施サレザル場合ニハ放射線療法・ソノ他ノ對症療法用キラル.

第二 腦血管ノ異常ニヨル精神異常

コレニハ腦出血 Hirnblutung・腦軟化症 Hirnerweichung・腦栓塞 Hirnthrombose, 竝ビニ腦血栓 Hirnembolie ノ際ニ來タル急性精神異常ト, ソノ前後ニ來タル亞急性又ハ慢性ノ精神異常トアリ. 之等ハ凡テ腦動脈硬化・腦微毒性疾患ニ基ク精神異常・等ニ於テ論ゼラルモノナルモ, マタ其等ノ間ニハ互ニ共通ノ點アリ, タメニ茲ニ之ヲ概説スルモノトス.

腦出血軟化症栓塞血栓

此等ノ原因ニヨリテ突然ニ起コル精神異常ハ, 所謂, 卒中發作ナリ. 時ニ, ソノ前ニ於テ精神變調ノ認メラルコトアリ. 即チ, 發作前ニ於テ頭痛・眩暈・疲勞性亢進・輕キ性格異常・短期錯亂・甚ダシキハ2-3日ノ錯

亂ヲ來タス。殊ニ、腦栓塞ノトキニ然リ。就中、微毒性ノ疾患ノ折ニハ之ニ頭痛・頭重・四肢ノ感覺異常・記憶減退・性格變調ノ稍ヤ著シキモノアルコトアリ。

卒中發作 Apoplexie ノ輕キモノハ看過セラルルコトアルモ、中等度以上ノモノハ概ネ一時、昏睡状態ヲ呈スルモノナリ。

發作後ノ精神状態ガ發作前ト全然同ジヤウノコトアルモ、詳シク檢スレバ、必ズ氣力衰へ、活氣減ジ、獨創ノ力失セ、殊ニ、思慮ヲ纏メ、工風スルノ力乏シクナリ、耐忍力ヲ缺キ、感動ニ脆ク、精神衰弱ノ狀ヲ顯著ニスルモノトス。

發作重キ時ハ、卒中發作後ノ昏睡ヨリ醒ムル後チ、1日・乃至、數日ノ指南力喪失アリ。ソノ間、四圍ノ認識不十分ニテ、自宅ニ在リ乍ラ旅舎ニ在ルガ如クニ考へ、マタ幻覺 2-3 存シ、錯亂狀ヲ呈シ、或ハ又妄想・輕度ノ興奮ヲ引續キテ示スモノアリ。ソレヨリ治リテ後チ多少ノ智力衰弱ニ陥ルモノ多シ。尙ホ輕キトキハ感情ニ激シ易ク、殊ニ怒リ易ク、或ハ泣キ易ク、又人ヲ疑ヒ、暴行シ、吝嗇・悲觀・心氣性トナルモノアリ。其ノ間、一時發揚シテ、大言壯語シ、或ハ興奮ノ狀ヲ示スモノモアリ。

顔貌ハ強迫啼泣・或ハ笑顔ヲ呈シ、又ハ些細ノ事ニ感激シテ、忽チ泣顔ヲ示シ、之レヲ制スル能ハズ。時ニハ自己ノ偏癱・其ノ他ノ麻痺ヲ氣附カヌモノアリ。或ハ記憶障礙強ク、又ハ被害的思想ヲ生ジ、家人ガ己ヲ窘迫スト云ヒ、時ニソレヨリ大聲ヲ發シテ人殺シト叫ビ、或ハ己ハ毒殺サルト云フ。又ハ嫉妬妄想アリ。稀ニハ追跡・乃至、誇大妄想ヲ示スモノモアリ。時ニハ、緊張病ノ如キ奇症・緘黙・常同症一時示シ、或ハ 24 時間位ノ間隔ヲ以テ躁鬱病様状態ガ交互性ニ現ハルモノモアリ。一般ニ、本状態ノモノニハ善キ時ト惡シキ時トノ變化目立ち、夜間殊ニ不良ナルモノ多キナリ。

〔鑑別〕 腦微毒・腦腫瘍・麻痺性癡呆ノ發作後ニ來タル精神病ト區別スルヲ要ス。ソレ等各項ヲ参照スベシ。

靜脈竇栓塞

靜脈竇栓塞 Sinusthrombose.

腦膿瘍・化膿性腦膜炎・又ハ、惡液質・萎黃病ノ際ニ來タルモノナリ。

〔精神症狀〕 進行性ノ意識濁濁・譫妄状態・指南力喪失・幻覺・癲癇發作・腦膜炎ニ似ル症狀アリ。時ニハ、心氣症・悲觀・爽快・諧謔・或ハ、緊張病性症狀群ヲ示スコトモアリトス。

〔治療〕 對症療法主タリ。内服藥ニハ沃度劑・強壯劑・等ヲ與へ、麻痺ニ對シテハ電氣療法・まっさーぢ・入浴・等ヲ行フ。

第三 腦膜炎又ハ腦炎ニ伴フ精神異常。

(甲) 腦膜炎 Meningitis.

腦膜炎

I. 結核性腦膜炎 Tuberculöse Meningitis.

結核性腦膜炎

結核性腦膜炎ノ症狀著明トナル前ニ於テ前驅症トシテ、小兒ニハ夜間驚起、大人ニハ不快・睡眠不安・頭痛・嘔吐・悲觀・刺戟性・忘レ易ク、1-2ノ幻覺・奇ナル行爲・等ヲ示スコト比較的長キモノアリ。少女ニテハ、ひすてり一樣状態ヲ示スコト往々アリトス。

斯カル時期ハ普通短ク、數日ナルモ、稀ニハ 1-2 ケ月・乃至、半年ニモ及ブコトアリ。

愈々腦膜炎ノ徵候顯著トナラバ、意識濁濁・茫乎・問ヒテ理解セズ、嗜眠状態ニ陥リ、睡眠ヨリ醒ムレバ指南力不正・話ノ纏マリ惡シク、頭痛ヲ告ゲ、放任スレバ再ビ眠ルノ狀アリ。病勢進メバ、低聲不明ノ喃語性譫妄ヲ呈シ、終ニ昏迷狀ニ至リテ死スルヲ例トス。

異常型ニハ 1. 癲癇發作アリ、後チ烈シキ譫妄状態ヲ來タシ、器物破壊・恐ルベキ幻覺・人物誤認・暴行アルモノ。 2. 酒客譫妄ノ如キ振顫・職業譫妄・人物誤認・多數ノ幻視ヲ示スモノ。 3. 異常ニ久シキ間、めらんこり一樣症狀・苦悶・卑下・自殺企圖ヲ示スモノ。 4. 色情性輕躁病状態。 5. 緊張病様症狀。 6. コルサコフ症狀群。 7. ひすてり一樣状態。 8. 麻痺性癡呆様状態、又ハ 9. 偏執病様状態ヲ示スモノ・等アリ。

〔診斷〕 結核ノ人ガ故ナク不機嫌トナリ。烈キ頭痛・嘔吐・輕キ熱發アリ。次イデ意識濁濁・項部強直・筋肉強直・ケルニッヒ症狀・瞳孔不等・對光反應異常・顔面神經不全麻痺・聽覺異常・失語症・皮膚・筋肉感覺過敏・遲脈・不整脈・腹部陷沒・膝反射亢進又ハ消失・癲癇發作・尿閉症アラバ腰椎穿刺ニヨリテ腦脊髄液ヲ檢スベシ。同壓高ク、僅ニ濁濁アリ、時ヲ經テ絲狀沈澱物ヲ生ジ、鏡檢上多クノ淋巴球ト少數ノ白血球・多量ノ蛋白質ヲ檢出セラルル時ハ結核性腦膜炎ト知ルベシ。

II. 化膿性腦膜炎 Eitrigé Meningitis.

化膿性腦膜炎

耳・鼻・頭皮・頭蓋骨ノ化膿性疾患ヨリ轉移性ニ發スルモノ多シ。
 前驅症ニハ刺戟性・不眠・不機嫌症アルコトアルモ、前驅症狀ナク、直
 チニ烈シキ頭痛・意識濁濁アリ、忽チ、譫妄狀・昏睡トナルモノ亦多シ。
 時ニハ抑鬱性昏迷狀アリ。

經過中、嘔吐・感覺過敏・遲脈・項部強直・ケルニッヒ症狀・痙攣・腦神
 經症狀・瞳孔強直・閉尿・便秘・等ヲ著明ニス。

流行性腦脊
 髓膜炎

III. 流行性腦脊髓膜炎 Epidemische Zerebrospinalmeningitis.

頭痛・發熱・嘔吐・痙攣發作・腦底神經症狀トシテノ眼球痙攣・眼球震
 盪・眼瞼下垂症・瞳孔左右不等・瞳孔散大・縮小・視力減退・齧齒・重聽ア
 リ、脊髄神經症狀トシテ脚ニ現ハルル皮膚感覺過敏・四肢搖蕩・竝ビニコ
 レニ伴フ筋肉強直・ケルニッヒ症狀・項部強直・等アリ。

精神的ニハ急性興奮・錯亂・幻聽・幻視・昏睡ヲ示スモノナリ。酒客ニ
 テハ酒客譫妄ニ似ル症狀アルコトアリ。又時ニ興奮ト昏迷トガ交代シ、
 或ハ躁病性・緊張病性ノ型ヲ示スコトモアリトス。

〔經過〕 比較的治リ易スシ。

治癒ニ趣ク時ハ精神症狀徐々ニ輕快恢復シ、舊態ニ復スルヲ例トス。

後症狀トシテ、弱視・重聽・腦水腫・頭痛・四肢萎弱・失調・半身不隨・失語症ヲ殘
 シ、マタ精神衰弱シ、輕クテ理解不良・記憶減退・易怒・異常氣質、重ケレバ高度
 ノ癡呆ニ陥ルモノアリ。

1年以内ノ經過ニテハ之等ノ症狀尙ホ去リ恢復スルノ望失セタルニ非ズ。

〔療法〕 2-3日毎ニ腰椎穿刺ヲ繰返シテ行ヒ、意識ノ明瞭トナルコト
 アリ。殊ニ流行性腦脊髓膜炎ニ於テ然ルコト多キモ結核性腦膜炎ニテ
 モマタ之レヲ見ル。他ニ頭部・脊柱ニ沿ヒ氷罨法ヲ施シ、時ニ瀉血・耳ノ
 後方ニ水蛭ヲ貼シ、持續浴ニ入レ、脊柱ニ沿フテ灰白軟膏ヲ塗擦シ、興
 奮ニハ鎮靜劑・殊ニ、すこぼらみん・もるひね・等ノ注射ヲ行フ。莫比注
 射ハ疼痛ヲ去リ不安ナル患者ヲ安靜ナラシムルニ效多シ。

種々ノ藥劑又ハ治療血清ヲ注入スル法アリ。即チ、こらるごーる・え
 れくとらるごーる・殊ニ流行性腦膜炎ニハ該病治癒患者血清 25-30c.c.
 ヲ豫メ同量ノ腦脊髄液ヲ取り出ダセル後チ、蜘蛛膜下腔ニ注入スルノ

法賞揚セラル。尙ホ、とりばふらびんノ靜脈内注射・多量ノ沃度加里
 (1.5-2.0)・沃度なとりうむ(1.0-1.5)・うろとろびんノ内服(1日 2-3.0)
 モ普通用ヒラルモノナリ。

第四 腦炎 Encephalitis.

腦炎

甲 化膿性腦炎 Encephalitis purulenta. 腦膿瘍 Hirnabszess.

腦膿瘍

身體症狀ノ現ハルル前、烈シキ刺戟性・不機嫌・疲勞性亢進アリ。次イデ頭痛・
 注意力鈍麻・指南力喪失・錯亂・不安・幻錯覺ヲ生ジテ、譫妄狀態トナリ、痙攣發作・
 等ヲ伴ヒ、後チ、意識濁濁深ク、昏睡トナリテ、終ニ死スルヲ例トス。サレド身體
 症狀著明ナラヌウチ、精神症狀早ク且烈シク現ハレテ、不機嫌・沈鬱・めらんこ
 リー・ひぼこんでりー・神經衰弱様症狀(頭痛・刺戟性・疲勞性亢進・強キ不眠)ヲ
 示シ、後チ、腦壓症狀タル記憶障礙・無差別症・嗜眠狀ニ陥リ、尙ホ、竈症狀トシ
 テ失語症・行爲倒錯症・失讀症・諧謔性・等アルモノアリ。時ニハ、色情性・緊張病
 性症狀群ヲ呈スル病型モアリトス。

〔診斷〕 現在又ハ過去ニ頭部外傷・化膿性中耳炎・鼻腔化膿症・化膿性肋膜炎・
 等存シ。現時ハ發熱ナキモノナリトモ、頭痛・鬱血乳頭・痙攣發作・痙攣症狀・等
 ト共ニ多少ノ精神的前驅症狀ヲ呈セル後チ、興奮烈シクナリテ、忽チ、嗜眠狀態
 ニ陥ルモノハ本症ト考フベシ。

〔治療〕 對症療法ノミ。外科的手術ヲ加ヘ得ル時ハ之レヲ施ス。

乙 非化膿性腦炎 Encephalitis non purulenta.

非化膿性腦炎

コレニハ 1. ウェルニッケ出血性灰白質炎・ 2. ストリュンベル=ライヒテンステ
 ルン型腦炎・ 3. 及ビ、エコノモ型嗜眠性腦炎、一名、流行性腦炎・等アリ。

I. ウェルニッケ出血性灰白質炎 Wernicke'sche Polioencephalitis
 haemorrhagica.

ウェルニッケ
 出血性灰白質
 炎

第3腦室壁灰白質・ジルヴィー導水管壁灰白質ノ血管・殊ニ、ソノ毛細管性小血
 管ノ増生・變性ヲ主トシ、時ニ浸潤ヲ伴フモノトス。慢性酒精中毒・就中、酒客譫
 妄・コルサコフ精神病・稀ニ、魚肉・獸肉中毒・硫黃中毒ニヨリ發病ス。

〔症狀〕 腦神經症狀・殊ニ、動眼神經障礙・痙攣發作・深キ嗜眠狀態ヲ主トシ、
 時ニハ烈シキ興奮狀態・コルサコフ精神病ノ如キ症狀ヲ示スコトアリ。

II. ストリュンベル=ライヒテンステルン型 Strümpell-Leichtenstern
 Form.

ストリュン
 ベル=ライ
 ヒテンステ
 ルン型

大腦皮質ノ皮質性腦灰白質炎 Polioencephalitis corticalis・及ビ、コレニ伴フ髓
 質ノ大ナル炎症ヲ示ス病型ナリ。稀ニ、橋腦・腦幹ニ炎症アリ。

〔原因〕 急性傳染病・就中、いんふるえんざ・化膿性中耳炎・等トス。

〔症状〕 病竈ノ大ナル時ハ意識溷濁烈シク、譫妄トナル。小兒ニ發スルトキニハ急性腦膜炎ノ症状ヲ呈シ、後チ、一側又ハ兩側ノ腦性小兒麻痺・癲癇・又ハ白癡ヲ招來ス。（白癡ノ項參照）。

嗜眠性又ハ
流行性腦炎

III. 嗜眠性、又ハ、流行性腦炎 Encephalitis lethargica s. epidemica.

普通傳染病ノ際ニ來タル精神變調ト同ジク、或ハ、病原體・毒素・又ハソレニヨル内臓諸臟器ノ分解産物ニ基ク化學的變化・高熱・腦及ビ被膜ノ病變・殊ニ、大脳皮質及ビ本病ヲ好ムデ侵カス所ノ黒質・視神經牀下部ノ症状・又ハ、其等諸病的變化ノ急激カ又ハ徐々ニ働クカニヨリ、尙ホ又、個性的反應ノ特异性ニヨリ多クノ病型ヲ生ズ。即チ、一般傳染病ノ際ニ來タル精神症状ト同ジク 1. 同病初期ノ急性期ニアリテハ、傳染病毒ニヨル譫妄・錯亂・躁病・又ハ癲癇性興奮・幻覺症・コルサコフ精神病・めらんこり一様症状アリ。他ニ、2. 後期ノばるきんそにすむすヲ示ス時ニ於テ同病ニ特有ナル精神變調アリ。殊ニ、兒童ニアリテハ制止作用ヲ缺キ、烈シキ興奮性性格異常ヲ示ス。3. 尙ホ、本病ニテ早發性癡呆ニ似ル一種ノ精神病ヲ現ハスモノモアリトス。

エコノモガ 1917 嗜眠性腦炎ト記セルモノハ嗜眠狀ヲ著シクセルタメ、ソノ名ヲ用ヒシモノナルガ、後チ本病ハ常ニ嗜眠性トナルモノニアラザルガ故ニ、流行性腦炎ノ名勝レリトシテ使用セラルニ至レリ。本邦ニテハエコノモ型ノ腦炎ノ外ニ、症状ノ烈シク、發熱ノ強キ、二木氏ノ所謂夏期腦炎ナルモノアリ。金子氏ハコレヲ B 型トシ、エコノモ型ヲ A 型トセリ。而シテエコノモ型腦炎ガ普通、嗜眠性腦炎トシテ先ヅ記サレタルモノナレバコレヨリ記サム。

エコノモ型
腦炎

A. エコノモ型腦炎、又ハ A 型腦炎。

〔症状〕 前驅症状ニハ全身倦怠・身體諸部ノ疼痛・時ニ、嘔吐・發汗・惡寒・等アルノ外、發熱前、躁病性興奮・ひすてり一様状態・錯亂状態ナドヲ示スモノアリ。

發熱ト共ニ意識溷濁・刺戟症状現ハル。興奮期又ハ譫妄期トモ云フ。ソノトキハ指南喪失・領解不良・周圍誤認・幻錯覺・殊ニ、夢・幻ノ如キ幻視・幻聽・時ニ、職業性譫妄・不定ノ追跡・誇大妄想アリ。又、不安・器物放擲・暴行・錯亂(1/3ニハ烈シキ興奮アリト云フ)・目的不明ノ衝動性運動ヲナス。コノ折ノ運動ハ目的不明ナルノ外、拙ク、時ニハ反響症状・みをくるにーアリ。又腦膜炎ノ如キ症状トシテ項部強直・感覺過敏・ケルニッヒ症状ヲ呈シ、尙ホ時ニハ舞蹈病様運動不安・あてとうぜ様運動・痙攣ヲ

發スルコトアリ。

次イデ嗜眠期トナレバ、上記ノ不安状態ハ去リテ、嗜眠性トナル。即チ、眠氣甚シク、刺戟アル時ノミ醒メ、ソノ刺戟去レバ、忽チ眠ル。醒ムレバ復タ眠ルノ狀ヲ呈ス。而カモ醒ムルトキニハ指南力略正シク、領解不良・考慮遲滯・無慾狀・意志缺乏・言葉少ナク、感情鈍キ狀アリ。尙ホ、此ノ期ニ於テ、眼瞼下垂・複視・聯合性目視麻痺・瞳孔症状アルコトアリ。腦脊髄液ハ壓高ク、細胞數僅ニ増加ス。

コノ嗜眠期ガ興奮期ナクシテ第一ニ現ハルコトアリ。又、異型トシテ嗜眠全クナク、寧ろ、甚シキ不眠ノ状態ヲ示スコトアリ。尙ホ、小兒ニテハ夜間不眠甚シク、ソノ間、烈シキ不安・多動・多辯・言語錯亂・惡戯烈シキモノアリ。

以上ノ急性症状ハ數週ヲ以テ治リ後チ全ク常人トナルコト多キモ、時ニハ後期症状ニ移行スルコトアリ。尙ホ、一時急性症状ノ治リテ後チ、暫クシテ後期症状ヲ現ハスコトモアリトス。

後期症状トシテハ、全身強剛・顔面表情甚ダ乏シク、假面狀ヲ呈シ、笑フトキ、泣クトキハ、ソノ顔面ノ變化頗ル遅ク、又流涎著シク、瞳孔ハ左右不同・對光反應遲鈍・缺如・調節運動ニ伴フ瞳孔ノ縮小ヲ缺クコト多シ。眼球麻痺トシテ、殊ニ、輻輳運動不良・斜視・等屢々認メラル。全身ノ筋肉運動ハ凡テ敏捷ニ行カズ、時ニ、前進症 Propulsion・後退症 Retropulsionアリ。又側方へ急ニ動カサルトキニハ忽チ常位ニ復歸スルコト難クシテ倒レムトスルコトモアリ (Lateropulsion)。全身、或ハ上肢・手ニ振顫アリ。發音モ不良トナリ、鼻聲ヲ帶ビ、振フ。顔面ノ皮膚腺ハ分泌亢マリテ脂肪ニ富ミテ見ユ (軟膏顔面 Salbengesicht)。時ニハ兩側ノ眼球ガ不隨意ニ上竄スルコトアリ (目視痙攣 Blickkrampf)。以上ノ如キ状態ハ振顫麻痺、即チ、バルキンソン病ニ似ルガ故ニ**ばるきんそにすむす** Parkinsonismus トモ云ハル。(第 34 圖參照)

ばるきんそ
にすむす

ソノ折ノ精神症状ハ一見遲鈍ニ見ユルモ、指南・領解・記銘・判斷・智能・凡テ大ナル障礙ナシ。只注意ヲ外來ノ刺戟ニ早ク向ケ、複雑ナル知覺

判断・思考ヲ速ニ行フ力乏シク、殊ニ、外來ノ刺戟ニ追從スルコト難タシ。タメニ反應遅ク、考慮甚ダ不敏ナルノ狀ヲ呈スルモノナリ。之等ノ症狀ハ聯合試験・作業實驗ヲ行フトキハ一層容易ニ明白ニセラルルモノトス。

感情モ急ニ發動セヌタメ外見上鈍ク見ユルモ、ソノ實、心ノ奥ニハ己ノ病メルヲ悲シミ、悲哀・喜悅・憤怒皆相當強ク存スルコトヲ知ラルルナリ。意志發動力ハ一般ニ鈍ク、減退シ、殊ニ自發性 Spontanität ハ減少スルヲ明カニス。即チ刺戟ナクバ一日ニテモ同様ノ位置ヲ保ツコト往々アリ。時ニハ強迫症狀存ス。

此ノばるきんそにすむすノトキニハ不良性格・殊ニ、怒り易ク、喧嘩シ易ク、悪戯甚シク、又、性的行動・窃盜・強奪・放火ヲ制止ナク行フモノアリ。而シテ、斯カル不良行為ハ、ばるきんそにすむすナク現ハルモノ却ツテ多シ。年少者ニ於テ然リトス。他ニ行為ノ制止甚ダ缺ケ、粗暴・多辯・多動・時ニ、刺戟性・自殺・内容空虚ノ興奮特ニ烈シキ型アリ。

早發性癡呆ニ似ル精神病ヲ發現スルハ急性症狀タル初期腦炎ヲ經過シタル後、數年後ニテ、幻聽・妄想(誇大・嫉妬・被害)・悲觀・苦悶・自殺念慮・時ニ、詞語新作症ヲ現ハスモノナリ。但シ早發性癡呆ト似ルモ、人格ノ乖離ナク、感情鈍麻著シカラヌニヨリテソレト區別セラル。

〔豫後〕 急性期精神症狀ハ治ルモノ多キモ、後期ノ性格異常ハ治癒疑ハシ。殊ニ小兒期ノ不良性格・ばるきんそにすむすハ治ラザルモノ多シ。早發性癡呆様精神病ハ豫後ヨシトス。

〔診斷〕 初期急性症狀、就中、前驅期ニ現ハル精神異常ハひすてりー・躁病・早發性癡呆・癲癇性朦朧狀態・腦膜炎ト誤マラルコト多シ。

後期ばるきんそにすむすハ緊張病ト誤ラルモノナリ。不良行為主ナルトキハ生來性悖德者・癡愚ト思ハル。又、同病後期ニ生ズル一時性精神病ハ早發性癡呆ト誤ラルモノナリ。

〔病理〕 急性期ニハ急性腦炎ノ所見アリ。殊ニ、間腦・視丘下部ニ於テ最モ著シキ浸潤・膠質増殖ヲ呈ス。黒質モ亦早クヨリ變性ス。ばるきんそにすむすノ症狀ハ主トシテコノ黒質ノ變性ニヨルト解セラル。即チ、同所ニアルめらに入含有ノ大神經細胞ハ變性シ、同細胞内ニアルめらに入顆粒ハ細胞外ニ遊離スル像ヲ

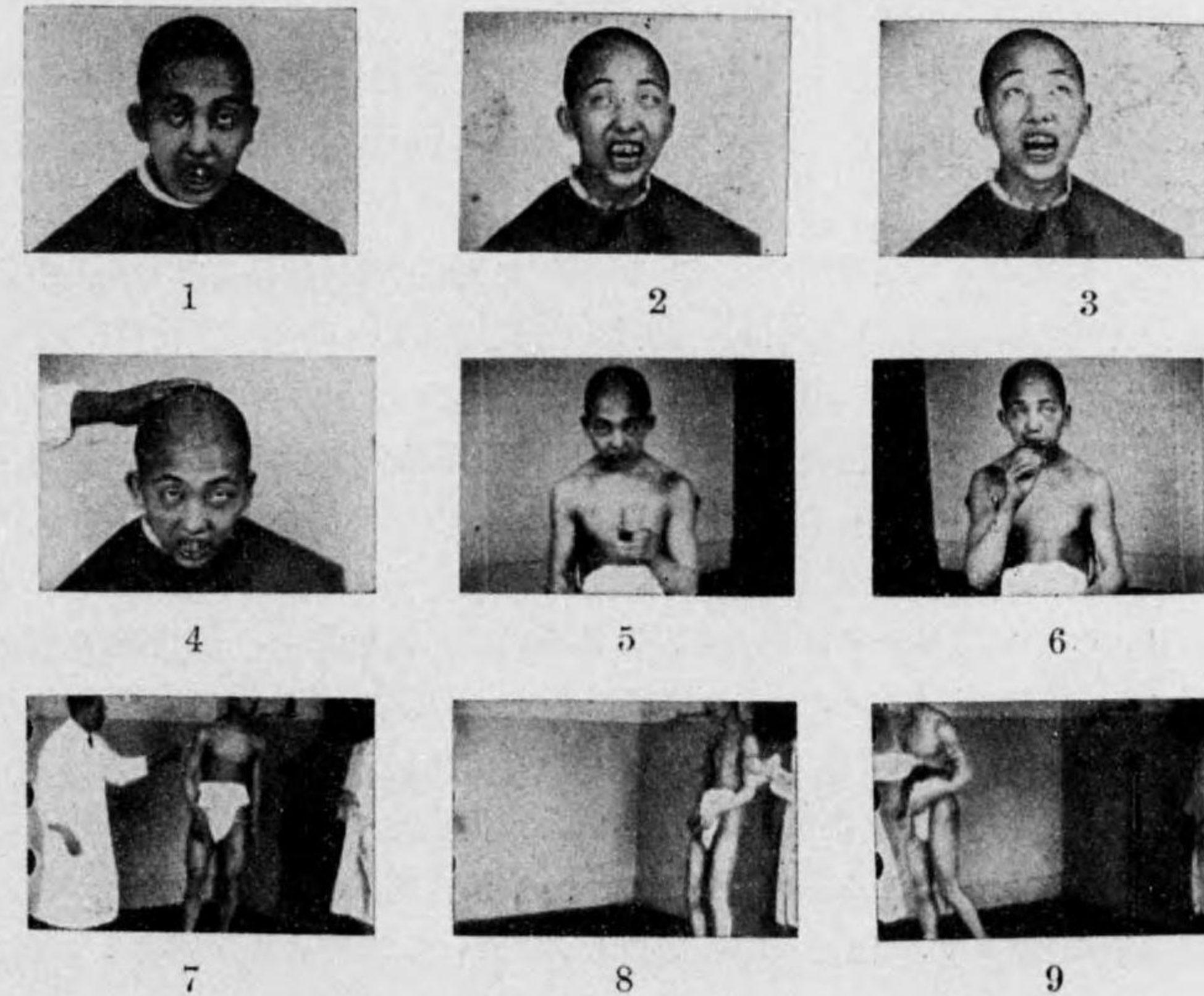
見ルコト固有ナリ。大脳皮質ノ變化亦少ナカラズ。剖見上斯ク各種ノ變化アルハソノ臨牀上ノ病型ニ於テ甚ダ多クノ型アルコトヲ思ハシムルモノト云フベシ。人ニヨリ、本病ニ卒中型・ちふす型・精神病型・疫痢型・嗜眠型・脊髓型・ランドリー型・混合型ヲ別ツ。

B. 夏期腦炎・又ハ、B型腦炎。

夏期腦炎又ハB型腦炎

本型ノモノハ1. 八月下旬又ハ九月上旬ニ多ク、冬ニハ殆ンド無シ(エコノモ型ハ冬多シ)。2. 大流行アリ。3. 老齡者ニ多ク、4. 症狀烈シ。5. 高熱アリ(エコノモ型ハ無熱・又ハ熱低シ)。6. 精神症狀強ク。殊ニ、錯亂・興奮・譫妄狀ヲ呈ス。7. 腦膜炎症狀亦著シ。8. 眼症狀ヲ缺ク。9. 麻痺・殊ニ、卒中様麻痺アリ。10. ばるきんそにすむすヲ殘サズ。

〔治療〕 急性期ニ於テハ腰椎穿刺ヲナシ、脊髓蜘蛛膜下腔ニ本病ニ罹リテ治レル患者ノ血清ヲ注入シ、又、普通ニハ、うろとろぴん(1日2.0)内服・又ハとりばふらびん靜脈内注入(2%液 5.0-10.0c.c. 1週3回)、



第 34 圖 流行性腦炎後ばるきんそにすむすニ罹レル患者ノ圖。1ハ平素ノ顔面(但シ口ヲ開キ流涎セルノ狀アリ)・2.3ハ眼球上竄發作 4ハ頭ノ後方ニ引カルル強迫運動ヲ示ストキ・5.6ハ注意振顫ノ起ルトキ・7.8.9ハふるじおんヲ示ス。

エコノモハ特ニ初期ニ10%沃度なとりうむ水溶液ヲ靜脈内ニ反復注入スルコトヲ賞揚ス。他ハ熱性病ニ對スル一般對症療法ヲ行フモノナリ。

後期ノばるきんそにすむすニ對シテハ、振顫・強剛・流涎・等ニ對シテすこぼらみん・あとろびん(1日0.0005-0.001-0.003)内服・かこぢーる酸なとりうむ水溶液(10:25)ノ靜脈内注入・10%沃度なとりうむ水溶液注入・等效アリト云フモ全治ハ疑ハシ。

高量あとろびん療法

近時、高量あとろびん療法ヲ試ミル人多シ。ソハあとろびんノ大量即チ0.5%硫酸あとろびん溶液3滴ヨリ用ユル法ニ始マル。本邦河口氏ハ0.0002(弱)―0.001(強)含有ノ錠劑ヲ豫メ作クテ置キ、ソレヲ1日3錠ヨリ初メ、翌日ヨリ1(時ニ2-3)錠宛増シ、適度ノ錠量ニ止ムルヲヨシト云フ。

他ニぶろーむ水素酸すこぼらみん0.0004ニくろーる石灰3.0ヲ加ヘテ丸トナシ1日3回分服スル法ヲ賞揚スル人アリ。

硬化症

第五 硬化症 Sklerosen.

多發性硬化

I. 多發性硬化 Multiple Sklerose.

本病ニ固有ナル身體症狀ノ現ハルル前、錯亂・譫妄・幻覺・興奮状態ノアルコトアリ。而カモ身體症狀ノ現ハレテ後チ、時經テ初メテ、精神症狀ノ現ハルモノモ多キナリ。

〔病型〕 1. 早クヨリ強迫的啼泣・強迫的笑顔・感情刺戟性・憤怒性・感情轉換・小兒様諧謔・癡笑・色情興奮・稀ニハ抑鬱・悲觀症アリ。次イデ漸次、癡鈍トナルモノ、2. 感情變轉烈シク、躁病・又めらんこりーノ如キ狀ヲ示シ、閉居・厭人・悲觀的妄想・精神運動制止・昏迷狀・或ハ、爽快・意想奔逸症・誇大・發揚ヲ呈スモノ。又此ノ二者ノ交代シ現ハレテ躁鬱病ノ如キモノ、3. コルサコフ精神病、4. 麻痺性癡呆ノ如キモノ、5. 癲癇發作ノ後ニ躁暴状態現ハレ、癲癇發作後朦朧状態ノ如キモノ、6. ひすてりーノ如キモノ、7. 智力衰へ、記憶失セ、理解鈍リ、麻痺性癡呆ノ如キ觀ヲ示スモノ、8. 一時性譫妄状態、9. 誇大又ハ被害妄想ヲ主トセル妄想病様ノモノ、10. 緊張病ト思ハルモノ・等アリ。

〔身體症狀〕 視神經萎縮・乳頭ノ顛顛部蒼白・偏癱性・痙攣性・截癱性・乃至、失調性麻痺・眼球振盪・注意振顫・斷裂性言語・膀胱直腸障礙・バビンスキー症狀・腹壁反射消失・等アリ。経過ハ時々好良トナリテ、復、増悪スルヲ固有トス。

汎發性硬化症

II. 汎發性硬化症 Diffuse Sklerose.

本病ハ1871年ケルプ Kelp, シューレ Schüle ニヨリテ初メテ注意セラレ、後チ、ストリュムペルニヨリ固有ノ疾病トセラレタルモノナリ。當時ハ、タダ病理解剖學上、腦ノ實質硬ク、鏡檢上膠質增生アリト概稱セララルニ止マリシモ、

1912年シルデル Schilderニ至リ固有ノ病變アリ、多發性硬化症・殊ニ、其ノ急性散在性硬化ニ似ルモノナレド、主ナル病變ハ、腦髓ノ外見ハ普通ナルニ、皮質下髓質ニ硬化症アリ、而カモノノ軸索ハ比較的健存シ、髓鞘ノミ全ク消失シ、コレニ代ハルニ膠質組織增生シ、殊ニ大ナル蜘蛛細胞・纖維增生アリ、類脂肪質・格子細胞亦増シ、血管外ニハ多數ノ格子細胞ト少數ノ淋巴球ヲ見、汎發性軸索周圍腦炎 Encephalitis periaxialis diffusaノ名ヲ附セラレタルモノナリ。氏ハ尙ホ多發性硬化症ノ如ク病竈ト健全ナル部位トハ頗ル明確ニ區別セララル固有點アリトシ、又、同病變ハ内囊ヨリ大脳脚マデニ達スル白質ニ限り、皮質・及ビ、腦幹節ニハ及バズトナシ、本態ヲ毒素ノ作用ニ歸スベク考ヘタリ。サレドソノ後、炎性ニヨルモノ、内因性變質ニヨルモノナドアリ、後者ハ家族性ニ發スト云ハル。



又臨牀的ニモ幼年型・少年型・及ビ慢性型アリ。慢性型ノモノハメルツバツヘルガ生來性皮質外中軸周圍發育不全症ト稱セシモノニテ、發育不全ニ歸セシガ、後チスビールマイエルハ之ヲ膠質組織ノ榮養障礙ニヨル髓質ノ同化作用不全ニ基クトセリ。尙ホ内分泌ノ原發的障礙モ之レニ關係アルベキモノトナス。併シ本態ハ尙ホ全ク不明ナルタメ茲ニ種々ノ說ヲ生ズルニ至レルナリ。

第95圖 汎發性硬化症ノ圖 (稻田七郎氏報告例)

〔症狀〕 精神状態ハ漸次茫乎トナリ、終ニハ癡呆トナル。而カモ經過中、興奮又ハ妄想ヲ現ハスモノアリ。身體的ニハ、漸次進行スル不全麻痺・殊ニ、半身不隨・四肢麻痺・顔面左右不等症・ヲ來タシ、又言語ハ殆ンド常ニ侵サル。發音不明症・殊ニ、徐語症・等アリ。ソノ他ニハ歩行困難・眼球震盪・眼球運動麻痺・癲癇發作・卒中發作・視力減退・視野狹小・聽覺ノ不良・乳頭ノ顛顛部蒼白・反射亢進・痛覺鈍麻症モ認メラル。小兒ニ起コル病トセララルモ大人ニモ現ハルモノアリ。

〔診斷〕 生前鑑別シ得ルコト困難ナリ。小兒ニテハ痙攣性麻痺ノ狀ヲ伴ヒ進行性癡呆ノ狀ヲ示スモノナリ。多發性硬化様症狀ニ似テ、進行甚ダ早キモノハ本病ト考フベシ。幼若麻痺性癡呆ト區別スルヲ要ス。

III. 葉性腦硬化症 Lobäre Hirnsklerose.

20歳頃ノ人が漸次、沈靜・無頓着・理解不良トナリ、作業セズ、自ラ愚ニナレリト云ヒ、時ニ、幻覺・恐怖症ヲ示ス。茫然・智力衰弱・癡呆ニ終ル。身體的ニ

葉性腦硬化症

ハ痙攣發作・速脈・嘔吐・チアのゼ・言語障礙・特ニ、斷裂性言語・強直・パピンスキー症狀アリ。

〔病理〕 大脳皮質・殊ニ、ソノ數多ノ廻轉・乃至、1腦葉ニ互リテ硬化症アリ。而カモ癱痕ニヨル硬化トハ異ナリ、廻轉ノ外形・位置ハ全ク自然ノ儘ニシテ、只、鏡檢上大脳皮質・殊ニ、第III層神經細胞ノ烈シキ變化・就中、海綿様狀態ヲ示スモノナリ。

本態ハ不明ナルモ進行性炎症カトモ云ハル。

〔診斷〕 早發性癡呆・腦毒・腦腫瘍・等ト區別スベシ。

第六 胚種期ノ腦疾患。

ハンチントン
ン舞蹈病

I. **ハンチントン舞蹈病** Huntingtonsche Chorea, Chorea chronica progressiva degenerativa hereditaria.

〔定義〕 30歳-50歳ノ間ニ多ク發スル 舞蹈様運動不安ト進行性癡呆トヲ主徴候トスル家族性疾患ナリ。

〔精神症狀〕 初メ、悲觀性・心氣性・又ハ、めらんこりー性トナリ、交際セズ。苦悶・自殺ノ念アリ。同時ニ、刺戟性、怒り易ク、感シ深ク(稀ニ、爽快)・睡眠侵サル。強迫啼泣・笑顔モアリ。漸次、感情鈍麻シテ茫乎トナル。時ニハ早期ニ妄想、殊ニ、追跡・嫉妬・又ハ一時的誇大妄想・幻覺・就中、幻聽ヲ示スモノアリ。終ニハ漸次叡智消耗シテ癡呆ニ陥ル。

〔病理〕 尾狀核・視神經牀下部・大脳皮質・殊ニ、ソノ下層ニ於テ變性ヲ著ク示ス。

假性硬化

II. **假性硬化症・ウヰルソン病** Pseudosklerose, Wilsonsche Krankheit.

ウヰルソン
ン病

本病ハ 1883年ウヰストフェール初メテ報告シ、臨牀的ニハ多發性硬化症ニ似ルモ、剖見上ニハ何等ノ變化ナシト記シ、後チ、多少コレト異ナルトコロアリト云フ。ストリュムベルハ同症ヲ詳述ス。近時、**ウヰルソン病、進行性れんず核變性** Progressive Linsenkerndegeneration ト同一ノ疾病ナリトセララルニ至レルモノナリ。

稀有ノ疾病ナルモ、病理解剖上固有ノ變化アリ。又臨牀上ニモ、嗜眠性腦炎後ノぼるきんそにすむすニ似ルトコロアルヲ以テ注意スベキモノトス。

〔症狀〕 身體的ニハ振顫・殊ニ頭・手・足ニ企働振顫(注意振顫)アリ。一般ニ運動ノ初メニ眼球運動ノ困難アリ。動作鈍シ、言語滯滯、時ニ、徐語・斷裂言語ヲ示ス。虹彩周圍ニ綠色ノ輪環アルコトアリ。又肝臓ノ小ナルモノアリ。感覺異

常ナシ。腹壁反射著明。膝反射ハ極度ニ亢進セズ。と一ぬすノ亢進ナシ。稀ニ眼球震盪症ヲ現ハス。

精神症狀ハ常ニアルト限ラズ、現ハルルトキニハ2様ノ型アリ。

1 ハ進行性ニ癡呆トナルモノニテ、智力衰弱ノ外、感情遲鈍アリ。ソノ漸進的癡呆ノ間ニ突然刺戟性トナリテ、興奮シ、或ハ無意味ノ暴行・器物破毀・等ヲ一時示ス。ソノ際、幻覺・錯亂狀態ヲモ現ハシ、終ニハ、顔貌空漠・無動機ニ泣キ、或ハ笑ヒ、強迫性笑顔又ハ泣顔ヲ呈シ、又ハひすてりー性發作・卒中發作・癲癇發作ヲ發シ、其ノ後、半身麻痺ヲ呈スルモノアリ。

2 ハ單ニひすてりー様感情異常ヲ呈シ、烈シキ感動性暴行ヲ示スモノニテ癡呆ニハ陥ラザルモノトス。時ニハ精神變化全クナキモノモアリ。

〔原因〕 發病ハ多ク少年期ナルモ、晩年ニ發スルモノモアリ。

〔經過〕 ハ1年ヨリ10年ニ互ル、末期ハ衰弱ニヨリテ死亡ス。

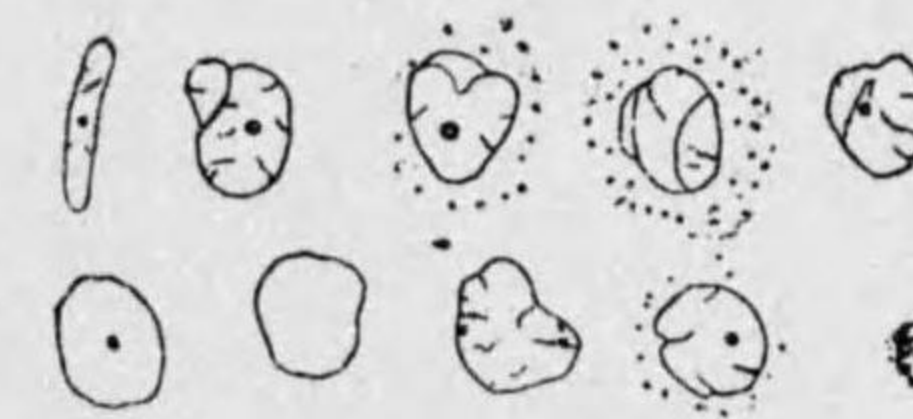
〔診斷〕 嗜眠性腦炎後ノぼるきんそにすむす・腦毒・及ビ麻痺性癡呆ニ似ルヲ以テコレト誤ラルコト多シ。

〔病理〕 大脳ノ外見ハ普通ナルモ、剖面ニテハ間腦部萎縮シ、第3腦室・側腦室ハ大トナリ、腦幹神經節ノ灰白質ト白質トノ境界判明セズ。外囊ノ白質・小腦齒狀核ノ附近ハ共ニ灰白色ヲ帶ブ。

鏡檢上炎症ナク、神經要素ノ消滅ト膠質組織ノ變化ヲ著クス。殊ニ後者ハ最モ固有ニシテ膠質細胞ニハ頗ル大ナルモノアリ。中ニハ普通淋巴球ノ6倍大ノ核ヲ有シ、ソノ核ノ形ハ圓形・又ハ橢圓形ヲ失ヒ、却ツテ種々不正ノ形トナリ。核内ノ被染色質モ稀少トナルモノナリ。他ニ原形質ノ尙ホ頗大ナル細胞アリ。以上ノ變化ハ線狀體・視神經牀下部・橋腦・及ビ小腦齒狀核ニ著シ。尙ホ、ウヰルソン病・即チ進行性れんず核變性ニ見ルトコロノ海綿様皮質消失像ヲ示スコトアリ、タメニ、兩病ガ同一疾病ト解セララルニ至レルナリ。



第36圖 假性硬化症ノ圖(林璋氏例)



第37圖 同症ニ見ル膠質細胞

III. **結節性腦硬化症** Tuberosä Hirnsklerose.

結節性腦硬化症

〔定義〕 顔面・項邊ノ皮膚ニ小結節多數密生シ、精神的ニハ漸次進行スル智能障礙(時ニ白癡)ヲ示スモノナリ、概ネ癲癇發作ヲ伴フ。



第 38 圖 結節硬化症者ノ顔面

稀ニ其ノ後ナリ。但シ發病前、既ニ、智力不良ヲ示ス者アリ。重キハ注意遲鈍・忘レ易ク、理解力不良・言語少ナク、僅ニ答フルモ直チニ

〔症狀〕 發病ハ概ネ 6 歳以前、稀ニ其ノ後ナリ。但シ發病前、既ニ、智力不良ヲ示ス者アリ。重キハ注意遲鈍・忘レ易ク、理解力不良・言語少ナク、僅ニ答フルモ直チニ

茫然トナル程度ノ白癡アリ。概ネ平氣ナルモ時ニ憤怒シヤスシ。輕症ノモノハ癡愚・魯鈍ノ狀ニ止マル。中ニハ智力不良ノ氣附カレズシテ、僅ニ癲癇トセラルルモノアリ。

固有ナルコトハ皮膚ニあでの一ま・せばつえうむ Adenoma sebaceum



第 39 圖 結節性硬化症大脳皮質細胞層ノ混亂シ居ルト、異常ニ大ナル神經細胞ノ存在ヲ示ス圖

ナル皮脂腺腫ヲ認ムルコトナリ。即チ、顔面ノ鼻翼兩側・頬・又ハ前額ニ現ハレ、時ニハ項・頸・胸・背ニ無數ニ發ス。好シク相對的ニ生ジ、形ハ圓形、大サハ帽針頭大ナリ。周圍ヨリハ少シク隆起シテ赤色ヲ帶ブ。組織學上一種ノモノナラズ、多クハ血管纖維腫ナリ。10歳以下・20歳未滿ニテ死スルモノ多シ。

〔病理〕 内臓・殊ニ、心臟・腎臓・稀ニ、副腎・甲状腺・子宮・等ニモ畸形的腫瘍ノ存在アリ。

大脳廻轉ハ或ハ廻轉其ノ儘ノ形ヲ保チ廻轉全體ガ硬クナル硬化症ヲ示シ、又ハ、或所ニ小ナル麻實大ノ白色腫瘍ヲ形成セルモノアリ。之レニ觸ルルニ

硬ク、軟骨様ノ抵抗アリ。後者ハ好ムデ側腦室上面、就中、線狀體・視神經牀附近ニ見ル。鏡檢上 1.皮質ノ細胞層ハ混亂シテ、常態ヲ缺キ、白質トノ境界亦判然セズ。2.神經細胞ハ著シク減ジ。3.異所存在 Heterotopie アリ、白質内ニ神

經細胞 迷入ス。 4. 皮質第 1 層ニカハル細胞 Cajalsche Zelle 多數ニ存ス。 5. 尙ホ他ニ、錐體細胞ノ發育不全像アリ。圓形又類圓形ニシテ著色淡ク、突起少ナク、時ニハ紡錘形ヲ呈ス。殊ニ本病ニ固有ナル所見トテ、一種ノ巨大細胞アリ。ベーツ細胞ノ數倍大ナルモノニテ位置形態共ニ甚不定ナリ。或人ハ之レニ神經原纖維ノ存在ヲ見テ神經要素トナシ、他ノ人ハ寧ロ膠質ニ屬スベシト考フ。但シ、神經性要素ト膠質性要素トノ分化尙ホ未ダ全カラザル物ナリトスベキモノモアリ。 6. 其ノ他、膠質纖維ノ増殖盛ニシテ、皮質第 I 層ハ之ガタメ著シク肥厚シ、同所ニ太キ膠質纖維網ヲ示シ、其ノ纖維網ガ或所ニハ深く深層マデモ帶狀ヲナシテ進ミ居ル所モアリ。 7. 斯カル所見ハ肉眼ニテ見得ル病竈ニ著シキモ、又其所ヨリ離レタル遠キ所ニモ認メラルコトアリ。 8. 腦室ニアル腫瘍ハソノ周圍ニ膠質ヨリ成ル境界層アリ。其ノ内ニ前同様ニ增生セル膠質細胞・太キ膠質纖維・多數ノ新生血管存在ス。血管ハ外膜肥厚シ、同質様ニ變性シ、石灰性變性ヲ呈スルモノモアリトス。

IV. 家族性黒内障性白癡 Familiäre amaurotische Idiotie.

家族性黒内障性白癡

本症ハ普通、1 歳頃迄ハ尋常ノ發達ヲナシ來タレル兒童ガ、其ノ頃ヨリ四肢ノ麻痺生ジ、視力衰へ、眼底ニ固有ノ變化・即チ黃斑部ニ蒼白色ナル圓形斑ヲ示シ、ソノ中央ニ櫻紅點ヲ示スモノアリ。數年後チ死亡ス。

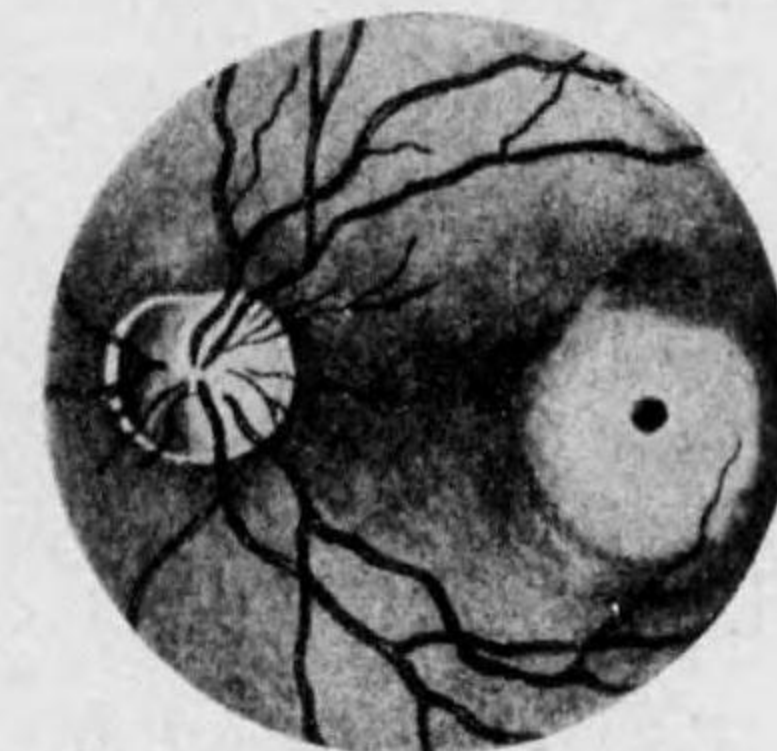
本型先ツ發見セラル (1881). 時ニハ之レニ眼球震盪・瞳孔不同・對光強直・瞼アリ。家族的ニ現ハル。所謂テ・ザツクス型 Tay-Sachssche Form 一名、幼年性病型 Infantile Form トス。

後チ 6-10 歳頃ニ發スル少年性 Juvenile Form, 一名、スピールマイエル・フォーグト型 Spielmeyer-Vogtsche Form ノ存在ヲ發見セラ

ル (1905). 後者ハソレマデ健全ナリシ兒童ガ痲痺・叡智減退ヲ示スモ、家族的ニ現ハルモノト否トアリ。又麻痺症狀ヲ缺キ、眼球底所見ナク、或ハ視神經萎縮・色素性網膜炎ヲ示スモノアリ。尙ホ、ソノ後ニ、痲痺・感覺過敏・脈管神經症狀・小腦症狀・去腦痲痺・項強直・等ノ症狀ヲモ認メラルコトアリ。

更ニ晚發型 Spätform トテ、10 歳頃發病シ、又ハ尙ホ晚ク發病スル型モアリ。コレニテハ眼球症狀ナク、小腦性失調・視神經萎縮・色素性網膜炎・瞼・啞ヲ示スモノアリ。爲メニ本病ハ腦聽網膜性遺傳的變性疾患 Heredodegeneratio acustico-retino-cerebralis ト名ツクルヲ正當トスル説アリ。

〔病理〕 本病ノ腦變化トシテハ初メ神經細胞體・及ビ基底樹狀突起内ニ脂肪質蓄積甚ダシク、該部ノニッスル小體ハ消滅シ、細胞體ハ膨脹シ、突起モ狐尾狀・又ハ壺狀様ニ膨脹スルコトヲ以テ固有トシ、炎症性攪轉・又ハ、神經纖維變性・乃



第 40 圖 黒内障白癡者ノ眼底所見

テ・ザツクス型

スピールマイエル・フォーグト型

至、膠質増加症・等ヲ缺クモノトセラレシガ、後チ、變性、殊ニ小腦・間腦ノ變性ヲ認メラルルニ至レリ。

〔本態〕 不明ナルモ、恐ラク特殊ノ疾病ナラムトノ説多シ。他ニ、生來性變性・神經細胞ノ植物性機能不全説・内分泌異常説・消耗説・等アリ。近時、リぼいーど代謝障礙ニ基ク全身病タル、リぼいーど細胞性脾肝肥大症 Lipoidzellige Splenohepatomegalie ト同病ナリトスル説アリ。

第六章 微毒性精神障礙

Die Syphilitischen Geistesstörungen

1905年シャウヂン Schaudinn ニヨリ發見セラレタルすびろへーて・ぼりだニヨリテ生ズル慢性傳染病ニシテ、腦脊髓・及ビソノ被膜ニハ炎症・腫瘍形成(護膜腫)及ビ血管ノ異常ヲ來タシ、ソノタメ實質ノ**荒蕪** Verödung・**軟化症** Erweichung・其他ノ變性ヲ來タスモノナリ。本病ニハ尙ホ他ニ病原體ヨリ發スル毒素ニ因ル異常タル官能性神經症様症狀ヲ示スモノ・及ビ、**變形蠱毒** Metaluesアリ。

微毒性神經衰弱症

I. 微毒性神經衰弱症 Die syphilitische Neurasthenie.

微毒感染後、比較的早ク發病ス、刺戟性・易怒・不機嫌・頭部壓重・異常感覺・抑鬱・不快・考慮澁滯・不眠、時ニハ、苦悶・記憶減退・眩暈・昏聩・適當ノ言語ヲ見出スコトノ困難・一時性麻痺・一過性體溫上昇・等ノ症狀アリ。驅蠱療法ニテ治ス。

斯カル症狀ガ微毒ニ罹レル人ニ現ハルコトハ多キモ、ソガ果シテ微毒ニヨル病ナリヤ、或ハ微毒ニ罹レル心配・苦慮ニ因ル**心因性** Psychogen ノモノカ、將タ又、元來ノ神經質ノ増悪カハ不明ナリ。實ニ、微毒ニ罹リテ後チ、早クモ腦脊髓液ニ細胞增多症・及ビ蛋白增多症アリ、時ニハ瞳孔異常ヲ現ハシ、又、後日、腦膜護膜腫・乃至、腦膜炎ヲ起コス人ニ、早クモ考慮渾濁・不機嫌・易怒・苦悶・茫然・平氣・沈鬱・頑固ノ夜間頭痛・不眠・眩暈・複視・注意散亂・等ヲ示スコトモアレバ、微毒感染後ソノ神經衰弱様症狀ガ微毒ノタメノ病ナルコトヲ承認スベキガ如キモ、又一面、腦脊髓ニ變化早ク現ハレ、後日何等ノ症狀無キコトモアレバ、上記神經衰弱様症狀ガ微毒性病原體ニヨル病ナルカハ判然シ難キ點アリ。

〔療法〕 驅蠱療法ト神經質・神經衰弱症ニ對スル療法トヲ併用ス。

II. 腦護膜腫 Hirngumma.

腦護膜腫小ナルトキニハ症狀ナク經過スルコト多クアルモ、大ナル

トキ、又ハ多數ノトキニハ竈症狀ノホカ、頭蓋腔内ノ壓亢進ニヨリ、又、續發性軟化症・異常分泌作用・等ニヨリテ精神異常ヲ發スルコトアリ。

〔症狀〕 烈シキ頭痛・嘔吐・鬱血乳頭・身體諸處ノ麻痺・搖擗・失調・感覺異常・失神・痙攣・時ニ、痙攣發作頻發症アリ。

コレト共ニ精神的ニハ思想纏ラズ・注意鈍麻・不智症・茫然トナリ、漸次、腦腫瘍ニ固有ナル朦朧狀ニ陥ルヲ例トス。

〔診斷〕 微毒患者ニシテ以上ノ諸症狀現ハル時ハ、血清ノワッセルマン反應ヲ檢スベシ。同反應ノ存在スレバ驅蠱療法ヲ行ヒ、コレニ因リ同症狀ノ輕快スレバ診斷確實ナリ。

〔治療〕 驅蠱療法ト腦壓ニ對スル對症療法トヲ行フ。

III. 卒中性腦蠱毒 Apoplektische Hirnlues.

卒中性腦蠱毒

卒中發作前ニ於テ、時トシテ頭痛・記憶減退・刺戟性・作業減退・等ノ前驅症狀アルコトアリ。

卒中發作起ラバ突然、無意識トナルモ、時ニハ意識濁ヲ缺ク事アリ。其ノ後、一側ノ麻痺・強剛・瞳孔異常・眼球麻痺・反射亢進・足間代・感覺脫失・手書不良・立體感覺消失・失語症・半盲症・強迫的笑顔・強迫的泣顔・癲癇發作ヲ來タスコトアリ。腦脊髓液ニハ細胞增多症・血清ノワッセルマン反應存スルコトアルモ、本型ニハ之レ無キコト却ツテ多シ。

失神發作後一時精神機能が不良トナリテ、忽チ恢復スルモノ多キモ、亦久シク考ガ纏マラス、失念シ易ク、記憶不良トナリ、智力減弱・注意散亂・刺戟性・易怒・時ニ甚ダシキ暴行ヲナスモノアリ。時ニハ意志弱リ、他人ノ言ニヨリテ影響セラレ易ク、誘惑ニ乗ゼラレ易キ傾向ヲ呈ス。殊ニ卒中發作ノ反復發來スル時ニ著シキモノアリ。終ニハ、輕キ癡呆狀トナルモ、ソノ間、一時性錯亂・興奮・躁病様爽快・鬱憂病様悲觀・被害念慮・心氣性念慮・苦悶・誇大妄想ヲ示スモノ亦多シ。

本症ハ 30 歳代ノ比較的年少者ニ多ク現ハル。

〔經過〕 新シキ發作ニテ死シ、又ハ烈シキ癡呆ニ陥リ、無爲・茫然タル狀ヲ示スコトアリ。經過中輕快ヲ示スコトモ少ナカラズ。

微毒性癲癇

IV. 微毒性癲癇 Luetische Epilepsie.

本病ノ癲癇發作ニハ大發作モアレド又小發作・あふせんつ・眩暈發作モアリ。發作後譫妄狀態モアリ。同時ニ眼筋麻痺・瞳孔異常・殊ニ全強直アルコト多シ。他ニ言語・手蹟・腱反射異常・足間代・半身不全麻痺・血清ワッセルマン反應・腦脊髄液ニモ同反應陽性・細胞增多症・等アルコトアリ。サレドソレ等諸反應ノ無キコトモアリトス。

精神的ニハ著シキ變化ナシ。只、記憶減退・精神作業力減退・感情鈍麻・神經衰弱狀ヲ示スニ止マルコトアリ。多クハ30歳以後ニ發ス。

微毒性譫妄性錯亂狀態

V. 譫妄性錯亂狀態 Luetischer deliriöser Verwirrheitszustand.

微毒ニ罹リタル後チ、1-2年ニシテ現ハルコト多シ。

〔症狀〕 前驅症狀ナク、突然、不眠・錯亂・苦悶・人物誤認・多數ノ幻覺・殊ニ、幻視・幻聽・恐怖感ヲ起コシ、時ニハ烈シク興奮シ、危險ナル狀ニ陥ルコトアリ。身體上ニハ瞳孔強直・眼球運動異常・尿閉・言語障礙・一側ノ筋肉麻痺・等ノ徵候アリ。

〔經過〕 治スルモノ多キモ、亦本病型ヨリ屢々癡呆狀ニ移行ス。

〔診斷〕 精神症狀ニハ特異ノモノナシ。故ニ嘗ツテ微毒ニ罹リシコトノ既往歴アリ、現症ニワ氏反應ノ陽性・驅微療法ニヨリテ病勢影響スルコト・等ニヨリテ推定セラル。

微毒性コルサコフ精神病

VI. 微毒性コルサコフ精神病 Luetische Korsakowsche Psychose.

甚ダ忘レ易ク、誤レル追想ヲナシ、マダ指南力ヲ失フ。時ニ、幻聽アリ。感情ハ刺戟性・又爽快ナリ。身體的ニハ、時ニ頭痛・瞳孔障礙・眼球麻痺・視神經萎縮・顔面弛緩・兩側不等症・等アリ。驅微療法ニテ好良トナル。

微毒性癡呆

VII. 微毒性癡呆 Luetische Demenz.

微毒ニ罹リテ後チ數年ニ發スルモノ多シ。

〔症狀〕 輕症ノモノハ只理解力減ジ、注意鈍ク、又ハ散亂シ、記憶・記銘共ニ侵サレ、記憶損失ハ虛談症ヲ以テ補フ。時ニハ2-3ノ幻覺現ハル。判斷ハ比較的ヨク、殊ニ病覺アリ。自ラ腦病アリトテ治療ヲ乞フモノ多シ。稀ニ、病初一時的錯亂・輕キ妄想・殊ニ、被害・追跡・誇大妄想ヲ示スコトアリ。感情ハ一般ニ遲鈍ナルモ、時ニ妄想ニ應ゼル苦悶・刺戟又誇大性タルコトアリ。行動ハ概ネ常人ノ如キモ亦妄想・苦悶

ノアルトキニハソノタメ一時不安トナルコトアリ。殊ニ、夜間不安・睡眠不良多シトス。

斯クテ癡呆狀態漸次進行セバ程度ニヨリ差アルモ、智力・記憶減退甚シク、指南力不正・又喪失ス。時ニハ高等感情失セ、悖德行爲・刺戟性タルモノ多シ。ソノ間尙ホ時々興奮スルモノモアリ。

甚シキ精神衰弱ニ至レバ、無爲茫然トナリ、ソノ間、失神・卒中・乃至、癲癇様痙攣發作ヲ發シ、ソノ發作ノ度毎ニ癡呆ヲ加ヘテ終ニ死ス。但シ本病者ノ末期癡呆狀ハ輕ク、甚シキモノニテモ、麻痺性癡呆ノ如キ人格ノ頽廢ナク狂人ノ如キ外觀ヲ呈スルモノハ少ナキヲ固有トス。

身體症狀ニハ癲癇發作・殊ニ、皮質性癲癇發作・失神發作・卒中發作・偏癱・其ノ他ノ運動性麻痺・感覺異常多シ。時ニハ視神經萎縮・視野狹小・膀胱直腸障礙・失語症・等ヲ示シ、更ニ病初痙攣發作ノ頻々トシテ現ハルコトモアリ。

本病ニ固有ナル運動麻痺ハ眼球運動障礙ニシテ、ソノタメ斜視・複視・眼瞼下垂症・瞳孔左右不等・對光反應遲鈍・發音不明瞭・顔貌弛緩・四肢萎弱・半身運動障礙・振顫・失調・歩行不確實・ロムベルグ症狀・膝反射ノ不等又ハ亢進・膀胱障礙・等アリ。感覺異常トシテモ皮膚ノ溫・觸・痛覺ノ異常・視野ノ狹小・視力減弱・聽力ノ不良症・等ヲ存スルコトアリ。他ニ脈數增多・體溫ノ一時的上昇・榮養不良・早老ノ狀アルモノアリ。又、既往ニ微毒ヲ有セシ證トシテ皮膚癬痕・淋巴腺・殊ニ肘腺ノ肥大・骨腫脹・就中、脛骨前緣腫起・表面凹凸不等ナルモノ・口蓋穿孔・虹彩癒着・糖尿症・眼底所見ニ脈絡膜炎・等アリ。腦髓描寫法ニテ腦套ノ外表面ニ空氣ノ蓄積大・腦室ノ擴大セルモノ亦往々アリ。血清ニハワッセルマン反應陽性、腦脊髄液ニモ同反應存シ。細胞增多・蛋白増加・ごるどぞーる試驗ニ微毒曲線アルコト多シ。サレド腦脊髄液ノワッセルマン反應ハ陰性ナルコトモ少ナカラズ。

〔經過〕 驅微療法ヲ行ハザレバ進行スルモノアルモ、自然輕快モアリ。タダ適當ナル驅微療法ヲ用ユレバ病勢一層進行ヲ止メ佳良ノ狀態ニ至

ルコト多シ。サレドソレニモ關ハラズ病勢尙ホ進行シテ、烈シキ癡呆ニ陥ルコトモアリトス。

微毒性麻痺性癡呆

VIII. 微毒性似而非麻痺性癡呆 Luetische Pseudoparalyse.

〔定義〕 微毒性癡呆中、殊ニ、麻痺性癡呆ニ似タル病型ヲ云フ。

〔症狀〕 前驅症トシテ抑鬱状態ノアルコトアリ。

次イデ、不安・刺戟性トナリ、幻覺・殊ニ、幻聽・時ニ、誇大・追跡妄想ヲ呈スルモノアリ。又、興奮・濫買・多辯・言語纏マラス。時ニハ意想奔逸・錯亂・行爲不安・稀ニ烈シキ暴行・色情亢進・器物破壊・諧謔性・等アリ。刺戟性トナルモノモアリトス。

而カモ、ソレ等ノ烈シキ症狀去レバ、意識比較的明瞭トナリ、多クハ指南力正存シ、理解力モ比較的佳良トナレド、身體的ニハ頭痛・瞳孔反應缺如・言語手書ノ障礙・腱反射異常・輕キ失神發作・痙攣發作アリ。

〔經過〕 後チ茫然タル癡呆状態ニ陥ル。サレド經過ハ甚ダ長シ。

微毒性妄想病

IX. 微毒性妄想病 Paranoide Form.

〔定義〕 幻覺・妄想ヲ主徴候トスル病型ナリ。

〔症狀〕 微毒ニ罹リテ後チ數年以後極メテ徐々ニ發病ス。時ニ前驅症トシテ刺戟性・注意散亂アリ。稀ニハ卒中發作・或ハ、痙攣發作ヲ以テ始マル。

主期ニハ妄想・殊ニ、被害・嫉妬・追跡・罪障妄想ヲ示シテ、之レニ關スル幻聽ヲ伴フ。タメニ、行動不安トナリ、危懼ノ念ヲ生ズ。意識ニハ溷濁ナク、記憶良ク、錯亂セズ。行爲ハ安靜ニシテ一見常人ノ如シ。感情ハ其ノ折ノ思想ニヨリテ變化アリ。時ニハ人ヲ罵リ、多少、不安・興奮アルヲ免カレズ。屢々失神・眩暈・痙攣發作アリ。

〔身體症狀〕 瞳孔異常・腱反射左右不等・足間代・眼球振盪症・瞳孔縮小・眼筋麻痺・半身不全麻痺・膀胱異常・血清ノワッセルマン反應陽性・不眠・頭痛・等アリ。

〔經過〕 一般ニ長シ。終ニソノ妄想ガ悖理的トナリ、感情鈍リ、行爲ニ獨立性ヲ失ヒ、漸次癡呆ニ陥ル。

〔微毒性精神異常ノ原因〕 一般ニ微毒ニヨリ精神異常ヲ發スルモノ

ハ罹病後 4-5 年目ナルヲ最多トス。サレド時ニ、11-12 年頃ナルモノモ少ナカラズ。但シ 1 年位ニテ既ニ發病スルモノモアリ。

病型中精神病院ニ入ルハ癡呆状態ニ陥ルモノニテ、殊ニ、ソノ前、烈シキ精神異常ヲ發スルモノ・或ハ、癲癇様・乃至、卒中様症狀ヲ以テ始マル者ナリ。

微毒ニ罹リシモノニテ精神異常ヲ來タスモノハ、大凡ソ、ソノ 1-4 % ナリト云ハル。同ジ微毒ニテ或人ニ腦症狀ヲ發シ他ノ人ニハ腦病ヲ發セザル理由トシテ多クノ説アリ。而カモ確定ノモノナシ(後條麻痺性癡呆原因ノ項參照)。

〔病理〕 微毒ニ因ル腦ノ變化ハ 護膜腫・腦膜腦炎・血管異常ノ三者トスルモ、普通ハ此ノ三者ガ合併シテ現ハレ、殊ニ、小ナル護膜腫ガ多數存在スル炎性機轉ヲ多シトス。

微毒性腦膜腦炎ノトキニハ、軟膜ノ結締織増殖シ、浸潤細胞ニハ淋巴球ト僅ノ形成細胞、即チ**ぶらすま細胞** Plas-mazellenニテ、大脳皮質ニハ上層・即チ、軟膜ニ近キ所ニ變化烈シキヲ普通トス。即チ、軟膜及皮質ノ上層ニアル血管、殊ニ太キ血管ノ周圍ニ多數ノ浸潤細胞アリ。神經細胞ハ色々ノ變性・脱落像ヲ示シ、血管ハ内壁甚ダ肥厚シ、時ニ血管腔ノ閉塞・周圍組織ノ軟化症ヲ招來ス。特ニ小血管ノ内壁肥厚スル型モアリ。

腦膜腦炎ノ存スル部位ハ、腦底、殊ニ、視神經交叉部ニ近キ所ナルヲ普通トスレド、時ニハ大脳半球ノ穹窿部ナルコトアリ。コレニヨリ臨牀上種々ノ病型ヲ生ズ。

サレド病變ト病型トノ關係ハ不明ノトコロ多シ。只大體ニ於テハ、嗜眠性・朦朧状態・譫妄状態・及ビ烈シキ頭痛ハ大ナル腫瘍・又ハ腦膜腦質炎ノタメニ生ジ、麻痺性癡呆様状態ハ大脳半球穹窿面ノ腦膜・腦質炎ニヨリ發ス。癲癇ハ多クノ變化ニ基クモ、特ニ、血管性疾患ニ屬スルモノ多シ。妄想性病型ハ小血管ノ内壁肥厚ニヨルモノトセラル。而シテ卒中様發作ハ護膜腫・腦膜腦炎・血管性疾患何レニテモ現ハルナリ。

〔鑑別〕 微毒性精神異常ノ診斷ハ時ニ困難ナリ。但シ、上記諸型ノ存在ヲ考ヘテ診斷スルトキハ比較的容易ナリ。サレド、本病ニテハ上記ノ如ク、非典型的ノ病型頗ル多キニヨリ注意スベシ。殊ニ、微毒性假性麻痺性癡呆ト麻痺性癡呆トハ區別ナシ難タキコト多シ。只、微毒性癡呆ニ

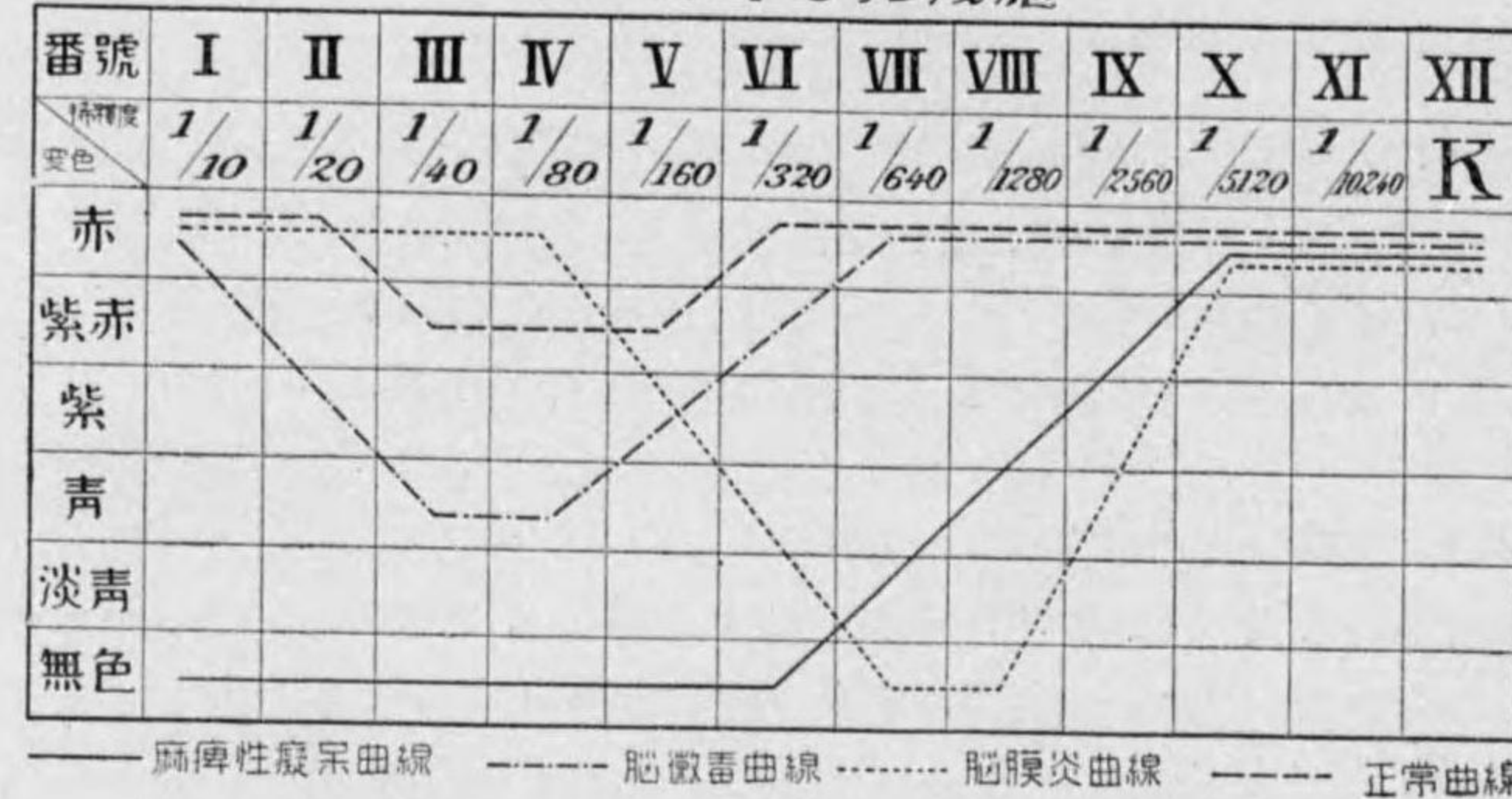


第 41 圖

微毒性脊髓軟膜及ビ脊髄血管浸潤烈シキ圖 (アルツハイメル)

テハ、精神症状ニ比シ身體症状・就中、動眼神經ノ症状顯著ニシテ、精神状態ノ侵サルルコト汎發性ナラズ、人格ノ頹廢モ乏シク、己ノ病ヲ知り、指南力・記憶力・等ノ缺クル所モ乏シ。且、經過長ク言語蹉跌・痛覺鈍麻無

ゴールドリル反應



第 42 圖 ごろどぞーる反應狀況ヲ示ス圖(鈴木順爾氏圖)

ク、アーガイル・ロバートソン症状ヲ認メラズ、腦脊髄液中ワッセルマン反應弱ク、細胞多ク、ごろどぞーる反應ニ微毒性曲線ヲ示スコト多シ(第 42 圖参照)。サレド、兩者ハ組織學的ニモ區別爲シガタキトキアリ、時ニ久シク腦微毒アリテ後チ麻痺性癡呆ニ移行セシカト思ハル例モアリ。實際ニハ鑑別困難ノコト多シ(麻痺性癡呆ノ項参照)。

〔治療〕 驅微療法。殊ニ、沃度・水銀・蒼鉛・砒素・就中、さるばるさん療法普通ナリ。時ニ、まらりあ療法試ミラル。他ハ不眠・頭痛・不安・等ニ對スル對症療法トス。

驅微療法中、沃度ハ普通 1.0-2.0 ヲ用ユ。水銀劑ハ、灰白軟膏塗擦療法ガ最モ弘ク用ヒラル。ソノ 1 日量ハ 2-4.0 普通 3.0 ナリ。塗擦法ハ第 1 日左大腿、第 2 日右大腿、第 3 日左胸部、第 4 日右胸部、第 5 日左上膊、第 6 日右上膊ニ塗擦シ、第 7 日入浴、全身ヲ清洗ス。斯カルコト 6 回反復。即チ 6 週ニシテ一應休ム。ソノ間、皮膚炎・口蓋炎・等ノ副作用ナク、症状モ全治セズ、更ニ療法ノ要アル時ハ 2-3 週間繼續スルモヨシトス。

さるばるさんハ靜脈内、時ニ、れをさるばるさん腰椎内注射・スウェフト・エリス法試ミラル。同法ハ又まらりあ療法後療法トシテ多く用キラル。後條麻痺性癡

呆ノ項ニ於テ説クトコロアリ。

豫防法トシテハ早くヨリ十分ノ驅微療法ヲ施スニアリ。ソノ際、驅微療法ノ十分ナルヤ否ヤハ血液及ビ腦脊髄液ノワッセルマン反應・蛋白量・ぐろぶりん反應・細胞數・ごろどぞーる反應ニヨリ知ラル。諸反應ノ存スル間ハ驅微療法ヲ行フベシ。微毒患者ニ瞳孔不等・神經痛・ソノ他ノ腦脊髄被膜ノ刺戟症状存スル時ハ、腰椎穿刺ヲ行ヒ、同液ノ性状ヲ見、早く治療ヲ行フコト頗ル必要ナリ。

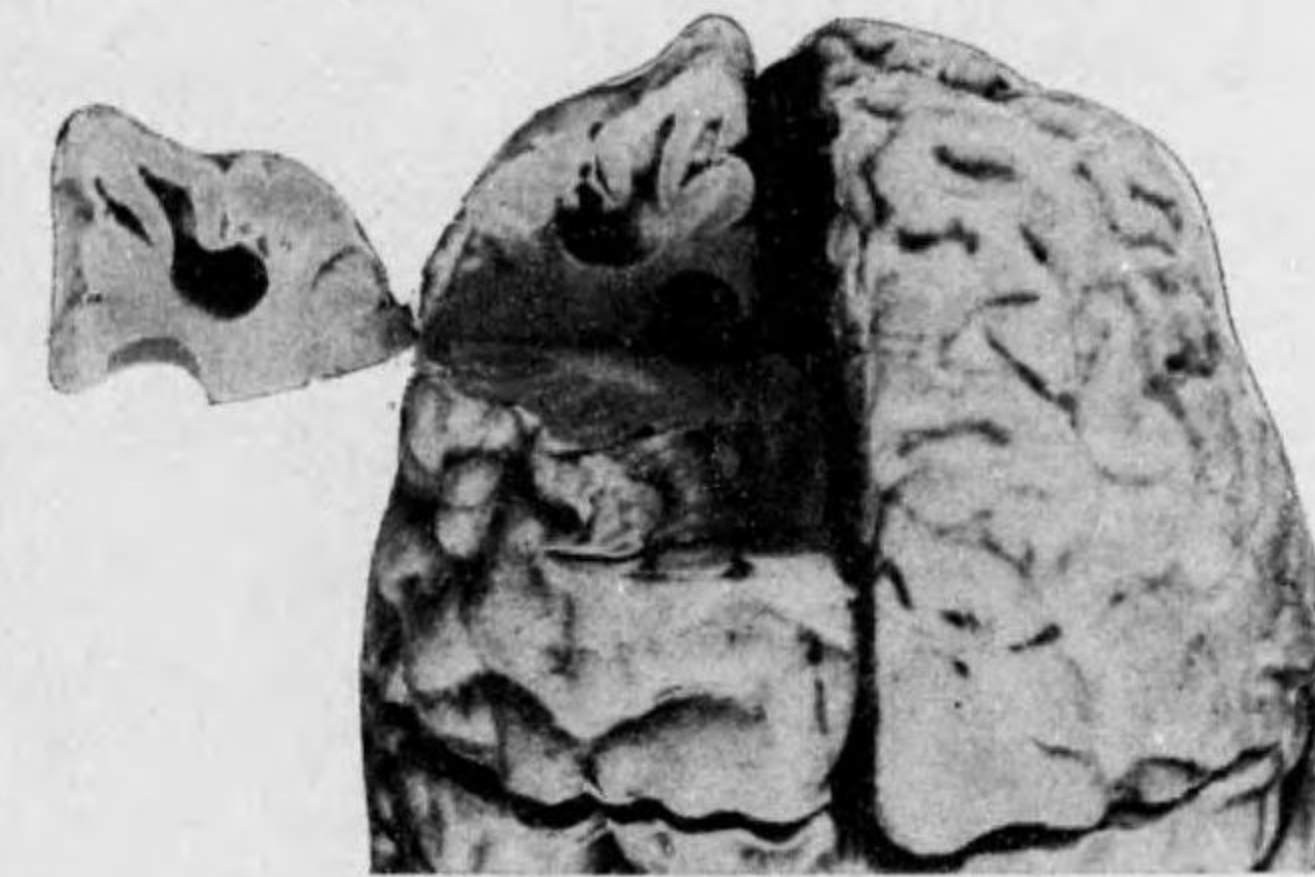
腦微毒性疾患中、炎症性變化、護膜腫性病變ハ治療ノ效果大ナルモ、病症既ニ古ク、出血・乃至軟化ニヨル腦實質破壞ノアルモノハ恢復ノ途ナキモノトス。

遺傳微毒 Lues hereditaria.

遺傳微毒

1. 病原體ガ直接胚種 Keim ニ及ビテ病變ヲ生ズモノ、2. 微毒ノタメ親ノ一般状態ガ不良トナ

リ、其ノ子女ノ體質ヲ變ヘ、身體竝ビニ精神發育ノ不良ヲ來タセルモノトノ二者アリ。前者ニテハ後天性微毒ト同一ノ病變ガソノ子女ニ現ハルレド、後者ニテハ、同病固有ノ變化ヲ缺クコトアリ。



第 43 圖 遺傳微毒ニヨル癲癇發作ヲ有セシ癡愚者ノ腦

兩者ヲ通ジ、病型頗ル多シ。

I. 精神發育制止ノ狀ヲ生來性ニ示スモノ、又ハ、生後 1 歳未滿・乃至 7-8-10 歳前後ニ於テ發病スルモノアリ。後者ニテモソレ迄普通ノモノアレド、又、夙ニ發育不良ヲ示スモノモアリ。尙ホ急性症状・即チ、急性腦炎ノ症状・例之、發熱・意識濁濁・麻痺・痙攣・嘔吐ヲ以テ始マルモノト、徐々ニ發病シテ、漸次智力衰弱・茫然・不潔・易怒・恐怖シ易ク、教化困難ナルモノトアリ。身體的ニハ麻痺・反射亢進・斜視・瞳孔反應遲徐・等ノ症状多シ。重キハ白癡・癡愚、輕クテ魯鈍・劣等兒ニ止マル。時ニハ悖德

性著シキモノアリ。

晩發遺傳
微毒

II. オメン Homén ノ晩發遺傳微毒 Lues hereditaria tarda ト稱スルモノアリ。

多ク家族性ニ發ス。病初、眩暈・頭痛・歩行蹣跚・記憶・理解減退・言語滯滯・嚥下困難・膀胱障礙・振顫・痙攣等アリ。漸次病勢進ミテ數年ノ後ニハ、著シキ癡呆ニ陥リテ死スルモノナリ。

剖見上、汎發性血管内膜ノ肥厚ト神經細胞・及ビ纖維ノ變性トアリ。

III. 幼時ヨリ癲癇發作ヲ主トシ時ニ癡愚ヲ伴フモノアリ(第43圖)。

IV. 時ニハ、後天性微毒ノ如ク幻覺・追跡妄想ヲ主トスル妄想病様疾患アリ。

V. 不良性格・意志薄弱・ひすてりー性性格ヲ主トスルモノアリ。

〔原因〕 遺傳微毒ノ爲メノ腦疾患ハ多ク 10 歳未滿ニ現ハルモノ多キモ、時ニハ 2-30 歳ニシテ發スルモノアリ。

〔診斷〕 親ノ皮膚・角膜・虹彩・骨等ニ微毒性疾患アリ、殊ニ、母ニ早産・流産・死産、初生兒死亡・夭折等ヲ聞クコト甚多シ。本人ニハ遺傳微毒ノ徵候タルハッチンソン3大徵候、即チ、12-3 歳ニシテ突然聾シ、上齒列第1・第2門齒ノ下面ガ半月形ニ陥没シ、角膜ニ實質炎アルモノアリ。血液ニワ氏反應ヲ現ハスモノハ少ナシ。尙ホ鞍鼻・脛骨ノ前縁鋭尖等ノ症狀存スルコトアリ。

〔豫後〕 普通驅微療法ヲ行フモ豫後概ネ不良ナリ。只微毒性癲癇ニハさるばるさんヲ蜘蛛膜下腔ニ送リテ效果アリトノ説アリ。

〔療法〕 驅微療法。但シ、效果乏シ。まらりあ療法モ用キラル。

脊髓癆性精
神病

脊髓癆性精神病 Tabespsychose.

本病ノ病型ニハ多ノ型アリ。

I. 久シク脊髓癆アリシ人ニ、麻痺性癡呆ト異ナル一種ノ癡呆狀ヲ發スコト往々アリ。記憶不良・判斷不全・感情轉換・時ニ外見絶望的・誇大的考慮アルモ、記憶障礙輕ク、麻痺性癡呆ノ如ク烈シキ精神衰弱ニ

ハ陥ルコトナシ。經過モ亦急速ナラズ、タメニ麻痺性癡呆トハ異ナル疾患トセラルルモ、麻痺性癡呆ノ輕症ナル場合少ナカラズ。實ニ、脊髓癆者ガ初メ斯カル精神異常ヲ現ハシテ後チ、突然甚ダシキ興奮状態ニ陥リ、ソノ際普通ノ麻痺性癡呆ノ症狀ヲ示シテ死亡シ、剖檢上、麻痺性癡呆ナルコトヲ明カニセラルモノ甚ダ多シトス。

II. 時ニ久シク脊髓癆アリテ後チ、麻痺性癡呆ヲ發スルモノモアリ。

脊髓癆麻痺性癡呆 Tabes-paralyse ノ名アリ。コハ昔、上行性麻痺性癡呆 Ascendierende Paralyse、又ハ、脊髓癆性麻痺性癡呆 Taboparalyse ト云ハレシモノトス(後條麻痺性癡呆ノ項参照)。

脊髓癆麻痺
性癡呆

III. 意識明清ニシテ、幻聽ヲ主トスル急性幻覺性興奮状態ヲ生ジ、數週、又ハ數月ノ後チ、突然ト寛解スル病型アリ。同型ハ微毒性ノ病ナルカ又ハ脊髓癆ノ病ナルカハ疑ヒアリ。

IV. 妄覺・妄想(追跡・誇大)ヲ主トスル病アリ。短時間ノ錯亂性譫妄状態ナリ。脊髓癆性くりーゼニ一致スルモノト云ハル。

V. 他ニ固有ノ妄想病型モアリト稱セラル。

〔病理〕 脊髓癆ノトキニハ剖見上、脊髓癆ノ後索ニアル變性ガ麻痺性癡呆ノソレト異ナリ。内因性纖維・例之、腹後索部・こむま部ノ侵サルルコト晚ク、又ハ缺如シ、臨牀上ニモ帶狀感・くりーゼ等存シ、麻痺性癡呆ニテハ之レヲ缺ク。斯クテ兩病ハソノ病變、本態共ニ別ニシテ、從來斯カル折ノ麻痺性癡呆ハ脊髓癆ノ上行セシモノト考ヘタル説ハ正シトセラレズ、寧ロ兩病ノ合併トスルナリ。

〔療法〕 驅微療法・殊ニ、水銀塗擦・蒼鉛・さるばるさん・まらりあ療法等用ヒラル。

第七章 麻痺性癡呆 Dementia paralytica.

麻痺性癡呆

〔定義〕 多クハ 35-45 歳頃ノ中年者ニ發病シ、精神的ニハ主トシテ記憶・判斷・領解ノ作用ヲ侵シ、身體的ニハ、種々ノ麻痺症狀ヲ伴ヒ、普通ハ病勢漸次進行シテ 2-3 年ニテ死亡シ。死後、ソノ腦脊髓・竝ビニ、被膜ニ於テ著シキ炎症ト變性機轉トヲ認メラルル微毒性疾患ナリ。

〔精神症狀〕 神經衰弱症ノ如キ前驅期アルコトアリ。然ルトキハ、感

情轉換・刺戟性トナリ，又，神経痛・頭痛・不眠・等ヲ主トス。時ニハソノ時期ガ數年ニ亘リ，ソノ症状ニモ甚ダ種々ナルモノアリ。

主期トナレバ注意不良トナリ，理解力侵サレ，覺リ惡シク，複雑ナル談話ハ之レヲ領解スルコト能ハズ，誤リ多ク，時ニハ，指南力・就中，時ノ指南不確實トナリ，注意散亂シヤスク，記銘・記憶ハ著シク侵サレ，殊ニ近キ過去ノ事ヲ忘ル。維持力亦不良トナルモノ多シ。

斯クテ病勢進マバ觀念内容貧弱トナリ，缺損セル記憶ハ自己ノ想像ヲ以テ充タシ，虚談症ヲ呈ス，判斷ハ初メヨリ侵サレ，輕易ノ暗算モ爲シ難ク，愚ニモツカザル考ヲ起シ，他人ノ言ニハ誘惑・教唆セラレヤスシ，病識ヲ缺ク，妄想・(殊ニ，誇大・心氣・追跡・被害・嫉妬妄想・等)アリ，殊ニ，自己ハ巨萬ノ富アリト信ジ，又ハ自己ノ能力天下ニ冠タリト自負ス。或ハ己ノ容姿・才能ヲ誇ルモノ多シ。稀ニハ被毒・貧困妄想アリ(妄想ノ項参照)。幻覺ハ少ナキモ，時ニハソノ盛ナル病型モアリ，ソノトキニハ幻聽亦著シ。

感情ハ初期ニハ刺戟性ニシテ，怒リ易ク，後チ，遲鈍トナルヲ例トスルモ，初メヨリ無頓着・平氣・茫然タルモノアリ。又，感情ニ變化多ク，感情忽チ變リ，忽チ笑ヒ，忽チ泣キ，又，怒ルモノアリ。(第44圖参照)。



第 44 圖 麻痺性癡呆者ノ感情空漠タルト又轉換シ易ク，忽チ泣キ忽チ笑フ状ヲ示ス圖。

時ニ，悲觀性ニシテ初メヨリ不快ノ情緒甚ダシキモノアリ。而カモ本病ニ固有ナルハ多幸性ニシテ，常ニ快樂ニ思ヒ，心配ナク，苦勞ナキモノナリ。舉動ハ病型ニヨリ同カラズト雖モ，初期ニハ不安ナルモノ多ク，殊ニ，計畫多ク，濫買・濫與スルモノ多シ。尙ホ，時ニハ終始興奮ヲ續ケ，又ハ初メヨリ茫然タルモノ・悲哀ニ沈ムモノナドモアリ。而カ

モ經過進マバ漸次癡鈍トナリ，茫然トシ，無慾・無爲ノ狀ニ陥リ，末期ニハ全ク茫乎・就蓐スルニ至ルモノナリ。

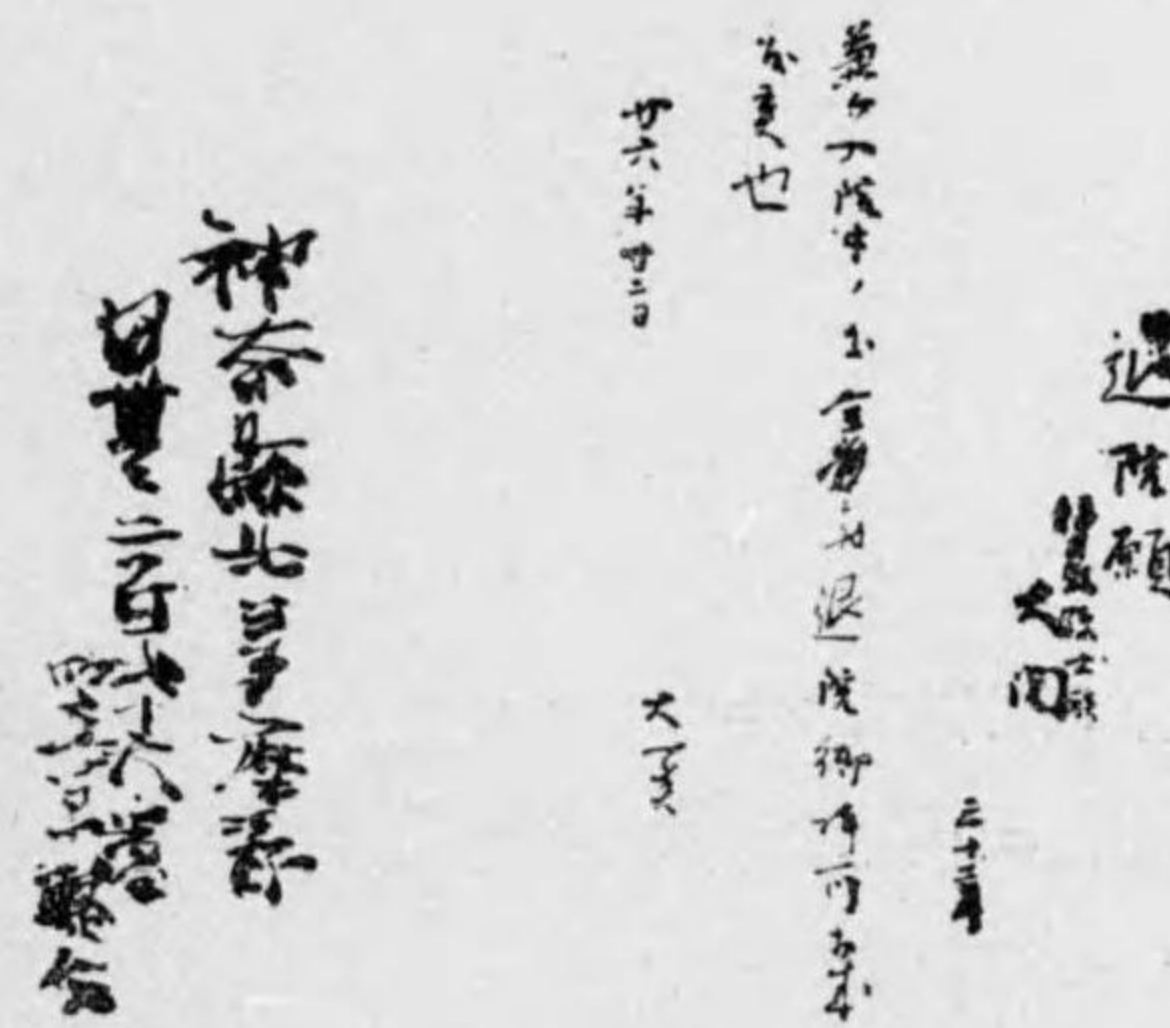
〔身體症狀〕 四肢ノ痲痺質斯様疼痛・頭痛・早ク現ハル。病勢進行セバ，痛覺鈍麻・視神經萎縮(同病者ノ 5-10%ニアリ)・瞳孔左右不等・對光反射消失(東大精神科仁志川氏調査ニヨレバ 36.5%)・遲鈍(44.5%)・瞳孔ノ縮小・散大・形體異常(60%)・殊ニ，不正圓・尖ルモノ多シ。顔面ハ弛緩性又ハ癡呆性トナル(第45圖参照)。又，顔面神經力ノ左右不均ヲ示シ，口角左右其ノ高サヲ異ニシ，鼻唇溝ノ左右不等ナルコト多シ。舌・口・唇・手指・音聲・等ノ震顫・頰・口圍・唇ノ纖維性搖擗・構音障礙・殊ニ，言語蹉跌・言語震顫・發音不明症，他ニ字劃脫失(第 46 圖参照)・失調性・震顫性手蹟・等アリ。

尙ホ，本病ノ經過中ニハ麻痺性癡呆發作 Paralytischer Anfall アリ。之レニ癲癇様痙攣發作 Epileptischer Anfall・卒中様發作 Apoplektischer

麻痺性癡呆發作



第 45 圖 遲鈍性多幸性麻痺性癡呆患者ノ顔面



第 46 圖 末期麻痺性癡呆者ノ書體

Anfall・又，精神發作 Psychischer Anfall ト名ヅケ得ベキモノト，竝ビニ甚ダ輕キ不定型ノモノニテ麻痺性癡呆發作 Paralytischer Anfall ト概稱セラルルモノトアリ。是等ハ本病經過中ノ色々ノ時期ニ於テ認メララルルモ時ニ初期ニ起コルコトアリ，末期ニハ殊ニ多シトス。

該發作ノ來タルヤ、1. 卒中發作ノトキハ突然倒レ、人事不省ニ陥リ、昏睡狀トナル。數時間後醒覺スレバ、其ノ後、半身不隨・失語症・等ヲ殘シ、暫クシテ治癒スルモノナリ。2. 癲癇様發作ナレバ身體ノ一部ヨリ始マル皮質性癲癇發作・半身・乃至、全身痙攣ヲ發スルモノナリ。時ニハソノ痙攣ガ繰返ヘシテ現ハレ、發熱ヲ伴ヒ、癲癇發作頻發症又ハ累積症 Status epilepticus ノ名アルモノトナル。コハ數時間乃至1-2日ツマキ、ソノタメ死ノ轉歸ヲトルコトモアリ。3. 痲痺性癡呆發作ト稱セラルモノニハ僅微ナル失神・或ハ、顔面・手足ノ痙攣・乃至、搖擗ニ止マリ。時ニハ單ニ普通ノ躓キ倒レタリト思ハルコトモアリ。4. 精神發作ハ精神異常・殊ニ、意識濁濁・興奮・亂暴・錯亂・譫妄狀ヲ示スモノナリ。5. 他ニ發熱ノミヲ示スモノアリ。熱發作ノ名アリ。

以上各發作ノ割合ハ東大精神科ノ例ニテハ卒中發作 10.9%、癲癇發作 6.2%、精神發作 5.6%、熱發作 1.9%、眩暈發作 1.2% 等ナリト云フ。

以上發作ノ後チ、又ソレト關係ナク自然ニ半身又ハ一肢ノ痲痺・乃至、拘攣ヲ現ハスコトアリ。同様ニ、失語症ヲ自然ニ、又ハ發作後ニ來タスコトアリ。歩行ハ攣縮性・不全痲痺性・失調性ナルモノ多ク、腱反射ハ異常ニ亢進シ(60%)・又ハ消失ス(25.4%)。或ハ左右不均トナル。末期ニハ齧齒スルモノ多シ。時ニハ早クヨリ電擊様疼痛ノ來タリテ、りうまちすト誤ラルモノ多シ。膀胱・直腸ノ障礙ノ發スルコト亦少シトセズ。尚ホ榮養障礙トシテ皮膚ノ發疹・水泡・耳血腫・骨折・ふるんける・ちあのーぜ、時々ノ不明發熱アリ。是等ハ凡テ末期ニ現ハルモノナリ。又末期ニハ高度ノ羸瘦ヲ現ハス例アリ(第47圖參照)。

血清ト腦脊髄液ニワッセルマン反應存シ殊ニ強度陽性ナルコト多シ。腦脊髄液ニハ細胞增多症・蛋白增多アリ。バンヂー法・ノンネ・アペルト法何レモ強度陽性・ランゲ Lange ごととぞーる反應ニハ痲痺性癡呆曲



第47圖 激感性痲痺性癡呆患者末期ニテ羸瘦甚ダシキヲ示ス圖

線ヲ示ス(第42圖參照)。ニッスル・エスバハ法ヲ用ユレバ全蛋白量ノ増ス事ヲ知ラル。(第90頁參照)。

細胞中ニハ淋巴球・多核白血球・えおじん嗜好細胞・等アリ。

東大精神科ノ材料ニテハワッセルマン反應陽性率ハ血清 94%・腦脊髄液 96%・血清ト腦脊髄液トニ陽性91.5%・腦脊髄液ノミ陽性4.3%・血清ノミ陽性2.8%・兩者トモ陰性1.4%・ごるとぞーる反應典型的ノモノ77%・細胞數10以下0%・11-50ハ54%・51-100ハ23%・100以上13%。

腦髓透寫法ニヨレバ大脳穹窿面ニ空氣蓄積多ク、腦室ノ擴大亦著明ナリ(第48圖參照)。

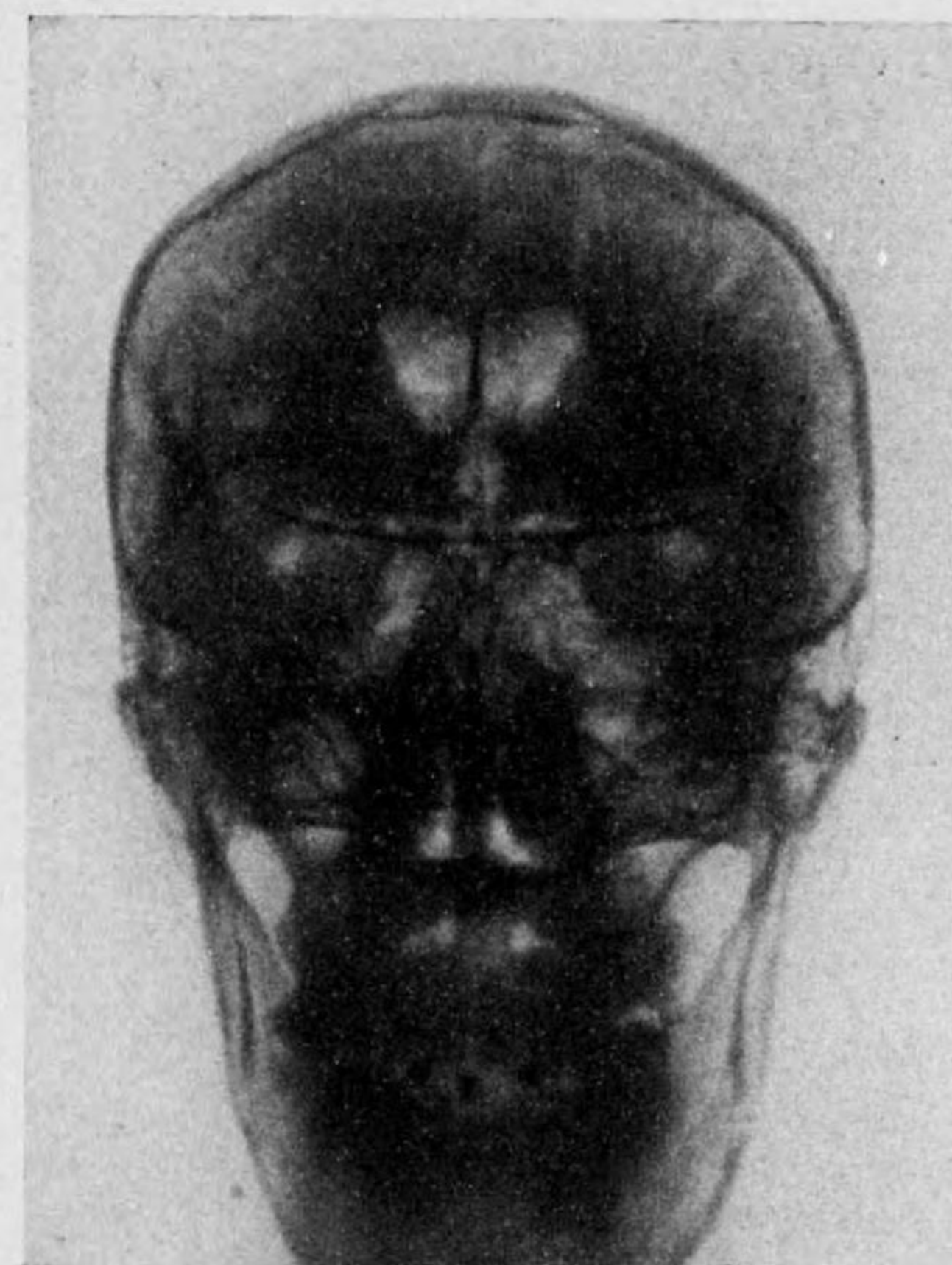
〔病型〕 本病ニハ多

クノ病型アリ、普通、之レヲ 1. 遲鈍性定型・ 2. 抑鬱性定型・ 3. 誇大性定型・ 4. 激越性定型ノ4種ニ大別シ、他ニ多クノ小別ヲ設ク。

I. 遲鈍性定型 Demente Form トハ全痲痺性癡呆中最モ多キ病型ニテ約過半數ヲ占ム。病初ヨリ理解惡シク、考慮貧弱・記憶不良・注意鈍ク、感情茫乎トナリ、時ニ、刺戟性・多幸症ヲ混ズ。日ヲ經ルニ從ヒテ、漸次癡呆狀ヲ加フ。ソノ間、一時的ノ輕キ興奮・誇大的念慮・嫉妬的妄想・爽快・妄想・幻覺ヲ微カニ示スモノアリ。

II. 誇大性定型 Expansive Form トハ感情爽快・誇大性トナリ、濫買・濫與・企計多ク、不安トナリ、誇大妄想ヲ明カニス。同時ニ感情變換シ易ク、憤怒性トナルモノアリ。

時ニハ病初、抑鬱シテ、後チ誇大性トナリ、又、ソノ兩狀態ヲ交互ニ現ハスコト



第48圖 痲痺性癡呆腦髓透寫法ニヨリ側腦室擴大・腦套穹窿面ニ空氣蓄積著シキコトヲ示ス(稻田七郎氏撮影)

同歸性定型



第 49 圖 誇大性麻痺性癡呆患者ノ室内亂雜、濫リニ壁ニ繪畫ヲ貼レル圖

緊張病性定型



第 50 圖 激越性麻痺性癡呆者ノ意識茫漠トシテ興奮スルノ圖

妄想病性定型

激越性定型

アリ(所謂、**同歸性定型** Zirkuläre Form). 又遲鈍型ト合シテ**多幸性遲鈍型** Euphoischdemente Form ヲ示スモノアリ.

誇大型ノモノハ全麻痺性癡呆ノ約 15-16%ヲ占ム.

III. **抑鬱性定型** Depressive Form トハ病初、沈鬱・時ニ苦悶・妄想(心氣性・罪障・追跡念慮)ヲ示シ、記憶・判斷・理解共ニ同時ニ侵サル。マタ幻覺アルコトモ稀ナラズ。他ニ精神制止ヲ主トシ、深キ昏迷状態ニ陥ルモノモアリトス.

若シ強梗症・反響症狀・常同症・不自然ノ體位・不潔症・等ヲ示シ、緊張病ト似ルトキニハ**緊張病性定型** Katatonische Form トシテ區別スル人アリ.

又、物理的追跡妄想・或ハ其ノ他ノ追跡妄想ヲ示シ、久シキ間、妄想病ト談診セラルルモノアリ (**妄想病性定型** Paranoide Form).

抑鬱性ノモノハ全麻痺性癡呆ノ 21-50%アリ。女子ニ多ク、年進メル者ニ多シトセラル.

IV. **激越性定型** Agitierte Form. 興奮ノ殊ニ烈シキモノニテ、多クハ突如、誇大妄想ヲ生ジ、コレト共ニ興奮甚ダシク、意識不明瞭トナリ、顔貌茫乎・應答纏マラズ、意想奔逸・錯亂・意味不明ノ興奮ヲナスモノナリ。概ネ同時ニ拒食・破衣・集癖・不潔症ヲ伴フ(第 50 圖參照). 時ニ常同症・強梗症・反響症狀ヲ伴フコトアリ。榮養忽チ衰フ.

全麻痺性癡呆ノ 10%ニ過ギズ.

ウチ經過ノ極メテ速キモノヲ特ニ**奔馬性麻痺性癡呆** Galoppierende Paralyse ト稱ス. 奔馬性麻痺性癡呆

稀有ナルモノトシテ本病ニテ酒客譫妄ニ類シテ、指南喪失・職業譫妄・種々ノ幻覺・振頭・竝ビニ、苦悶・爽快・好機嫌トヲ混淆スル固有ノ状態アルコトアリ。數日又ハ 1-2 週ノ間ニ安靜トナル.

以上ノ病型以外ニ、精神状態ノ輕ク身體症狀ノ顯著ニシテ、殊ニ、發作・半身不隨・失語症・等ヲ主症狀トスルモノアリ、**リッサウエル麻痺性癡呆** Lissauersche Paralyse ト云フ。同型ノ經過ハ甚ダ長シ. リッサウエル麻痺性癡呆

經過ノ甚ダ長キ型ニハ 20-30 年モ病勢ノ止マリテ更ニ進行セヌモノアリ。靜止性麻痺性癡呆 Stationäre Paralyse ノ名アリ. 靜止性麻痺性癡呆

又遺傳微毒ニヨリ幼年者ニ發スルモノアリ、**幼若麻痺性癡呆** Juvenile Paralyse ノ名アリ. 幼若麻痺性癡呆

久シク脊髄癆アリ、數年ノ後チ麻痺性癡呆ニ陥ルモノヲ**脊髄癆麻痺性癡呆** Tabesparalyse ト云フ. 脊髄癆麻痺性癡呆

東大精神科材料ニテハ遲鈍型 50.0%・抑鬱型 16.1%・誇大型 14.9%・激越型 5.3%・幼若型 5.9%・リッサウエル型 2.8%・脊髄癆型 5.4%・ナリト.

本病ノ初期症狀ハ同ジク同所ノ調査ニテハ精神症狀ヲ以テ始マルモノ 63.9%。身體症狀ヲ以テ始マルモノ 34.1%。ウチ刺戟性・我儘・不安・不眠ヲ以テ始マルモノ最モ多ク(19.3%)。言語障礙ヲ以テ始マルモノ 12.3%。頭痛・頭重・記憶減退・睡眠障礙 11.4%。發作 11.4%。暴行・濫酒・憤怒 9%。等ナリ.

本病主期症狀ヲ明ニスル前ニ於テ、ソノ前驅症ト認ムベキモノヲ久シク示ス例甚ダ多シ。就中、神經衰弱樣症狀・神經痛・脊髄癆樣症狀・性格變化・視覺・觸覺・運動異常・發作・等コレナリ。ソノ多クハ 1-2 年前ナルモ、中ニハ 10 年以上モ然カルコトアリ.

〔經過〕 主期以後ノ本病ノ經過ハ昔ヨリ 2-3 年ニテ死スモノ多シトセラルルモ、發病年齢・病型ニヨリテ大差アリ。即チ、誇大性定型ノモノハ長ク生き、激越性ノモノハ豫後最不良ニシテ早く死ス。奔馬性ノモノハ最モ惡シク、發病以來錯亂・興奮ヲ續ケ、身體モ早く衰弱シテ數箇月間ニ死スルモノモ少ナシトセズ。時ニハ數日ニテ斃ルルモノアリ。遲鈍型ノモノハソノ中間ニ位ス。但シまらりあ療法發現以來、經過ガ良ク

ナリ、中ニハ全治シテ數年間モ舊來執レル職務ニ復シウルモノモ少ナカラズ。殊ニ、發病以來早く同療法ヲ受ケタルモノニ於テハ好良ナル經過ヲ示ス例頗ル多シ。從ツテ、本病ノ豫後ハ早期診斷ト適當ノ處置ヲ受ケタルヤ否ヤニ俟ツコト頗ル大ト謂フベシ。

又、本病ノ生命ニ長短アルハ、經過中ニ現ハルル前記、麻痺性癡呆發作ノ發現ニヨリテ大差アリ、即チ之レニヨリテ突然死ヲ致スコトアリ。又、本病ニハ自然ノ輕快 Remission ニヨリテ病勢靜マリ、意外ノ長命ヲ保ツコトモ少ナシトセズ。時ニハ本病ニシテ 10 年以上ノ長キ經過ヲトルモノモ亦多シ。斯ク本病ノ經過中、病勢靜マリ、久シク同様ノ状態ヲ續ケテ一向進捗セズ、或程度ノ狀況ニテ久シキ間止マルモノヲ靜止性麻痺性癡呆ト云フ。

靜止性麻痺性癡呆

死因ニハ麻痺性癡呆發作及ビ末期ノ衰弱最モ多シ、稀ニ自殺アリ。末期ノ死因ニハ肺炎・褥瘡・膀胱炎・榮養障礙多シ。

〔原因〕 1. 發病年齢ハ 35 歳—45 歳ノトキ最モ多キモ、幼若麻痺性癡呆ニテハ 15—6 歳ノ少年ニ發シ、時ニハ 10 又ハ 5 歳ノ小兒ニモ發ス、尙ホ遺傳癡毒ニヨルモノニテモ 30 歳代ノ人ニテ發スルモノアリ、



第 51 圖 麻痺性癡呆者ノ大脳硬腦膜ヲ内面ヨリ見、ソノ諸所ニ出血性硬腦膜炎アルヲ示ス圖

晚發幼若麻痺性癡呆 Dementia paralytica congenitalis tarda ト名ヅク。2. 本病ハ大人・男子ニ多ク、女子ニ少ナシ。3. 都會人ニ多シ。4. 職業ニハ軍人・商人・殊ニ、機業家・火夫・鐵道業ニ多シ。5. 同病遺傳ハ少ナシ。サレド、クレベリン・ネッケノ如ク病的負因少ナカラズト云フ人アリ。6. クラフト・エービング以來、本病ハ文明 Zivilisation ヲ原因ト説ク學者アリ。但シ、眞ノ原因ハ癡毒トス。

コノ考ハ本病者ニワッセルマ

反應強ク存シ、腦ニズビろヘーテ・ぱりだ發見セラレテ以來疑フ餘地ナキモノノ如キモ、ソノ症狀ハ普通ノ癡毒ト異ナリ、又全癡毒者ノ凡テガ皆悉ク本病ヲ發スルモノナラズ。8. 故ニ、本病ノ發現ニハ他ニ何等カノ副因又誘因アリト考ヘラル。精神過勞・酒精中毒・身體的疾ノ副原因又ハ誘因ト考ヘラルル主ナルモノナリ。9. 他ニ變型癡毒 Metallues 説アリ。後者ハ癡毒ニヨリ、ソノ人ノ體質・又ハ組織ガ變化シ、又ハ、癡毒ニヨル物質代謝器官ノ異常ヲ來タシ、又或ハ、國民ノ變性セシモノト考フル説ナリ。(後條本病本態ノ項參照)。

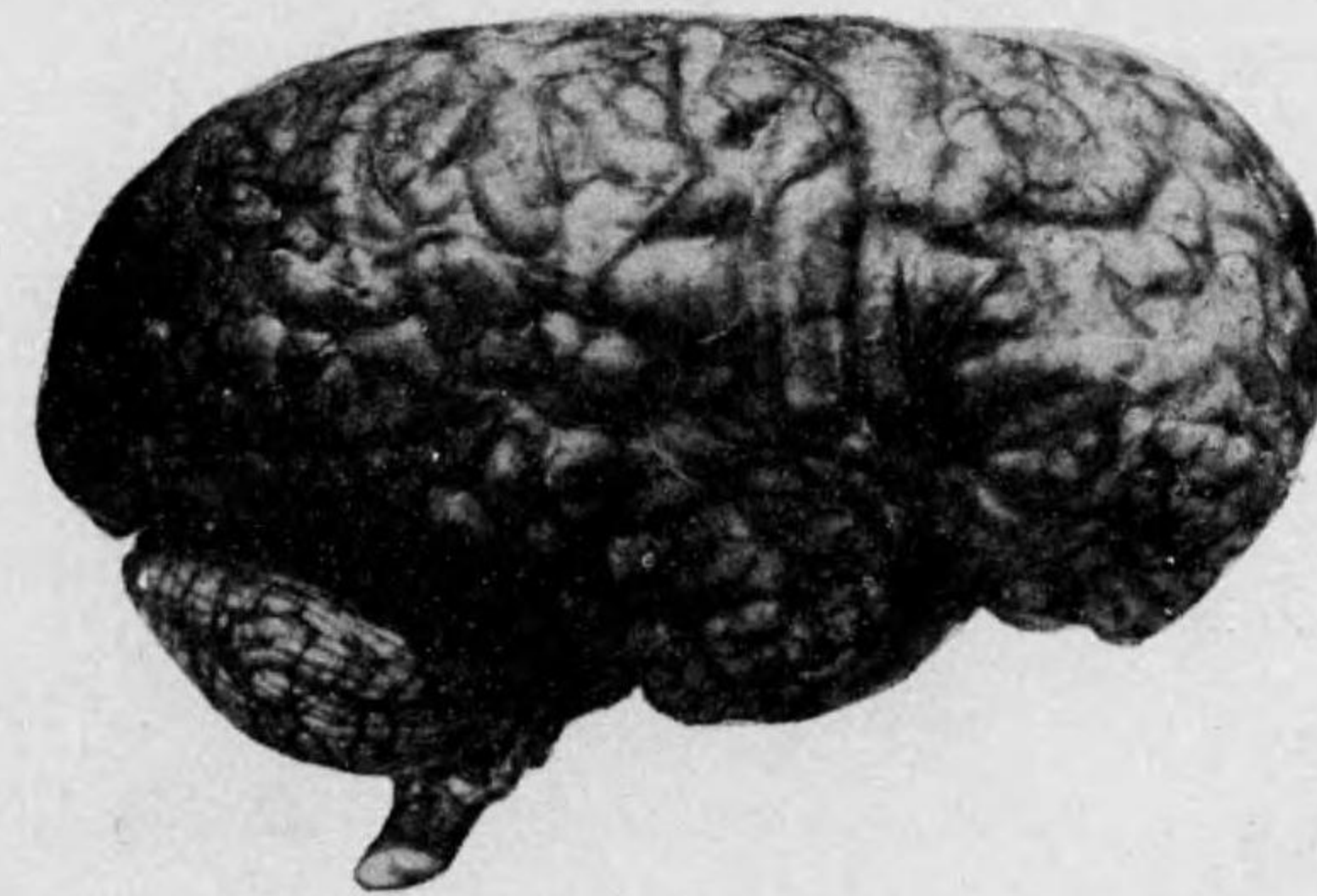
本病者腦ニズビろヘーテアリトモ、コハ本病發現ノ直接原因タラズト考フル人アリ。又特殊ノ癡菌ヲ原因トスル説モアリ(凡テ後條病理本態ノ項參照)。

10. 元來ノ性格ハ本病初期ノ精神症狀ニ關係アリトノ説多シ。ホツヘ説ハソノ1ニシテ、本病ノ主ナル徵候ヲ中軸症狀 Achsensymptome トシ、記憶減退・叡智衰弱・等コレニ屬スト考フ。初期症狀、例之、感情變化・幻覺・妄想・興奮・沈鬱・等ハ凡テ緣邊症狀 Randsymptome トシ、コハ本人性格ノ本病病變ニ對スル反應トセリ。サレバ治療ニヨリ之等ノ症狀ハ容易ニ退散セラルモノト考フ。

中軸症狀

緣邊症狀

〔病理〕 肉眼的所見 1. 腦重量ノ減少。2. 腦硬膜ノ潤濁、3時ニ出血性内硬腦膜炎(第 51 圖參照)・4. 軟膜ノ肥厚(第 52 圖參照)・5. 内腦水腫・6. 外腦水腫・7. 大脳廻轉萎縮(第 53 圖參照)・等主ナルモノナリ。



第 52 圖 麻痺性癡呆大脳、殊ニ、前頭葉・正中廻轉・顛頂葉上前方ニ於テ軟膜肥厚・潤濁ノ著シキヲ示ス圖

組織學的變化。軟膜ハ肥厚シ、之レニ浸潤細胞多シ(第 54 圖參照)。

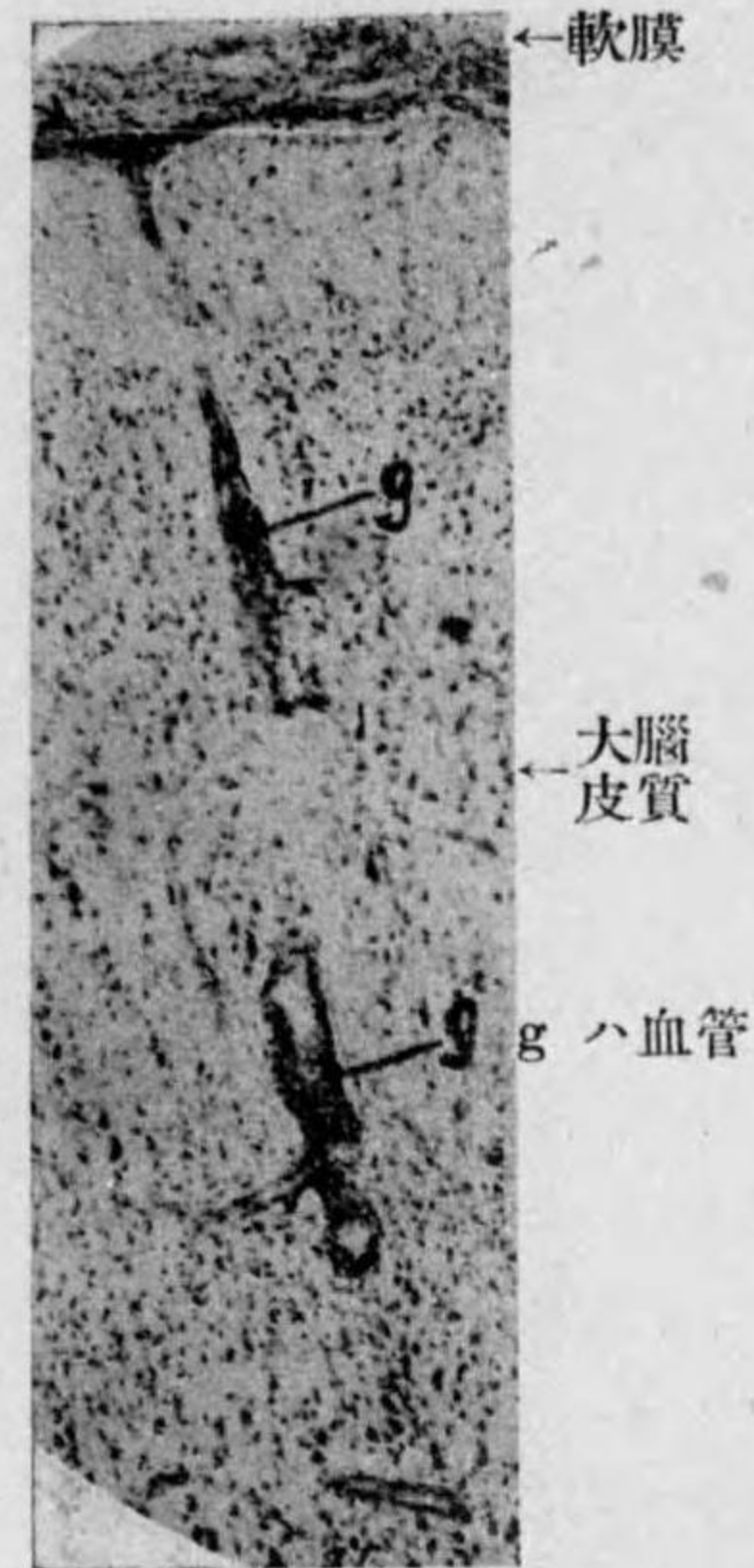
ソノ細胞ハぶらすま細胞 Plasmazellen ヲ主トシ、他ハ淋巴球・等ナリ。



第 53 圖 麻痺性癡呆大脳廻轉ノ萎縮著シキヲ示ス圖。左側大脳半球中央ニ於テ殊ニ廻轉ノ萎縮著シキ所アリ。

ぶらすま細胞ハ原形質大ニシテ、被染色體著明ニ見ヘ、核ノ周邊ニハソノ被染色體ナキ明阜アリ。核ハ不正圓形ニシテ核ノ周縁ニくろまらん占位シ、固有ノ形状ヲ示スモノナリ(第54、殊ニ55 圖参照。第55 圖ノ諸所ニアル大ナル不正形細胞ニシテ濃染セル細胞ハぶらすま細胞トス)

大脳皮質細胞構成ハ著シク亂レ、ソノ段行何レモ常態ノソレトハ甚ダ異ナリ、混亂ノ状著シ(第 54 圖参照)。即チ、細胞ノ位置規則正シ



第 54 圖 麻痺性癡呆ノ軟膜ト大脳皮質ニ浸潤アリ。皮質細胞構成ハ甚ダ亂レ且細胞脱落セル像ヲ示ス圖



第 55 圖 麻痺性癡呆細小血管ニぶらすま細胞浸潤ノ圖

カラス、或所ニハ細胞密ニ存シ、他ノ所ハ疎ニ見ユ。且、諸所ニ神經細胞ノ脱落像 Ausfall アリ。ソノタメ殊ニ或層ノ細胞ガ消失セルノ像ヲ示スモノモアリ。

神經細胞、殊ニ、錐體細胞ノ變化ハ多種多様ニシテ、本病ニ固有ナル變化ハ無シ。而カモ、ニッスル染色法・或ハ、ちおにん・又ハとるいちんぶらう染色法ニ依レバ、神經細胞、殊ニ錐體細胞ノ硬化 Sklerose・慢性變化 Chronische Veränderung・重症變化 Schwere Veränderung 等ヲ主要ナル變化トス。他ニ、急性變化・脂肪變性・石灰變性・等アリ。

急性變化トハ細胞體腫脹・膨大シ、突起ハ長ク見エ、染色質ハ塵埃様ニ分解ス。慢性變化トハ細胞體・核共ニ細長ク見エ、濃染シ、突起ハ延長・迂曲ス。重症變化ニハ核ノ變性著明ナリ。(尙、早發性癡呆病理圖参照)。

ビールショウスキー銀沈著法ニテハ皮質ハ狭小トナリ、細胞ノ行段ハ共ニ亂レ、錐體細胞ハ強度ニ濃染シテ角張り、神經細胞内細纖維 Intrazelluläre Neurofibrillen ハ細胞ノ周縁ニハアレド、核周圍ニハ之ヲ缺クモノアリ、又或ハ太ク膨脹 Quellung シ、或ハ他ノモノト粘著 Kleben シ、時ニ短ク斷タレ、節狀ニ見エ、粉末狀トモナル。核ハ濃染ス。

突起内細纖維ハ判然ト濃染スルモノアレド、消失シ、太ク又ハ短ク、屈曲・中斷シ、普通ノ如キ突起内細纖維ヲ明示シテ細長ク眞直ニ走レルモノハ極メテ少ナシ。神經細胞外ニアル細胞間細纖維 Interzelluläres Faserwerk 亦著シク消耗シ、殘レルモノハ細ク、汚ク見エ、又ハ細斷セルノ像・等ヲ示セリ。斯クテ細胞間質ハ一般ニ黒ク汚ク見エ、又、實質ノ消失セルヲ示ス所アリ。

斯カル諸變化ハ大脳皮質何レニモアレド外主層ニ於テ特ニ著シトス。皮質内神經纖維ハ有髓・無髓纖維トモ常ニ變化ス(第 56 圖参照)。即チ髓鞘染色法ニヨレバ全有髓纖維一般ニ細ク汚ク見エ、且減少セリ。殊ニ皮質第 II-III 層ニアル上放散纖維網先ヅ侵サレテ稀少トナリ、次イデ切線纖維減少ス。甚ダシキモノハ全有髓纖維・放散纖維迄モ消失シ、

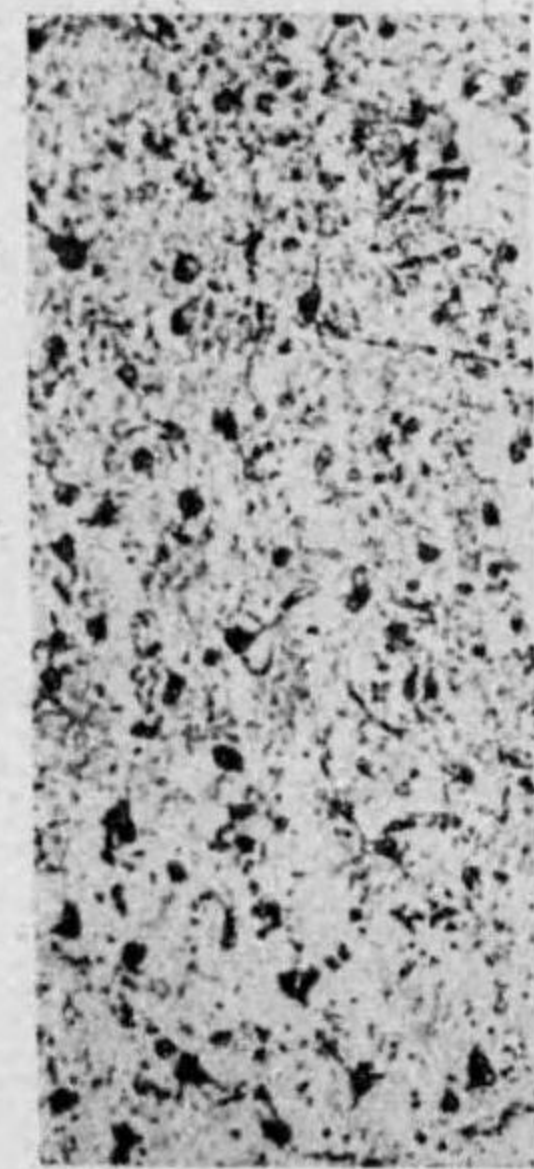


放散纖維束
第56圖 痲痺性癡呆大脳皮質有鞘纖維ノ消失ヲ示ス圖

白質髓阜モ亦侵サル。殊ニ、病ノ進行セルモノニハソノ纖維凡テ稀薄トナリ、終ニハ消失スルノ像ヲ呈ス。
 瀰漫性ノ變化ナラズシテ 限局性ノ纖維消失像アリ。即チ **フッシャー斑** *Fischer'sche Flecke* ト云フ(第57圖)。大脳皮質内、主ニ内主層ニアル 圓形又ハ不定橢圓形ヲナセル 斑紋様髓質消失竈ニシテ、同所ノ軸索ハ保有セラルモノトス。所在ハ大脳ノ前方部 $\frac{1}{3}$ 。殊ニ第1第2前頭廻轉・正中・上顳額廻轉ニ多シ。
 尙ホ(第58圖参照)所謂、**海綿様皮質消失症** *Spongiöser Rindenschwund*



第57圖 痲痺性癡呆大脳皮質フッシャー斑ヲ示ス圖



第58圖 痲痺性癡呆者大脳皮質ノ海綿様状態圖(渡邊道雄氏標本)

トテ、皮質ニ多數ノ小孔見エ、其ノ一帯ガ海綿様外見ヲ示スモノアリ。ソノ初期ノモノハ同部ノ神經細胞及ビ纖維消滅シ、ソノ附近ニ格子細胞多數ヲ現ハス。次イデ膠質纖維增生スルモノノ全部ヲ充タスニ足ラザルヲ以テ網狀ヲ示スモノナリ。大脳皮質第III層ニ多シ。殊ニ、**リッサウエル痲痺性癡呆**・幼若痲痺性癡呆ノ大脳皮質ニ多シトセラリ。

膠質組織ニハ、みくろぐりあ *Mikroglia*・おりごでんどうぐりあ

Oligodendroglia・及ビ、星狀細胞 *Astrocyten* ノ3種、何レモ變化アリ。殊ニ、神經要素消失ヲ補フタメノ續發性増殖ノミナラズ原發性ノ變化、殊ニ、變性ト増殖トアリ。

みくろぐりあヨリハ **桿狀細胞** *Stäbchenzellen* ヲ形成ス(第59,60圖参照)。

同細胞ハ細長キ核アリ、ソノ兩端ニ線狀ノ細胞體ヲ示スモノニテ **ホルテガ細胞** *Hortegazellen* ノ名アリ。

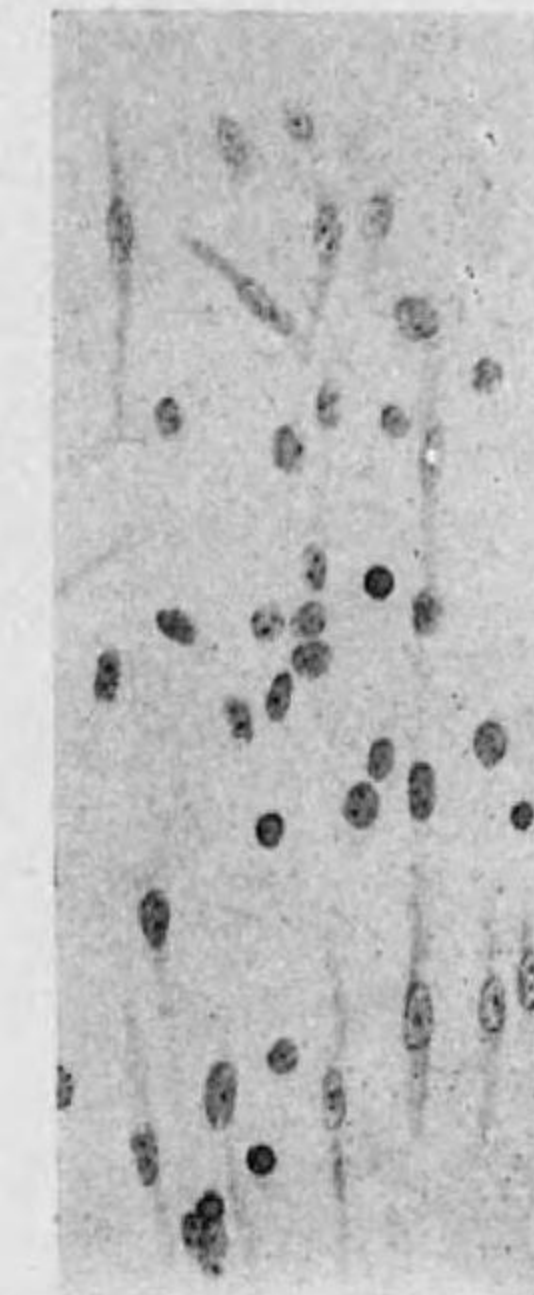
おりごでんどうぐりあハ元來、細胞體小、圓形ナルモノナルガ本病ノ際ニハ増生シ、又、細胞體ノ膨大モアリ。

星狀細胞ハ細胞體、殊ニ、核ハ濃染・硬化・又、分裂シ、突起ハ甚ダ太クナリ、又大トナリ、且ソノ數ヲ増ス。特ニ、ソノ大ナル者ニハ **蜘蛛細胞** *Spinnzellen* ノ名アリ(第61圖参照)。

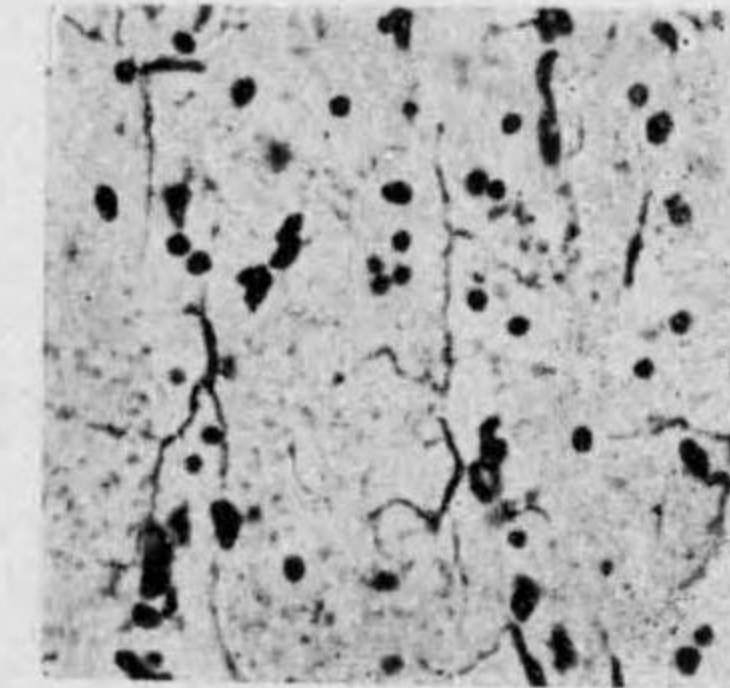
膠質纖維ハ諸所ニ増スモ、第1層殊ニ、ソノ外表ニ接スル所、血管周圍・及ビ腦室ニ接シテ増生著シ。同所ニハ纖維網ヲ形成スルモノアリ(第62圖参照)。

血管ハ増生シ、時ニ分芽法ニヨリ **新生** *Gefässneubildung* スルノ像アリ。サレド血管間ノ實質消耗ニヨリ血管ノ密ニ見ユルモノモアリトス。

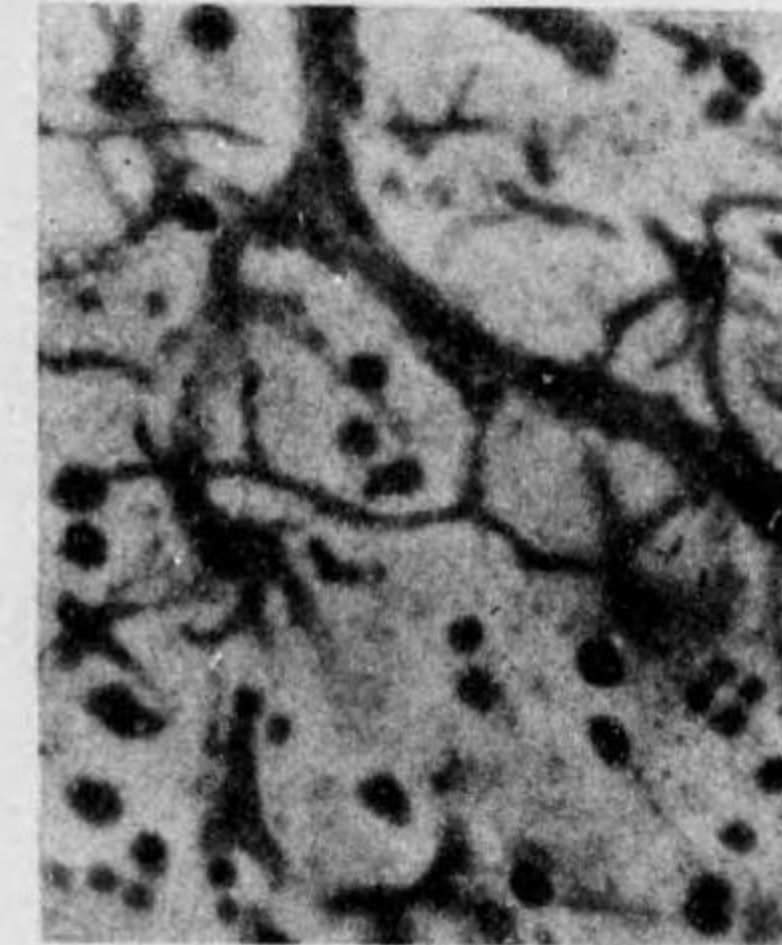
血管壁ノ變化ニハ、内膜細胞ノ核肥大・分裂・細胞體變性・彈力纖維ノ變性・及ビ分裂・中層細胞ノ同質様變性等アリ。殊ニ、細小血管ニテハ壁厚ク、同質様ニ見エ、稍太ク見ユル



第59圖 おりごでんどうぐりあ及ビ桿狀細胞(ホルテガ細胞)ノ圖



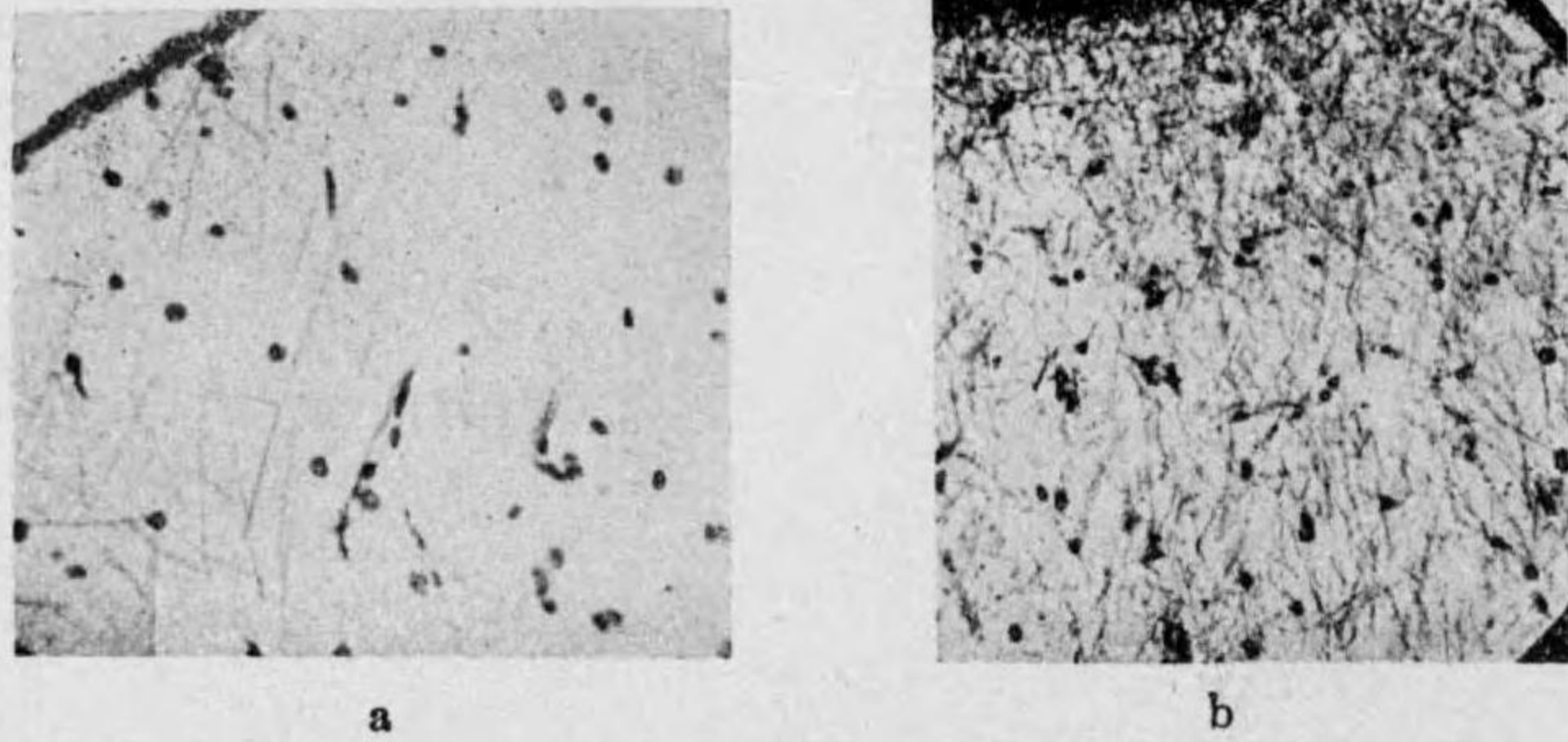
第60圖 痲痺性癡呆大脳皮質桿狀細胞ノ種々ノ變性ヲ示ス圖



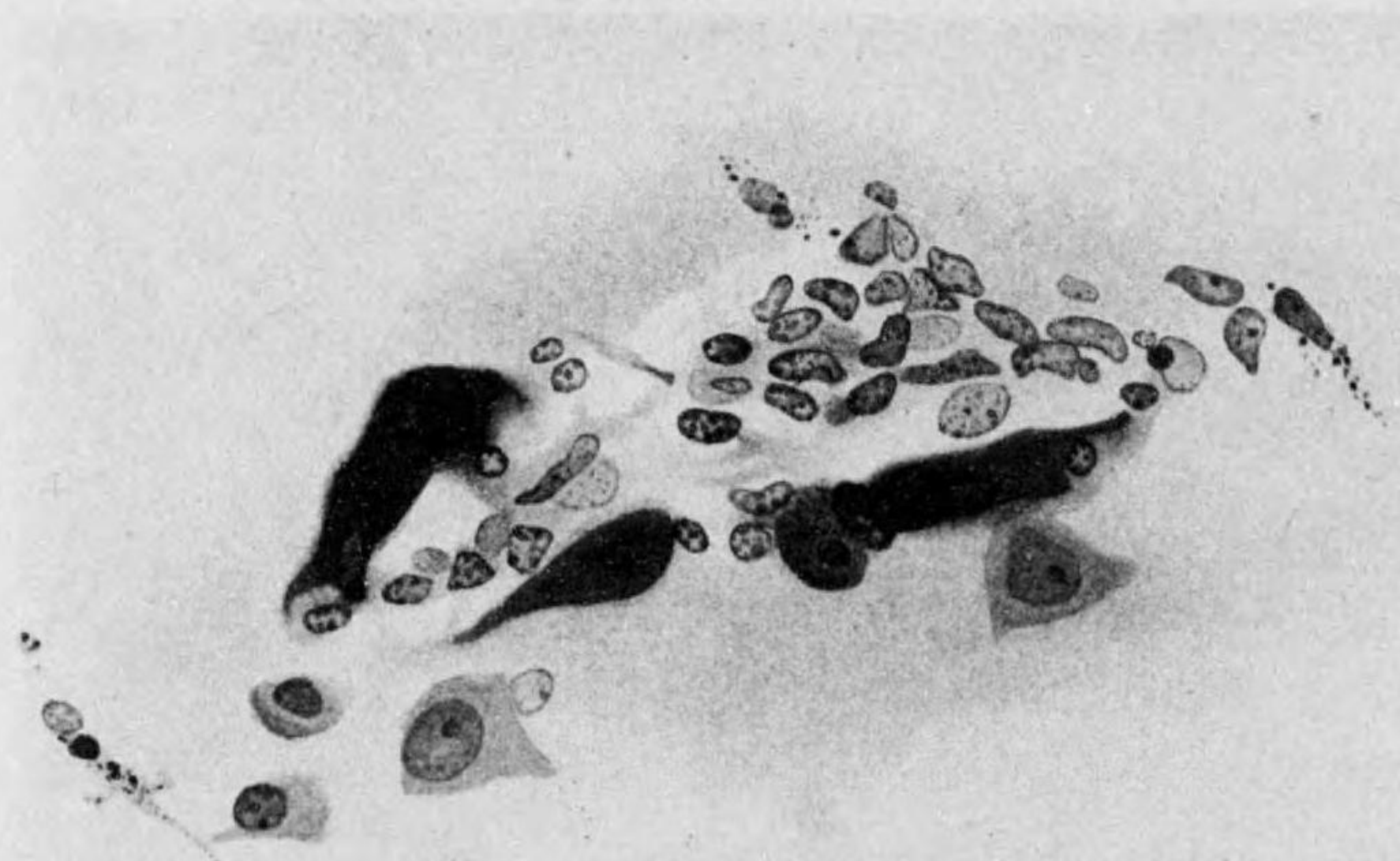
第61圖 痲痺性癡呆ニ見ル蜘蛛細胞トソノ足突起、後者ハ血管壁ト連接セル像ヲ明示ス

像アリ。血管硬化像ヲ呈ス。血管周圍ニハ浸潤細胞・殊ニ、ぶらすま細胞アリ。ソノ浸潤ハ小ナル血管ニ於テ比較的著シキコトヲ本病ニ特有ノ所見トセラル。

ぶらすま細胞ハ麻痺性癡呆ノ腦ニ於テノミナラズ、腦黴毒・睡眠病・狂犬病・腦炎・腦あぶせつ・結核性腦膜炎・動脈硬化症・腫瘍附近・多發性硬化症ノ際ニモアリ。尙ホ、傳染病・殊ニ、猩紅熱・及ビ、他ノ精神病・就中、老耄性癡呆・動脈硬化・早發性癡呆者ノ腦ニモアリト云ハル。サレド、本病以外ノモノニテハ本病ノ如クニ多カラズ、即チ極メテ少數ナルカ、又ハ或部ニ限ルモノナリ、



第 62 圖 本病ニヨル大脳皮質縁邊層ニアル膠質纖維ノ烈シキ増生・及ビ皮質内ニ深ク膠質細胞及ビ同纖維ノ増殖スル圖(クレベリン圖)。左側 a ハ常人、右側 b ハ本病者ノソレヲ示ス。



第 63 圖 青色ヲナセルトコロハ鐵反應ヲ示セルモノトス

又ぶらすま細胞ハ若キトキハ圓形ナルモ、老イテハソノ大キサヲ増シ、種々ニ形態ヲ變ヘ、時ニハ之レニ色素沈著・空泡形成・ソノ他ノ變性像ヲ示スモノアリ。

浸潤ハ本病凡テノ場合ニ於テ皆汎發性ニ存在スルモ、甚ダ緩慢ナル經過ヲトレル場合ニハ少ナキコトアリ。ソノ際 1-2 ノ新シク増悪セル病竈ニハ浸潤ヲ認メラレ、他ニ缺クコトアリ。一般ニハ前頭葉ニ最モ多ク、後頭葉ニ最モ少ナシ。

又、血管壁細胞・ホルテガ細胞内ニ鐵反應ヲ示スモノアリ(第 63 圖參照)。

すびろへーテハ近時ソノ染色法ノ進歩ニヨリテ、麻痺性癡呆者腦ノ過半數ニ於テコレヲ發見セラル。殊ニ、大脳皮質・間腦・被殻ニ多シ。

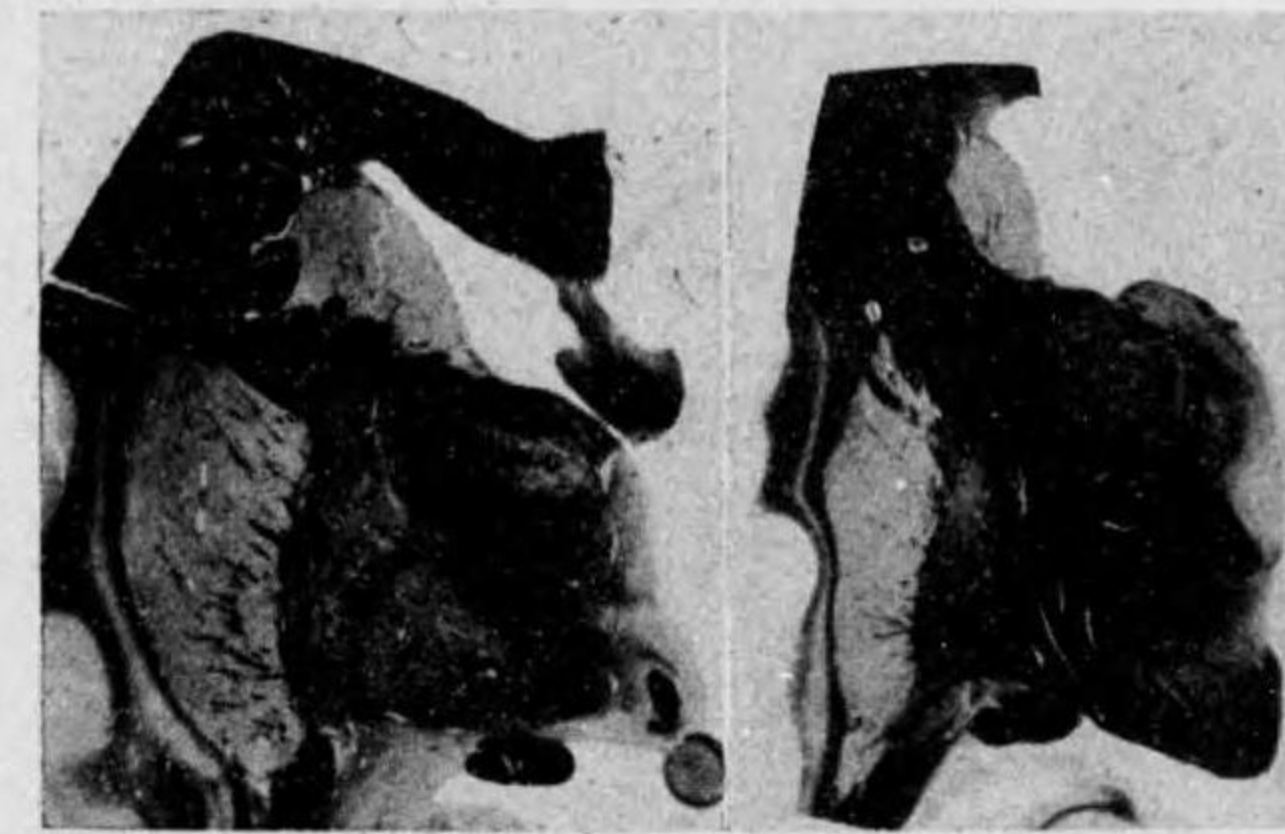
大脳皮質ニテハ前頭葉ニ多ク、ソノ存在ノ狀況ニハ、或ハ集團性(第 64 圖參照)・散在性・又ハ血管性ナリ。



第 64 圖 麻痺性癡呆大脳皮質内すびろへーテ密在ヲ示ス圖

すびろへーテノ所在ハ前頭葉ニテモ第 3 前頭廻轉、殊ニソノ下面、正中廻轉・顛頂・顛葉・殊ニ、ソノ前方極位ニ多ク、皮質内ニテハ第 III. 第 IV. 第 V 層ニアリ。第 I 層ト白質ニハナシ。神經細胞體內ニモナク、コレニハ只附着スルノミ。纖維内ニモナシ。小腦ニテハ

ソノ顆粒層、脊髓ニテハ後索ノ變性部ニ多シ。軟膜ニハナシ。病的變化セルトコロニテハ浸潤部ニ多シ。海綿樣體ノトコロニハナシ。フキッシェル斑ニハ多シ。病型ニテハ誇大的病型ニ多ク、多幸性ノモノニハ特ニ多ク、奔馬性ノモノニモ多シ。發作後ニハ少ナシ。靜止性・病型ノモノニモ少ナシトセラル。



第 65 圖 早發性癡呆(左)ト麻痺性癡呆(右)ノ間腦前額断面ノ大サノ差ヲ示ス圖。即チ麻痺性癡呆ニテハソノ間腦部萎縮ヲ常ニ著シク示スモノナリ(持田次郎氏標本)

以上ノ神經細胞・纖維・膠質組織ニ於ケル變化ハ大脳皮質内ニハ何レニモ瀰漫性ニ存在スルモ其ノ分布ニハ多少ノ差異アリ。

同一廻轉内ニテモ強キ變化ノ存スル所ト然カラザル所トアリ。又、或所ニ烈シキ變化アリテ、ソノ隣接部位ニハ健全ナル細胞ヲ見ルコトモ少ナカラズ。又、

各層ニ於ケル變化モ一様ナラズ。只、第 II 層・第 III 層最モ強ク侵サルヲ例トスレド、時ニハ第 III 層ガ強ク侵サレ、第 II 層ノ弱キ變化ニ止マルコトアリ、時ニハ第 IV・第 V 層ノ變化特ニ強キモノモアリトス。

而カモ大體ニハ諸變化ヲ通ジテ前頭葉・顛頂葉・顛葉ニハ變化強ク、中心廻轉ニハ輕ク、後頭葉・殊ニ、所謂、禽距破裂層附近ニハ頗ル輕キヲ例トス。

大脳皮質以外ノ所ニテハ腦幹・殊ニ、被殻・蒼球・尾狀核・視神經牀・小腦・脊髄ニモ同様ノ變化アリ。但、ソレ等各部位ニ於テ病勢ニ強弱ノ差アルノミナラズ、各部ニハ元來ノ構造ガ局所的差異アルニヨリテ、各所皆ソレゾレ特異ノ變化ヲ示スモノナリ。

1. 尾狀核・被殻ニハ大脳皮質ニ似ル變化アリ。肉眼上既ニ全形烈シク萎縮シ、タメニ側腦室ノ大トナルヲ明ニス(第 65 圖參照)。

2. 第 3 腦室底灰白質ニアル諸核ニモ變化アリ。麻痺性癡呆ノ營養異常・痙攣・熱發作・等ハ之ニ關係アリト説ク人アリ。



第 66 圖
プルキンエー細胞
重復核(渡邊氏圖)

3. 小腦ニテハ軟膜ノ浸潤、分子層ニハベルグマン纖維ノ強大・膠質核ノ增生、顆粒層ニハ顆粒細胞ノ減少・終ニハソノ消滅像・ブルキンエー細胞ノ消失・時ニ、重複核アリ。後者ハ殊ニ、幼若麻痺性癡呆ニ多シ(第 66 圖參照)。又プルキンエー細胞ヲ取卷ケル籠狀網ノ消失モ普通ナリ。

4. 脊髄ニ於テハソノ被膜變化大脳ノソレニ比シ輕キモ、尚ホ同様ノ變化アリ。白質ニハ側索・又ハ、後索ノ變性別々ニ又ハ同時ニ存在ス。脊髄灰白質内ノ神經細胞・膠質・血管・等ノ諸變化ハ大

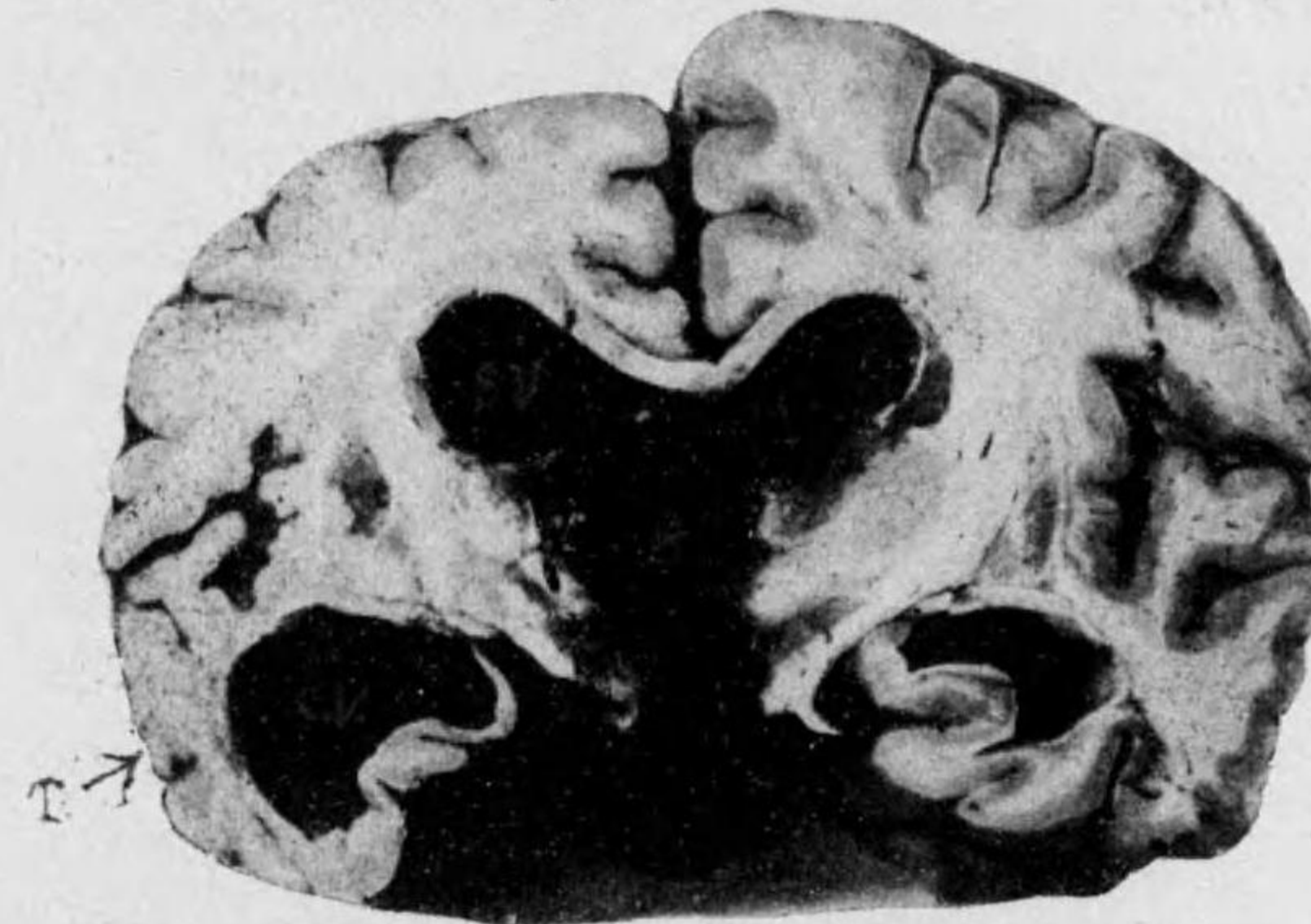
腦ニ認メラルル變化ト程度ニ於テコソ差アレ、質ニ於テハ同ジモノナリ。只、頸髓ノ變化輕ク、胸髓ニ著シキヲ例トス。

5. 末梢神經ニモ亦炎症ト變性トヲ認メラル。

6. 内臓ノ變化トシテハ、甲狀腺・腦下垂體・脾・肝・心・卵巢・大動脈ニ



第 67 圖 リッサウエル麻痺性癡呆ニテ失語症アリシ患者ニテ、剖見上、第 1 顛葉廻轉ニ局限セル萎縮ヲ示セル圖(青木義作氏報告例)



第 68 圖 リッサウエル麻痺性癡呆ニシテ生前久シク半身不隨・失語症アリ、剖見上、左側大脳半球ノ萎縮殊ニ甚シク、タメニ大脳左右兩半球ノ著シキ不平等ヲ示セル圖(荻野了氏報告例)

ニハ竈變化多ク、中ニモ、顛葉廻轉内ノ局限性萎縮(第 67 圖參照)・又ハ、大脳半球ノ左右不等(第 68 圖參照)・顛葉・間腦・小腦ノ變化烈シキヲ認メラル。7. 緊張病型・妄想病型ノモノニハ變化輕ク、8. 老耄性麻痺性癡呆ニハ兩病ノ變化ヲ交ヘ、9. まらりあ療法後ニハすびろへーテ減ジ、病的變化輕クナル狀ヲ示スモノ多シト云ハル。

〔本態〕 本病ガ微毒ト關係アリトハ夙ニ學者ノ認メシトコロナリ。

變化アリ。

以上ノ諸變化ハ臨牀的ノ病型ト多少ハ關係アル如シ。ウチ必要ナルモノヲ擧グレバ、1. 興奮セルモノニハ浸潤・桿狀細胞ノ發現・等ノ急性變化多シ。2. 静止性麻痺性癡呆ニテハ病變ハ輕シ。3. 發作アリシ人ニハ特殊ノ變化殊ニぐらゐろ一む形成アリ。但、コノ考ヘニハ異説多シトス。4. 幼若麻痺性癡呆ニハ小腦ノ變化、就中、プルキンエ細胞ニ重複核多ク、5. 奔馬性麻痺性癡呆ニハ病變殊ニ甚シ。6. リッサウエル麻痺性癡呆

コノ關係ノ存在ヲ是認スベキ事實トシテ凡ソ次ギノ如キコトヲ擧ゲラル。

1. 本病者ノ多クニハ既往ニ於テ、黴毒ニ罹リタル病歴アリ。2. 本病ノ多キ時代ト黴毒ノ多キ時代トハ時期ニ於テ一定ノ關係アリ。3. 黴毒無カルベキ人（僧侶・婦人・未婚者等）ニハ本病少ナク、4. 黴毒ニ罹リタル時期ト本病發現ノ時期トハ親シキ關係アリ。クレペリンハソノ潜伏期ヲ最短3年、普通、6-7年ヨリ頓ニ増シ、20年目ニ於テ其ノ數ヲ減ジ、最長38年、最多數10年目ナリト云フ。中ニモ5. 幼若麻痺性癡呆ト遺傳黴毒トハ特ニ密接ノ關係アルナリ。

以上ノ諸事實ハ本病ノ黴毒ト深キ關係アルコトヲ是認セシメラル證據トナルモ、一面ニハ1. 麻痺性癡呆者ニテ黴毒ニ罹レリト云フ人ハ少數ナリ。男性麻痺性癡呆者ニテ黴毒ニ罹リタリト思ヘルモノハ34%-50%、不確實ナルモノヲ加フルモ78%ニ過ギズ。又麻痺性癡呆者ニテ嘗テ黴毒ニ罹リタル人ノ數ハ學者ノ調査ニヨリ異ナルモ、概シテ1.9%ヨリ93%マデノ差アリ。2. 黴毒患者ニシテ麻痺性癡呆ニ罹ルベキモノハ、僅々1-2%ニ過ギズ。3. 麻痺性癡呆ニハ普通黴毒ニ效アル沃度・水銀劑ハ全ク其ノ效ナク、4. 解剖的變化ニモ黴毒ト麻痺性癡呆ト其ノ像ヲ異ニス。5. 或國ニハ黴毒多キニ拘ハラズ麻痺性癡呆少ナシ。例之、英・米・獨・佛・奧・伊・和・瑞等ニハ黴毒ト麻痺性癡呆多キモ、スペイン・スコットランド・カナダ等ニハ黴毒アルニ拘ハラズ、麻痺性癡呆少ナシト云フ。即チ、是等ノ事實ハ麻痺性癡呆ハ單ニ黴毒ノミニ基クモノニアラズトセラルル所以ナリ。

但シ、是等ノ説ニ對シテモ、又辯駁ノ餘地アリ。例之、既往歴ニ黴毒ノ存在ヲ認メ得ヌト云フコトハ、普通ノ黴毒ニモ珍ラシカラヌ事ナリ。第3期黴毒患者ノ50%（フルニエー Fournier）、殊ニ男子患者ノ26.2%、女子患者ノ57%ニハ明ニ第3期黴毒アルニ拘ハラズ黴毒ニ感染セシコトヲ覺エズト云フ。又第3期黴毒患者ノ36.5%ハ初期黴毒ニ罹リタルヲ知ラズト云フ。尙、猿ニすびろへてヲ移植シテ之レニ感染セシムルニ、常ニ其ノ猿ノ皮膚ニ固有ノ黴毒性變化ヲ惹起スル限ラザル實驗アリ。即チ、初期硬結ヲ覺エザリシト云フコトハ其ノ者ガ黴毒ニ感染セシコトナシトスルノ證トナスヲ得ザルナリ。

又、黴毒ノ再傳染 Reinfektionニ就キテモ、昔、人ガ考ヘタル如ク、一度黴毒ニ罹リタル人ハソノ後、該病ニ對シテ絶對的免疫トナリテ、再感染ナシト云フ説ハ正シトセズ。寧、再感染ノ際、初感染ノ如キ固有ノ變化ヲ皮膚ニ呈セヌト云フニ過ギズ。クラフト・エービング Krafft-Ebingノ私報セル某氏ノ實驗ニヨレバ、9人ノ麻痺性癡呆患者ニ實驗的ニ黴毒ヲ移植セシニ、是等ノ者ニハ其ノ移植部ニ何等ノ特異性黴毒徵候ナカリシト云フ。是ハ正ニ麻痺性癡呆患者ニハ尙黴毒アルコトヲ實證セルモノニシテ、麻痺性癡呆ト黴毒トノ關係密接ナルコトヲ證明セシモノトセラレシ所ナリ。

ソノ後、すびろへてノ發見トナリテモ、尙ホ、黴毒患者ノ第1期、第2期ノ者ニハすびろへて比較的多ク認メラルルモ第3期患者ニハ其發見著シク困難ナリ。從ツテ麻痺性癡呆ニすびろへてガ見出サレズトスルモ、該症ガ黴毒ニ基クトノ説ヲ否認スルモノトハナラズトセラレ居リシガ、偶々ワッセルマン Wassermann 反應ノ發見トナリ、タトヒレぶら・とりげのぞーめん病・まらりあ・猩紅熱等ニモ陽性ナルコトアリトモ、黴毒ニ略ボ固有ノ反應トスベク、而カモ、麻痺性癡呆者ニ於テ其ノ殆ンド全テニ強陽性ナレバ、假令、ワッセルマン反應ヲ生ズル理由ハ不明ナリトモ、麻痺性癡呆ノ黴毒性疾病ナルコトハ略ボ肯定セラルベシト思ハルナリ。即チ、當時、既ニ血清學上、「黴毒ナキ麻痺性癡呆無シ」トノ學說（Keine Paralyse ohne Lues）ハ信ゼラレシナリ。加之、麻痺性癡呆ニワッセルマン反應強度ニ存在スルコトハ、同病者ニすびろへてノ必ズ存在ストノ證據トセラレ、ソノ後、野口英世博士ニヨリテすびろへてガ其ノ大脳皮質ニ發見セラルルニ及ビ、茲ニ兩者ノ關係ハ一層緊密トナレルモノノ如シ。

サレド尙ホ全黴毒患者ガ皆麻痺性癡呆ヲ發スルモノナラネバ、何故ニ、同一ノすびろへてガ或人ニ普通黴毒ヲ起コシ、他ノ人ニハ變型黴毒ヲ發スルヤノ理由ハ不明ナリ。

ソノ説明トシテ麻痺性癡呆ニハ特殊ノ病原體 Syphilis a virus nerveux アリトノ考ヘアリ。同説ハ初メ佛國學者ヨリ唱ヘラレ、後チ家族性又ハ夫婦間ノ麻痺性癡呆・乃至、脊髓癆ノ例アル經驗、及ビ一婦人ヨリ得タル黴毒ガ皆變型黴毒ニ罹レル例（エルブ Erb, ノンネ Nonne）ナドニヨリ立證セラレタル感アリ。

サレド又他ノ學者ハすびろへてノ生物學的性狀ノ差アルコトヲ實證シ、或ハ神經黴毒ニテハすびろへてガ特ニ神經鞘又ハ束ヲ傳ハリ進ムトノ説ヲ懷キ（エールマン Ehrmann）、或ハ毒力ノ異ナル爲メトノ説モアリ。即チ、力弱キ黴毒ニ感染セル爲メトノ考アルナリ。

フルニエーハ83人ノ麻痺性癡呆患者中、70名ハ僅1回薔薇疹ヲ示シ、8例ハ中等度ノ第2期症狀ヲ示シ、只3名ノミガ第3期黴毒、2例ハ第1期症狀ヲ示スニ過ギザリシト云フノ事實ヲ擧ゲ。而シテ、ソノ説明ニ、第2期ニ皮膚發疹ノ少ナキハ病原體ノ繁殖ニ都合宜カリシモノナリトノ考ヘヲ出セリ。

又、他ニハ文化低キ野蕃人ニ本病少ナキハまらりあニ罹ル人多キタメ、或ハ天然痘ニ罹ルタメナリトテ、本病ハ自然まらりあ・天然痘罹

病ト關係アリトノ説明出ヅ。同様ニ、本病ハ種痘法發現以後生ゼシ病ナリト云フ事實モ亦ソノ説ヲ助クル證左ナリト考ヘラルナリ。

他ニ麻痺性癡呆トナルニハ單ニ黴毒ノミナラス、精神過勞(エーデンゲル Edinger ノ消耗説 Aufbrauchtheorie)・外傷・酒精中毒・等ノ副因アルタメトノ考ヘモアリ。又、個人ノ差ニ基クモノナリトノ意見モ存ス(ネツケ Näcke, シューレ Schüle)。尙ホ同説ハ單ニ一個人ノ間ノミナラス民族ニモ同様ノ事柄アリ。即チ、民族ニヨリテノ差異存在ストノ意見アリ。同説ハ變調説 Umstimmungstheorie ト云フ。

變調説

變調説ノ濫觴ハフエンゲル Finger = 始マル。即チ、第3期黴毒ハ其ノ病變固有ナルコト、傳染性無キコト、沃度ノ治療ノ效果ナキコトヨリ、同病ハ直接病原體ニ基キテノ病變ニアラズシテ、其ノ毒素ノタメニ來タルモノナランカト考ヘタルニ始マル。後チ氏ハ共同作業者ラントスタイン Landsteiner ト共ニ、實驗ヲ重ヌルウチニ、ソノ説ノ非ナルヲ覺リ、第3期黴毒患者ニモすびろへてノ存在ヲ認メ、且之レヲ猿ニ移植シテモ普通ノ初期硬結ヲ作ルコトヲ知リ、茲ニ同一ノすびろへてガ或人ニハ第3期黴毒・又、誤腫ヲ生ジ、他ノ人、殊ニ、非黴毒者ニハ初期硬結ヲ作ルコトヲ知レリ。又第1期患者・或ハ第2期患者ノ病竈ヨリ得タルモノヲ第3期患者ニ移植スレバ、其ノ場所ニ第3期症狀ヲ呈スルコトモアリ。以テ同一病原體ガ、其ノ人ノ反應如何ニヨリテ第1期症狀・又第3期症狀ヲ呈スルモノト斷定シ、之レヲ變型黴毒ニ應用シテ、若シ、ソノ人ガ變型黴毒ヲ生ズルニ都合ヨキ様ニ變調セシ人ナレバ、同人ハ變型黴毒トナルト云フニ至レリ。但シ、變型黴毒ト同時ニ誤腫ヲ生ズルコトモアレバ、コノ説ニハ尙ホ多少矛盾アル如ク見ユルモ、ソハ又同一ノ人ニ兩病ニ對スル變調ノ同時ニ存在スルモノナリトモ解説シ得ラルナリ。

實ニ麻痺性癡呆患者ニハ發病前、早クモ腦脊髄液ニ細胞增多症現ハル事實アリ、コハ麻痺性癡呆ノ發病前、同病ノ發生基礎ヲ形成スル軟膜ノ刺戟狀態ガ存在スルモノト解スル考ヘ方アリ。

クレペリンハ黴毒ニ久シク感染セル民族ノ體質ニハ之レガタメ、文化ニ基ク體質ノ軟弱・及ビ是レガ副産物タル酒精濫用・並ビニ、文明ニ伴フ不攝生・等ヨリソノ組織ノ變調ヲ來ストノ説ヲ出ス。又、氏ハ本病ヲ黴毒ニ基ク一種ノ物質代謝病トセリ。

ソレヨリ後チ、フォルステル Forster ハ麻痺性癡呆腦ノすびろへてガ生活力ヲ有スルヤ否ヤニツキテ試験セリ。然ルニ同病者腦ヨリ腦穿刺法ニテ得タル組

織ヲ暗視野装置ニテ檢セルトコロ、44%ニ於テすびろへてヲ見、ソノ53例ノ穿刺物ヲ兎ノ辜丸ニ移植シタルニ、日ヲ經ルモ何等ノ傳染性症狀ヲ認メズ。即チ、麻痺性癡呆者ノ腦ニアルすびろへてハ生物學上既ニ何等カノ變態アルモノニアラズヤトノ説ヲ出セリ。

其ノ後、麻痺性癡呆ノすびろへてニ關スル生物學的差異ノ研究起コリ、ソレニ關スル學說亦多ク輩出ス。而カモ一定ノ學說ナシ。一派ノ人ハ麻痺性癡呆ト腦黴毒トノ差ハ同病々原體ガ血行ニヨリ腦ノ深部ニ入ルカ腦脊髄液ヨリ軟膜・乃至、腦室ニ入ルカニヨルトス(プラウト)。

更ニ麻痺性癡呆ノ病變中、炎症變化ハすびろへてノ直接刺戟ニヨル變化、變性ハ毒素ノタメニ生ズル變化トナス人アリ。サレド、又、兩者トモすびろへてノ直接原因ニ基ク變化ナリトノ説モアリ。

又、近時、麻痺性癡呆ノ剖見的所見ガ漸次精密トナルニ從ヒテ、腦黴毒變化ト麻痺性癡呆變化トノ境界ハ愈々不明トナリ。時ニハ、兩者ノ合併・又ハ移行型ト認ムベキモノモアリ。タメニ、普通ノ場合ニハ兩者ノ區別ハ爲シウルモ、極端ノ場合ニハ然ラザルモノアリトシ。茲ニ本病ハ黴毒病原體タルすびろへてノ直接疾病ニシテ變型黴毒ト考フルヨリハ寧、第4期黴毒説ニ似タル説再燃セリ。

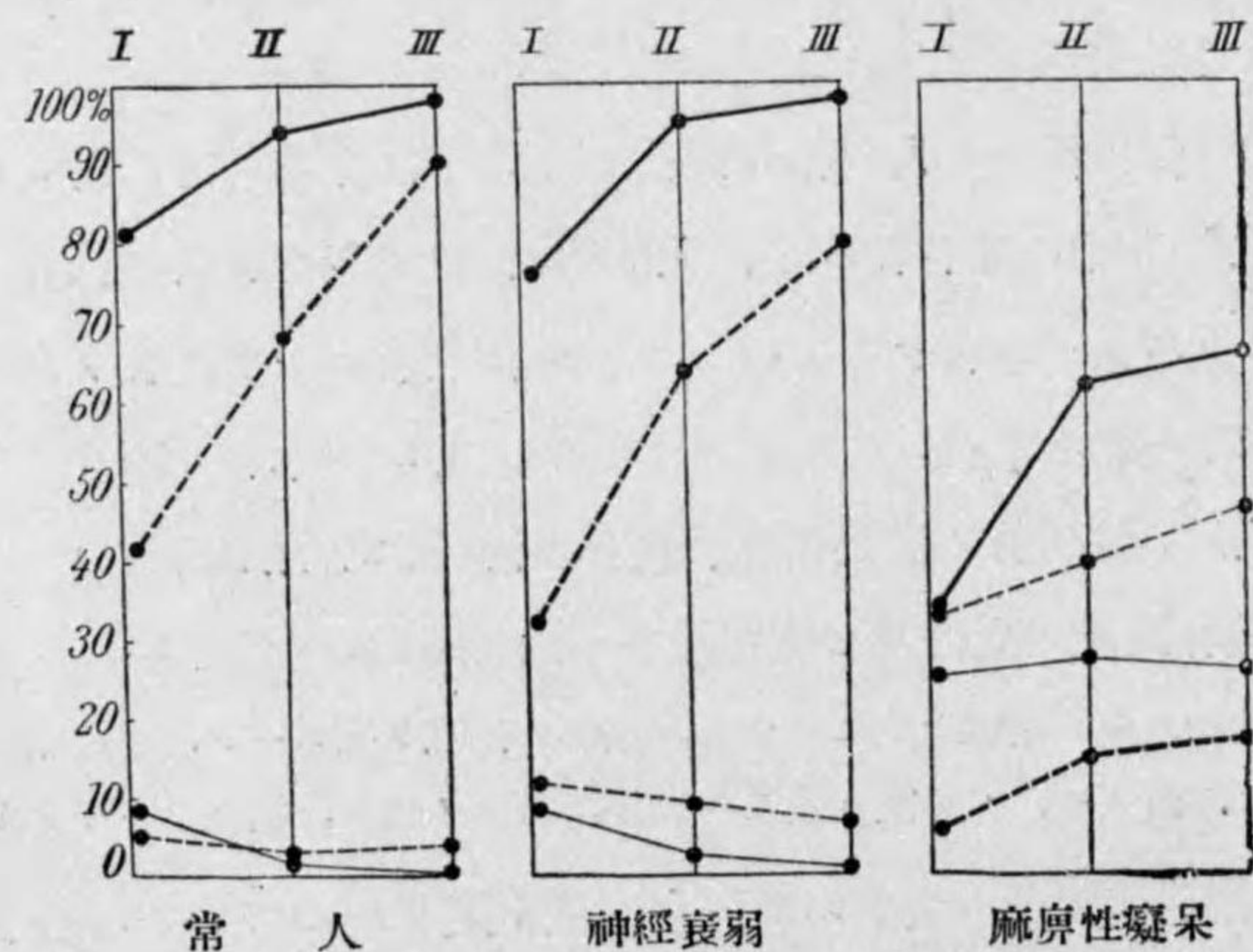
〔診斷〕 從來健全ノ人・殊ニ、既往ニ1回モ精神ニ異常ヲ發セシ事ナキ中年ノ人・就中、同年輩ノ男子ガ何等原因ナクシテ精神ニ異常ヲ呈セルモノアラバ先ヅ本病ヲ考フベシ。殊ニ、同病者ニシテ瞳孔ノ對光反應ヲ缺ケル時ハ愈々本病ニアラザルナキヤヲ疑ヒテ、本病ニ來タルソノ身體症狀・殊ニ、膝反射ノ消失・痛覺鈍麻・血清・及ビ腦脊髄液ノワッセルマン反應・腦脊髄液ノ蛋白及ビ細胞增多・等ヲ精査スルヲ要ス。

瞳孔ノ檢査ハ頗ル困難ナルモノナレバ細心ノ注意ヲ要スベシ。殊ニ必ず薄暗キ室内ニテ、而カモ、ソノ室ニ入りタル後、數分ノ後ニ、檢査スベキナリ。

〔類症鑑別〕 初期ニ於テハ神經衰弱症ト誤ラルコト多シ。後者ニテハ發病ノ原因(精神過勞・等)アリ。又、眞ノ記憶障礙少ナシ。時ニ自ラ物覺エ惡ルシト云フ人アルモ、多クハ注意散亂ノタメナリ。眞ノ記憶減退ハナシ。又、領解ノ不良ナク、病覺アリ。自ラ病メルコトヲ辨ヘ、之

レヲ憂ヒ、療養ニ努メムトスルモノナリ。又、暫ク静養スレバ病症自ラ輕快スルヲ例トス。コレニ反シ、麻痺性癡呆者ニテハ病覺無ク、自ラ静養セントスルノ意志ナク、静療スルモ病勢止マラズ、轉地・等ニテ却ツテ増悪スルモノアリ。加之、時ニハ健康却ツテ舊ニ勝ルモノト自負スルモノ多シ。尙、神經衰弱症者ノ如ク刺戟性ナルヨリモ、多幸症・喜怒不定ナルコト多シ。更ニ、麻痺性癡呆發作、殊ニ、失神・痙攣發作ノ初期ニ來タルコトアリ。ソノ輕キモノハ神經衰弱症ノ眩暈發作ト似ルモ、ソノ後、失語症・不全麻痺・精神異常・殊ニ、易怒・記憶不良・等ノ症狀ヲ貽スコト多シ。其ノ他、言語障礙・瞳孔強直・膝蓋腱反射消失・感覺鈍麻・記憶缺損・記銘障礙・判斷障礙・妄想・幻覺・計算不良・推感性亢進・等ノ諸症狀存在スルトキニハ最早麻痺性癡呆タルノ診斷ハ確實ナリ。

心理検査・殊ニ、記銘試験・就中、對語記銘試験ニヨレバ、次ノ如キ特徴アリ。即チ本病者ノ成績ハ第 69 圖ニ示ス如ク、正當數少ナク、殊ニ、無關係ノソレハ甚少ナシ。又、反復ニヨリテノ増加ナシ。



第 69 圖 常人、神經衰弱、及ビ麻痺性癡呆患者ノ對語記銘試験ニヨル 3 回反復時ノ正當數・追想錯誤ノ狀況ヲ示ス圖。但 I. II. III. ハ第 1 第 2 第 3 回ノ試験成績、實線ハ有關係、點線ハ無關係對語試験成績、太線ハ正當數、細線ハ追想錯誤トス。

診斷上必要ナル本病者・常人・神經衰弱ノ記憶實驗成績ヲ例示セム。

第四表 常人ノ對語記銘試験成績表

但シ表中有關ハ有關係・無關ハ無關係對語記銘試験、追錯ハ追想錯誤、○ハ正答、—ハ忘却、文字ハ追想錯誤ノ言葉ヲ示スモノナリ。

(甲)記憶好良ナル常人ノ例

〔有 關〕	第 1 回	第 2 回	第 3 回	〔無 關〕	第 1 回	第 2 回	第 3 回
花 = 蝶々	○	○	○	地球 = 問題	—	—	○
家 = 庭	○	○	○	少年 = 銀行	—	○	○
役者 = 舞臺	○	○	○	入浴 = 鯨	○	○	○
立身 = 出世	功勞	○	○	蕾 = 響	—	—	—
夕立 = 雷	○	○	○	兎 = 障子	眞綿	—	○
旅行 = 名所	○	○	○	田植 = 神社	○	紫	○
勳章 = 功勞	○	○	○	硝子 = 貧乏	○	○	○
女中 = 臺所	○	○	○	水泳 = 紫	眞綿	○	○
幸福 = 満足	○	○	○	停車場 = 眞綿	—	○	○
鳩 = 豆	○	○	○	特別 = 衝突	—	○	○
正 答	90%	100%	100%		30%	60%	90%
追 錯	10%	0%	0%		20%	10%	0%
性 質	聯合性・位置ノ錯誤・異常型ナシ。						

(乙)記憶不良ナル常人ノ例

〔有 關〕	第 1 回	第 2 回	第 3 回	〔無 關〕	第 1 回	第 2 回	第 3 回
人 = 猿	○	○	○	將軍 = 水道	○	香水	香水
田舎 = 田圃	○	○	○	柱 = 切符	支關	猫	○
親切 = 情	—	—	熱心	鐵橋 = 公園	將軍	都會	都會
醫者 = 病人	藥	親切	○	成功 = 緣日	書生	—	—
手 = 足	○	○	○	新年 = 先生	公園	書生	—
池 = 河	田圃	田圃	○	猫 = 鉛筆	屋根	—	柱
軍人 = 戰爭	○	○	○	屋根 = 菓子	—	—	—
馬車 = 自働車	○	○	○	財產 = 都會	○	○	○
勉強 = 試驗	親切	熱心	—	商賣 = 警察	巡查	○	○
狐 = 稻荷	狸	○	○	喧嘩 = 香水	—	—	—
正 答	50%	60%	80%		20%	20%	30%
追 錯	40%	30%	10%		60%	40%	30%
性 質	位置ノ誤ト聯合性ノ誤ナリ。						